

令和元（2019）年度

「授業評価アンケート」報告書

令和2（2020）年9月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

はじめに

学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長
山本政人

本報告書は、令和元（2019）年度実施の「学生による授業評価アンケート」の集計結果とその分析を取りまとめたものである。

本学では、授業改善の一助として「学生による授業評価アンケート」を年2回実施しており、令和元年度はこのアンケートを全学的に実施するようになって14年目を迎えた。近年は、このアンケートが学内に定着し、教職員と学生の協力のもと、円滑な実施ができている。

「学生による授業評価アンケート」の個別データは慎重に取り扱い、授業改善に役立てていただけるよう、各授業科目の担当教員にフィードバックしている。

さらに、このアンケートの結果を活用し、教育の改善に向けて、全学的に次のような取り組みを行っている。

第一に、平成22（2010）年度より、このアンケートの結果を受けて、各部門がどのような授業改善を行ったのか、具体的な取り組み・工夫の例を集め、『授業評価アンケート』報告書の第4章「授業への取り組み例」に掲載している。これにより、個々の教員の創意工夫を大学全体で共有する。

第二に、同じく平成22年度より、各部門においてこのアンケートの結果を活用し、意見交換を行う機会を設けるため、FDをテーマにする懇談会を毎年開催している。

第三に、平成27（2015）年度より、毎年度の第1学期中に、学生によって高く評価された授業を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その授業の担当教員による授業方法や授業改善のための創意工夫についての講演及び参加者による意見交換からなる「FD研究会」を実施している。これにより、教職員が良い授業とは何かについて議論し合い、授業方法や創意工夫についての情報を共有する場を作ることができた。

今後は、「学生による授業評価アンケート」に自由記述欄を設けることや、アンケートの結果を学生に公開することなど、アンケートのあり方についても見直す必要があるだろう。また、「学生による授業評価アンケート」のことだけでなく、教員が様々な形、様々な次元でFDに関わることのできる制度の整備、環境の醸成を目指し、本学のFD活動の見直しを続けていきたい。

令和2（2020）年9月

目 次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要	1
I. 実施の経緯	2
II. 実施の方法	3
III. 実施にかかる全体的な状況、集計結果	6
IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて	16
第2章 令和元年度の概観	17
第3章 各部門の分析・評価	32
I. 法学部	34
II. 経済学部	42
III. 文学部	50
IV. 理学部	64
V. 国際社会科学部	71
VI. 計算機センター	81
VII. 外国語教育研究センター	88
VIII. スポーツ・健康科学センター	97
IX. 基礎教養科目運営委員会	104
X. 教職課程	112
XI. 学芸員課程委員会	117
第4章 授業への取り組み例	124
第5章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）	156
ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧	188

第1章

授業評価アンケート実施の概要

I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成15（2003）年8月の各学部・センターの有志の教員14名からなる「FD勉強会」の組織からである。ここでは、FDの定義についての確認、FDに関する他大学の情報共有等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、各学部・学科、センターにおけるFDへの取り組み状況や、経済学部、法学部法学科、スポーツ健康科学センター及び外国語教育研究センターが実施（あるいは実施を予定）していた授業評価アンケートについての報告がなされた。

その後「FD勉強会」は「FD研究プロジェクト」と名称を変え、FDをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやFDを推進していくための組織について討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD推進委員会」）が発足、平成16（2004）年7月、第1回の委員会が開催された。

委員会規程によれば、本学におけるFDとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされた。委員会では、そのために取り組むべき活動として、全学的な「学生による授業評価アンケート」の実施を最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なFD活動に活かすための基礎的な情報収集という意味を持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置付けられるためである。

その後、FD推進委員会においては、「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」及び、学習院個人情報保護規程をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」が纏められた。これらのガイドラインにもとづき、平成18（2006）年度、全学的な「学生による授業評価アンケート」が初めて実施された。

以降、「学生による授業評価アンケート」は、本学におけるFD活動の基礎として、改善を加えながら毎年度実施されている。また、平成27（2015）年度からは、この結果を活用した授業改善のためのFD研修会等も継続して実施しており、部局が異なる教員間での忌憚ない情報交換の機会となっている。

II. 実施の方法

第1学期は7月、第2学期は12月の所定の期間中（各2週間）に、無記名のマークシート式アンケートにより実施した。実施にあたっては、学生センター教務課に実施本部を設置し、各教員は授業前に実施本部でアンケート票一式を受け取り、授業内にてアンケート実施後、回収用の封筒に封入された実施済みアンケート票その他を実施本部に返却することとなっている。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼすべての科目が該当する。

第1学期：第1学期科目及び通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期：第2学期科目及び通年科目

- 注1. 集中講義については、通常の期間ではなく開講期間中に実施。
2. 大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。
3. 総履修者数のうち本学学部生が5名以下の科目は対象外。
4. 回答者数が5名以下の科目は、集計結果の担当教員へのフィードバックを行わず、また、各種集計データに含めない。

なお、集計結果の分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態		
法学部	講義	演習	
経済学部	講義	演習	
文学部	講義	演習	
理学部	講義	演習	
国際社会科学部	講義	演習	語学
計算機センター	講義		
外国語教育研究センター	語学		
スポーツ・健康科学センター	演習		
基礎教養科目運営委員会	講義	演習	
教職課程	講義	演習	
学芸員課程委員会	講義	演習	

質問項目は、原則として5段階の評価方式とし、学生全員が回答すべき基本的な項目をアンケート票の表面に、授業形態等によって追加的な項目を裏面に配した。

実際に使用されたアンケート票のイメージを以下に掲載する。



2019年度 学習院大学 授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。
回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。率直かつ責任を持った回答をお願いします。 学習院大学

1 この授業の「アンケート No.」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」を記入・マークしてください。

【注意事項】



アンケートNo.			
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

授業形態	
講義	①
演習	②
語学	③

学科コード		
0	0	0
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9
A	A	A
B	B	B
C	C	C
D	D	D

学年	
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4

- 必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。
- 記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。
- 誤りは消しゴムで完全に消してください。
- 指定以外のところには書き込まないでください。
- 記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。
- このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。
- 所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号
□□-□□□-□□□にある□の3桁の数字です。
(例) 17-011-999の場合「011」
17-095-999の場合「095」
- 本学の学籍番号が付与されていない学生(f-Campus生・大学院交流学生)は、
学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

2 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

【回答の基準】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

● 1～12は「全員」回答してください。

質問項目	回答欄				
	5	4	3	2	1
1 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	5	4	3	2	1
2 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください)	5	4	3	2	1
3 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	5	4	3	2	1
4 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で ⑤:3時間以上 ④:2時間以上3時間未満 ③:1時間以上2時間未満 ②:30分以上1時間未満 ①:30分未満	5	4	3	2	1
5 この授業の水準に満足している	5	4	3	2	1
5-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、 授業の水準について、どのように感じましたか ⑤:高すぎる ④:低すぎる	5	4			
6 この授業を進める速さは適切である	5	4	3	2	1
6-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、 授業を進める速さについて、どのように感じましたか ⑤:速すぎる ④:遅すぎる	5	4			
7 教員は熱意を持って授業を行っている	5	4	3	2	1
8 教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	5	4	3	2	1
9 教員は理解しやすい授業を行っている	5	4	3	2	1
10 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	5	4	3	2	1
10-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)について、どのように感じましたか ⑤:速すぎる ④:遅すぎる ③:その他/聞き取りにくい	5	4	3		
11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	5	4	3	2	1
12 総合的に見てこの授業は高く評価できる	5	4	3	2	1

2 つき 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

【回答の基準】

5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

● 13・14 は「授業形態」が「講義」「語学」の科目の場合のみ回答してください。

13 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

回 答 欄				
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

14 教材（教科書、配付資料等）の内容は適切である

● 15・16 は「授業形態」が「演習」「語学」の科目の場合のみ回答してください。

15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

● 17・18 は「授業形態」が「語学」の科目の場合のみ回答してください。

17 1回1回の授業のねらいが明確である

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

18 教員は授業時間を有効に活用している

● 19・20 は「開設部門」が「基礎教養科目運営委員会」の科目の場合のみ回答してください。

19 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

20 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった（複数講師による授業の場合のみ回答）

● 21～28 は「開設部門」が「スポーツ・健康科学センター」の科目の場合のみ回答してください。

21 運動量は ⑤:十分であった ④:おおむね十分であった ③:どちらとも言えない ②:やや不足していた ①:不十分であった

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

22 体力・健康状態が改善された

23 運動技術が向上した

24 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

25 身体や運動に対する関心が高まった

26 自分の身体の健康、体力の再確認ができた

27 自分の生活習慣を見直す機会となった

28 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

● 29・30 は教員の指示があった場合のみ回答してください。

29（教員の板書のとおり回答してください）

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

30（教員の板書のとおり回答してください）

ご協力ありがとうございました。

Ⅲ. 実施にかかる全体的な状況、集計結果

前述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数 5 名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。令和元（2019）年度は、対象科目数 2,434、実施科目数 2,373、実施率 97.49%となった。学生の回答率（＝回答者数／総履修者数）は 59.59%であった。

なお令和元年度は、アンケート票の質問項目を一部改訂し、旧「Q1」（出席率）から新「Q1」（履修登録時の意識。前頁参照）への変更及び「Q5」（授業の水準への満足度）の文言修正を行った。

また、授業担当者の取り組みと学生の反応の関係をより明確に捉え、全学的なFDに活かしていくため、学生へのアンケートと同時に、授業担当者が回答する「教員向け振り返りアンケート（次頁参照）」も実施した。

平成 31（2019）年 3 月、授業担当者へのフィードバックとして、個々の科目についての集計結果を各教員に送付した。同年 6 月には Web ページ上で速報を公開し、開設部門別・授業形態別に、各項目（主な 12 項目）に対する回答の平均値の経年変化及び回答率の経年変化のグラフを掲載した。

本報告書では、上記に加え、各項目を部門別・形態別・学年別・総履修者数別に集計した「基礎データクロス表」、各項目の相関係数を部門別・形態別に纏めた「相関係数表」、及び各項目の平均値の経年変化（5 年間）を部門別・形態別に纏めた「経年変化比較表」を作成している。さらに、授業評価アンケートの結果を受けた「授業への取り組み例」も、引き続き収集し取りまとめている。

「質問項目別単純集計表」「相関係数表」及び「経年変化比較表」は第 3 章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第 4 章に、「基礎データクロス表」は第 5 章に掲載する。

教員向け振り返りアンケート ご協力をお願い

FD推進委員会では、「学生による授業評価アンケート」のより一層の活用のため、学生と同時に、教員各位へアンケートを実施することとしました。

ご回答は任意です。また、いただいた回答は、本学の教学改善の目的以外に使用することはありません。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※本紙は、学生のマークシート回収封筒には入れずに、そのまま本部へお持ちください※

<アンケート>

1. まず、この授業科目について、ご記入ください。

アンケートNo: _____

科 目 名: _____

2. 次に、この授業を振り返って、あてはまる数字に○をつけてください。

	強く そう思う	まあ そう思う	どちらでも ない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない
履修生は、時間中、集中して授業を受けていた。	5	4	3	2	1
履修生は、授業の内容を十分理解できていた。	5	4	3	2	1
履修生は、意欲的に学習に取り組んでいた。	5	4	3	2	1
この授業は、おおよそシラバスの記述通りに実施できた。	5	4	3	2	1

3. 今年度、この授業で、特に工夫をした要素があれば選択してください(3つまで)。

選択

() 教員と履修生の間に双方向性を持たせること
() 履修生同士で議論や意見交換をさせること
() 授業内で発表や発言をさせること
() 授業内で理解度を確認する機会を設けること
() 授業外で予復習を促すこと(文献の紹介、回ごとの小課題など)
() 履修生に授業の目標を明示すること(回ごと、あるいは科目)
() 履修生の好奇心や学習意欲を喚起すること
() その他(具体的には: _____)

4. 教室環境や機器等について、お気づきのことがありましたらご記入ください。

(今後の教室整備の参考にさせていただきます)

ご協力ありがとうございました。2019年度FD推進委員会

1. 実施概要

令和元年度のアンケートは、第1学期は7月1日から7月13日まで、第2学期は12月4日から12月17日までのそれぞれ2週間に、学部生が履修することのできる科目を対象として行われた。

部門別・形態別の実施率・回答率を示したものが**図表1**である。

令和元年度は、対象科目数2,434に対して、実施科目数2,373、実施率は97.49%となり、二年度ぶりに90%台後半を取り戻した前年度から更に向上した（前年度比+1.49%）。

一方、集計対象科目における学生の回答率（＝集計対象科目の回答者数／集計対象科目の総履修者数）は59.59%とほぼ同様の水準であった（前年度比-0.42%）。これについては、回答者の種類を示した**図表2**のとおり、学部生に限って見た場合、1年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していく傾向にあることから、国際社会科学部の開設から二年度目、三年度目に当たる平成29（2017）年度・平成30（2018）年度の回答率が上がり、四年度目に当たる令和元年度で安定するにいたったと考えられる。

図表1 アンケート実施率及び集計対象科目の回答率

部門別	計セ	講義	実施率			集計対象科目数	集計対象外科目数	回答率		
			対象科目数	実施科目数	実施率			集計対象科目履修者数	集計対象科目回答者数	回答率
計セ	講義	91	91	100.00%	90	1	4,344	3,452	79.47%	
	合計	91	91	100.00%	90	1	4,344	3,452	79.47%	
外セ	語学	504	502	99.60%	481	21	11,473	9,672	84.30%	
	合計	504	502	99.60%	481	21	11,473	9,672	84.30%	
スポ健	演習	104	104	100.00%	97	7	1,933	1,588	82.15%	
	合計	104	104	100.00%	97	7	1,933	1,588	82.15%	
基礎教養	講義	103	103	100.00%	102	1	10,781	6,101	56.59%	
	演習	1	0	0.00%	0	0	0	0	-	
	合計	104	103	99.04%	102	1	10,781	6,101	56.59%	
法学部	講義	140	138	98.57%	129	9	20,426	8,549	41.85%	
	演習	111	106	95.50%	99	7	1,868	1,586	84.90%	
	合計	251	244	97.21%	228	16	22,294	10,135	45.46%	
経済学部	講義	143	136	95.10%	135	1	24,703	9,730	39.39%	
	演習	110	100	90.91%	95	5	1,607	1,393	86.68%	
	合計	253	236	93.28%	230	6	26,310	11,123	42.28%	
文学部	講義	255	251	98.43%	244	7	12,690	9,302	73.30%	
	演習	328	321	97.87%	309	12	7,332	6,102	83.22%	
	合計	583	572	98.11%	553	19	20,022	15,404	76.94%	
理学部	講義	133	128	96.24%	125	3	6,408	4,204	65.61%	
	演習	34	29	85.29%	28	1	1,215	1,053	86.67%	
	合計	167	157	94.01%	153	4	7,623	5,257	68.96%	
国際社会 科学部	講義	72	72	100.00%	71	1	10,068	4,121	40.93%	
	演習	46	44	95.65%	42	2	722	609	84.35%	
	語学	146	145	99.32%	140	5	2,912	2,426	83.31%	
	合計	264	261	98.86%	253	8	13,702	7,156	52.23%	
教職課程	講義	31	31	100.00%	29	2	1,203	973	80.88%	
	演習	49	44	89.80%	42	2	1,342	1,084	80.77%	
	合計	80	75	93.75%	71	4	2,545	2,057	80.83%	
学芸員	講義	23	20	86.96%	20	0	719	585	81.36%	
	演習	10	8	80.00%	8	0	90	76	84.44%	
	合計	33	28	84.85%	28	0	809	661	81.71%	
形態別	講義計	991	970	97.88%	945	25	91,342	47,017	51.47%	
	演習計	793	756	95.33%	720	36	16,109	13,491	83.75%	
	語学計	650	647	99.54%	621	26	14,385	12,098	84.10%	
全科目		2,434	2,373	97.49%	2,286	87	121,836	72,606	59.59%	

注1 総履修者数のうち本学学部生が5名以下の科目はアンケート実施対象外。

注2 アンケート実施対象科目であっても、実際の回答者数が5名以下の科目は集計対象としない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」:学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、11の部門に分けている。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」は、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いる。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計。

「形態別」:授業形態による分類で、「講義」「演習」「語学」の3種類。

「実施率」:アンケートの実施対象となった科目数に対する実施科目数の比率。

「回答率」:アンケートを実施した科目のうち、集計対象となった科目の総履修者数に対する回答者数の比率。

図表2 回答者の種類

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	30,170	21,622	13,159	4,303	59	1,132	70,445
大学院生(博士前期課程)	102	49	8	11	0	1	171
大学院生(博士後期課程)	17	5	15	3	0	0	40
科目等履修生(学部)	1	4	30	17	21	18	91
科目等履修生(大学院)	0	0	0	0	1	1	2
他大学生(大学院生含む)	1	3	4	2	55	2	67
不明	659	375	284	106	11	355	1,790
合計	30,950	22,058	13,500	4,442	147	1,509	72,606

※一部、学生種別と学年との関係としてふさわしくない回答があるが、そのまま集計している。

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を少ない方から多い方へと10段階に分け、さらに「形態別」に分類した状況を纏めたものが図表3である。多少の変動はあるものの、例年、ほぼ同様の傾向となっている。

図表3 形態別・総履修者数別実施科目数

			履修者数別				
			25名以下	26～50名	51～100名	101～150名	151～200名
形態別	講義	科目数	177	222	261	84	50
		%	18.73%	23.49%	27.62%	8.89%	5.29%
	演習	科目数	519	168	31	2	0
		%	72.08%	23.33%	4.31%	0.28%	0.00%
	語学	科目数	389	232	0	0	0
		%	62.64%	37.36%	0.00%	0.00%	0.00%
合計		科目数	1,085	622	292	86	50
		%	47.46%	27.21%	12.77%	3.76%	2.19%

			履修者数別					
			201～250名	251～300名	301～350名	351～400名	401名以上	合計
形態別	講義	科目数	60	42	27	9	13	945
		%	6.35%	4.44%	2.86%	0.95%	1.38%	100.00%
	演習	科目数	0	0	0	0	0	720
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
	語学	科目数	0	0	0	0	0	621
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計		科目数	60	42	27	9	13	2,286
		%	2.62%	1.84%	1.18%	0.39%	0.57%	100.00%

2. 部門別・形態別の平均値・標準偏差

アンケート結果を「部門別・形態別」「形態別」「学年別」「履修者数別」に分類し、各項目（主な 12 項目 + α ）に対する回答の平均値・標準偏差を表にしたものを以下に示す。

別紙 質問項目別単純集計表【第 3 章各部門頁末、第 5 章】

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計している。

3. 授業満足度による集計結果

アンケート結果は、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計する「科目ベース」の2種類の集計を行っている。これは、「回答者ベース」による集計では、履修者数及び回答者数の多い大規模科目の影響を強く受けてしまうことがあるためである。

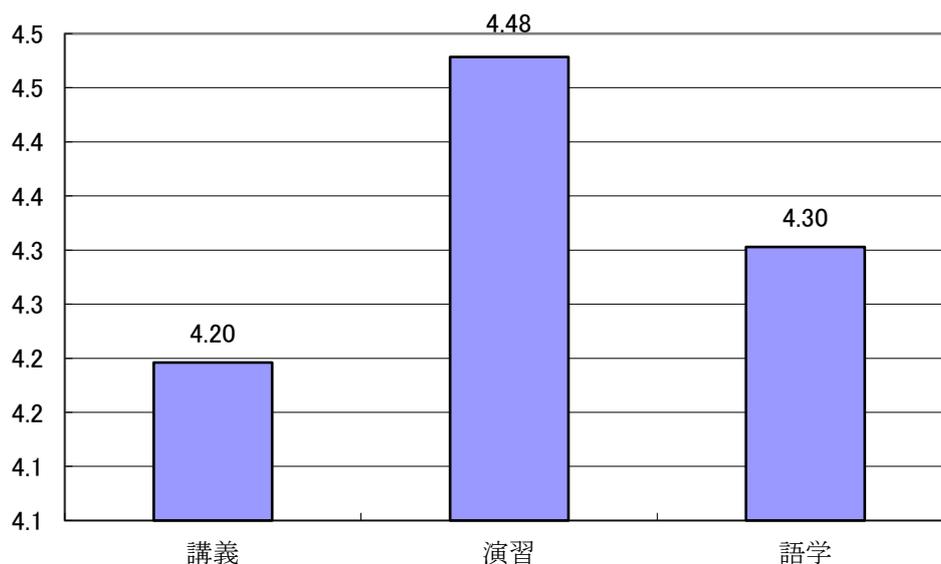
以下では、「Q12 総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に着目し、授業に対する満足度を「授業の形態別」「学部生の学年別」の視点から概観する。

・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が図表4-1である。この結果を過去5年間の経年変化で示した図表4-2から分かるように、毎年、形態別の満足度は「演習」「語学」「講義」の順で高い結果となっている。これは、比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高い授業形態である「演習」に比べると、発表・グループワークなど学生の授業への直接参加の機会が少ないと思われる「講義」、反復学習が重要な初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低くなりがちであることが考えられる。

令和元年度は、形態別の平均値が「講義」において上昇し、「演習」「語学」において低下する結果となった。特に、「講義」ではこの三年間で徐々に数値が向上しており、「演習」では下降気味となっていることは対照的である。単年度の変化は僅かであるものの、今後も継続して経年の変化に注意すべきと思われる。

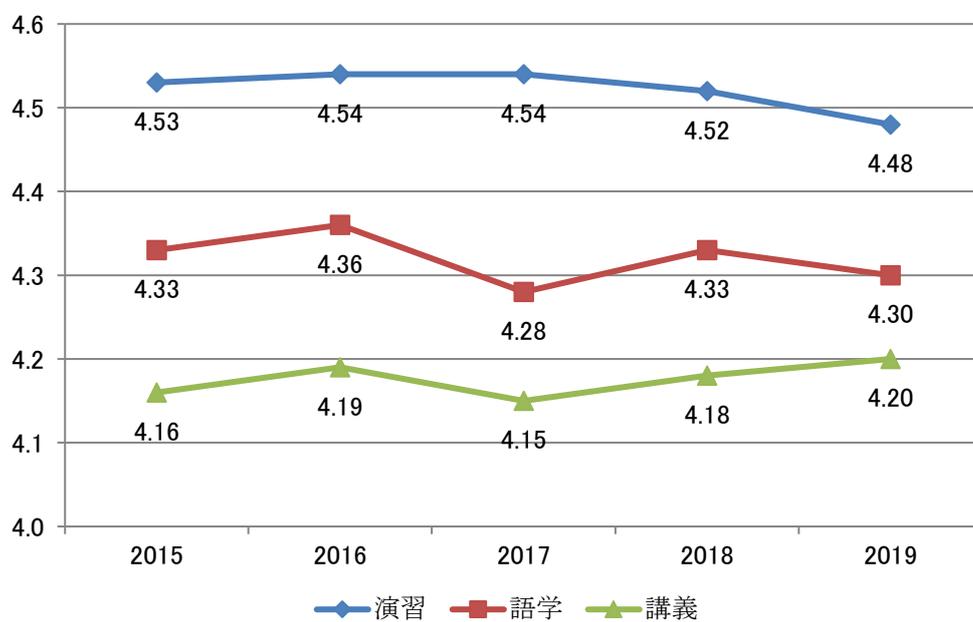
図表4-1 「12 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



講義	演習	語学
4.20	4.48	4.30

図表4-2 「12 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)

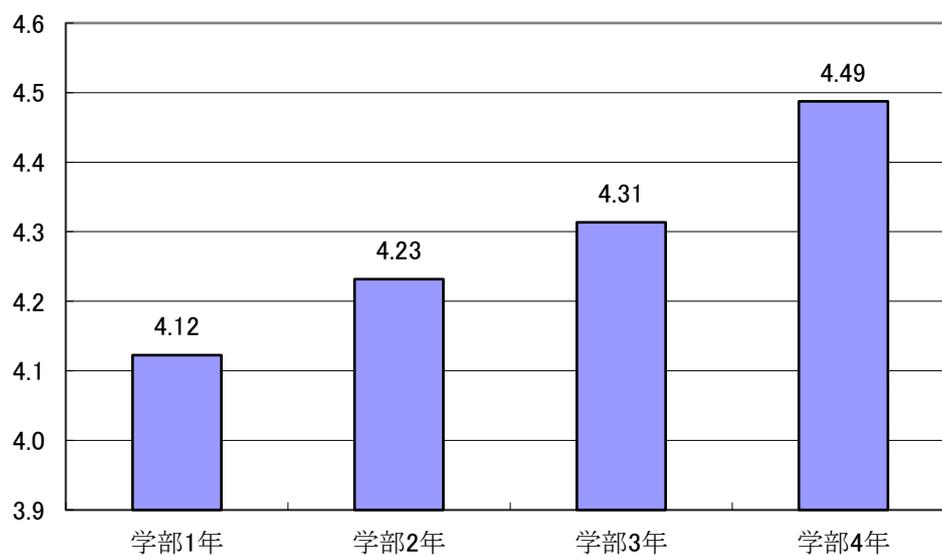
(過去5年)



・「学年別」による集計結果

学部生の回答に限定して、学年別の集計を行った結果が図表5である。例年の傾向として、学年が進むにつれて満足度が高くなっていく様子がうかがえる。学年が進行すると、演習など参加型の科目の割合が増えることに加え、学生も大学での学び方や学問への姿勢を習得していていることの現れであろうと推測できるが、学年を問わず満足度の高い授業となるよう工夫・改善の余地があるだろう。

図表5 「12 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果(回答者ベース)



学部1年	学部2年	学部3年	学部4年
4.12	4.23	4.31	4.49

4. シラバスの活用度

本学のシラバスは、「到達目標（授業の目的・ねらい）」、「各回の授業内容」、「授業方法」、「成績評価の方法・基準」を必須項目とし、成績評価の方法・基準を分かりやすく示せるよう、評価対象項目の複数選択、評価配分のパーセンテージ表記を行っている。

授業評価アンケートでは「Q2 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」の項目で、特に「各回の授業内容」の記述が適切であったかを確認している。この項目に対し、「強くそう思う」「そう思う」の割合は 60.01%（前年度比+13.84 ポイント）であった。この割合は、例年 40%台後半であったが、本年度は大幅な上昇がみられた。

一方、シラバスを読まずに受講していると回答した学生が例年 30%以上おり、過去 5 年間で年々増加し 40%に迫っていたが、本年度は 22.30%（前年度比-16.17 ポイント）とこちらも大きく数値が改善した。

しかしながら、シラバスの活用をめぐるこれら回答の変化について、前年度から本年度までの間に、シラバスの提供方法が変更されたり全学的な取り組みがなされたり等の要因は特段見受けられないのが実際のところである。要因としてもっとも可能性が高いのは、前述のアンケート票の改訂（「Q1」履修登録時の意識）により、学生が履修登録時に行った当該科目に関する情報収集を先に思い出させたことが、直後にある本項目の回答に影響を与えたという仮説だろう。次年度以降も引き続き結果を観察していく必要があるが、この仮説が前年度から本年度の回答傾向の変化の説明として示唆するのは、学生が年度初めにシラバスを読んだとしても、その情報は履修科目の選択時のみに用いられ、以降は意図的に思い返させない限りその内容を顧みることは少ないようだ、という問題である。

シラバスは、履修科目を選択する際だけでなく、学期を通じて授業の進捗や今後の学習計画を確認したり、ひいては卒業までに身につけるべき知識・能力を整理し学習の道りを自己管理したりするために、常に学生が自律的に学ぶガイドとなることが望まれる。シラバスの内容をブラッシュアップすることはもちろん、学生に向けてその意義をしっかりと説明し、活用を促進していく必要があるだろう。

IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて

令和元年度は、本学に「学生による授業評価アンケート」を導入して14年目となったが、本年度も無事にアンケートを実施でき、報告書の作成に至ったことについて、関係各位のご協力に対し、ここに改めて感謝の意を表したい。FD推進委員会は、今後も円滑な実施と情報提供に向け努めていくものである。

一方で、FD活動としての、授業評価アンケートの将来的な課題も無視することはできない。FD推進委員会は、授業評価アンケートの実施を活動の主軸としてきたが、今後これまで以上にそのあり方や活用方法を考えていく必要がある。

授業評価アンケートは、その授業の概況や基礎的な条件の到達度を検証するには重要な活動であるが、授業評価アンケートの取り組みだけでは捉えきれない、各教員の創意工夫も多数あると考えられる。このため、各教員の授業での創意工夫を共有するための「授業への取り組み例の収集・整理」を、引き続き本報告書に掲載することとした。

また、平成27年度より、授業評価アンケートの結果を活用した全学的な取り組みとして、学生による評価が高かった科目を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その科目の担当教員による講演と参加者の意見交換からなる「FD研究会」を実施している。

現在、「学生による授業評価アンケート」の取り組みは、教員にも学生にも定着している。しかし、その真の意義は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びつき、学生に届いてはじめて理解されるものである。個々の努力を大学全体で共有でき、より良い授業のための改善が継続的に行われるシステムを構築することや、授業評価アンケートの結果にかかる学生へのフィードバックの検討等は授業評価アンケートの次の課題である。

今後、授業評価アンケートの充実を図るとともに、各部門で進められているFD活動や各教員の創意工夫との関係を強化することにより、全学的なFDの活性化・組織化を進めることに注力していきたい。

第2章

令和元年度の概観

令和元年度の概観

1. 「教員向け振り返りアンケート」の結果概要

令和元年度の授業評価アンケート実施時に、初めての試みとして「教員向け振り返りアンケート」(p.7再掲、下図)を同時実施した。回答は任意であり、第一学期・第二学期計1,302科目(授業評価アンケート実施科目数2,373に対し54.87%)の回答が得られた。

教員向け振り返りアンケート ご協力をお願い

FD推進委員会では、「学生による授業評価アンケート」のより一層の活用のため、学生と同時に、教員各位へアンケートを実施することとしました。
ご回答は任意です。また、いただいた回答は、本学の教学改善の目的以外に使用することはありません。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※本紙は、学生のマークシート回収封筒には入れずに、そのまま本部へお持ちください※

<アンケート>

1. まず、この授業科目について、ご記入ください。
 アンケートNo: _____
 科 目 名: _____

2. 次に、この授業を振り返って、あてはまる数字に○をつけてください。

	強く そう思う	まあ そう思う	どちらでも ない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない
履修生は、時間中、集中して授業を受けていた。	5	4	3	2	1
履修生は、授業の内容を十分理解できていた。	5	4	3	2	1
履修生は、意欲的に学習に取り組んでいた。	5	4	3	2	1
この授業は、おおよそシラバスの記述通りに実施できた。	5	4	3	2	1

3. 今年度、この授業で、特に工夫をした要素があれば選択してください(3つまで)。
選択

<input type="checkbox"/> 教員と履修生の間に双方向性を持たせること
<input type="checkbox"/> 履修生同士で議論や意見交換をさせること
<input type="checkbox"/> 授業内で発表や発言をさせること
<input type="checkbox"/> 授業内で理解度を確認する機会を設けること
<input type="checkbox"/> 授業外で予復習をするよう促すこと(文献の紹介、回ごとの小課題など)
<input type="checkbox"/> 履修生に授業の目標を明示すること(回ごと、あるいは科目)
<input type="checkbox"/> 履修生の好奇心や学習意欲を喚起すること
<input type="checkbox"/> その他(具体的には: _____)

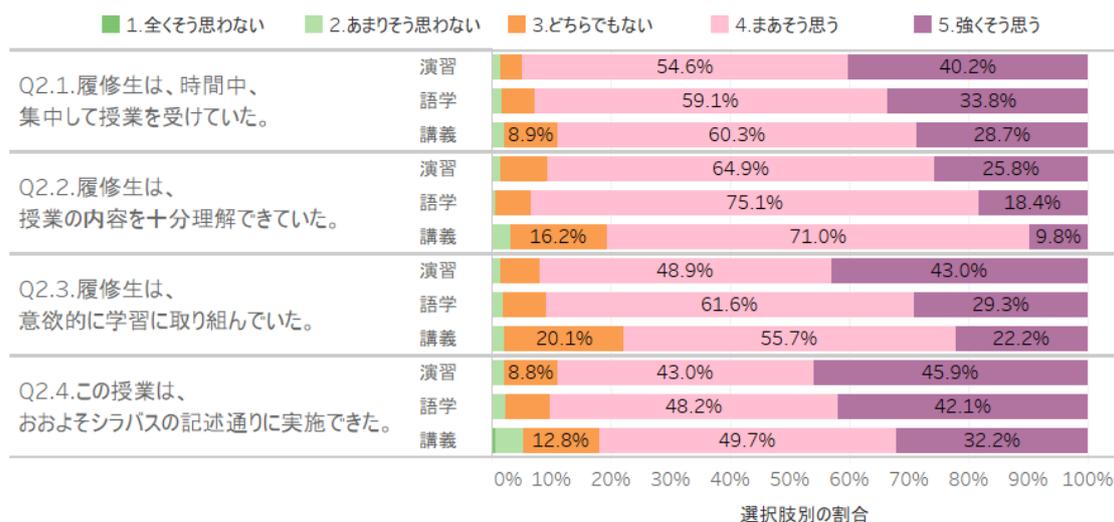
4. 教室環境や機器等について、お気づきのことがありましたらご記入ください。
 (今後の教室整備の参考にさせていただきます)

ご協力ありがとうございました。2019年度FD推進委員会

本項では、この「教員向け振り返りアンケート（以下、教員アンケート）」の基本的な集計結果を示す。

まず、授業全体の振り返りとして尋ねた設問「2. 次に、この授業を振り返って、あてはまる数字に○をつけてください。」について、形態別の回答傾向を以下に示す。

図1 教員アンケート設問2の形態別集計結果

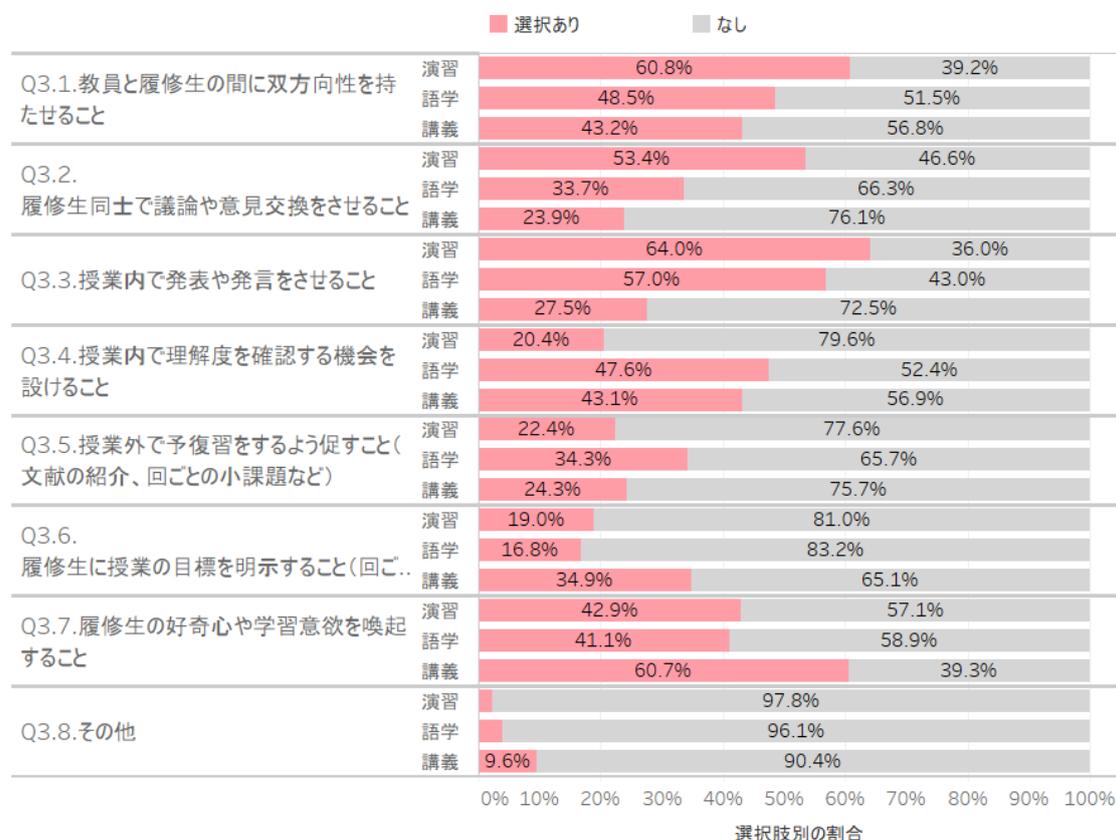


設問	形態	回答内容				
		1. 全くそう思わない	2. あまりそう思わない	3. どちらでもない	4. まあそう思う	5. 強くそう思う
Q2.1. 履修生は、時間中、集中して授業を受けていた。	演習		6	15	221	163
	語学		5	17	182	104
	講義		12	52	351	167
Q2.2. 履修生は、授業の内容を十分理解できていた。	演習		6	32	264	105
	語学		2	18	229	56
	講義	1	17	94	413	57
Q2.3. 履修生は、意欲的に学習に取り組んでいた。	演習		6	27	199	175
	語学		6	22	189	90
	講義		12	117	324	129
Q2.4. この授業は、おおよそシラバスの記述通りに実施できた。	演習	1	8	36	175	187
	語学		7	23	149	130
	講義	4	27	75	290	188

これを見ると、どの項目、どの形態においても、多くの教員が「4:まあそう思う」以上を選択しており、学生の集中度・理解度・意欲は肯定的に捉えられていることがうかがえる。また特に、どの項目でも演習>語学>講義の順に「5:強くそう思う」の割合が減少している。授業形態によって、担当教員の計画と実際の授業の進行との整合させやすさに差があるように思われる。

次に、授業で力を入れた工夫を尋ねる設問「3. 今年度、この授業で、特に工夫をした要素があれば選択してください（3つまで）。」について、形態別の回答傾向を次に示す。

図2 教員アンケート設問3の形態別集計結果



設問	形態	選択あり	
		科目数	割合
Q3.1. 教員と履修生の間に双方向性を持たせること	演習	247	60.8%
	語学	150	48.5%
	講義	253	43.2%
Q3.2. 履修生同士で議論や意見交換をさせること	演習	217	53.4%
	語学	104	33.7%
	講義	140	23.9%
Q3.3. 授業内で発表や発言をさせること	演習	260	64.0%
	語学	176	57.0%
	講義	161	27.5%
Q3.4. 授業内で理解度を確認する機会を設けること	演習	83	20.4%
	語学	147	47.6%
	講義	252	43.1%
Q3.5. 授業外で予復習をするよう促すこと(文献の紹介、回ごとの小課題など)	演習	91	22.4%
	語学	106	34.3%
	講義	142	24.3%
Q3.6. 履修生に授業の目標を明示すること(回ごと、あるいは科目)	演習	77	19.0%
	語学	52	16.8%
	講義	204	34.9%
Q3.7. 履修生の好奇心や学習意欲を喚起すること	演習	174	42.9%
	語学	127	41.1%
	講義	355	60.7%
Q3.8. その他	演習	9	2.2%
	語学	12	3.9%
	講義	56	9.6%

授業形態によって特に工夫したとされる項目に偏りがあり、回答した科目のうち半数以上で選択された項目は、演習科目で「教員と履修生の間の双方向性」「履修生同士の意見交換」「授業内の発表や発言」、語学科目で「授業内の発表や発言」のみ、講義科目で「履修生

の好奇心や学習意欲の喚起」のみであった。また、科目ごとに選択した項目の数を確認したところ、何も選択しなかった科目数は演習科目で4（1.0%）、語学科目で13（4.2%）、講義科目で10（1.7%）であった。「今年度、特に工夫をした要素」という訊き方であるので、毎年度安定して同じ工夫をしているという場合を反映していないが、ほとんどの科目で毎年の授業改善に取り組まれていることがうかがえる。

2. 教員アンケートと授業評価アンケート

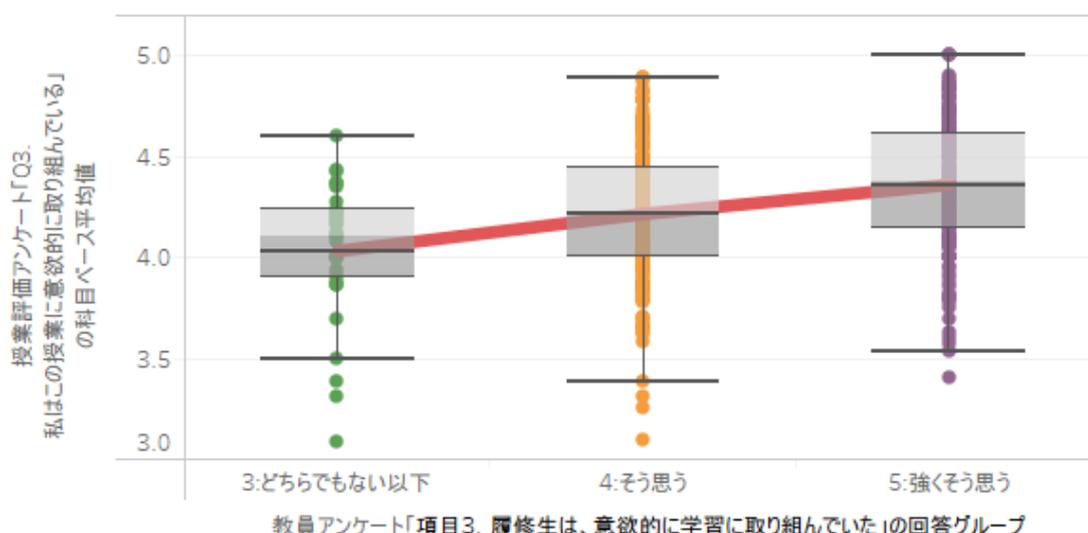
続いて、教員アンケートと学生による授業評価アンケートとを結合させて分析した結果を見ていく。

まず、教員アンケート「2. 次に、この授業を振り返って、あてはまる数字に○をつけてください。」の各項目と、授業評価アンケートのQ1～Q12の回答に関連性があるかを検討する。

教員アンケートの各項目で、回答が「3:どちらでもない以下」、「4:そう思う」「5:強くそう思う」のいずれであるかによって科目をグループ分け（科目数の関係上「1:全くそう思わない」～「3:どちらでもない」を1グループにまとめた）し、授業評価アンケートのQ1～Q12の科目ベース平均値について、分散分析を行った。これを授業形態別（演習、講義、語学）に、教員アンケート設問2のすべての項目について行った。

演習科目（表1）においては、「項目3. 履修生は、意欲的に学習に取り組んでいた」に対して教員が高い回答をした科目ほど、授業評価アンケートの平均値も比較的多くの項目で高い傾向にあることがわかった。具体的には、授業評価アンケートのQ2、Q3、Q5、Q7、Q8、Q9、Q12である。下記図3に、例として、教員アンケート設問2項目3の回答グループ別に授業評価アンケートQ3（学生の取り組み意欲）の科目ベース平均値の分布を示す。

図3 教員アンケート設問2項目 3 回答グループ別の
授業評価アンケート Q3 の科目ベース平均値



したがって、教員が学生の意欲について高く評価した科目ほど、学生も意欲や総合的評価などが高い傾向にあり、教員の感じとる学生の意欲と、学生自身が報告する意欲や科目への総合的評価がおおよそ一致していると言える。また、学生の授業外学習時間（Q4）は、教員アンケートの「項目 4. この授業はおおよそシラバスの記述通りに実施できた」との関連が見受けられ、教員がシラバス通りに実施できたと認識している科目ほど、学生の授業外学習時間が長い傾向にあることを示唆している。教員が当初予定したシラバス通りに進む演習科目は、学生にとっても授業外での学習を進めやすい可能性が考えられる。

語学科目（表2）においては、ほとんどの項目間で関連性が見受けられなかったが、「項目 3. 履修生は、意欲的に学習に取り組んでいた」で教員が高い回答をするほど、学生の授業外学習時間が長いことがわかった。

講義科目（表3）においては、教員が「項目 1. 履修生は、時間中、集中して授業を受けていた。」と、「項目 3. 履修生は、意欲的に学習に取り組んでいた。」で高い回答をした科目ほど、学生の回答平均値も授業外学習時間を除くすべての項目で高い傾向にあることがわかった。講義科目では、教員が感じる学生の意欲と集中度は、学生が自覚する意欲や授業の理解しやすさ、総合的評価の回答傾向とおおよそ一致していることがわかった。

表1 演習科目における教員回答と学生回答の関連

		教員側項目			
		1.履修生の集中度	2.履修生の理解度	3.履修生の意欲	4.シラバス通りの進行度
学生側 項目	1.シラバスを通した身に着けた知識・能力のイメージ	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	2.シラバスとの合致度	関連なし	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	3.授業への意欲的取り組み	関連なし	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	4.授業外学習時間	関連なし	関連なし	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)
	5.授業水準への満足度	関連なし	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	6.授業進度の適切さ	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	7.教員の熱意	関連なし	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	8.集中できる授業環境	関連なし	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	9.理解しやすさ	関連なし	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	10.話し方の適切さ	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	11.知的好奇心や新しいものの見方	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	12. 総合評価	関連なし	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし

表2 語学科目における教員回答と学生回答の関連

		教員側項目			
		1.履修生の集中度	2.履修生の理解度	3.履修生の意欲	4.シラバス通りの進行度
学生側 項目	1.シラバスを通した身に着けた知識・能力のイメージ	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	2.シラバスとの合致度	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	3.授業への意欲的取り組み	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	4.授業外学習時間	関連なし	関連なし	関連あり (教員高 → 学生高)	関連なし
	5.授業水準への満足度	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	6.授業進度の適切さ	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	7.教員の熱意	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	8.集中できる授業環境	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	9.理解しやすさ	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	10.話し方の適切さ	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	11.知的好奇心や新しいものの見方	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	12. 総合評価	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし

表3 講義科目における教員回答と学生回答の関連

		教員側項目			
		1.履修生の集中度	2.履修生の理解度	3.履修生の意欲	4.シラバス通りの進行度
学生側 項目	1.シラバスを通した身に着けた知識・能力のイメージ	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	2.シラバスとの合致度	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	3.授業への意欲的取り組み	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	4.授業外学習時間	関連なし	関連なし	関連なし	関連なし
	5.授業水準への満足度	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	6.授業進度の適切さ	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	7.教員の熱意	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	8.集中できる授業環境	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	9.理解しやすさ	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	10.話し方の適切さ	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	11.知的好奇心や新しいものの見方	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし
	12. 総合評価	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし	関連あり (教員高 ⇒ 学生高)	関連なし

次に、教員アンケート「3. 今年度、この授業で、特に工夫をした要素があれば選択してください（3つまで）」の各項目と、授業評価アンケートの Q1～Q12 の回答に関連性があるかを検討する。教員アンケート設問3の各項目において、選択の有無で科目をグループ分けし、授業評価アンケートの Q1～Q12 の科目ベース平均値について、分散分析を行った。これにより、教員の工夫の有無によって学生の回答傾向に差が見られるかを検討した。これを授業形態別（演習、講義、語学）に、教員アンケート設問3のすべての項目について行った。

演習科目（表4）においては、いくつかの項目間で工夫の有無による差が見られた。「項目3. 授業内で発表や発言をさせること」を選択した科目の方が、授業評価アンケートの Q4（授業外学習時間）と Q11（知的好奇心の刺激）の平均値が高かった。「項目5. 授業外で予復習をするよう促すこと」を選択した科目では、授業評価アンケートの Q4 は教員の意図通り高くなったが、Q5（授業水準の満足度）や Q9（理解しやすさ）、Q12（総合的評価）などは低くなる傾向にあった。また、「項目6. 履修生に授業の目標を明示すること」や「項目7. 履修生の好奇心や学習意欲を喚起すること」を選択した科目は、授業評価アンケートの Q4 の平均値が低くなっていた。しかし同時に、「項目7. 履修生の好奇心や学習意欲を喚起すること」を選択した科目では、授業評価アンケートの Q3（学生の取り組み意欲）や Q11、Q12 などは高い傾向にあった。

語学科目（表5）では、教員アンケートの回答により授業評価アンケートの平均値の差が見られる項目は少なかった。関連が見られたものとしては、「項目1. 教員と履修生の上に双方向性を持たせること」を選択した科目では、授業評価アンケートの Q7（教員の熱意）の平均値が高かった。また、「項目6. 履修生に授業の目標を明示すること」を選択した科目では、授業評価アンケートの Q1（履修登録時の意識）で平均値が高かった。逆に、「項目4. 授業内で理解度を確認する機会を設けること」を選択した科目は、授業評価アンケートの Q4 の平均値が低い結果となった。「項目5. 授業外で予復習をするよう促すこと」を選択した科目でも、授業評価アンケートの Q5 から Q12 までの項目で平均値が低くなる傾向が見られた。

講義科目（表6）では、「項目1. 教員と履修生の上に双方向性を持たせること」、「項目2. 履修生同士で議論や意見交換をさせること」、「項目3. 授業内で発表や発言をさせること」を選択した科目で、学生の意欲や理解しやすさ、知的好奇心の刺激や総合的評価などの回答平均値が高いことがわかったが、いずれも授業外学習時間においては違いが見られなかった。また、「項目4. 授業内で理解度を確認する機会を設けること」及び「項目5. 授業外で予復習をするよう促すこと」を選択した科目は、授業評価アンケートの Q4（授業外学習時間）以外の項目で平均値が低かった。ただし、項目5（予復習をするよう促す）を選択した科目では、学生の Q4 の回答平均値は高くなっていた。また、「項目7. 履修生の好奇心や学習意欲を喚起すること」を選択した科目では、授業評価アンケートの

Q11（知的好奇心の刺激）の平均値は高かったが、Q3（意欲）とQ4では平均値が低いという結果だった。

表4 演習科目における教員の工夫と学生回答の関連

		教員側項目						
		1.教員・履修生間の双方向性	2.履修生同士の議論	3.授業内での発表・発言	4.授業内での理解度確認	5.授業外の予復習促し	6.授業の目標明示	7.好奇心・学習意欲喚起
学生側項目	1.シラバスを通した身に付けたい知識・能力のイメージ	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし
	2.シラバスとの合致度	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	3.授業への意欲的取り組み	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)
	4.授業外学習時間	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)
	5.授業水準への満足度	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	6.授業進度の適切さ	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)
	7.教員の熱意	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)
	8.集中できる授業環境	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	関連なし
	9.理解しやすさ	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)
	10.話し方の適切さ	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	関連なし
	11.知的好奇心や新しいものの見方	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)
	12. 総合評価	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)

表5 語学科目における教員の工夫と学生回答の関連

		教員側項目						
		1.教員・履修生間の双方向性	2.履修生同士の議論	3.授業内の発表・発言	4.授業内の理解度確認	5.授業外の予復習促し	6.授業の目標明示	7.好奇心・学習意欲喚起
学生側項目	1.シラバスを通した身に着けたい知識・能力のイメージ	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差なし
	2.シラバスとの合致度	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし
	3.授業への意欲的取り組み	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし	差なし
	4.授業外学習時間	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし	差なし
	5.授業水準への満足度	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	6.授業進度の適切さ	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	7.教員の熱意	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	8.集中できる授業環境	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	9.理解しやすさ	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	10.話し方の適切さ	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	11.知的好奇心や新しいものの見方	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	12. 総合評価	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし

表6 講義科目における教員の工夫と学生回答の関連

		教員側項目						
		1.教員・履修生間の双方向性	2.履修生同士の議論	3.授業内での発表・発言	4.授業内での理解度確認	5.授業外の予復習促し	6.授業の目標明示	7.好奇心・学習意欲喚起
学生側項目	1.シラバスを通した身に着きたい知識・能力のイメージ	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	2.シラバスとの合致度	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	3.授業への意欲的取り組み	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)
	4.授業外学習時間	差なし	差なし	差なし	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生低)
	5.授業水準への満足度	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	6.授業進度の適切さ	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	7.教員の熱意	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	8.集中できる授業環境	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	9.理解しやすさ	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	10.話し方の適切さ	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし
	11.知的好奇心や新しいものの見方	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差あり (工夫有 ⇒学生高)
	12. 総合評価	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生高)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差あり (工夫有 ⇒学生低)	差なし	差なし

3. まとめ

以上、令和元年度に行った「教員向け振り返りアンケート」の集計結果ならびに「学生による授業評価アンケート」の回答傾向との関連を見てきた。教員の振り返りと学生による授業評価の間に関連が見られた項目では、教員と学生の回答傾向は概ね一致していた。

注目すべき点としては、演習科目や講義科目において、教員が感じる学生の意欲の程度と学生が自覚する意欲の程度が関連していたことは、学生の授業への取り組み意欲について双方の認識が合致していることを示している。しかし同時に、教員が感じる学生の意欲の程度は授業外学習時間の多寡とは関連がない。授業中の学生の意欲が高く感じられ、かつ学生が自己申告する意欲の高さとも合致しているからといって、彼らが授業外で自律的に学習しているとは言えなかった。

語学科目においては、教員が学生の意欲が高いと感じる科目で学生の授業外学習時間と関連が見られたが、ここではむしろ意欲を含めたその他の学生の回答との関連は見られなかった。このことから、語学科目では、教員が感じる学生の意欲の程度は、学生が授業外でどの程度予復習をしてきたかを反映している可能性がうかがえる。語学の授業は、演習や講義と比べて、学生の授業外の努力を教員が汲み取りやすい性質なのかもしれない。

また、教員が感じる学生の理解度について、すべての授業形態で、授業評価アンケートのすべての項目と関連性が見られなかった。授業評価アンケートには直接的に学生に理解度を問う項目がないことには注意が必要だが、学生がよく理解していそうだと教員が感じていても、必ずしも学生にとって理解しやすかったり、授業の水準に満足したりしているわけではなかった。

この結果の要因としては、教員が学生の理解度を把握するにはさまざまな方法があることや、実際に学生が授業内容を習得できたと感じるに至るには、授業自体の理解しやすさや水準の適切さだけでなく、学生自身の前提知識や受講中の努力も同時に必要となることなどが考えられる。

授業に関して特に工夫したことと授業評価アンケートの回答の関連では、いくつかの工夫において、取り入れたにも関わらず学生の回答傾向が低くなってしまっているものが見受けられた。

例えば、教員が「項目 5. 授業外で予復習をするよう促すこと」を選択した科目は、授業評価アンケートの回答における授業外学習時間は長い傾向があったが、他の項目では平均値が低い傾向にあった。この傾向は演習科目・講義科目のどちらにおいても同様に見られた。この結果は科目をグループ化して比較した場合の平均の差であり、全体的な傾向と言えるものだが、中にはもちろん予復習を促しながらも学生の意欲が高かったり、好奇心を刺激できたりした科目も存在する。こういった科目における工夫の仕方を調査していくことも有意義であると思われる。

なお講義科目においては、項目 1（教員と履修生の双方向性）や項目 2（履修生同士の議論）、項目 3（授業内での発表や発言）を選択した科目は、授業外学習時間を除く授業評

価アンケートのほとんどの項目で平均値も高くなる傾向にある。このことと前段の結果から、学生はできるだけ授業時間内のコンテンツのみで学習を完結させたいと考えていて、その考えが全体の回答傾向に影響している可能性が考えられる。あるいはそもそも教員が項目 4（理解度の確認）や項目 5（予復習の促し）に力を入れる理由として、科目の到達目標に対して学生の理解度や予復習が足りないと感じていて、そういった到達目標の高さや必要な学習のステップを十全に理解できていないことが学生の回答値の低さに反映されている可能性も考えられる。

もちろん、項目 1～項目 3 の工夫も、学生の授業外学習を必要とするものも含まれるだろう。さまざまな工夫の目的は、科目の到達目標の達成であることは言うまでもないが、なぜその工夫を行っているのか、そのことが到達目標に対してどう働くのかを学生に理解させ、教員の働きかけと学生のレスポンスがより効果的に噛み合うような工夫も併せて実施することが必要であると思われる。

第3章

各部門の分析・評価

この章では、集計結果に基づいた開設部門ごとの分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータには、「質問項目別単純集計表」「相関係数表」及び「経年変化比較表」（各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目間の回答の関係性を見ることができるもので、相関係数の絶対値が1に近いほど強い正負の相関を示し、0に近いほど相関が弱いことを示す。その他、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計した「基礎データクロス表」を第5章に掲載している。

なお、本文中、各質問項目を Q1、Q2、…、Q30 として引用する（第1章 アンケート票参照）。

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計している。

I. 法学部

1. 集計データからわかること

令和元（2019）年度に新設された Q1（私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身に着けたいと思う知識や能力をイメージしていた）については、本学部では、講義の場合、学生回答単純集計平均（以下、回答者ベースという）は 3.94（標準偏差 0.935、以下同じ）、部門別形態別平均（以下、科目ベースという）は 3.97（0.246）であり、他学部とほぼ同程度の比較的高い水準となっている。このことは、本学部において、履修登録時の段階でシラバスが一定程度重視され、学生が授業を受ける際のモチベーションの形成に利用されているということと解され、とくに科目ベースにおけるその相対的高さを指摘することが可能である。講義と演習の比較では、演習の場合にはよりシラバスが重視される度合いが高い（回答者ベース 4.26（0.0882）、科目ベース 4.30（0.438））。

Q2（この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している）については、講義の場合、回答者ベース 4.17（0.787）、科目ベース 4.19（0.239）とほぼ例年並みであり、最近 5 年間で大きな変化はみられない。演習の場合、回答者ベース 4.40（0.779）、科目ベース 4.45（0.384）であり、同様の傾向がある。全体として、高い水準をキープしている。

Q3（私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む））は、講義の場合、回答者ベース 3.61（1.067）、科目ベース 3.65（0.377）であり、最近 5 年間の中では若干数字が低く出ているが、有意な変化があるとまでは評価しがたい。回答者ベースと科目ベースを比較すると、科目ベースの標準偏差は顕著に低く（1.067 に対し 0.377）、学生が興味のある科目を選択し、その興味に従って意欲的に勉学に励んでいることが窺える。演習においても、講義よりは緩やかであるが、同様の傾向がみてとれる（回答者ベース 4.29（0.809）に対し科目ベース 4.32（0.368））。

この項目に関連して平成 29（2017）年度に新設された Q4（私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間（予習復習・課題作成等を含む））については、講義の場合は一貫して 30 分以上 1 時間以内の割合が多いが、演習では今年度は 1 時間以上 2 時間未満であり、演習の方が学習時間が相対的に多く、事柄の性質からして当然ではあるが、積極的な学習がされていることがわかる。なお、演習の経年変化では、科目ベースで、平成 29 年度 3.22（0.697）、平成 30 年度 2.97（0.711）、令和元年度 3.14（0.735）の数字がでており、直近 3 年間でみると、学習時間は 2 年目に若干低下し、今年度は初年度のレベルには達していないものの、演習における学生の積極性がいったん持ち直していると評価しうる。

Q5（この授業の水準に満足している）、Q6（この授業の進める速さは適切である）につ

いては、いずれもこの5年間で4.0前後とほぼ横ばいであり、相対的に高い水準を保っている。令和元年度の講義の場合、回答者ベース・科目ベースとも4.00(0.940、0.361)、演習の場合、回答者ベース4.37、科目ベース4.42(0.834、0.390)である。演習ではより高い水準が維持されている。

Q6では、講義の場合、回答者ベース4.06(0.907)、科目ベース4.07(0.371)、演習では回答者ベース4.41(0.802)、科目ベース4.46(0.382)となっている。

全体として、授業・演習の水準、授業進行のスピードに関しては、学生にとって大きな不満はみられないといえることができる。

次に、教員に関する評価については、Q7(教員は熱意を持って授業を行っている)、Q8(教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している)、Q9(教員は理解しやすい授業を行っている)、Q10(教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である)、の4問に関しては、講義・演習とも、いずれも回答者ベース、科目ベース4.0を優に超え、おしなべて高評価である。この傾向は演習においてさらに顕著であり、評価はおおむね4.5となっている。この数値からは、学生との関係において、本学部の講義、演習が、プロジェクトとしてみれば、大きな問題なく実施されているという評価が可能である。教員は、授業を通じて学生との良好な関係を構築することができており、実践している専門教育に引き続き磨きをかけていくことが望まれる。

Q11(この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした)、Q12(総合的に見てこの授業は高く評価できる)は、教育の成果に関わる項目であるが、この点でも講義は4.0を優に超えており、演習では4.5前後と、学生に知的満足感を与えることができているかという観点からは、おおむね成功しているといって差し支えないであろう。

加えて、講義については、Q13(板書の仕方やスライドの提示の仕方は適切である)、Q14(教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である)、についても、回答者ベース、科目ベースとも4.0を超え、特段の問題はみられない。この項目は、2015年度は評価が3点台のものがあつた、改善の余地がある評価となつていたが、教員側の対応が改善され、それが学生にも受け入れられている結果として、現在は全体に良好といえそうである。

演習については、Q15(教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心掛けていた)、Q16(教員は参加者が課題に取り組むのを助けた)につき、いずれも4.5前後の高評価となっている。この傾向は過去5年間ほぼ維持されており、教員の対応が適切であり、授業運営がうまくいっていることを示している。

2. 相関関係

Q1に関連して、本学部では、履修前の段階でシラバスが一定程度重視されていることを指摘したが、そうした学生が実際に授業を受け、シラバスの記載内容と実際の授業内容が相応していると認識し（Q1とQ2との相関係数は、講義が.647、演習が.603）、授業の水準に満足感を得ていることが窺われる（Q2とQ5の相関係数は、講義が.611、演習が.627）。これは、事前に与えられた情報を前提として特定の授業を選択し、当該授業が想定の枠内で実施された結果として、予測に反することがなかったという認識が獲得されることにより、一定の充足感を得るに至っているものと理解される。そして、このようにして授業に対する一定の肯定感を得ると、他の選択肢全般にわたって肯定的な評価が連続する傾向がある。講義の場合、Q2とQ3～Q14（Q4を除く）の相関は.5以上で高水準であり、演習の場合はおおむね.6を超える。

他方、学生側の意欲に係るQ3、学習時間に係るQ4は他の選択肢との間で相関が小さく、気になるのは、学習時間の長さや授業に対する肯定感との間の相関が相対的に弱いという点である。学習時間が相対的に多くないという前提のもとで、知的好奇心が刺激されたり新しいものの見方を得ることや（Q11との相関係数は、講義は.204、演習は.107）、授業に対する高評価（Q12との相関係数は、講義は.159、演習は.068）について、関連性が低いのは問題なしとは言いがたい。熱心な学生が授業準備に時間をかけ、授業に打ち込んだ結果としてその成果により満足を感じるという積極的なサイクルを想定すると、一般には、受動的な講義よりも、参加が重視される演習のほうが相関が高いと想定されるはずであるが、ここでは、演習の方が相関が低いという傾向がみてとれ、総じて、学生の自発的な積極性が知的刺激の獲得や授業評価に直接的には繋がっているわけではないようである。別言すると、積極性がないのに授業評価が相応に高いという傾向があるようである。そうすると、Q11やQ12といった授業全般に関わる高評価は、学生が教室に行き、授業を受けるという消極的なコミットレベルにおいてのものであることが窺われ、学生の積極性、自発性を引き出すという本質的な課題が残るという指摘が可能であろう。

このことは、授業の水準に対する満足度の高さ（Q5）が認められる場合には、教員側の熱意といった主観の持ち方に左右されず、他の項目（Q9～12）が高評価となっていることと相応している（なお、教員の熱意に対する高評価はQ8,9,12に対する評価と連動している）。Q6とQ9～10、Q8とQ9,10,12、Q9とQ10～14の間の相関係数が高いのも同趣旨と理解されるといってよいであろう。演習の場合、同様の傾向は一層明瞭である。

3. 今後の授業改善に向けて

本学部の授業に対する学生の評価は、講義・演習とも相対的には高水準を示しており、大きな問題は基本的にはないと評価しうる。もっとも、学生の評価は大学側から提供されたプリ・フィックス型のプログラムにつき、自分が体験した各科目の授業をあるがままに

素直に肯定的に受け止め、その認識を表明しているという消極的な評価であるように見える。したがって、数値的には悪くない評価であったとしても、学生が自ら知的刺激を積極的に求め、意欲的に学習を継続し、教師に対して質問し、議論を要請するといった、本来研究機関としての性格も有する大学における専門教育ならではの高みを志向するものとはいえ、この点では、授業の持ち方につき、見方によってはクリティカルな課題領域を残しているといえそうである。具体的には、教員側は、学生から評価されている「熱意」を引き続き持ちつつ、授業内容の質的向上を図る不断の努力が求められるが、とくに、学生の自発性をもっと発揮させ、刺激を与え、知的関心から予定調和的な所与の授業に対する批判的反応を含むより積極的な学習行動へと促すよう、意識的な工夫が必要と考えられる。質問項目においても、新規の発問の設定が考えられてよい。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

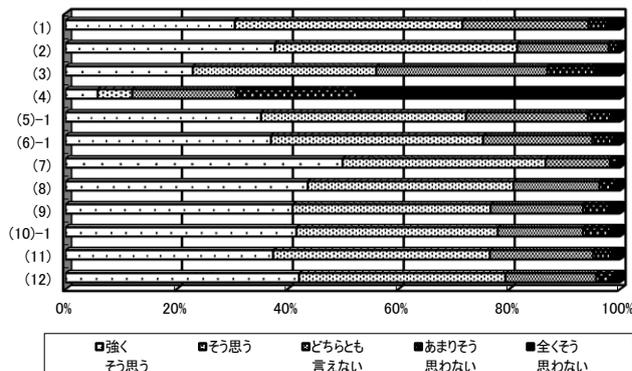
部門名 法学部

形態名 講義

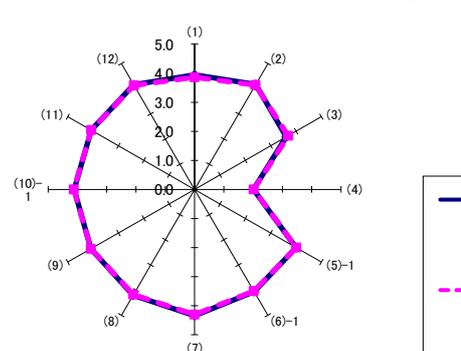
	合計	総履修者数	回答率
回答数	8,549	20,426	41.85%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	2,598 30.39%	3,492 40.85%	1,929 22.56%	286 3.35%	200 2.34%	44 0.51%	8,549 100.00%	3.94	0.935	3.97	0.246
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 18.10%)	2,489 29.11%	2,881 33.70%	1,086 12.70%	105 1.23%	30 0.35%	411 4.81%	8,549 100.00%	4.17	0.787	4.19	0.239
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,931 22.59%	2,780 32.52%	2,596 30.37%	723 8.46%	377 4.41%	142 1.66%	8,549 100.00%	3.61	1.067	3.65	0.377
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	486 5.68%	521 6.09%	1,566 18.32%	1,818 21.27%	3,966 46.39%	192 2.25%	8,549 100.00%	2.01	1.198	2.03	0.356
	(5)-1	この授業の水準に満足している	2,986 34.93%	3,130 36.61%	1,860 21.76%	359 4.20%	133 1.56%	81 0.95%	8,549 100.00%	4.00	0.940	4.00	0.361
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	375 76.22%	88 17.89%	-	-	-	29 5.89%	492 100.00%	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	3,139 36.72%	3,240 37.90%	1,666 19.49%	327 3.83%	98 1.15%	79 0.92%	8,549 100.00%	4.06	0.907	4.07	0.371
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	331 77.88%	64 15.06%	-	-	-	30 7.06%	425 100.00%	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,241 49.61%	3,107 36.34%	985 11.52%	118 1.38%	35 0.41%	63 0.74%	8,549 100.00%	4.34	0.769	4.37	0.269
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	3,696 43.23%	3,140 36.73%	1,310 15.32%	232 2.71%	82 0.96%	89 1.04%	8,549 100.00%	4.20	0.866	4.27	0.297
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,465 40.53%	3,021 35.34%	1,413 16.53%	391 4.57%	171 2.00%	88 1.03%	8,549 100.00%	4.09	0.967	4.10	0.435
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3,505 41.00%	3,057 35.76%	1,294 15.14%	417 4.88%	144 1.68%	132 1.54%	8,549 100.00%	4.11	0.954	4.10	0.425
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	238 42.42%	20 3.57%	268 47.77%	-	-	35 6.24%	561 100.00%	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,173 37.12%	3,313 38.75%	1,576 18.43%	283 3.31%	128 1.50%	76 0.89%	8,549 100.00%	4.08	0.908	4.11	0.331	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,531 41.30%	3,121 36.51%	1,369 16.01%	257 3.01%	105 1.23%	166 1.94%	8,549 100.00%	4.16	0.891	4.17	0.357	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,309 38.71%	2,930 34.27%	1,448 16.94%	397 4.64%	182 2.13%	283 3.31%	8,549 100.00%	4.06	0.981	4.09	0.425
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	3,429 40.11%	2,973 34.78%	1,422 16.63%	283 3.31%	118 1.38%	324 3.79%	8,549 100.00%	4.13	0.916	4.17	0.344

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

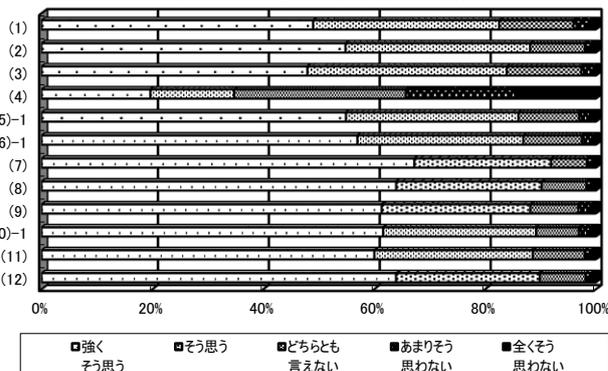
部門名 法学部

形態名 演習

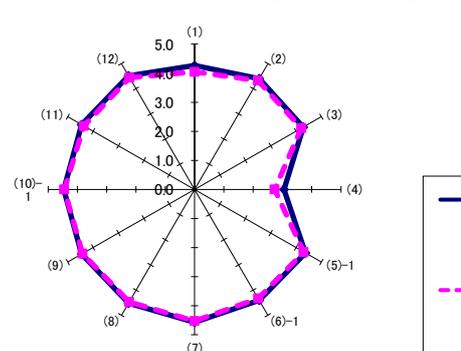
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,586	1,868	84.90%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	775	531	212	45	19	4	1,586	4.26	0.882	4.30	0.438
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 9.46%)	744	452	134	16	11	79	1,586	4.40	0.779	4.45	0.384
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	752	564	211	35	6	18	1,586	4.29	0.809	4.32	0.368
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	307	236	484	308	228	23	1,586	3.06	1.310	3.14	0.735
	(5)-1	この授業の水準に満足している	867	491	173	32	16	7	1,586	4.37	0.834	4.42	0.390
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	34	14	-	-	-	0	48	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	899	472	167	30	10	8	1,586	4.41	0.802	4.46	0.382
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	22	15	-	-	-	3	40	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,063	390	102	18	8	5	1,586	4.57	0.710	4.63	0.314
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,005	412	127	16	11	15	1,586	4.52	0.746	4.57	0.338
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	970	424	137	35	15	5	1,586	4.45	0.818	4.52	0.405
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	965	432	121	32	16	20	1,586	4.47	0.806	4.54	0.369
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	13	2	31	-	-	2	48	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	948	451	148	18	14	7	1,586	4.46	0.782	4.51	0.418	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	992	402	128	15	14	35	1,586	4.51	0.763	4.57	0.403	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	938	371	118	20	10	129	1,586	4.51	0.760	4.55	0.394
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	891	377	148	25	12	133	1,586	4.45	0.809	4.49	0.443

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 法学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.647(**)	1												
Q3	.548(**)	.511(**)	1											
Q4	.231(**)	.164(**)	.359(**)	1										
Q5	.486(**)	.611(**)	.521(**)	.168(**)	1									
Q6	.430(**)	.564(**)	.441(**)	.113(**)	.736(**)	1								
Q7	.420(**)	.580(**)	.422(**)	.119(**)	.582(**)	.573(**)	1							
Q8	.409(**)	.557(**)	.425(**)	.134(**)	.577(**)	.556(**)	.673(**)	1						
Q9	.449(**)	.597(**)	.480(**)	.140(**)	.743(**)	.702(**)	.642(**)	.671(**)	1					
Q10	.399(**)	.541(**)	.418(**)	.104(**)	.655(**)	.717(**)	.599(**)	.609(**)	.770(**)	1				
Q11	.535(**)	.592(**)	.551(**)	.204(**)	.677(**)	.592(**)	.597(**)	.572(**)	.694(**)	.604(**)	1			
Q12	.484(**)	.637(**)	.520(**)	.159(**)	.767(**)	.688(**)	.676(**)	.666(**)	.820(**)	.717(**)	.779(**)	1		
Q13	.419(**)	.549(**)	.447(**)	.146(**)	.617(**)	.599(**)	.558(**)	.584(**)	.687(**)	.613(**)	.588(**)	.687(**)	1	
Q14	.435(**)	.582(**)	.437(**)	.152(**)	.613(**)	.590(**)	.566(**)	.585(**)	.661(**)	.599(**)	.590(**)	.685(**)	.754(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 法学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.603(**)	1												
Q3	.475(**)	.447(**)	1											
Q4	.130(**)	.061(*)	.302(**)	1										
Q5	.477(**)	.627(**)	.495(**)	.061(*)	1									
Q6	.470(**)	.612(**)	.446(**)	0.04	.712(**)	1								
Q7	.435(**)	.636(**)	.441(**)	.108(**)	.594(**)	.634(**)	1							
Q8	.463(**)	.656(**)	.470(**)	.115(**)	.626(**)	.662(**)	.761(**)	1						
Q9	.482(**)	.663(**)	.464(**)	.088(**)	.704(**)	.711(**)	.738(**)	.812(**)	1					
Q10	.442(**)	.597(**)	.407(**)	.056(*)	.644(**)	.691(**)	.658(**)	.721(**)	.807(**)	1				
Q11	.539(**)	.633(**)	.531(**)	.107(**)	.654(**)	.630(**)	.626(**)	.653(**)	.703(**)	.640(**)	1			
Q12	.499(**)	.695(**)	.488(**)	.068(**)	.735(**)	.691(**)	.677(**)	.719(**)	.784(**)	.728(**)	.783(**)	1		
Q15	.407(**)	.611(**)	.427(**)	.083(**)	.567(**)	.540(**)	.613(**)	.633(**)	.637(**)	.557(**)	.581(**)	.631(**)	1	
Q16	.456(**)	.617(**)	.455(**)	.094(**)	.591(**)	.587(**)	.617(**)	.647(**)	.683(**)	.601(**)	.648(**)	.694(**)	.711(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 法学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.47	0.944	4.42	0.307	4.53	0.897	4.50	0.284	4.61	0.820	4.58	0.272	4.67	0.765	4.64	0.224	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.04	0.858	4.09	0.286	4.21	0.831	4.23	0.273	4.15	0.884	4.19	0.301	4.19	0.858	4.24	0.345	4.17	0.787	4.19	0.239
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.64	1.034	3.69	0.358	3.79	1.022	3.83	0.391	3.64	1.100	3.70	0.363	3.70	1.093	3.79	0.438	3.61	1.067	3.65	0.377
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.12	1.274	2.16	0.395	2.09	1.266	2.20	0.522	2.01	1.198	2.03	0.356
	(5)-1	この授業の水準に満足している	3.90	0.925	3.92	0.360	4.00	0.943	3.99	0.370	3.87	1.003	3.90	0.365	3.93	0.995	3.96	0.423	4.00	0.940	4.00	0.361
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	3.97	0.888	4.03	0.328	4.05	0.910	4.07	0.341	3.99	0.947	4.03	0.335	4.01	0.974	4.03	0.411	4.06	0.907	4.07	0.371
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.25	0.831	4.31	0.304	4.36	0.809	4.37	0.357	4.34	0.795	4.39	0.270	4.39	0.782	4.40	0.317	4.34	0.769	4.37	0.289
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.10	0.922	4.20	0.318	4.20	0.895	4.26	0.330	4.17	0.907	4.26	0.297	4.22	0.897	4.29	0.337	4.20	0.866	4.27	0.297
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.99	0.983	4.05	0.428	4.11	0.975	4.13	0.444	4.07	1.006	4.13	0.418	4.12	0.985	4.16	0.437	4.09	0.967	4.10	0.435
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.01	0.993	4.08	0.448	4.09	1.008	4.13	0.448	4.09	1.002	4.14	0.405	4.12	0.991	4.13	0.465	4.11	0.954	4.10	0.425
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	3.92	0.986	4.03	0.369	4.05	0.965	4.11	0.400	3.99	0.993	4.08	0.349	4.05	0.975	4.14	0.394	4.08	0.908	4.11	0.331
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.05	0.934	4.14	0.364	4.17	0.903	4.21	0.398	4.13	0.927	4.21	0.357	4.18	0.906	4.23	0.394	4.16	0.891	4.17	0.357	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.86	1.033	3.93	0.429	4.03	1.006	4.05	0.403	3.99	1.033	4.08	0.426	4.10	1.007	4.16	0.446	4.06	0.981	4.09	0.425
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.99	0.951	4.06	0.358	4.12	0.934	4.16	0.347	4.09	0.958	4.19	0.359	4.16	0.949	4.21	0.386	4.13	0.916	4.17	0.344

部門名 法学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.75	0.608	4.70	0.281	4.77	0.536	4.75	0.254	4.79	0.570	4.77	0.287	4.75	0.636	4.74	0.294	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.38	0.827	4.46	0.343	4.56	0.681	4.55	0.338	4.44	0.842	4.53	0.332	4.49	0.785	4.51	0.338	4.40	0.779	4.45	0.384
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.31	0.808	4.37	0.288	4.38	0.717	4.39	0.291	4.35	0.792	4.40	0.283	4.32	0.814	4.35	0.313	4.29	0.809	4.32	0.368
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	3.13	1.357	3.22	0.697	2.91	1.329	2.97	0.711	3.06	1.310	3.14	0.735
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.20	0.938	4.31	0.411	4.33	0.822	4.35	0.370	4.28	0.847	4.30	0.361	4.25	0.894	4.27	0.433	4.37	0.834	4.42	0.390
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.31	0.874	4.43	0.358	4.45	0.754	4.45	0.361	4.42	0.771	4.43	0.299	4.38	0.814	4.39	0.394	4.41	0.802	4.46	0.382
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.56	0.741	4.65	0.297	4.65	0.610	4.67	0.269	4.63	0.637	4.67	0.273	4.65	0.617	4.67	0.260	4.57	0.710	4.63	0.314
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.42	0.897	4.57	0.355	4.60	0.641	4.61	0.248	4.58	0.679	4.61	0.285	4.58	0.711	4.61	0.287	4.52	0.746	4.57	0.338
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.42	0.903	4.56	0.370	4.54	0.725	4.56	0.369	4.54	0.738	4.57	0.335	4.50	0.782	4.53	0.395	4.45	0.818	4.52	0.405
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.45	0.845	4.59	0.355	4.53	0.730	4.55	0.367	4.54	0.740	4.57	0.344	4.52	0.762	4.55	0.370	4.47	0.806	4.54	0.389
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.42	0.870	4.56	0.333	4.53	0.710	4.56	0.333	4.52	0.741	4.56	0.315	4.49	0.764	4.52	0.356	4.46	0.782	4.51	0.418
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.47	0.879	4.61	0.359	4.58	0.694	4.60	0.356	4.59	0.668	4.62	0.307	4.55	0.737	4.58	0.367	4.51	0.763	4.57	0.403	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.43	0.854	4.54	0.357	4.60	0.663	4.60	0.291	4.54	0.720	4.59	0.307	4.57	0.716	4.58	0.358	4.51	0.760	4.55	0.394
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.36	0.897	4.49	0.373	4.51	0.759	4.52	0.382	4.50	0.755	4.54	0.327	4.50	0.768	4.52	0.384	4.45	0.809	4.49	0.443

II. 経済学部

1. 集計データからわかること

前年度までの経年変化は、昨年(2019)の報告書で分析されているので、ここでは、前年度からの変化を中心に分析をしたい。表1-1と1-2は、令和元(2019)年度の平均から、平成30(2018)年度の平均を引いた結果である。なお、昨年と同様に、注目する数字は、質問項目に関する「(回答者ベースの)平均値」であり、「回答者ベース」とは学生回答者の単純集計である。

平均値分析(表1-1、1-2)

- 1) 授業の総合的な評価を問う Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」は、講義では0.06、演習では0.05低下し、前年度に続き微減である。絶対値も4.07とやや低い。また演習については、微減(-0.05)ではあるが、昨年同様に絶対値は4.54と、依然として、高い水準を保っている。
- 2) 全体的に他の項目も微減が多く、比較可能な11項目のうち、講義においては、増加は4項目、演習では増加は1項目のみであり、他は全て減少している。ちなみに、他学部では明確な増減傾向はみられてはいない。
- 3) なかでも、比較的大きく平均値が低下している項目が、講義のQ7「教員は熱意を持って授業を行っている」とQ10「教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である」の2項目で、ともに教員のプレゼンテーションの仕方に関する項目である。ただし、低下の程度は、0.11であり、標準偏差の大きさからみて、それほど問題にすべきことではないのかもしれない。
- 4) 講義については、これまでと同様に、授業への取り組み姿勢(Q3)や授業時間外で学習に使った時間数(Q4)などが、各々3.70、2.19と低く、学生の学習意欲が継続して低いことが示唆される。だがQ5「この授業の水準に満足している」は0.07ポイント改善している。
- 5) 演習科目については、昨年から大きな低下(0.10以上)が見られたのは、Q2「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」である。演習科目のシラバスのあり方に関する課題が示唆されているのかもしれない。
- 6) だが、演習について気になるのは、Q3「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」が0.17と比較的大きく低下していることである。

項目間の相関(表2-1、2-2)

次に、評価項目間の相関を精査し、そのなかから見えてくることや課題を記したい。表2-1および2-2で示されている値は今回の授業評価で用いられた項目間の相関係数で

ある。

- 1) 講義については、Q12の総合評価と相関が高いのは、Q5「この授業の水準に満足している」、Q6「この授業を進める速さは適切である」、Q7「教員は熱意を持って授業を行っている」、Q8「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」、Q9「教員は理解しやすい授業を行っている」、Q10「教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である」、Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」であり、昨年までの傾向とほぼ同じである。なかでも、Q9、Q10、Q11などは特に高い。授業の理解のしやすさや教員の熱意が、高い総合評価の主要な要因であることを示唆している。
- 2) なかでも、Q11の好奇心の刺激や新たな見方の獲得が、高い総合評価に結びついている可能性があることは、注目すべき点であろう。
- 3) これに対し、これもこれまでの傾向と同じだが、Q4「私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)」は、どの項目とも高い相関をみせなかった。教員の努力や熱意の効果が見られず、学生の学習行動を促進することの難しさを示唆しているのだろう。
- 4) 演習については、Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」やQ3「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」と総合評価(Q12)との相関が、講義に比べて低いことも指摘できる。同様の傾向は、他学部でも見られており、演習授業のシラバスのあり方について、考え直す必要があるのかもしれない。
- 5) さらに、Q15「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた」やQ16「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」などもQ12との相関が0.6台であり、強い結果とは言えないが、教員の努力も、総合評価を上げるうえでは、効果が弱いことが示唆されている。

2. 今後の授業改善に向けて

経済学部では、経済学科、経営学科共に、特に演習科目において、外部の企業や機関との連携を通じた実践型の授業が行われている。現在、こうした努力も含めて、個々の授業の改善事例を提出してもらえよう、連絡を行っている。この結果を、学部独自に取りまとめ、具体的な工夫を共有できるようにしていきたい。

表1-1 平成30年度と令和元年度の差(講義)

番号	質問内容	平成30年度平均値 -令和元年度平均値
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	比較不能
旧(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	比較不能
(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	-0.09
(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	-0.08
(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	0.01
(5)	この授業の水準に満足している	0.07
(6)	この授業を進める速さは適切である	0.03
(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	-0.11
(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	-0.07
(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	-0.06
(10)	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-0.11
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	0.02
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-0.06
(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	-0.07
(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	-0.06

表1-2 平成30年度と令和元年度の差(演習)

番号	質問内容	平成30年度平均値 -令和元年度平均値
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	比較不能
旧(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	比較不能
(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	-0.16
(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	-0.17
(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-0.09
(5)	この授業の水準に満足している	0.03
(6)	この授業を進める速さは適切である	-0.03
(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	-0.06
(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	-0.06
(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	-0.04
(10)	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-0.05
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	-0.02
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-0.05
(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	-0.06
(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	-0.05
(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	-0.16
(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	-0.17

表2-1 相関係数表(講義)

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.673(**)	1												
Q3	.576(**)	.582(**)	1											
Q4	.273(**)	.186(**)	.366(**)	1										
Q5	.501(**)	.675(**)	.573(**)	.203(**)	1									
Q6	.427(**)	.613(**)	.461(**)	.112(**)	.746(**)	1								
Q7	.455(**)	.653(**)	.499(**)	.156(**)	.669(**)	.623(**)	1							
Q8	.437(**)	.630(**)	.494(**)	.160(**)	.654(**)	.619(**)	.746(**)	1						
Q9	.470(**)	.632(**)	.517(**)	.157(**)	.746(**)	.703(**)	.744(**)	.752(**)	1					
Q10	.430(**)	.617(**)	.476(**)	.134(**)	.687(**)	.698(**)	.701(**)	.704(**)	.806(**)	1				
Q11	.533(**)	.643(**)	.585(**)	.211(**)	.710(**)	.635(**)	.671(**)	.646(**)	.731(**)	.672(**)	1			
Q12	.501(**)	.678(**)	.558(**)	.178(**)	.789(**)	.711(**)	.737(**)	.725(**)	.827(**)	.762(**)	.804(**)	1		
Q13	.448(**)	.626(**)	.465(**)	.151(**)	.659(**)	.640(**)	.654(**)	.630(**)	.718(**)	.671(**)	.646(**)	.729(**)	1	
Q14	.458(**)	.638(**)	.476(**)	.155(**)	.665(**)	.630(**)	.659(**)	.628(**)	.703(**)	.654(**)	.646(**)	.717(**)	.820(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

表2-2 相関係数表(演習)

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.608(**)	1												
Q3	.428(**)	.494(**)	1											
Q4	.176(**)	.178(**)	.268(**)	1										
Q5	.420(**)	.595(**)	.538(**)	.154(**)	1									
Q6	.412(**)	.579(**)	.446(**)	.103(**)	.708(**)	1								
Q7	.379(**)	.577(**)	.470(**)	.138(**)	.640(**)	.604(**)	1							
Q8	.388(**)	.525(**)	.478(**)	.138(**)	.617(**)	.598(**)	.770(**)	1						
Q9	.396(**)	.536(**)	.430(**)	.121(**)	.630(**)	.647(**)	.719(**)	.736(**)	1					
Q10	.403(**)	.559(**)	.444(**)	.109(**)	.633(**)	.649(**)	.688(**)	.690(**)	.788(**)	1				
Q11	.466(**)	.615(**)	.514(**)	.201(**)	.641(**)	.621(**)	.608(**)	.602(**)	.610(**)	.619(**)	1			
Q12	.430(**)	.589(**)	.509(**)	.154(**)	.740(**)	.684(**)	.722(**)	.700(**)	.723(**)	.705(**)	.745(**)	1		
Q15	.322(**)	.491(**)	.400(**)	.150(**)	.569(**)	.581(**)	.608(**)	.584(**)	.582(**)	.565(**)	.551(**)	.616(**)	1	
Q16	.369(**)	.480(**)	.420(**)	.146(**)	.573(**)	.556(**)	.605(**)	.558(**)	.593(**)	.563(**)	.595(**)	.645(**)	.689(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

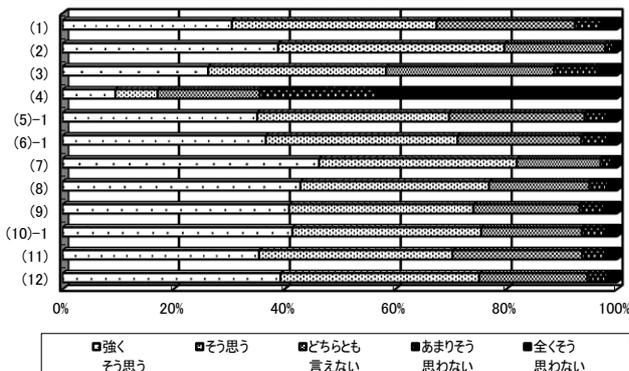
部門名 経済学部

形態名 講義

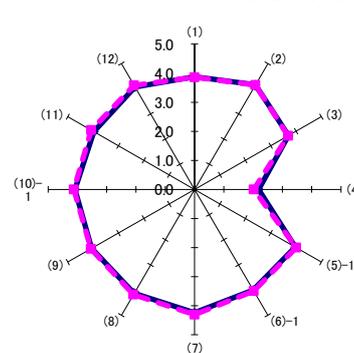
	合計	総履修者数	回答率
回答数	9,730	24,703	39.39%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	2,957	3,576	2,414	456	281	46	9,730	3.87	0.994	3.96	0.317
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 18.84%)	2,882	3,025	1,344	111	49	486	9,730	4.16	0.815	4.23	0.301
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,512	3,069	2,897	764	322	166	9,730	3.70	1.048	3.81	0.399
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	908	723	1,749	1,983	4,146	221	9,730	2.19	1.322	2.22	0.550
	(5)-1	この授業の水準に満足している	3,380	3,331	2,348	384	181	106	9,730	3.97	0.961	4.04	0.398
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	357	157	-	-	-	51	565	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	3,532	3,332	2,148	451	171	96	9,730	4.00	0.968	4.09	0.387
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	474	96	-	-	-	52	622	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,466	3,442	1,459	189	96	78	9,730	4.24	0.850	4.31	0.331
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4,136	3,277	1,743	329	154	91	9,730	4.13	0.934	4.24	0.363
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,939	3,204	1,846	430	221	90	9,730	4.06	0.991	4.14	0.454
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3,969	3,263	1,735	414	196	153	9,730	4.09	0.972	4.18	0.413
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	166	25	374	-	-	45	610	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,415	3,363	2,255	402	203	92	9,730	3.97	0.972	4.08	0.405	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,742	3,412	1,856	345	165	210	9,730	4.07	0.940	4.17	0.411	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,911	3,352	1,501	323	160	483	9,730	4.14	0.928	4.20	0.410
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	3,897	3,353	1,590	251	119	520	9,730	4.16	0.892	4.21	0.358

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

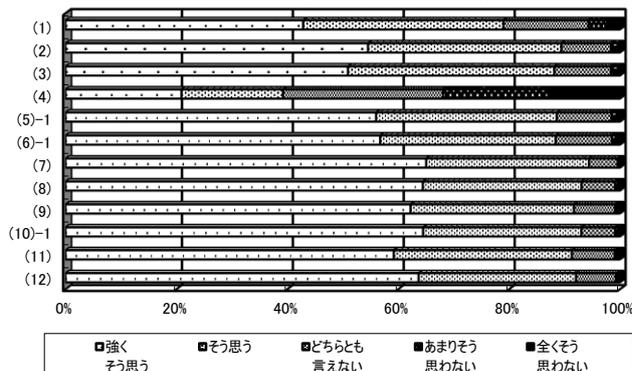
部門名 経済学部

形態名 演習

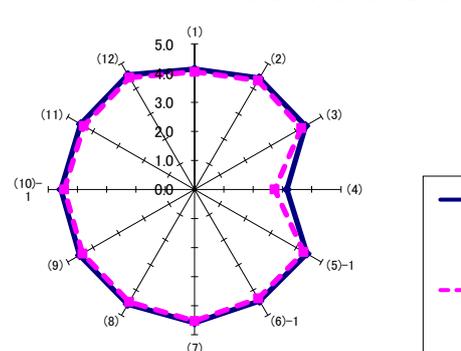
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,393	1,607	86.68%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	596	502	213	47	32	3	1,393	4.14	0.952	4.13	0.451
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 15.51%)	609	389	100	15	3	61	1,393	4.42	0.732	4.43	0.313
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	698	510	140	19	3	23	1,393	4.37	0.740	4.38	0.288
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	288	252	397	261	178	17	1,393	3.15	1.306	3.14	0.670
	(5)-1	この授業の水準に満足している	772	449	136	15	6	15	1,393	4.43	0.748	4.42	0.351
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	12	8	-	-	-	1	21	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	784	437	140	12	8	12	1,393	4.43	0.755	4.42	0.342
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	11	6	-	-	-	3	20	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	905	408	72	3	3	2	1,393	4.59	0.620	4.59	0.290
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	892	396	84	9	3	9	1,393	4.56	0.658	4.57	0.275
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	862	408	103	7	5	8	1,393	4.53	0.687	4.52	0.321
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	890	394	84	9	3	13	1,393	4.56	0.658	4.55	0.295
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	2	1	8	-	-	1	12	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	820	445	107	6	7	8	1,393	4.49	0.701	4.49	0.319	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	868	387	98	5	5	30	1,393	4.55	0.677	4.54	0.327	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	788	391	88	8	4	114	1,393	4.53	0.680	4.52	0.321
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	776	384	93	14	4	122	1,393	4.51	0.708	4.50	0.350

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 経済学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.673(**)	1												
Q3	.576(**)	.582(**)	1											
Q4	.273(**)	.186(**)	.366(**)	1										
Q5	.501(**)	.675(**)	.573(**)	.203(**)	1									
Q6	.427(**)	.613(**)	.461(**)	.112(**)	.746(**)	1								
Q7	.455(**)	.653(**)	.499(**)	.156(**)	.669(**)	.623(**)	1							
Q8	.437(**)	.630(**)	.494(**)	.160(**)	.654(**)	.619(**)	.746(**)	1						
Q9	.470(**)	.632(**)	.517(**)	.157(**)	.746(**)	.703(**)	.744(**)	.752(**)	1					
Q10	.430(**)	.617(**)	.476(**)	.134(**)	.687(**)	.698(**)	.701(**)	.704(**)	.806(**)	1				
Q11	.533(**)	.643(**)	.585(**)	.211(**)	.710(**)	.635(**)	.671(**)	.646(**)	.731(**)	.672(**)	1			
Q12	.501(**)	.678(**)	.558(**)	.178(**)	.789(**)	.711(**)	.737(**)	.725(**)	.827(**)	.762(**)	.804(**)	1		
Q13	.448(**)	.626(**)	.465(**)	.151(**)	.659(**)	.640(**)	.654(**)	.630(**)	.718(**)	.671(**)	.646(**)	.729(**)	1	
Q14	.458(**)	.638(**)	.476(**)	.155(**)	.665(**)	.630(**)	.659(**)	.628(**)	.703(**)	.654(**)	.646(**)	.717(**)	.820(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 経済学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.608(**)	1												
Q3	.428(**)	.494(**)	1											
Q4	.176(**)	.178(**)	.268(**)	1										
Q5	.420(**)	.595(**)	.538(**)	.154(**)	1									
Q6	.412(**)	.579(**)	.446(**)	.103(**)	.708(**)	1								
Q7	.379(**)	.577(**)	.470(**)	.138(**)	.640(**)	.604(**)	1							
Q8	.388(**)	.525(**)	.478(**)	.138(**)	.617(**)	.598(**)	.770(**)	1						
Q9	.396(**)	.536(**)	.430(**)	.121(**)	.630(**)	.647(**)	.719(**)	.736(**)	1					
Q10	.403(**)	.559(**)	.444(**)	.109(**)	.633(**)	.649(**)	.688(**)	.690(**)	.788(**)	1				
Q11	.466(**)	.615(**)	.514(**)	.201(**)	.641(**)	.621(**)	.608(**)	.602(**)	.610(**)	.619(**)	1			
Q12	.430(**)	.589(**)	.509(**)	.154(**)	.740(**)	.684(**)	.722(**)	.700(**)	.723(**)	.705(**)	.745(**)	1		
Q15	.322(**)	.491(**)	.400(**)	.150(**)	.569(**)	.581(**)	.608(**)	.584(**)	.582(**)	.565(**)	.551(**)	.616(**)	1	
Q16	.369(**)	.480(**)	.420(**)	.146(**)	.573(**)	.556(**)	.605(**)	.558(**)	.593(**)	.563(**)	.595(**)	.645(**)	.689(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.47	0.939	4.43	0.332	4.49	0.916	4.44	0.337	4.58	0.835	4.51	0.331	4.63	0.774	4.58	0.253	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.21	0.839	4.25	0.309	4.24	0.848	4.27	0.334	4.24	0.848	4.26	0.358	4.27	0.844	4.28	0.311	4.16	0.815	4.23	0.301
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.74	1.034	3.80	0.431	3.82	1.037	3.86	0.457	3.75	1.106	3.80	0.443	3.78	1.121	3.82	0.456	3.70	1.048	3.81	0.399
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.19	1.339	2.31	0.572	2.18	1.319	2.23	0.611	2.19	1.322	2.22	0.550
	(5)-1	この授業の水準に満足している	3.89	1.036	3.97	0.473	3.91	1.029	3.95	0.476	3.86	1.059	3.89	0.475	3.90	1.050	3.92	0.498	3.97	0.961	4.04	0.398
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	3.96	1.001	4.06	0.425	3.98	0.987	4.05	0.425	3.93	1.021	4.02	0.447	3.97	1.012	4.04	0.419	4.00	0.968	4.09	0.387
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.29	0.853	4.35	0.375	4.32	0.859	4.35	0.373	4.31	0.867	4.32	0.398	4.35	0.846	4.35	0.369	4.24	0.850	4.31	0.331
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.15	0.938	4.26	0.384	4.17	0.954	4.24	0.389	4.18	0.930	4.26	0.368	4.20	0.929	4.26	0.377	4.13	0.934	4.24	0.363
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.02	1.037	4.12	0.517	4.03	1.040	4.09	0.513	4.07	1.020	4.11	0.514	4.12	1.012	4.13	0.506	4.06	0.991	4.14	0.454
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.11	0.978	4.21	0.451	4.13	0.971	4.19	0.427	4.14	0.970	4.21	0.419	4.20	0.948	4.22	0.408	4.09	0.972	4.18	0.413
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.89	1.051	4.03	0.499	3.92	1.057	3.99	0.504	3.87	1.079	3.97	0.475	3.95	1.056	4.02	0.489	3.97	0.972	4.08	0.405
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.08	0.966	4.19	0.481	4.07	0.981	4.13	0.470	4.10	0.952	4.15	0.463	4.13	0.960	4.17	0.480	4.07	0.940	4.17	0.411	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.09	1.016	4.17	0.481	4.10	1.005	4.17	0.457	4.15	0.972	4.18	0.451	4.21	0.951	4.22	0.434	4.14	0.928	4.20	0.410
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.09	0.982	4.18	0.430	4.13	0.966	4.18	0.417	4.16	0.935	4.19	0.402	4.20	0.929	4.21	0.392	4.16	0.892	4.21	0.358

部門名 経済学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.86	0.460	4.82	0.231	4.85	0.486	4.82	0.235	4.86	0.449	4.82	0.255	4.86	0.460	4.83	0.259	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.58	0.706	4.59	0.344	4.56	0.750	4.56	0.347	4.55	0.709	4.56	0.326	4.58	0.687	4.59	0.383	4.42	0.732	4.43	0.313
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.50	0.708	4.50	0.328	4.53	0.678	4.51	0.302	4.53	0.707	4.53	0.288	4.54	0.680	4.53	0.298	4.37	0.740	4.38	0.288
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	3.27	1.378	3.25	0.769	3.24	1.366	3.23	0.714	3.15	1.306	3.14	0.670
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.44	0.758	4.45	0.378	4.46	0.774	4.45	0.387	4.43	0.764	4.45	0.381	4.40	0.812	4.40	0.391	4.43	0.748	4.42	0.351
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.49	0.739	4.50	0.349	4.53	0.724	4.51	0.333	4.48	0.738	4.50	0.324	4.46	0.766	4.47	0.374	4.43	0.755	4.42	0.342
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.69	0.581	4.70	0.284	4.68	0.600	4.67	0.314	4.65	0.645	4.66	0.303	4.65	0.629	4.66	0.323	4.59	0.620	4.59	0.290
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.61	0.682	4.62	0.346	4.64	0.621	4.63	0.284	4.61	0.660	4.63	0.299	4.62	0.647	4.62	0.331	4.56	0.658	4.57	0.275
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.58	0.735	4.58	0.424	4.59	0.886	4.57	0.361	4.57	0.721	4.58	0.361	4.57	0.721	4.57	0.420	4.53	0.687	4.52	0.321
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.65	0.643	4.65	0.339	4.62	0.664	4.60	0.336	4.61	0.666	4.62	0.305	4.61	0.679	4.61	0.380	4.56	0.658	4.55	0.295
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.55	0.740	4.58	0.392	4.56	0.708	4.55	0.353	4.53	0.731	4.55	0.350	4.51	0.739	4.51	0.409	4.49	0.701	4.49	0.319
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.63	0.656	4.65	0.363	4.64	0.645	4.63	0.340	4.61	0.672	4.62	0.310	4.60	0.676	4.61	0.391	4.55	0.677	4.54	0.327	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.57	0.707	4.58	0.387	4.62	0.675	4.60	0.364	4.58	0.709	4.59	0.364	4.59	0.690	4.60	0.339	4.53	0.680	4.52	0.321
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.56	0.716	4.57	0.405	4.57	0.705	4.57	0.358	4.55	0.725	4.57	0.330	4.56	0.720	4.58	0.373	4.51	0.708	4.50	0.350

Ⅲ. 文学部

1. 集計データからわかること

(1) 実施率と回答率

「実施率」は、平成 30 (2018) 年度において 94.83%とやや低くなっていたが、令和元 (2019) 年度は 98.11%と過去 5 年間で最も高くなった。専任・非常勤の教員の努力・協力の結果であり、今後もこの水準を維持するよう努めたい。

「回答率」は、講義 73.30%、演習 83.22%とほぼ例年通りの結果である。例年通り、演習のほうが回答率が高く、学生が「講義」よりも「演習」のほうに、アンケートの時期まできちんと出席している率が高いということを示している。とはいえ、「講義」の回答率の高さは、文学部の特徴と言える。文学部の学生のまじめさ・熱心さということだけでなく、多くの文学部の「講義」が「演習」に近い特性を持って授業が行われていることがうかがえる。この特性は、今後も一層充実させていきたい。

(2) 質問項目別から

Q1 (私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた) は、本年度新設された質問項目であり、「シラバス」に関するものであるが、文学部は他学部比べてやや低い結果となった (「講義」回答学生単純集計平均 3.84、部門別形態別平均 3.91 / 「演習」 4.01、4.06、以下同じ)。昨年の報告書にも指摘があったように、「シラバス」を読まないで履修する学生が多い傾向が引き続き本年度でも見られたことになる。ただし、文学部の専門科目の場合、少なくとも専任教員については、学生は各教員の専門をよく理解しており、自身の興味・関心に合う教員を選び、その教員の授業を履修するという選択をしているように見受けられる。したがって、シラバスを特に読まなくても適切な授業を選択できるのであろう。

そのことは Q2 (この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している) の数値が上がり、他学部同様の高い結果となっていることからもうかがえる (4.16、4.21 / 4.30、4.29)。とはいえ、文学部ではシラバスの活用については学部全体の課題ととらえており、各学科での履修指導の際に、シラバスを参照させるなど、具体的な取り組みを重ねているところである。

Q3 (私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)) については、文学部は「講義」については他学部より若干高い数値が出ており (3.76、3.87)、「演習」については、更に良い数値となっている (4.16、4.17)。この差は授業の特性上、当然のことでもあるが、「講義」についてはもう一歩上を目指せるのではないかと考えている。すでに各学科ともに学生の意欲を引き出し、学生が自ら、主体的・自律的に学習する態度を身につけ、一層積極的に授業に取り組んでいけるよう、年々、工夫を重ねている (後述)。今後

もこの努力を続けていきたい。

Q4（私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間（予習復習・課題作成等を含む）は、1週間あたり平均で（以下、時間を選択する）の結果は、「講義」については残念ながら他学部にも比しても若干低く（1.96、2.06）、「30分から1時間」という結果となった。この時間数は大学生の勉強時間としてとても十分とは言えない。だが「演習」については数値が改善し（3.24、3.23）、「1時間から2時間」という結果となった。「講義」と「演習」との差が大きいことがわかる。こうした結果については、例年とは変わらないものの、今後も引き続き見直していかなければならない数値であると考え。ただ、この報告書を書いている令和2（2020）年7月現在、授業はすべて遠隔授業となり、学生たちはどの授業においても毎回課題を課されている。その多さに驚いたり負担を感じたりしている学生もいるが、多くの学生は積極的に受け止め、大変熱心に学習に取り組んでいる。令和2年度のアンケート結果では、この問いに対する回答が大きく変わることが期待される。

Q5以下は、下にまとめて示すが、いずれも例年通りの高い水準を維持しているといえるだろう。すべての項目で「講義」より「演習」のほうが数値が高い。この傾向は他学部も同様であり、性質上、当然のことではあるが、「講義」をより充実させていくとともに、「演習」についても現状に満足せず、学生の積極的に学ぶ姿勢を一層高めていかなければならない。

Q05	この授業の水準に満足している	4.14	4.13	4.25	4.25
Q06	この授業を進める速さは適切である	4.15	4.25	4.29	4.31
Q07	教員は熱意を持って授業を行っている	4.47	4.52	4.53	4.54
Q08	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.27	4.37	4.46	4.47
Q09	教員は理解しやすい授業を行っている	4.21	4.31	4.39	4.4
Q10	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.23	4.33	4.42	4.43
Q11	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.26	4.35	4.35	4.37
Q12	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.27	4.37	4.41	4.42
Q13	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.15	4.23	—	—
Q14	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.26	4.34	—	—
Q15	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	—	—	4.38	4.42
Q16	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	—	—	4.42	4.44

2. 今後の授業改善に向けて

令和元年度のアンケート結果から今後の改善が望まれる点は、「シラバス」の活用と、「自律的な学習時間の確保」の二点であるが、これらは昨年の報告書でも指摘された点であっ

た。よって、ここでは一昨年度のアンケート結果を受けて、昨年度、文学部の各学科が行った授業改善の様子を報告し、今後の更なる授業改善に向けた提言としたい。

これらは正確には「今後の取り組み」ではなく、「すでに行っている取り組み」なのであるが、いずれも過去のアンケート結果に基づく改善であり、いわば「お題目」ではない現実の取り組みである。そしてこれらの「すでに行っている取り組み」は、今後、より多くの学科（ないし全学）に広く情報共有され、場合によっては採用されていく可能性があること、すなわち今後の取り組みの「モデル」になることは十二分に考えられる。よって本年度は、ここでこうした取り組みを紹介したい。

詳細は本報告書の第4章にある各学科の取り組み例をご参照いただきたいが、これらの優れた試みを学部全体（ひいては大学全体）で共有できるよう、情報交換の機会と場を一層増やしていくことが今後の大きな課題である。

（1）シラバスの活用

シラバスの活用については、文学部の各学科で様々に活用を見直す動きがあった。学生には履修ガイダンスや個別相談において、履修計画を立てる上でどのようにシラバスを活用できるかを示す一方で、教員側にもシラバスと授業の整合性に高い意識を持つようになってきている。また学期始めだけでなく、学期の途中でシラバスを参照させて、それまでに行われてきた授業内容がどのような流れの中の位置にあるのかの理解を促すために活用することも行われている。（哲学科、フランス語圏文化学科、心理学科）

（2）ルーブリックの活用

授業計画を示したシラバスに加えて、授業計画と評価の関連に透明性をもたせるために、ルーブリックの活用が行われている。各授業では、第1回目の授業においてルーブリックを学生に提示し、どのようなことが、どこまでできるようになると、どのような評価が得られるかを学生に示すことで、評価の基準が明白になる。ルーブリックは授業だけでなく卒業論文の指導にも活用されている。（英語英米文化学科）

（3）アカデミック・スキルズの指導

いわゆる初年次教育に限らず、専門の勉強・研究に必要なアカデミック・スキルズを意識した授業を設け、学生が自ら積極的に学習することをサポートする試みが行われている。（哲学科、ドイツ語圏文化学科、フランス語圏文化学科）

（4）アクティブ・ラーニングを目指した指導

多くの学科で、様々なアクティブ・ラーニングを目指した指導が実施されている。具体的には次のとおりである。

- ・リアクションペーパーの活用

学生自身が授業により積極的に参加する姿勢を促す試みも行われている。多くの学科で取り入れられているものの一つはリアクションペーパーであり、学生と教員の双方向性を担保するとともに、学生が自ら学ぶ態度を励ます効果がみられている。また、記名のペーパーだけでなく無記名のリアクションペーパーも活用することで、学生からの批判的な意見を授業に反映させているとの報告もあった。さらには、Moodle (LMS) を利用して、課題の提出と教員からのコメント送付を行い、それを参加学生全員と共有することで、学生と教員だけでなく、受講者同士の横のつながりをも促す試みも行われている。(哲学科、英語英米文化学科、ドイツ語圏文化学科、フランス語圏文化学科、教育学科)

- ・WebClass (LMS) の活用

WebClass の活用により、学生・教員それぞれが作成した資料の共有、課題の指示やレポートの回収などもスムーズに行えるようになった。また、教室における対面授業の場合、特に 100 人規模の講義ではなかなか出てこない学生からの質問が、チャットの使用を認めると増えることも指摘された。今後、より一層の活用が見込まれる。(史学科、ドイツ語圏文化学科、心理学科、教育学科)

- ・授業外活動の活用

学外での様々なイベント(展覧会・博覧会)への参加・見学、授業テーマに即した合宿、学外からの講師を招いての講演会の開催、学内の他組織(外国語教育研究センター、図書館など)との連携、地域との連携、学外組織(国際交流基金)との連携などの試みが多数報告されている。(哲学科、日本語日本文学科、ドイツ語圏文化学科、フランス語圏文化学科、教育学科)

- ・反転授業の試み

事前に閲覧すべき課題としてインターネット上のテキストや動画を指示し、授業で学ぶべきコンテンツを事前に理解させ、授業ではその内容に関する質疑応答、プレゼンテーション、ディスカッション等を行うという反転授業を行っている学科もある。学生達の反応は非常によく、積極的・主体的に授業の内容の理解に努めており、批判的思考力と創造的思考力も向上している。(英語英米文化学科、ドイツ語圏文化学科、教育学科)

- ・その他

授業外での学習を支援するための参考文献の丁寧な紹介、学習方法そのものの指導、留学情報のこまめなアップデート、学生が関心を持つテーマを取り上げた授業、映像資料の活用、などの様々な工夫が行われている。(日本語日本文学科、ドイツ語圏文化学科、フランス語圏文化学科、心理学科、教育学科)

(5) 文学部のFD活動

文学部では年2回(7月と12月)、文学部FD研修会を開催し、通例、文学部教員の約

8割が出席している。平成30年度は、外国語教育で近年注目されている「CEFR (Common European Framework of Reference for Languages : ヨーロッパ言語共通参照枠)」を「大学教育と入試に活用する」、および「大学教育における体育 (スポーツ・健康科学) とは何か」というテーマで文学部教員を講師に研修会を行い、また令和元年度は「大学キャリア教育」をテーマとして本学他学部の教員を招き、研修を行い、それをめぐって全員で議論することができた。令和2年度7月には遠隔教育をめぐる研修会を予定している。

3. 学科別の結果及び分析

【哲学科】

Q3~4の学生側の授業への取り組み方にかんする項目では、講義・演習ともにほとんど変化していない。他方で、Q5~12の教員の授業への取り組みを評価する項目では、とくに講義科目において評価が上昇している傾向にあり、教員側では継続して熱意をもった授業への取り組みが行われていると考えられる。

他方、演習科目では、全体的な評価は講義科目より高いものの、講義科目ほどの上昇はみられず、下降傾向にある項目も少なくない (Q7, 8, 9, 10, 11, 12)。

また、これまでの調査では、演習の科目では学生の満足度が高くなる傾向が見られていたが、講義科目の満足度が高まるにつれ、演習科目への満足度が徐々に低下する傾向が見受けられはじめた。この点をいっそう改善していくために、演習科目において「Q3 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」および「Q4 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間」の項目も同時に数値が下がっている点に注目したい。

加えて、このQ3の項目と、「Q5 この授業の水準に満足している」「Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」「Q12 総合的に見てこの授業は高く評価できる」といった授業への満足度を評価する項目の相関の度合いが、演習科目よりも講義科目の方は低い。また、Q4とそれらの項目との相関の度合いにおいても演習科目の方が低いことも参照して欲しい。演習科目においてQ4とわずかながらではあるが有意な相関が認められるのは、Q1, 3, 11となっている。

さらに、演習科目における「Q15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた」「Q16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」といった項目とQ12には強い相関が認められる。

これらのことから、学生の意欲的な取り組みを引き出せるかどうか、満足度の向上のカギとなっていると考えられる。

さらに、全学的な統計結果では、履修者数が少ない授業ほどQ4の時間は長くなる傾向にあることが分かっている。

以上から、演習科目の満足度をいっそう高める工夫として、教員が学生といっそう密なコミュニケーションをはかりながら、授業への意欲が持てるようなはたらきかけを行うこ

とが考えられるだろう。

【史学科】

○講義

1年次の日本史・東洋史・西洋史概説の講義と2年次以上の日本史・東洋史・西洋史特殊講義では学生の反応は異なるようである。1年次には日本史概説・東洋史概説・西洋史概説を必修で受講させている。高校時代の授業選択や受験によって日本史と世界史（東洋史・西洋史）の双方に意欲をもつものはそれほど多くなく、どちらかに偏っており、それが2年次以上のゼミの選択基準になることが多い。概説の講義に意欲的に取り組んでいる学生が50%を超えているものの、どちらとも言えない割合が40%と高いのはその反映であろう。授業時間外学習の時間が少ないのも、3科目の概説がそもそも基礎的な知識を得る授業であることから来ているのであろう。専門性のある特殊講義では、学習意欲は概説より少し高い傾向がある。ただ特殊講義も内容は高度だが、必ずしも専門分野の学生だけが選択するものではなく、自由選択の部分もあるので、時間外の学習時間が少ないのもやむを得ないのかもしれない。

○演習

1年次の基礎演習と2年次以上の演習では反応は異なる。基礎演習では教員側としては授業時間外の学習時間を求めているものの、それは演習の形式によって異なる。時間内に全員に作業をさせる場合は、時間外の学習時間は少なくなる。時間外に綿密な準備をして時間内に報告させる場合には、時間外学習時間は多くなる。70%の学生は満足度が高いが、30%の学生がどちらともいえないという中途半端な反応は、高校までの授業とは違う演習形式に戸惑いがあるのかもしれない。専門の演習では、意欲も満足度も高い。授業外学習の回答が1時間以上2時間未満が多いのは、授業で指名された報告担当者以外はこの程度であるかとも思われる。2, 3年次に2年間にわたって履修させているので、2年次と3年次ではかなり反応も違う。統計の数値には反映されていないかもしれないが、3年次にはかなり成長していると感じさせる学生も多い。

【日本語日本文学科】

- (1) Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた。」については、本年度から加わった問いであるため、これまでとの比較はできないが、シラバスによって当該授業で身につけたい知識や能力をイメージしていたかどうかという問いに対しては、演習について4.0以上の平均となっており、概ね、シラバスの記述が授業に対するイメージ形成の役に立っていたと思われる。
- (2) Q2「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」については、講義・演習共に4.0以上であり、各教員がシラバスに則った授業をしており、学生が

イメージした授業を概ね提供できたと言える。

- (3) Q3「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」の結果を見ると、意欲のある学生とない学生に差があるように読み取れるが、特に講義科目については、意欲のない学生に対する指導を充実させる必要があるだろう。
- (4) Q4「私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間は、1週間あたり平均で(以下選択)」の結果を見ると、講義科目については、学習時間30分未満が半数を占めており、講義科目といえどもアクティヴ・ラーニングの要素を取り入れ、主体的に授業に取り組むよう促すことを心がける必要がある。本学科では、講義科目に演習の要素を組み込んだ授業もあり一定の成果を上げている。

【英語英米文化学科】

「学生による授業評価アンケート」の結果を受けて注力している3点を以下に紹介する。それぞれの詳しい取り組みは第4章を参照されたい。

1. ルーブリックの導入

最近の教育界では授業計画だけでなく、授業計画に則った評価基準をどのように設けているかを、授業前に明示することが重要だと考えられている。しかし、本学部の授業計画には、授業計画表と評価に関する比較的簡単な情報(評価項目、配点等)が示されているだけで、明確な評価基準が示されていない。このことは、授業計画と評価の関連に透明性をもたせるという意味では改善の余地がある。近年の学生の授業評価の結果からも分かるように、一部の学生は授業計画に関心をもっておらず、授業計画をほとんど読まずに受講する学生すら存在する。そうした望ましくない傾向が見られる原因の一つには「授業計画と評価の関連に不透明性」がある可能性も考えられる。そこで、英語英米文化学科では、授業計画と評価の関連性に透明性をもたせる目的で、ルーブリックを用いている。

2. 講義における双方向性の追求

従来の日本の大学における講義科目の場合には、一方通行的に教員の話す内容を学生が聞き取るという形式が最も一般的な授業方法であった。しかし、そうした一方通行型の講義の場合には、学生が主体的に授業に取り組む姿勢が欠如してしまう可能性があり、自発的な学習の場を提供する機会が少なくなるという欠点がある。近年の学生の授業評価の回答結果からも明らかなように、文学部の学生の「(講義科目における)意欲的取り組み度」については、必ずしも高いとは言えない。

そうした講義形式授業のもつ欠点を補う目的で、当学科の教員は、「講義における(教員と学生の)双方向性」の実現に向けて、様々な試みをしている。具体的には、例えば毎回の講義終了時に「コメント・質問カード」を提出させ、それらの中から興味深いものや発展性のあるものを選択して、次回以降の授業の中で取り扱うといった方法を採用

入れている。そのような形で自分の質問や見解を取り上げてもらった学生は、自分の書いた内容が認められたことに励まされ、次の学習への意欲を増し、受講態度がさらに真剣になる。このような双方向的な活動を取り入れた講義を受けた学生は、一方的に授業を聞くだけではなく、自ら進んで主体的に学習しようという意欲をもつ可能性が高く、懸案の「(講義科目における)意欲的取り組み度」を向上させることにも貢献するであろう。

3. 反転授業によるアクティブ・ラーニングの試み

近年の学生による授業評価で、ほかの回答結果と比較して低い数値を示しているのが「学生の意欲的取り組み度」である点については、上記の1.でも触れたことであるが、当学科には、学生の意欲的取り組みを促進する目的で「反転授業」を用いたアクティブ・ラーニングに取り組んでいる教員もいる。具体的には、授業前に閲覧すべき課題としてインターネット上のテキストや動画を与え、授業で学ぶべきコンテンツを事前に理解させ、授業ではその内容に関する質疑応答、プレゼンテーション、ディスカッション等を行っている。こうした方法は反転授業と呼ばれるものであるが、学生達の反応は非常によく、積極的・主体的に授業の内容の理解に努めており、批判的思考力と創造的思考力も向上している。

【ドイツ語圏文化学科】

文学部の集計データを見る限り、令和元年度において、例年に比べて突出した数値は出ていないが、Q3の「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)」の4.17ポイント、Q8の「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」の4.52ポイント、Q9の「教員は理解しやすい授業を行っている」の4.31ポイント、そして、Q12の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」の4.37ポイントは、平成27(2015)年度以降、最高点となっている。これはすなわち、教員側の教授方法が学生に高く評価されていることの何よりの証明であり、授業の質は(すくなくとも学生の満足度を高めるという点で)年々向上しているということであろう。一方、Q3の「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)」は、依然として3.71ポイントであり、他の項目に比べると低い値にとどまっている。

この結果を総合して考えると、教員側の「教えるテクニック」は向上しており、個々の教員の努力が全体として実を結んでいると言えるが、一方、学生による主体的に授業に取り組むという姿勢を十分に引き出せていないと言える。今後の課題として、実質的な「アクティブ・ラーニング」をいかに実現していくかが益々重要になっていくと思われる。

【フランス語圏文化学科】

Q2「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」の平均評点は5年

前の平成 27 年度と比べて令和元年度はわずかに下がっている。また、Q3「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」も同様に(Q2 よりも数値的には大きく) 平均値は下がっている。Q2 の値の下降原因は、紙媒体のシラバスを配布しなくなったこと(により自らシラバスを読むことが少なくなった)に帰するところが大きいと思われるが、シラバスを読まずに授業に臨むことにより授業への意欲への低下へと繋がっている可能性も考えられる。

【心理学科】

- (1) 近年の調査データ、及び昨年度のデータでも同様であるが、シラバスを活用していない学生が問題となっている。心理学科でもこの問題に対して、新学期における履修ガイダンスで学生に対して相当に丁寧な説明をし、シラバスの活用を促す試みを行ってきたり、個別の履修相談の際にシラバスを参照しながら具体的な指導をしてきたりしているが、さほどの効果が出ていないことが調査結果から伺える。さらなる工夫をもった取り組みを考えていく必要があると考えられる。たとえば、授業が始まってから最初期の段階で、授業の中でシラバスを参照してオリエンテーションを行ったり、あるいは、ある程度授業が進んだ段階で、シラバスを参照して、現在行っている授業内容がどのような流れの中の位置にあるのかの理解を促したり、場合によれば、途中でのシラバス内容の組み替えなども試みる価値があるかと考える。
- (2) 学生が授業時間外で学習する時間は、過半数が 30 分未満と非常に低い数値である。この問題はすでに長らく続いている問題であるが、心理学科では授業の中で参考文献を丁寧に紹介したり、学生自身がどのように勉強をすればよいかということに関して勉強方法を提示する試みをしている教員もいる。また、令和 2 年度前期は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインでの授業が基本となったが、それにより、WebClass (LMS) などを学生も使用することがほぼ前提となったため、そのシステムを使用して、課題学習やレポートの提出が相当になじむものになった印象がある。このシステムはコロナ状況が改善し、対面授業に戻った際も今後さまざまに工夫して活用することが期待できると思われる。
- (3) 学生の「意欲的取り組み度」も低い数値を示している。心理学科では実験演習など学生が小グループに分かれて実験に取り組む授業が配置されており、このような形式の授業においては比較的学生の意欲も高いように思われる。ただ、講義などにおいては意欲的な学生もいるが、そうでない学生も確かに散見され、データの数値とも合致している印象がある。(2) で述べた新型コロナ状況にやはり関わるが、令和 2 年度で拡大したオンライン授業では、チャットの活用が目される。対面授業だと——特に 100 人規模の講義——なかなか学生から質問などが出ないが、チャットの使用を認めると学生もかなり積極的に意見や質問を出してくる感触を複数の教員がもっている。メールなどを含めて、このようなチャットなどのツールを今後も積極的に活用していくことは視野に入れておいてよいと考える。

- (4) Q5-2 (「授業の水準について、どのように感じましたか」、「高すぎる」/「低すぎる」) などのように、回答が二択のものが幾つかある。この形式だと学生も答えにくいと思われるし、また、その回答を今後に活用するためにも、二択ではなく数段刻みの回答にし、さらには授業のどのような側面が水準的に高低なのかといった中身を問う項目があってもよいのではないか。

【教育学科】

文学部に関する評価内容は、総合的評価を含めて、おおむね平均以上の評価を得られており、教育学科では、これらの評価結果をふまえて、学生の学習、研究活動の一層の活性化を目指し、引き続き、教育学科の特色を活かした取り組みを充実させていく。詳細な取り組みは第4章に紹介する。

また、とりわけオンライン授業を原則として始まった令和2年度においては、WebClass、Zoomなどを効果的に活用した教育・研究環境にあっても、その特性を生かしつつ、同期型での講義や演習、事前に資料や映像を提示し、同期型と併用した課題提出型講義を実施するなど、可能な限り丁寧で効果的な講義、演習、実習の在り方、個々の指導に対する工夫を心がけていくこととしたい。また、例年以上に教員間の連絡や協議を重ね、継続的で柔軟な対応、改善、充実に力を尽くしたい。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

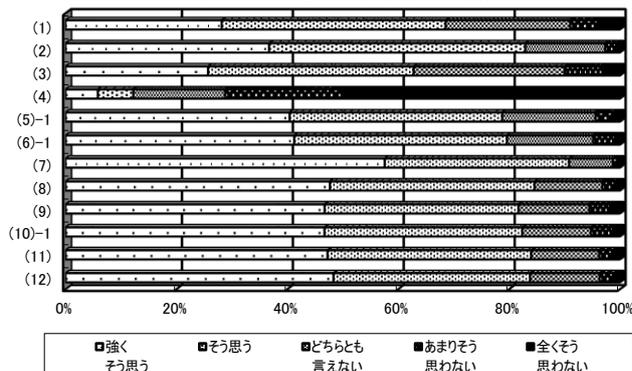
部門名 文学部

形態名 講義

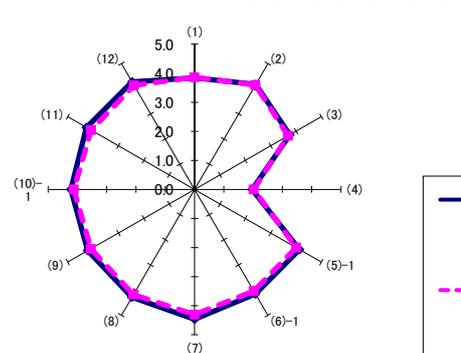
	合計	総履修者数	回答率
回答数	9,302	12,690	73.30%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	2,617	3,748	2,082	464	372	19	9,302	3.84	1.020	3.91	0.369
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 25.60%)	2,399	3,019	942	131	42	388	9,302	4.16	0.789	4.21	0.305
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,359	3,398	2,494	645	272	134	9,302	3.76	1.009	3.87	0.436
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	530	581	1,504	1,903	4,560	224	9,302	1.97	1.204	2.06	0.597
	(5)-1	この授業の水準に満足している	3,735	3,544	1,555	290	116	62	9,302	4.14	0.890	4.23	0.365
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	257	93	-	-	-	56	406	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	3,819	3,551	1,438	367	80	47	9,302	4.15	0.884	4.25	0.377
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	304	109	-	-	-	34	447	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	5,336	3,082	732	87	32	33	9,302	4.47	0.710	4.52	0.270
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4,406	3,410	1,129	209	84	64	9,302	4.28	0.832	4.37	0.323
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4,322	3,234	1,183	340	169	54	9,302	4.21	0.929	4.31	0.416
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4,295	3,278	1,138	362	119	110	9,302	4.23	0.902	4.33	0.392
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	160	27	254	-	-	40	481	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4,377	3,402	1,131	228	122	42	9,302	4.26	0.862	4.35	0.353	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,412	3,237	1,146	229	105	173	9,302	4.27	0.859	4.37	0.381	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,888	3,391	1,341	373	131	178	9,302	4.15	0.918	4.23	0.399
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	4,200	3,416	1,191	210	81	204	9,302	4.26	0.836	4.34	0.327

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

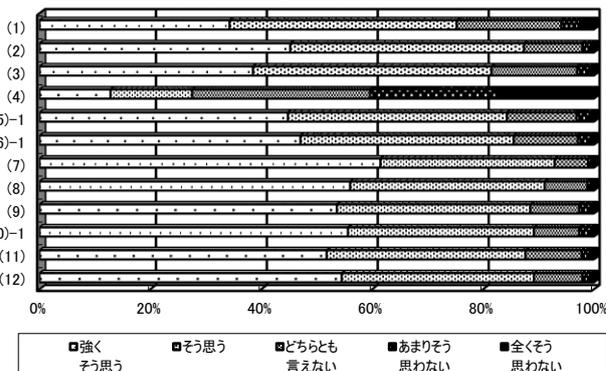
部門名 文学部

形態名 演習

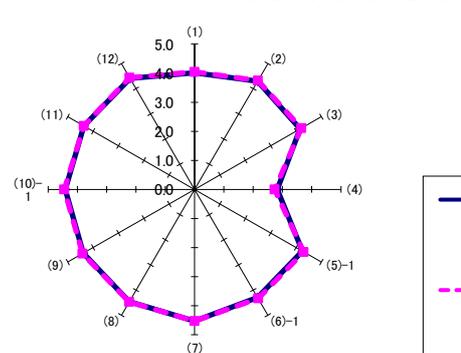
	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,102	7,332	83.22%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	2,087 34.20%	2,495 40.89%	1,146 18.78%	208 3.41%	152 2.49%	14 0.23%	6,102 100.00%	4.01	0.945	4.06	0.341
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 23.52%)	1,967 32.24%	1,834 30.06%	458 7.51%	65 1.07%	26 0.43%	317 5.20%	6,102 100.00%	4.30	0.763	4.29	0.374
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,315 37.94%	2,585 42.36%	928 15.21%	137 2.25%	46 0.75%	91 1.49%	6,102 100.00%	4.16	0.821	4.17	0.298
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	766 12.55%	880 14.42%	1,917 31.42%	1,361 22.30%	1,052 17.24%	126 2.06%	6,102 100.00%	2.82	1.249	2.83	0.658
	(5)-1	この授業の水準に満足している	2,711 44.43%	2,390 39.17%	759 12.44%	147 2.41%	43 0.70%	52 0.85%	6,102 100.00%	4.25	0.819	4.25	0.370
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	136 2.23%	44 0.72%	-	-	-	10 0.16%	190 3.11%	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	2,865 46.95%	2,340 38.35%	703 11.52%	144 2.36%	34 0.56%	16 0.26%	6,102 100.00%	4.29	0.804	4.31	0.347
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	129 2.11%	38 0.62%	-	-	-	11 0.18%	178 2.91%	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	3,744 61.36%	1,913 31.35%	366 6.00%	44 0.72%	21 0.34%	14 0.23%	6,102 100.00%	4.53	0.674	4.54	0.280
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	3,404 55.78%	2,131 34.92%	467 7.65%	49 0.80%	24 0.39%	27 0.44%	6,102 100.00%	4.46	0.705	4.47	0.284
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,260 53.43%	2,122 34.78%	535 8.77%	127 2.08%	36 0.59%	22 0.36%	6,102 100.00%	4.39	0.781	4.40	0.366
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3,362 55.10%	2,026 33.20%	494 8.10%	131 2.15%	30 0.49%	59 0.97%	6,102 100.00%	4.42	0.772	4.43	0.357
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	85 1.39%	3 0.05%	64 1.05%	-	-	9 0.15%	161 2.64%	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,151 51.64%	2,182 35.76%	616 10.10%	87 1.43%	48 0.79%	18 0.29%	6,102 100.00%	4.36	0.784	4.37	0.344	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,271 53.61%	2,080 34.09%	524 8.59%	85 1.39%	41 0.67%	101 1.66%	6,102 100.00%	4.41	0.764	4.42	0.354	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3,191 52.29%	1,993 32.66%	613 10.05%	96 1.57%	35 0.57%	174 2.85%	6,102 100.00%	4.38	0.782	4.42	0.332
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3,261 53.44%	2,035 33.35%	518 8.49%	76 1.25%	33 0.54%	179 2.93%	6,102 100.00%	4.42	0.750	4.44	0.335

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 文学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.546(**)	1												
Q3	.443(**)	.438(**)	1											
Q4	.125(**)	.095(**)	.289(**)	1										
Q5	.440(**)	.588(**)	.540(**)	.124(**)	1									
Q6	.373(**)	.527(**)	.449(**)	.086(**)	.723(**)	1								
Q7	.346(**)	.510(**)	.402(**)	.087(**)	.582(**)	.560(**)	1							
Q8	.365(**)	.533(**)	.449(**)	.105(**)	.615(**)	.597(**)	.706(**)	1						
Q9	.395(**)	.553(**)	.487(**)	.105(**)	.730(**)	.692(**)	.645(**)	.721(**)	1					
Q10	.342(**)	.517(**)	.420(**)	.087(**)	.644(**)	.693(**)	.602(**)	.655(**)	.759(**)	1				
Q11	.444(**)	.521(**)	.535(**)	.150(**)	.678(**)	.577(**)	.598(**)	.594(**)	.690(**)	.590(**)	1			
Q12	.419(**)	.580(**)	.524(**)	.120(**)	.758(**)	.675(**)	.678(**)	.702(**)	.813(**)	.708(**)	.794(**)	1		
Q13	.374(**)	.509(**)	.410(**)	.082(**)	.584(**)	.604(**)	.547(**)	.600(**)	.671(**)	.640(**)	.554(**)	.640(**)	1	
Q14	.379(**)	.532(**)	.432(**)	.091(**)	.619(**)	.606(**)	.576(**)	.603(**)	.673(**)	.618(**)	.593(**)	.669(**)	.756(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.546(**)	1												
Q3	.446(**)	.460(**)	1											
Q4	.147(**)	.096(**)	.265(**)	1										
Q5	.404(**)	.574(**)	.485(**)	.065(**)	1									
Q6	.349(**)	.536(**)	.406(**)	.028(*)	.715(**)	1								
Q7	.332(**)	.530(**)	.396(**)	.075(**)	.584(**)	.585(**)	1							
Q8	.341(**)	.536(**)	.408(**)	.077(**)	.591(**)	.594(**)	.748(**)	1						
Q9	.362(**)	.548(**)	.401(**)	.030(*)	.668(**)	.654(**)	.689(**)	.748(**)	1					
Q10	.333(**)	.501(**)	.388(**)	.051(**)	.599(**)	.625(**)	.629(**)	.667(**)	.777(**)	1				
Q11	.433(**)	.524(**)	.472(**)	.111(**)	.620(**)	.549(**)	.600(**)	.592(**)	.642(**)	.588(**)	1			
Q12	.390(**)	.584(**)	.464(**)	.073(**)	.731(**)	.659(**)	.687(**)	.694(**)	.764(**)	.691(**)	.751(**)	1		
Q15	.339(**)	.493(**)	.398(**)	.092(**)	.509(**)	.524(**)	.584(**)	.611(**)	.589(**)	.548(**)	.550(**)	.600(**)	1	
Q16	.370(**)	.513(**)	.409(**)	.067(**)	.581(**)	.572(**)	.631(**)	.637(**)	.658(**)	.602(**)	.582(**)	.662(**)	.686(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.56	0.758	4.54	0.296	4.58	0.728	4.55	0.273	4.58	0.753	4.56	0.277	4.63	0.700	4.59	0.269	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.20	0.800	4.23	0.335	4.26	0.840	4.33	0.336	4.24	0.796	4.29	0.312	4.24	0.838	4.34	0.338	4.16	0.789	4.21	0.305
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.82	0.922	3.88	0.397	3.89	0.930	3.97	0.390	3.73	1.053	3.80	0.415	3.82	1.057	3.92	0.466	3.76	1.009	3.87	0.436
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	1.92	1.201	2.00	0.495	1.94	1.225	2.04	0.542	1.97	1.204	2.06	0.597
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.07	0.877	4.13	0.376	4.12	0.881	4.19	0.377	4.02	0.941	4.09	0.412	4.09	0.954	4.20	0.428	4.14	0.890	4.23	0.365
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.10	0.862	4.16	0.382	4.18	0.868	4.27	0.332	4.09	0.910	4.17	0.382	4.16	0.898	4.26	0.396	4.15	0.884	4.25	0.377
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.42	0.728	4.47	0.293	4.48	0.703	4.52	0.261	4.44	0.733	4.49	0.293	4.47	0.726	4.52	0.285	4.47	0.710	4.52	0.270
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.20	0.846	4.26	0.361	4.27	0.831	4.34	0.316	4.25	0.861	4.31	0.338	4.28	0.871	4.36	0.347	4.28	0.832	4.37	0.323
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.15	0.916	4.21	0.442	4.22	0.902	4.30	0.410	4.14	0.975	4.22	0.451	4.20	0.959	4.30	0.443	4.21	0.929	4.31	0.416
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.20	0.879	4.26	0.414	4.27	0.865	4.36	0.368	4.20	0.923	4.29	0.426	4.27	0.908	4.37	0.401	4.23	0.902	4.33	0.382
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.17	0.890	4.26	0.403	4.22	0.889	4.32	0.363	4.13	0.961	4.21	0.397	4.19	0.935	4.29	0.381	4.26	0.862	4.35	0.353
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.22	0.855	4.29	0.409	4.27	0.850	4.36	0.382	4.20	0.894	4.27	0.426	4.25	0.880	4.35	0.395	4.27	0.859	4.37	0.381	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.06	0.931	4.10	0.411	4.21	0.884	4.27	0.362	4.09	0.981	4.17	0.439	4.17	0.972	4.26	0.431	4.15	0.918	4.23	0.399
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.18	0.854	4.22	0.382	4.29	0.825	4.34	0.317	4.21	0.893	4.27	0.394	4.28	0.869	4.36	0.357	4.26	0.836	4.34	0.327

部門名 文学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.60	0.693	4.59	0.289	4.65	0.656	4.63	0.266	4.65	0.652	4.62	0.261	4.70	0.607	4.68	0.249	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.44	0.719	4.43	0.300	4.49	0.705	4.49	0.329	4.43	0.742	4.43	0.385	4.43	0.763	4.42	0.348	4.30	0.763	4.29	0.374
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.27	0.769	4.29	0.301	4.32	0.745	4.32	0.273	4.27	0.798	4.29	0.297	4.27	0.812	4.28	0.285	4.16	0.821	4.17	0.298
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.87	1.316	2.92	0.627	2.88	1.275	2.88	0.612	2.82	1.249	2.83	0.658
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.28	0.816	4.30	0.369	4.35	0.770	4.36	0.337	4.24	0.843	4.27	0.352	4.19	0.871	4.23	0.344	4.25	0.819	4.25	0.370
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.34	0.788	4.38	0.341	4.40	0.763	4.41	0.330	4.31	0.818	4.36	0.327	4.28	0.822	4.33	0.317	4.29	0.804	4.31	0.347
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.58	0.641	4.60	0.276	4.61	0.644	4.61	0.298	4.58	0.656	4.61	0.238	4.54	0.668	4.57	0.247	4.53	0.674	4.54	0.280
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.47	0.719	4.51	0.315	4.51	0.706	4.53	0.320	4.49	0.722	4.53	0.266	4.46	0.724	4.50	0.257	4.46	0.705	4.47	0.284
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.43	0.787	4.47	0.405	4.47	0.754	4.49	0.409	4.42	0.795	4.47	0.346	4.39	0.797	4.44	0.332	4.39	0.781	4.40	0.366
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.47	0.742	4.50	0.354	4.52	0.714	4.54	0.370	4.45	0.768	4.50	0.335	4.44	0.772	4.48	0.334	4.42	0.772	4.43	0.357
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.40	0.795	4.44	0.361	4.44	0.769	4.45	0.374	4.37	0.816	4.41	0.337	4.34	0.823	4.39	0.336	4.36	0.784	4.37	0.344
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.46	0.757	4.50	0.365	4.49	0.729	4.51	0.387	4.44	0.756	4.49	0.319	4.41	0.761	4.46	0.315	4.41	0.764	4.42	0.354	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.45	0.755	4.50	0.352	4.47	0.744	4.50	0.354	4.44	0.766	4.50	0.330	4.41	0.770	4.48	0.310	4.38	0.782	4.42	0.332
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.45	0.762	4.49	0.340	4.47	0.741	4.50	0.339	4.45	0.758	4.50	0.297	4.44	0.754	4.49	0.280	4.42	0.750	4.44	0.335

IV. 理学部

1. 集計データからわかること

Q1、Q2はシラバスについての項目で、Q1はシラバスを通じて身につけたい成果をイメージしていたか、Q2はシラバスと実際の授業内容の合致を問うものである。科目ベースの平均値で、それぞれQ1: 3.73 (法 4.11 経 4.03 文 4.00 国 3.94)、Q2: 4.06 (法 4.30 経 4.31 文 4.26 国 4.25) とやや他学科に比べて低めの値が出ており、学生側の授業に対するイメージと実際の授業内容の間に乖離がある事を示唆している。全体像を俯瞰するような導入を初回の授業に行なうか、あるいはシラバスの内容を充実させる、などの対処が有効かもしれない。

Q3は授業への意欲を問うもので、各学科とも講義と演習で大きく値が異なることが特徴である。科目ベースの平均値では、講義: 3.64 (法 3.65 経 3.81 文 3.87 国 3.74)、演習: 4.1 (法 4.32 経 4.38 文 4.17 国 4.19)、であり、講義に比べて演習は、主体的に参加をする意識が強い事を表している。本項目に関しては、理学部のスコアは他学科とほぼ同等の値を示している。

Q4は授業時間外の学習時間についての問いで、講義: 2.24 (法 2.03 経 2.22 文 2.06 国 2.07)、演習: 3.23 (法 3.14 経 3.14 文 2.83 国 3.15) と、全体的に他学科と比べて、多くの時間を授業外の学習に費やしている事が理解できる。特に演習については、平均値からは読み取れない特徴として、理学部の場合、学習時間3時間以上と回答した学生の比率が31.11% (法 19.64% 経 20.93% 文 12.82% 国 17.32%) と、群を抜いて高い事が挙げられる。Q3と合わせて、意欲的な学生が主体的に多くの時間を費やして演習等の課題に携わっている事が伺え、喜ばしい傾向である。今後もこの質の高い学習意欲を保持して行く努力が重要であろう。

Q5は授業の水準に対する満足度についての問いである。講義: 3.82 (法 4.00 経 4.04 文 4.23 国 3.97)、演習: 4.03 (法 4.42 経 4.42 文 4.25 国 4.27) と、高水準の評価を得ているものの、他学科と比べやや低い評点となっている。その理由の一端は付随するQ5-2から伺う事ができる。この問いによれば、授業の水準が高すぎると感じた受講者の割合は、講義: 90.41% (法 80.99% 経 69.46% 文 73.43% 国 67.96%)、演習: 89.58% (法 70.83% 経 60.00% 文 75.56% 国 58.82%) であり、授業の理解が困難と感じる学生の割合は理学部が突出して多い。

順番が前後するが、教員の授業の理解しやすさについてのQ9では、理学部: 3.95 (法 4.29 経 4.30 文 4.36 国 4.31) であり、理学部の評点は低い。教員が分かりやすい授業を心がける事はもちろん大事であるが、授業内容の難しさに対する印象がこのQ9に対する回答として現れている事も否定できないだろう。

また、授業を進める速さの適切さを問うQ6でも、理学部: 3.89 (法 4.24 経 4.22 文 4.28

国 4.22) と理学部の評点は低い。付随する Q6-2 によると、授業が速すぎると感じる学生の割合が理学部: 90.60% (法 81.71% 経 82.62% 文 74.66% 国 79.71%) となっており、授業の進度が速すぎると感じる学生の多さが Q6 の結果に反映していると考えられる。Q5、Q9 と合わせ、予想される事ではあるが、理学部の授業内容を難しすぎると考える学生の数が多い事が伺える。

Q7~Q10 は教員の姿勢についての問いである。まず、教員の熱意を問う Q7 では理学部: 4.22、学生が集中できる授業環境への配慮を問う Q8 では理学部: 4.13 といずれも高水準の評点を得ており、授業に対する教員の基本姿勢については学生側からも良い印象をもたれていると考えられる。

Q10 の教員の話し方についても理学部: 4.04 という比較的高い評価を受けている。ただ、付随する Q10-2 では、話し方が「速すぎる」と回答した受講者が 56.21% に上り、一方で「遅すぎる」という回答はわずか 1.48% という少ない割合に過ぎなかった。Q5 に関連して、授業の水準が高すぎると感じる受講者が多い事も踏まえ、教員が意識的にゆっくりとした説明を心がける必要があるであろう。

Q11 の、授業による知的好奇心の刺激、新しいものの見方の獲得を問う項目では、3.95 という比較的高い値が得られ、「5:強く思う」、「4:そう思う」の回答の合計が 69.32% と、全受講者の 2/3 強が授業により、実感できる成果を得ている事を読み取る事ができる。また特に演習は 4.14 という高い評価であり、Q3 と関連して、主体的に取り組む演習の方が、新しい知識を手にしたという実感を強く感じることを反映しているのかもしれない。

Q12 の総合評価は、講義: 4.02、演習: 4.17 であり、昨年 (講義: 4.02、演習: 4.21) とそれほど変わらず、例年の傾向通りに推移しているとの印象を受ける。

2. 今後の授業改善に向けて

講義科目、演習科目ともに、学生による評価はここ数年間、安定してほぼ変わらない値で推移している。前述のように、理学部の学生は授業外にも多くの時間を学習に費やす学生の割合が多いのは頼もしい傾向で、このような学生の学習意欲を受け止めて、真摯に応ずる努力をこれからも維持して行くべきであろう。また一方で、学習時間が1週間あたり30分未満という学生も少なからずおり、このような学生を落ちこぼれさせないための働きかけもまた必要と考える。

特に令和2年度、そしておそらく次年度以降もしばらくの間は、多くの場合にオンラインをベースとする授業形態を取らざるを得ない。このような状況下でまず心配されるのは、講義の形態の変化による、受講者側の反応の変化、そして教員と学生間のコミュニケーションの質の低下であろう。前項で解析したように、理学部の授業内容は難解と受け止められる傾向が強く、そのような反応がオンラインの授業形態となった事でどのように変化するか注意深く見守る必要がある。オンデマンド型の教材配信では「授業の速度の間

題」は逆に改善する事もあるのかもしれないが、全体的にはやはり、学生が気軽に教員に質問をする機会が減り、講義を通じて伝達できる情報の質は低下すると考えるべきであろう。特に通常の形態でも学習時間の足りない学生は、オンラインで配信する教材にもアクセスしない可能性が高く、より積極的な働きかけが必要となると考えられる。講義内容の配信に加え、双方向のコミュニケーションを促進するような別種の手段を講じることが今後、重要となっていくだろう。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

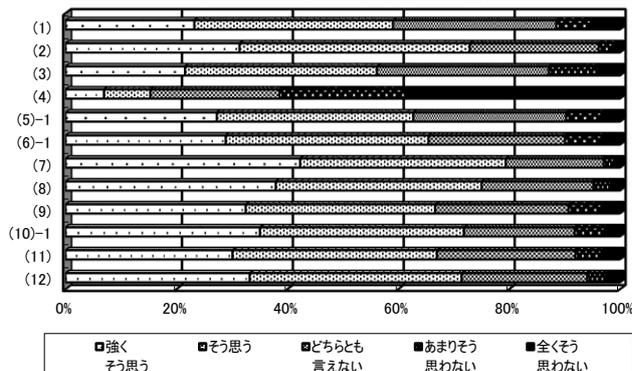
部門名 理学部

形態名 講義

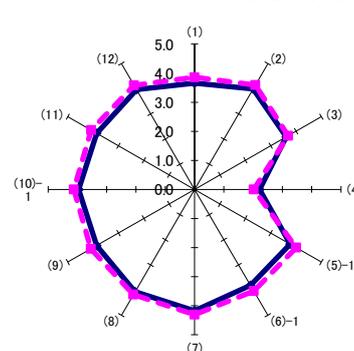
	合計	総履修者数	回答率
回答数	4,204	6,408	65.61%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	971	1,497	1,230	261	219	26	4,204	3.66	1.063	3.70	0.341
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 34.11%)	817	1,081	605	67	33	167	4,204	3.99	0.874	4.04	0.342
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	886	1,423	1,274	363	164	94	4,204	3.61	1.042	3.64	0.359
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	285	342	953	927	1,587	110	4,204	2.22	1.238	2.24	0.470
	(5)-1	この授業の水準に満足している	1,135	1,474	1,146	264	140	45	4,204	3.77	1.026	3.82	0.438
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	349	37	-	-	-	18	404	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	1,205	1,524	1,026	272	141	36	4,204	3.81	1.032	3.85	0.468
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	356	30	-	-	-	27	413	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,764	1,547	736	77	45	35	4,204	4.18	0.860	4.21	0.349
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,579	1,546	838	134	67	40	4,204	4.07	0.922	4.11	0.363
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,352	1,422	999	247	140	44	4,204	3.87	1.043	3.92	0.478
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,452	1,524	827	224	114	63	4,204	3.96	1.007	4.00	0.463
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	182	5	134	-	-	17	338	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,253	1,533	1,038	194	140	46	4,204	3.86	1.010	3.91	0.410	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,372	1,579	935	138	106	74	4,204	3.96	0.960	4.02	0.446	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,451	1,540	834	168	104	107	4,204	3.99	0.975	4.03	0.425
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,463	1,502	905	131	94	109	4,204	4.00	0.956	4.04	0.394

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

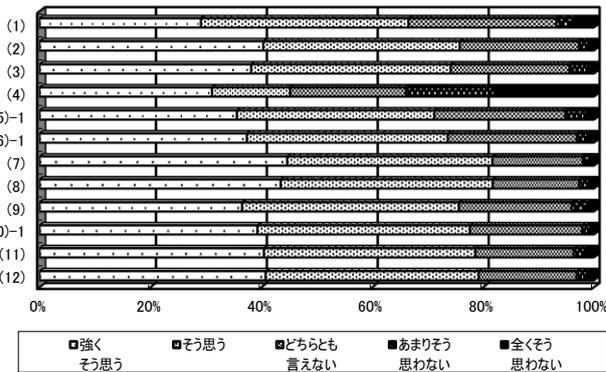
部門名 理学部

形態名 演習

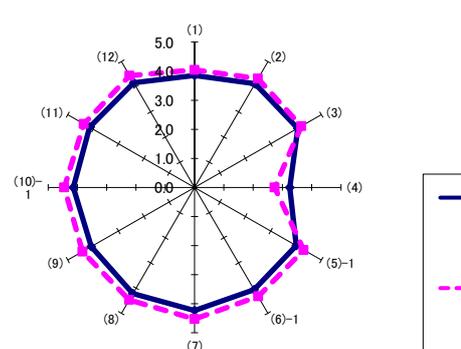
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,053	1,215	86.67%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	305	392	279	31	40	6	1,053	3.85	0.999	3.86	0.236
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 26.12%)	295	259	157	12	8	47	1,053	4.12	0.877	4.13	0.262
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	396	373	222	35	11	16	1,053	4.07	0.907	4.10	0.301
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	322	146	216	165	186	18	1,053	3.24	1.485	3.23	0.918
	(5)-1	この授業の水準に満足している	372	372	247	40	14	8	1,053	4.00	0.931	4.03	0.323
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	43	5	-	-	-	6	54	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	390	378	243	20	12	10	1,053	4.07	0.885	4.09	0.293
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	20	9	-	-	-	3	32	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	466	386	170	14	7	10	1,053	4.24	0.818	4.25	0.247
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	455	400	163	19	9	7	1,053	4.22	0.833	4.23	0.224
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	381	408	212	30	12	10	1,053	4.07	0.885	4.09	0.260
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	406	396	209	15	7	20	1,053	4.14	0.834	4.18	0.255
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	8	0	9	-	-	5	22	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	420	396	184	21	17	15	1,053	4.14	0.890	4.14	0.302	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	420	396	182	19	13	23	1,053	4.16	0.865	4.17	0.272	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	374	351	225	28	7	68	1,053	4.07	0.884	4.12	0.318
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	445	326	178	28	6	70	1,053	4.20	0.875	4.24	0.290

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 理学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.623(**)	1												
Q3	.560(**)	.534(**)	1											
Q4	.299(**)	.193(**)	.392(**)	1										
Q5	.481(**)	.626(**)	.550(**)	.202(**)	1									
Q6	.449(**)	.586(**)	.465(**)	.154(**)	.739(**)	1								
Q7	.414(**)	.614(**)	.473(**)	.129(**)	.605(**)	.570(**)	1							
Q8	.431(**)	.603(**)	.493(**)	.144(**)	.630(**)	.603(**)	.750(**)	1						
Q9	.471(**)	.601(**)	.515(**)	.176(**)	.733(**)	.709(**)	.661(**)	.728(**)	1					
Q10	.401(**)	.544(**)	.405(**)	.105(**)	.623(**)	.715(**)	.621(**)	.667(**)	.739(**)	1				
Q11	.564(**)	.612(**)	.576(**)	.223(**)	.666(**)	.605(**)	.605(**)	.623(**)	.670(**)	.574(**)	1			
Q12	.505(**)	.637(**)	.556(**)	.181(**)	.776(**)	.713(**)	.723(**)	.735(**)	.800(**)	.712(**)	.778(**)	1		
Q13	.435(**)	.567(**)	.460(**)	.145(**)	.625(**)	.639(**)	.616(**)	.653(**)	.715(**)	.661(**)	.603(**)	.719(**)	1	
Q14	.438(**)	.583(**)	.461(**)	.158(**)	.630(**)	.615(**)	.617(**)	.644(**)	.681(**)	.609(**)	.595(**)	.709(**)	.781(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 理学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.636(**)	1												
Q3	.515(**)	.611(**)	1											
Q4	.257(**)	.232(**)	.326(**)	1										
Q5	.468(**)	.614(**)	.612(**)	.237(**)	1									
Q6	.482(**)	.667(**)	.559(**)	.197(**)	.730(**)	1								
Q7	.429(**)	.619(**)	.478(**)	.227(**)	.596(**)	.644(**)	1							
Q8	.453(**)	.576(**)	.489(**)	.177(**)	.579(**)	.643(**)	.748(**)	1						
Q9	.431(**)	.569(**)	.490(**)	.163(**)	.632(**)	.661(**)	.730(**)	.719(**)	1					
Q10	.434(**)	.553(**)	.516(**)	.172(**)	.600(**)	.658(**)	.699(**)	.741(**)	.778(**)	1				
Q11	.547(**)	.553(**)	.586(**)	.271(**)	.639(**)	.629(**)	.597(**)	.603(**)	.619(**)	.580(**)	1			
Q12	.489(**)	.623(**)	.567(**)	.210(**)	.744(**)	.718(**)	.681(**)	.663(**)	.744(**)	.677(**)	.784(**)	1		
Q15	.393(**)	.538(**)	.481(**)	.177(**)	.550(**)	.558(**)	.583(**)	.600(**)	.621(**)	.626(**)	.555(**)	.615(**)	1	
Q16	.383(**)	.516(**)	.455(**)	.160(**)	.577(**)	.562(**)	.614(**)	.610(**)	.642(**)	.634(**)	.557(**)	.667(**)	.716(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 理学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.77	0.621	4.72	0.228	4.76	0.632	4.72	0.243	4.74	0.662	4.68	0.263	4.78	0.600	4.75	0.218	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.07	0.885	4.06	0.356	4.24	0.862	4.23	0.354	4.18	0.889	4.20	0.401	4.13	0.893	4.19	0.379	3.99	0.874	4.04	0.342
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.85	0.982	3.85	0.405	3.95	0.981	3.95	0.339	3.83	1.069	3.84	0.348	3.80	1.086	3.83	0.370	3.61	1.042	3.64	0.359
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.47	1.412	2.51	0.458	2.33	1.328	2.34	0.436	2.22	1.238	2.24	0.470
	(5)-1	この授業の水準に満足している	3.74	1.069	3.74	0.484	3.77	1.099	3.81	0.429	3.70	1.091	3.73	0.439	3.63	1.120	3.66	0.495	3.77	1.026	3.82	0.438
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	3.83	1.034	3.83	0.443	3.84	1.059	3.88	0.440	3.84	1.041	3.87	0.417	3.78	1.056	3.83	0.432	3.81	1.032	3.85	0.468
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.28	0.836	4.28	0.355	4.31	0.883	4.35	0.358	4.29	0.866	4.32	0.366	4.25	0.859	4.27	0.305	4.18	0.860	4.21	0.349
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.14	0.900	4.15	0.329	4.16	0.943	4.22	0.359	4.17	0.937	4.21	0.374	4.11	0.948	4.16	0.347	4.07	0.922	4.11	0.363
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.90	1.055	3.90	0.486	3.90	1.107	3.97	0.504	3.95	1.066	3.98	0.481	3.89	1.069	3.94	0.465	3.87	1.043	3.92	0.478
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.97	1.008	3.97	0.448	4.01	1.047	4.07	0.460	4.03	1.035	4.06	0.489	3.97	1.038	4.01	0.446	3.96	1.007	4.00	0.463
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.90	1.006	3.94	0.427	3.91	1.044	3.99	0.406	3.89	1.062	3.94	0.426	3.84	1.061	3.89	0.411	3.86	1.010	3.91	0.410
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.99	0.964	3.99	0.441	4.01	0.995	4.08	0.428	4.03	0.980	4.06	0.438	3.97	0.977	4.02	0.403	3.96	0.960	4.02	0.446	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.94	1.045	3.93	0.506	3.97	1.106	4.05	0.491	4.07	1.039	4.10	0.473	4.01	1.050	4.02	0.433	3.99	0.975	4.03	0.425
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.00	0.973	4.00	0.433	4.06	1.013	4.09	0.431	4.12	0.970	4.15	0.404	4.07	0.965	4.08	0.372	4.00	0.956	4.04	0.394

部門名 理学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.86	0.497	4.81	0.206	4.84	0.548	4.76	0.395	4.90	0.384	4.88	0.185	4.93	0.341	4.91	0.130	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.35	0.846	4.29	0.302	4.43	0.753	4.37	0.281	4.40	0.800	4.39	0.299	4.40	0.839	4.36	0.418	4.12	0.877	4.13	0.262
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.30	0.843	4.22	0.335	4.35	0.855	4.26	0.391	4.44	0.800	4.42	0.274	4.36	0.919	4.35	0.377	4.07	0.907	4.10	0.301
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	3.45	1.435	3.41	0.725	3.27	1.531	3.29	0.895	3.24	1.485	3.23	0.918
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.08	0.941	4.00	0.357	4.09	0.954	4.03	0.374	3.97	1.026	3.95	0.364	3.97	1.032	3.94	0.438	4.00	0.931	4.03	0.323
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.17	0.874	4.12	0.316	4.21	0.867	4.17	0.285	4.11	0.919	4.10	0.320	4.14	0.922	4.11	0.381	4.07	0.885	4.09	0.293
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.38	0.781	4.33	0.282	4.39	0.799	4.34	0.246	4.42	0.777	4.41	0.261	4.33	0.861	4.31	0.336	4.24	0.818	4.25	0.247
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.29	0.846	4.22	0.342	4.32	0.833	4.29	0.256	4.35	0.824	4.35	0.248	4.31	0.874	4.29	0.353	4.22	0.833	4.23	0.224
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.21	0.865	4.16	0.340	4.17	0.903	4.14	0.296	4.22	0.889	4.23	0.306	4.15	0.957	4.14	0.409	4.07	0.885	4.09	0.260
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.24	0.841	4.21	0.332	4.24	0.855	4.22	0.271	4.28	0.857	4.29	0.298	4.22	0.919	4.23	0.337	4.14	0.834	4.18	0.255
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.20	0.912	4.12	0.348	4.19	0.956	4.12	0.376	4.21	0.944	4.19	0.352	4.15	1.041	4.13	0.512	4.14	0.890	4.14	0.302
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.28	0.837	4.22	0.327	4.27	0.884	4.23	0.326	4.29	0.869	4.29	0.307	4.24	0.894	4.21	0.390	4.16	0.865	4.17	0.272	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.18	0.873	4.17	0.304	4.18	0.875	4.19	0.237	4.26	0.873	4.28	0.298	4.22	0.906	4.23	0.353	4.07	0.884	4.12	0.318
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.35	0.822	4.31	0.295	4.34	0.847	4.33	0.230	4.37	0.854	4.38	0.252	4.30	0.900	4.29	0.366	4.20	0.875	4.24	0.290

V. 国際社会科学部

1. 集計データからわかること

A. 講義科目

講義科目の令和元（2019）年度のアンケートの実施率は100%となり過去3年間の実施率と比較しても一番高くなっている。一方アンケートの回答率は40.93%であり、平成30（2018）年度から約4%、平成29（2017）年度から約15%低下した。

講義形式の社会科学科目は、例年通り日本語を使用言語とした科目を中心に履修者数が200名前後に達した科目も多くみられたが、講義科目の全学平均値（以下、全学平均）（3.90）をわずかに下回るシラバスの理解度（Q1）（3.87）を示した。

講義科目の意欲度（Q3）（3.74）は全学平均（3.76）を若干下回る傾向が続いている。授業外学習時間（Q4）（2.07）は前二年間で全学平均を上回っていたが、前年から0.07低下し、初めて全学平均と並んだ。授業の水準の適切さ（Q5-1）（3.97）、授業を進める速さの適切さ（Q6-1）（4.07）は全学平均より下回っているものの、前年比では向上している。同じく、教員の熱意（Q7）、集中できる授業環境への配慮（Q8）、授業の理解しやすさ（Q9）、教員の話し方の適切さ（Q10-1）、知的好奇心を刺激したか（Q11）などすべて全学平均を若干下回っている。しかしながら、これらの項目の多くは本学部としては改善傾向にある。

結果として、総合評価（Q12）についても全学平均を若干下回る評価となった。一方で、学部平均を見ると総合評価はこの4年間で上昇傾向にあり、さらに上述の通り多くの項目が改善傾向にある。全学の授業評価アンケートや、各教員や学部内で独自に実施している授業評価アンケートを踏まえ、各教員が授業改善に取り組んだことが少しずつ効果を上げているのではないかと考えられる。一方で今年度は回答率が過去最低であり、おそらく学年が上がるにつれて回答率が下がるのではないかと考えられる。回答率の低さが結果にどう影響しているか厳密にはわからないため、今後学年別かつ形態別のデータを入手し分析を深めていきたい。

表V-1 国際社会科学部 講義科目の授業評価アンケート平均値(科目ベース)

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	—	—	—	—	—	—	3.87	3.90	—
Q2 シラバスとの合致	4.12	4.27	4.12	4.22	4.23	4.25	4.23	4.17	→
Q3 意欲度	3.80	3.92	3.78	3.79	3.81	3.85	3.74	3.76	▼
Q4 授業外学習時間	—	—	2.22	2.16	2.14	2.10	2.07	2.07	▼
Q5-1 授業の水準の適切さ	3.80	4.02	3.80	3.92	3.80	3.97	3.97	4.05	△
Q6-1 授業を進める速さの適切さ	3.86	4.08	3.93	4.02	4.01	4.06	4.07	4.08	△
Q7 教員の熱意	4.22	4.38	4.23	4.35	4.28	4.37	4.31	4.35	△

Q8 集中できる授業環境への配慮	3.93	4.25	4.08	4.23	4.19	4.26	4.20	4.25	△
Q9 授業の理解しやすさ	3.66	4.13	3.96	4.10	4.01	4.14	4.12	4.15	△
Q10-1 教員の話し方の適切さ	3.79	4.19	4.01	4.17	4.06	4.19	4.13	4.18	△
Q11 知的好奇心や新たな視点	3.73	4.10	3.84	4.04	3.88	4.09	4.07	4.14	△
Q12 総合評価	3.74	4.19	4.00	4.15	4.02	4.18	4.12	4.20	△
Q13 板書やスライドの適切さ	4.00	4.16	4.16	4.14	4.21	4.19	4.16	4.16	▼
Q14 教材の内容の適切さ	3.95	4.21	4.13	4.20	4.15	4.23	4.15	4.21	→
アンケート実施率	80.95%		94.12%		98.57%		100.00%		
回答率	71.10%	51.87%	56.00%	51.93%	44.97%	51.83%	40.93%	51.47%	

B. 演習科目

演習科目の今年度のアンケートの実施率は**95.65%**となり前3年間の実施率よりは低いものの、ほぼ**100%**の実施率となっている。アンケートの回答率は**84.35%**であり、前年度の回答率よりは少し高くなっている。

結果として、ほぼすべての項目に対して全学平均付近の評価であるものの、前年比で低下した。しかし、授業外学習時間(Q4)のみ上昇傾向にあり、下降傾向にある全学平均との差を広げていることは特徴的である。演習科目の総合評価(Q12)(4.41)は全学平均(4.48)よりも下回っているが、昨年度と同じように講義科目の総合評価(4.12)よりも高い。

表V-2 国際社会科学部 演習科目の授業評価アンケート平均値(科目ベース)

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	—	—	—	—	—	—	3.94	4.11	—
Q2 シラバスとの合致	4.35	4.51	4.31	4.48	4.47	4.49	4.23	4.35	▼
Q3 意欲度	4.17	4.38	4.05	4.37	4.36	4.36	4.19	4.26	▼
Q4 授業外学習時間	—	—	2.93	2.87	3.00	2.78	3.15	2.76	△
Q5-1 授業の水準の適切さ	4.21	4.39	4.04	4.32	4.36	4.31	4.27	4.35	▼
Q6-1 授業を進める速さの適切さ	4.20	4.45	4.06	4.41	4.39	4.41	4.24	4.38	▼
Q7 教員の熱意	4.51	4.63	4.42	4.63	4.60	4.61	4.48	4.57	▼
Q8 集中できる授業環境への配慮	4.36	4.56	4.37	4.56	4.56	4.56	4.46	4.51	▼
Q9 授業の理解しやすさ	4.28	4.52	4.25	4.52	4.58	4.51	4.41	4.46	▼
Q10-1 教員の話し方の適切さ	4.39	4.56	4.40	4.55	4.59	4.55	4.46	4.50	▼
Q11 知的好奇心や新たな視点	4.07	4.46	4.02	4.43	4.39	4.43	4.34	4.41	▼
Q12 総合評価	4.23	4.54	4.16	4.54	4.48	4.52	4.41	4.48	▼
Q15 活発な発言や議論の促進	4.56	4.52	4.45	4.50	4.64	4.52	4.49	4.44	▼
Q16 課題の取り組みへの支援	4.45	4.52	4.36	4.51	4.59	4.53	4.48	4.46	▼
アンケート実施率	100.00%		100.00%		97.78%		95.65%		
回答率	87.50%	80.79%	82.85%	82.00%	83.86%	83.20%	84.35%	83.75%	

C. 英語科目

英語科目の今年度のアンケートの実施率は99.32%となり、昨年度よりも高く、ほぼ100%に近い実施率となっている。回答率は83.31%であり、前々年度の回答率よりは低いものの、前年度とほぼ同じとなっている。

本年度の結果において、シラバス等を通じた目標理解（Q1）は全学平均よりほんの少し高い。意欲度（Q3）も前3年間に続き全学平均より高く、本学部においては演習科目と講義科目より高い結果となっている。その他の項目についても傾向は前3年間に引き続き、全学平均よりも少し高いかほぼ同じ結果となっている。特に授業外学習時間（Q4）は全学平均よりもかなり高い結果が出ており、学生が授業外で課題にしっかり取り組んでいることがうかがえる。

表V-3 国際社会科学部 英語科目の授業評価アンケート平均値(科目ベース)

	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	—	—	—	—	—	—	3.98	3.92	—
Q2 シラバスとの合致	4.36	4.38	4.28	4.30	4.40	4.34	4.27	4.23	▼
Q3 意欲度	4.35	4.21	4.21	4.10	4.37	4.18	4.27	4.08	▼
Q4 授業外学習時間	—	—	3.02	2.49	3.14	2.52	3.12	2.52	▼
Q5-1 授業の水準の適切さ	4.22	4.22	4.03	4.07	4.17	4.16	4.24	4.19	△
Q6-1 授業を進める速さの適切さ	4.29	4.29	4.14	4.17	4.28	4.25	4.29	4.24	△
Q7 教員の熱意	4.60	4.53	4.50	4.46	4.54	4.51	4.51	4.47	▼
Q8 集中できる授業環境への配慮	4.45	4.43	4.39	4.38	4.48	4.44	4.44	4.39	▼
Q9 授業の理解しやすさ	4.40	4.38	4.33	4.33	4.39	4.37	4.37	4.33	▼
Q10-1 教員の話し方の適切さ	4.42	4.40	4.33	4.35	4.44	4.39	4.41	4.35	▼
Q11 知的好奇心や新たな視点	4.08	4.12	4.03	4.05	4.12	4.11	4.25	4.16	△
Q12 総合評価	4.32	4.36	4.24	4.28	4.32	4.33	4.34	4.30	△
Q13 板書やスライドの適切さ	4.42	4.33	4.27	4.25	4.37	4.32	4.32	4.27	▼
Q14 教材の内容の適切さ	4.37	4.38	4.26	4.31	4.37	4.38	4.33	4.32	▼
Q15 活発な発言や議論の促進	4.47	4.38	4.39	4.32	4.45	4.38	4.41	4.32	▼
Q16 課題の取り組みへの支援	4.46	4.38	4.33	4.30	4.41	4.36	4.40	4.32	▼
Q17 授業のねらいの明確さ	4.27	4.29	4.25	4.24	4.33	4.29	4.31	4.24	▼
Q18 授業時間を有効に活用	4.34	4.36	4.28	4.30	4.38	4.36	4.37	4.31	▼
アンケート実施率	100.00%		91.79%		99.28%		99.32%		
回答率	88.40%	82.79%	84.72%	82.74%	83.34%	83.90%	83.31%	84.10%	

2. 今後の授業改善に向けて

令和元年度は学部の完成年度であり、新学部としての試行錯誤がまだ続いているが、この4年間で講義科目、演習科目、英語科目それぞれにおいて、概ね改善傾向がみられていることは喜ばしいことである。

本年度も、社会科学担当教員、英語担当教員、それぞれにカリキュラムや授業の進め方に関する会合を数多く持ち、活発な意見交換を行ってきた。また、講義科目・留学科目・英語科目に関して、多くの教員が学部のポータルサイト（Moodle）等を通じて独自にアンケートを実施した。本アンケート結果を含め、4年間の経験から得られた教訓に基づき、教員各自が授業改善の工夫を行うとともに、教員間でも情報共有を積極的に行った。今後も通常の教務と並行しつつ、教員のタスクチームを作って個々の課題に対処していきたい。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

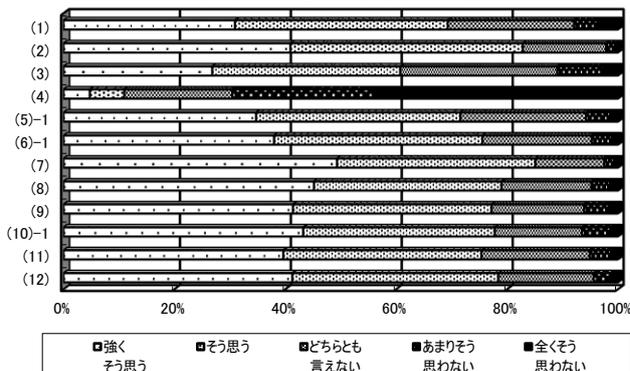
部門名 国際社会科学部

形態名 講義

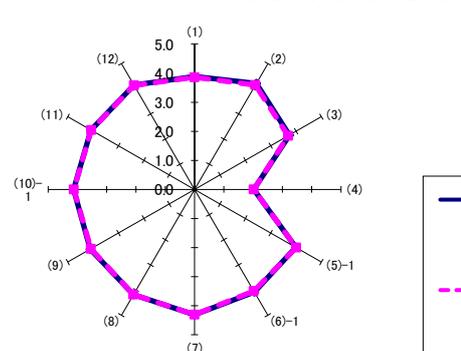
	合計	総履修者数	回答率
回答数	4,121	10,068	40.93%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,263 30.65%	1,567 38.02%	928 22.52%	172 4.17%	153 3.71%	38 0.92%	4,121 100.00%	3.89	1.015	3.87	0.262
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 24.36%)	1,183 28.71%	1,212 29.41%	434 10.53%	46 1.12%	16 0.39%	226 5.48%	4,121 100.00%	4.21	0.793	4.23	0.212
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,077 26.13%	1,361 33.03%	1,136 27.57%	327 7.93%	112 2.72%	108 2.62%	4,121 100.00%	3.74	1.030	3.74	0.302
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	189 4.59%	247 5.99%	773 18.76%	1,007 24.44%	1,755 42.59%	150 3.64%	4,121 100.00%	2.02	1.146	2.07	0.292
	(5)-1	この授業の水準に満足している	1,411 34.24%	1,496 36.30%	920 22.32%	178 4.32%	57 1.38%	59 1.43%	4,121 100.00%	3.99	0.936	3.97	0.310
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	140 59.57%	66 28.09%	-	-	-	29 12.34%	235 100.00%	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	1,547 37.54%	1,530 37.13%	803 19.49%	146 3.54%	46 1.12%	49 1.19%	4,121 100.00%	4.08	0.904	4.07	0.307
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	144 75.00%	35 18.23%	-	-	-	13 6.77%	192 100.00%	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	2,016 48.92%	1,461 35.45%	508 12.33%	73 1.77%	28 0.68%	35 0.85%	4,121 100.00%	4.31	0.808	4.31	0.249
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,843 44.72%	1,380 33.49%	661 16.04%	136 3.30%	60 1.46%	41 0.99%	4,121 100.00%	4.18	0.921	4.20	0.312
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,689 40.99%	1,461 35.45%	682 16.55%	181 4.39%	68 1.65%	40 0.97%	4,121 100.00%	4.11	0.947	4.12	0.313
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,750 42.47%	1,398 33.92%	636 15.43%	207 5.02%	56 1.36%	74 1.80%	4,121 100.00%	4.13	0.950	4.13	0.340
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	78 29.66%	11 4.18%	144 54.75%	-	-	30 11.41%	263 100.00%	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,617 39.24%	1,458 35.38%	796 19.32%	156 3.79%	52 1.26%	42 1.02%	4,121 100.00%	4.09	0.923	4.07	0.291	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,670 40.52%	1,503 36.47%	696 16.89%	123 2.98%	54 1.31%	75 1.82%	4,121 100.00%	4.14	0.898	4.12	0.305	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,738 42.17%	1,398 33.92%	593 14.39%	160 3.88%	74 1.80%	158 3.83%	4,121 100.00%	4.15	0.946	4.16	0.305
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,701 41.28%	1,355 32.88%	708 17.18%	105 2.55%	61 1.48%	191 4.63%	4,121 100.00%	4.15	0.915	4.15	0.286

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

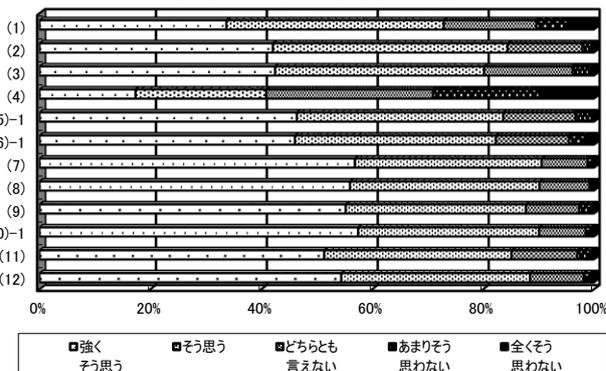
部門名 国際社会科学部

形態名 演習

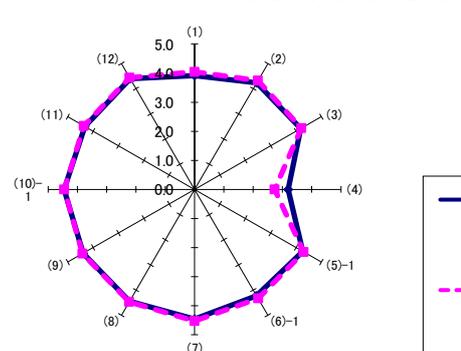
	合計	総履修者数	回答率
回答数	609	722	84.35%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	204	237	101	34	29	4	609	3.91	1.075	3.94	0.546
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 22.50%)	181	182	58	7	2	42	609	4.24	0.779	4.23	0.359
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	255	226	96	19	4	9	609	4.18	0.860	4.19	0.357
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	102	139	177	113	58	20	609	3.19	1.216	3.15	0.572
	(5)-1	この授業の水準に満足している	278	223	78	19	1	10	609	4.27	0.817	4.27	0.333
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	10	7	-	-	-	3	20	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	276	217	79	18	9	10	609	4.22	0.894	4.24	0.385
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	20	5	-	-	-	2	27	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	343	203	50	6	1	6	609	4.46	0.703	4.48	0.292
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	336	205	54	3	2	9	609	4.45	0.706	4.46	0.268
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	333	196	58	13	3	6	609	4.40	0.789	4.41	0.343
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	343	195	50	6	3	12	609	4.46	0.733	4.46	0.277
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	1	2	4	-	-	2	9	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	307	202	71	14	4	11	609	4.33	0.824	4.34	0.377	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	321	201	57	7	4	19	609	4.40	0.766	4.41	0.310	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	321	189	47	3	1	48	609	4.47	0.686	4.49	0.269
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	329	173	49	4	4	50	609	4.47	0.744	4.48	0.339

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

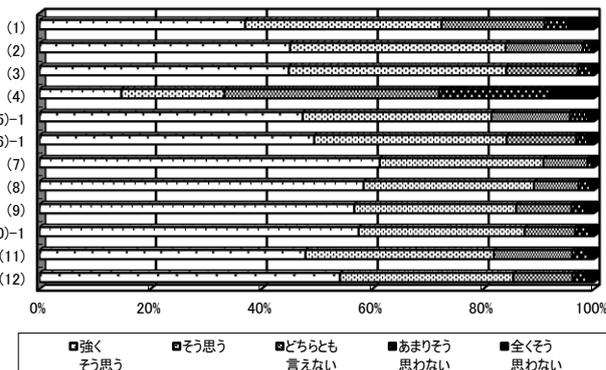
部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,426	2,912	83.31%

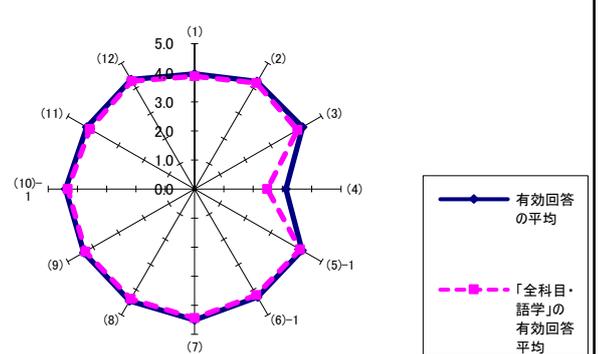
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	896	856	449	102	114	9	2,426	3.96	1.072	3.98	0.385
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 23.74%)	763	657	235	24	10	161	2,426	4.27	0.794	4.27	0.347
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,065	930	307	57	11	56	2,426	4.26	0.807	4.27	0.338
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	348	439	912	469	190	68	2,426	3.12	1.133	3.12	0.508
	(5)-1	この授業の水準に満足している	1,137	816	339	77	27	30	2,426	4.23	0.889	4.24	0.427
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	55	39	-	-	-	10	104	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	1,194	837	303	49	28	15	2,426	4.29	0.849	4.29	0.385
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	56	16	-	-	-	5	77	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,480	712	192	21	7	14	2,426	4.51	0.705	4.51	0.297
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,405	738	194	50	17	22	2,426	4.44	0.786	4.44	0.371
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,369	704	241	59	39	14	2,426	4.37	0.880	4.37	0.480
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,375	715	218	62	19	37	2,426	4.41	0.822	4.41	0.396
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	34	4	36	-	-	7	81	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,154	818	339	71	24	20	2,426	4.25	0.875	4.25	0.416	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,290	744	255	61	31	45	2,426	4.34	0.866	4.34	0.476	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	1,161	783	275	49	15	143	2,426	4.33	0.818	4.32	0.378
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,174	771	278	34	19	150	2,426	4.34	0.811	4.33	0.363
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	1,261	676	237	35	13	204	2,426	4.41	0.788	4.41	0.356
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	1,270	665	223	45	18	205	2,426	4.41	0.813	4.40	0.397
「語学」 のみ	(17)	1回1回の授業のねらいが明確である	1,102	672	234	59	28	331	2,426	4.32	0.877	4.31	0.405
	(18)	教員は授業時間を有効に活用している	1,154	654	216	40	27	335	2,426	4.37	0.843	4.37	0.394

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 国際社会学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.661(**)	1												
Q3	.582(**)	.540(**)	1											
Q4	.234(**)	.125(**)	.334(**)	1										
Q5	.518(**)	.633(**)	.596(**)	.169(**)	1									
Q6	.482(**)	.605(**)	.495(**)	.112(**)	.749(**)	1								
Q7	.436(**)	.629(**)	.484(**)	.093(**)	.640(**)	.622(**)	1							
Q8	.414(**)	.540(**)	.443(**)	.123(**)	.562(**)	.535(**)	.698(**)	1						
Q9	.470(**)	.605(**)	.521(**)	.131(**)	.732(**)	.703(**)	.723(**)	.683(**)	1					
Q10	.413(**)	.552(**)	.451(**)	.109(**)	.651(**)	.709(**)	.655(**)	.602(**)	.776(**)	1				
Q11	.549(**)	.584(**)	.594(**)	.186(**)	.700(**)	.624(**)	.635(**)	.591(**)	.721(**)	.629(**)	1			
Q12	.518(**)	.632(**)	.566(**)	.133(**)	.766(**)	.705(**)	.732(**)	.670(**)	.804(**)	.721(**)	.812(**)	1		
Q13	.428(**)	.548(**)	.447(**)	.119(**)	.615(**)	.641(**)	.620(**)	.565(**)	.685(**)	.640(**)	.603(**)	.689(**)	1	
Q14	.445(**)	.588(**)	.455(**)	.104(**)	.622(**)	.632(**)	.630(**)	.570(**)	.677(**)	.631(**)	.619(**)	.701(**)	.847(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 国際社会学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.669(**)	1												
Q3	.463(**)	.505(**)	1											
Q4	.214(**)	.235(**)	.322(**)	1										
Q5	.448(**)	.666(**)	.509(**)	.154(**)	1									
Q6	.387(**)	.571(**)	.395(**)	.025	.698(**)	1								
Q7	.450(**)	.623(**)	.417(**)	.111(**)	.665(**)	.617(**)	1							
Q8	.391(**)	.628(**)	.407(**)	.113(**)	.702(**)	.627(**)	.748(**)	1						
Q9	.409(**)	.603(**)	.484(**)	.115(**)	.719(**)	.667(**)	.717(**)	.754(**)	1					
Q10	.362(**)	.584(**)	.423(**)	.111(**)	.656(**)	.653(**)	.700(**)	.789(**)	.792(**)	1				
Q11	.484(**)	.633(**)	.591(**)	.228(**)	.646(**)	.585(**)	.627(**)	.655(**)	.672(**)	.650(**)	1			
Q12	.443(**)	.649(**)	.507(**)	.147(**)	.741(**)	.688(**)	.726(**)	.768(**)	.782(**)	.757(**)	.788(**)	1		
Q15	.352(**)	.588(**)	.447(**)	.129(**)	.598(**)	.521(**)	.613(**)	.642(**)	.633(**)	.623(**)	.585(**)	.645(**)	1	
Q16	.305(**)	.528(**)	.374(**)	.088(**)	.556(**)	.593(**)	.608(**)	.608(**)	.620(**)	.643(**)	.574(**)	.646(**)	.707(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 国際社会学部
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18
Q1	1																	
Q2	.661(**)	1																
Q3	.443(**)	.545(**)	1															
Q4	.130(**)	.114(**)	.288(**)	1														
Q5	.418(**)	.616(**)	.570(**)	.137(**)	1													
Q6	.384(**)	.590(**)	.502(**)	.084(**)	.768(**)	1												
Q7	.351(**)	.563(**)	.495(**)	.099(**)	.634(**)	.636(**)	1											
Q8	.359(**)	.606(**)	.505(**)	.097(**)	.661(**)	.652(**)	.777(**)	1										
Q9	.350(**)	.604(**)	.493(**)	.057(**)	.728(**)	.688(**)	.718(**)	.801(**)	1									
Q10	.312(**)	.574(**)	.444(**)	.060(**)	.663(**)	.685(**)	.650(**)	.715(**)	.807(**)	1								
Q11	.442(**)	.607(**)	.544(**)	.146(**)	.683(**)	.643(**)	.641(**)	.682(**)	.696(**)	.619(**)	1							
Q12	.375(**)	.631(**)	.518(**)	.101(**)	.778(**)	.711(**)	.697(**)	.766(**)	.823(**)	.719(**)	.800(**)	1						
Q13	.353(**)	.611(**)	.481(**)	.063(**)	.622(**)	.592(**)	.609(**)	.668(**)	.682(**)	.630(**)	.647(**)	.701(**)	1					
Q14	.364(**)	.606(**)	.461(**)	.068(**)	.641(**)	.602(**)	.627(**)	.686(**)	.676(**)	.623(**)	.647(**)	.707(**)	.819(**)	1				
Q15	.358(**)	.600(**)	.477(**)	.074(**)	.607(**)	.611(**)	.646(**)	.693(**)	.677(**)	.634(**)	.654(**)	.700(**)	.679(**)	.693(**)	1			
Q16	.353(**)	.612(**)	.478(**)	.081(**)	.638(**)	.630(**)	.668(**)	.711(**)	.721(**)	.654(**)	.680(**)	.745(**)	.713(**)	.708(**)	.819(**)	1		
Q17	.348(**)	.611(**)	.459(**)	.073(**)	.647(**)	.630(**)	.622(**)	.682(**)	.687(**)	.630(**)	.689(**)	.718(**)	.712(**)	.671(**)	.702(**)	.742(**)	1	
Q18	.332(**)	.619(**)	.483(**)	.079(**)	.655(**)	.638(**)	.648(**)	.711(**)	.707(**)	.640(**)	.667(**)	.739(**)	.685(**)	.673(**)	.703(**)	.748(**)	.814(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(5)-1	この授業の水準に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

部門名 国際社会科学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																	
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(5)-1	この授業の水準に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	-	-	-	-	4.68	0.622	4.67	0.239	4.61	0.721	4.59	0.260	4.70	0.618	4.70	0.232	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	-	-	-	-	4.37	0.77	4.36	0.32	4.29	0.83	4.28	0.38	4.40	0.781	4.40	0.344	4.27	0.794	4.27	0.347
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	-	-	-	-	4.36	0.77	4.35	0.26	4.22	0.87	4.21	0.31	4.38	0.785	4.37	0.268	4.26	0.807	4.27	0.338
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	3.04	1.19	3.02	0.55	3.16	1.162	3.14	0.553	3.12	1.133	3.12	0.508
	(5)-1	この授業の水準に満足している	-	-	-	-	4.23	0.91	4.22	0.33	4.04	0.97	4.03	0.41	4.16	0.986	4.17	0.430	4.23	0.889	4.24	0.427
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	-	-	-	-	4.30	0.85	4.29	0.34	4.15	0.90	4.14	0.42	4.27	0.886	4.28	0.415	4.29	0.849	4.29	0.385
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	-	-	-	-	4.61	0.65	4.60	0.27	4.51	0.71	4.50	0.29	4.55	0.743	4.54	0.324	4.51	0.705	4.51	0.297
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	-	-	-	-	4.47	0.74	4.45	0.29	4.40	0.77	4.39	0.33	4.48	0.802	4.48	0.370	4.44	0.786	4.44	0.371
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	-	-	-	-	4.41	0.83	4.40	0.39	4.34	0.86	4.33	0.45	4.39	0.920	4.39	0.530	4.37	0.880	4.37	0.480
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	-	-	-	-	4.43	0.85	4.42	0.40	4.35	0.87	4.33	0.46	4.44	0.858	4.44	0.443	4.41	0.822	4.41	0.396
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	-	-	-	-	4.08	1.00	4.08	0.37	4.02	1.00	4.03	0.40	4.12	0.988	4.12	0.440	4.25	0.875	4.25	0.416
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-	-	-	-	4.33	0.87	4.32	0.38	4.25	0.90	4.24	0.42	4.32	0.917	4.32	0.494	4.34	0.866	4.34	0.476	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	-	-	-	-	4.43	0.76	4.42	0.32	4.27	0.83	4.27	0.38	4.36	0.861	4.37	0.442	4.33	0.818	4.32	0.378
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	-	-	-	-	4.37	0.81	4.37	0.29	4.27	0.84	4.26	0.35	4.36	0.847	4.37	0.372	4.34	0.811	4.33	0.363
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	-	-	-	-	4.47	0.74	4.47	0.30	4.39	0.80	4.39	0.33	4.45	0.800	4.45	0.378	4.41	0.788	4.41	0.356
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	-	-	-	-	4.47	0.73	4.46	0.28	4.34	0.84	4.33	0.38	4.41	0.835	4.41	0.405	4.41	0.813	4.40	0.397
「語学」 のみ	(17)	1回1回の授業のねらいが明確である	-	-	-	-	4.28	0.91	4.27	0.40	4.24	0.91	4.25	0.39	4.33	0.886	4.33	0.415	4.32	0.877	4.31	0.405
	(18)	教員は授業時間を有効に活用している	-	-	-	-	4.35	0.83	4.34	0.34	4.28	0.86	4.28	0.40	4.38	0.855	4.38	0.406	4.37	0.843	4.37	0.394

VI. 計算機センター

計算機センターでは、初等情報処理 1・2、情報処理入門 1・2、情報数理解析入門 1・2、情報処理 1・2・3・4、数値解析及び計算機 I・II、マルチメディア論 1・2、経営科学 I・II の 16 科目に対して、100 クラスを提供しており、うち、初等情報処理科目は 72 クラスを占める。更に、初等情報処理 1 を必修としている学部・学科も多いことから、履修者数では初等情報処理科目が占める割合は更に大きい。このことから、アンケートの集計結果には、初等情報処理科目についての結果が支配的に影響しているものと考えられる。この理解の上で、初等情報処理科目を中心として現状の分析と将来の対応について考えたい。

1. 現状の分析

初等情報処理科目では、主に、以下の 3 項目の内容を講義する。

1. 情報倫理講習、学内ネットワークの使い方、インターネット利用のマナー、インターネットでの身の守り方などの基本知識を含む IT リテラシー
2. Microsoft Office や HTML の書き方など、大学で勉学する上で必要となる基本的なツールの利用方法
3. 学士として知っているべき情報処理の基礎知識

上記のうち 1. は、特に、学内ネットワークインフラを利用する上で最低限必要となる知識を学ぶもので、初等情報処理 1 の単位取得が学内アカウント取得の条件となっていることの根拠である。1. ～3. を見ると、(A) 講義内容が多岐にわたること、かつ、(B) それぞれの内容が学術的に深みを持ち得ないこと、の 2 つの特徴が存在することがわかると思う。それでも、3. については、担当教員がそれぞれ内容を工夫して、少しでも学生が情報技術に興味を持ってもらえるよう工夫を行なっているが、時間数が極限されているので、学生に印象付けるには至っていないと思われる。

以上の情報科目の特徴がアンケートの結果に総体的に反映しており、質問項目 Q5～Q12 において、全学の平均に比較して情報科目の評価が低いことを説明していると思われる。

個別に見てみる。

(Q5)「この授業の水準に満足している」に対して、40%の学生が「どちらとも言えない」～「全くそう思わない」と回答し、満足できない理由として 95%が「水準が高すぎる」と感じている。この理由は、新入生のコンピュータリテラシーが二極化していることに求められる。

インターネットが普及している現在、若年層のコンピュータリテラシーは総体的に底上げされていると思われがちであるが、新入生に対して講義を行なっていると、それは正し

くないことがわかる。確かに、若年層は、スマートフォンの使い方には慣れていて、全員が、フリック入力や画面タッチによるインターフェースに習熟しているが、コンピュータに対するリテラシーは一世代前に比較して退化しているという印象を強く持つ。授業評価アンケートの数字は、約半数の学生のコンピュータリテラシーは非常に低いことを指し示していると思われる。クラスの半数の学生を見ると、コンピュータリテラシーの代表的なバロメータであるキーボードリテラシーでは、タッチタイピング（ブラインドタッチ）ができる学生はほんのわずかしかない。コンピュータが動く仕組みや、OS（基本ソフト）の役割についての知識はほぼ皆無で、というより、全く興味がなく、スマートフォンがコンピュータであるという認識も持っているかも怪しい。コマンドラインからコマンドを入力してコンピュータを操作するという、コンピュータを理解する上で最も基本的な経験もほぼ絶無である。

初等情報処理科目の目的として、上位半数の学生の不満があるとしても、下位半数の学生のレベルに合わせて授業を構成するのが筋であると思うが、講義内容が多岐にわたるという事情により、時間的制約からそうはいかない。その結果が、この項目への回答結果に現れていると解釈できる。

(Q6)「この授業を進める速さは適当である」に対しても同様の結果が得られていて、40%の学生は授業が早すぎると感じている。(Q5)と(Q6)の結果の付合は偶然ではなく、新入生の40%はコンピュータリテラシーが低く、学生のレベルが二極化している事実を示唆している。初等情報処理で教えなければならない内容は多岐にわたる上、一部は実習形式を取らなければならないので、必然講義の速度は早くなる。

(Q7)「教員は熱意を持って授業を行なっている」、(Q8)「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」、(Q9)「教員は理解しやすい授業を行なっている」、(Q10)「教員の話し方は適切である」に対する回答は、学生の授業内容に対する理解の程度とかなりの程度相関する筈である。特に、教員が十分に時間をかけて繰り返し説明を行う余裕がない場合、「通り一遍の説明」と受け取られる蓋然性が高く、これらの質問への回答は否定的なものとなるであろう。上記(A)で述べたように、講義内容が多岐に渡り、個別のテーマに多くの時間を避けないのが初等情報処理の特質であるので、これらの項目において、全科目平均を下回るのは致し方のないことであろう。

(Q11)「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」、(Q12)「総合的に見てこの授業は高く評価できる」に関して全学平均より評価が低くなっている理由は、前記(B)で述べたように、講義で教えなければならない内容自体が学術的に深みを持ち得ないことに主として起因しているように考えられる。

結論として、前記(A)と(B)で述べた、初等情報処理の授業としての特質が、他の科目と比較して学生の評価が低くなる原因であると分析できる。

2. 将来の対応

現状の分析で述べたように、現在の初等情報処理科目の在り方の中で、授業評価アンケートでの評価が必ずしも高くないことは、科目自体の特質・要請に起因するもので、それ自体が本質的問題であるとは考えていない。

最も重要な問題は、現状の初等情報処理の科目が、複数の必ずしも互いに整合しない要求を同時に満たすよう求められている点にある。具体的に述べるならば、現状の分析で整理した 1. ～3. の内容は、独立の目的のもとにあり、また、対象とする学生層を共有する訳ではないので、それぞれ機能分解することが望ましいと考えられる。前記の 1. ～3. の項目について、初等情報処理の教育形態をどのような方向に進めることが望ましいか、個別に述べる。

1. 学内ネットワークインフラの利用アカウントの要件となる IT リテラシーの獲得は、全ての新生児にとって必要な要件である。学内ネットワークを利用できない状態で、他の講義を受講し、卒業研究を遂行することは不可能である。にもかかわらず、必ずしも全ての学生に同じ要求がなされる訳ではない、残りの 2. 3. の内容とセットでの修得を求めることは合理的ではない。また、アカウント取得のために要求される IT リテラシーは、一定レベルをクリアすれば十分で、修得レベルで成績をつけるような扱いには馴染まない。アカウント取得のための講習を、初等情報処理科目から分離し、学生が短期で効率的にアカウントを取得できるようにすることが望ましい。
 - 2.
 3. Microsoft Office のようなツールは、学生毎に受講前のレベルが異なり、また、所属する学部・学科で要求される機能やレベルも異なる。これらのツールは非常に多様な機能を提供するので、その全てを使えるようにすることには逆に意味がなく、本来、実務で使いながら必要な機能を必要なレベルで修得していく性質のものである。講義で教えるならば、ごく基礎的な機能を教えて、ツールを利用する心理的ハードルを下げること、ツールによってどのようなことができるか俯瞰を与えることが必要である。学習方法について言えば、座学の学習効果は低く、講義の中での実習は必須である。以上の考えに基づき、ツールの使い方に関する基礎的な教育を標準化し、標準化された教材で基礎を学んだ上で、担当教員ごとに重要と思われる機能を応用という形で講義する形式が望ましい。
3. 情報処理の基礎知識を獲得することは、データ科学（データサイエンス）を勉強する上での礎となる。データサイエンティストは、現在、そして、将来一定期間にわたって、企業が渴望する人材である。経済産業省や情報処理推進機構（IPA）も、「AI を道具として駆使することができ、かつ、社会的視点からデータ分析を行うことのできる人材」＝データサイエンティストがこれからの企業競争力の源であるものの、日本では将来に渡

って人材不足が明らかであり、人材育成にむけた対策を講じる必要があるとしている。この動向に応じて、データサイエンスの学部・学科を新設する動きが諸大学で顕著であるが、文理融合の学際領域であるという認識が一般である。本学においても、花形の職業であるデータサイエンティストを目指す学生は増えるものと考えられ、初等情報処理科目はそのような希望を持つ学生にとって、勉学を進める最初の一步になる筈である。現状では、アカウント取得・ツール修得のためにさく時間が大きく、情報処理の基礎知識を学び、データサイエンスへの興味を培うための時間は非常に少ない。初等情報処理科目（もしくは、別科目が担うべき役割かもしれないが）は、前述の二つのテーマから独立させ、データサイエンスへの道程にあって、最初のステップとなる科目とするべきであるとする。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

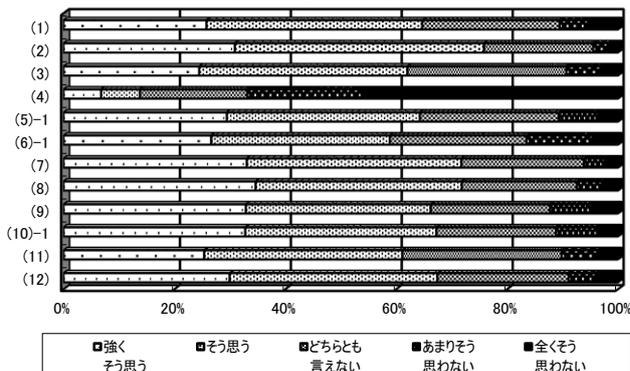
部門名 計算機センター

形態名 講義

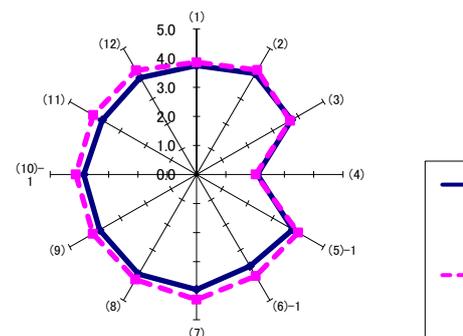
	合計	総履修者数	回答率
回答数	3,452	4,344	79.47%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	科目ベース				
			5	4	3	2	1		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						無回答
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	888	1,341	852	176	187	8	3,452	3.75	1.065	3.80	0.358
			25.72%	38.85%	24.68%	5.10%	5.42%	0.23%	100.00%				
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 22.48%)	793	1,153	505	70	45	110	3,452	4.01	0.879	4.01	0.422
			22.97%	33.40%	14.63%	2.03%	1.30%	3.19%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	832	1,275	974	207	109	55	3,452	3.74	0.998	3.78	0.345
			24.10%	36.94%	28.22%	6.00%	3.16%	1.59%	100.00%				
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	231	237	656	700	1,569	59	3,452	2.07	1.242	2.05	0.519
			6.69%	6.87%	19.00%	20.28%	45.45%	1.71%	100.00%				
	(5)-1	この授業の水準に満足している	1,008	1,190	856	242	124	32	3,452	3.79	1.055	3.84	0.452
			29.20%	34.47%	24.80%	7.01%	3.59%	0.93%	100.00%				
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	243	105	-	-	-	18	366	-	-	-	-
			66.39%	28.69%	-	-	-	4.92%	100.00%				
(6)-1	この授業を進める速さは適切である	912	1,102	844	406	158	30	3,452	3.64	1.130	3.70	0.453	
		26.42%	31.92%	24.45%	11.76%	4.58%	0.87%	100.00%					
(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	443	89	-	-	-	32	564	-	-	-	-	
		78.55%	15.78%	-	-	-	5.67%	100.00%					
(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,136	1,330	758	130	82	16	3,452	3.96	0.957	4.00	0.413	
		32.91%	38.53%	21.96%	3.77%	2.38%	0.46%	100.00%					
(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,186	1,272	710	155	99	30	3,452	3.96	0.997	4.02	0.441	
		34.36%	36.85%	20.57%	4.49%	2.87%	0.87%	100.00%					
(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,128	1,144	737	254	167	22	3,452	3.82	1.116	3.86	0.553	
		32.68%	33.14%	21.35%	7.36%	4.84%	0.64%	100.00%					
(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,120	1,178	737	261	121	35	3,452	3.85	1.071	3.92	0.451	
		32.44%	34.13%	21.35%	7.56%	3.51%	1.01%	100.00%					
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	214	21	132	-	-	15	382	-	-	-	-	
		56.02%	5.50%	34.55%	-	-	3.93%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	873	1,230	988	221	129	11	3,452	3.73	1.030	3.80	0.405	
		25.29%	35.63%	28.62%	6.40%	3.74%	0.32%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,020	1,275	805	164	139	49	3,452	3.84	1.036	3.91	0.482	
		29.55%	36.94%	23.32%	4.75%	4.03%	1.42%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,245	1,232	593	134	87	161	3,452	4.04	0.979	4.06	0.414
			36.07%	35.69%	17.18%	3.88%	2.52%	4.66%	100.00%				
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,243	1,260	604	92	69	184	3,452	4.08	0.929	4.09	0.395
		36.01%	36.50%	17.50%	2.67%	2.00%	5.33%	100.00%					

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 計算機センター
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.605(**)	1												
Q3	.454(**)	.479(**)	1											
Q4	.098(**)	.050(*)	.237(**)	1										
Q5	.436(**)	.619(**)	.483(**)	0.029	1									
Q6	.365(**)	.506(**)	.385(**)	-0.016	.701(**)	1								
Q7	.375(**)	.556(**)	.448(**)	.065(**)	.621(**)	.557(**)	1							
Q8	.385(**)	.571(**)	.445(**)	.059(**)	.652(**)	.594(**)	.767(**)	1						
Q9	.390(**)	.588(**)	.425(**)	0.014	.717(**)	.701(**)	.700(**)	.759(**)	1					
Q10	.353(**)	.514(**)	.372(**)	-0.027	.649(**)	.714(**)	.646(**)	.698(**)	.771(**)	1				
Q11	.461(**)	.543(**)	.508(**)	.102(**)	.628(**)	.553(**)	.592(**)	.607(**)	.629(**)	.574(**)	1			
Q12	.429(**)	.627(**)	.461(**)	0.026	.765(**)	.693(**)	.712(**)	.748(**)	.819(**)	.732(**)	.735(**)	1		
Q13	.371(**)	.569(**)	.392(**)	0.011	.624(**)	.580(**)	.637(**)	.676(**)	.707(**)	.647(**)	.552(**)	.718(**)	1	
Q14	.378(**)	.575(**)	.389(**)	0.01	.602(**)	.557(**)	.604(**)	.645(**)	.669(**)	.595(**)	.537(**)	.682(**)	.816(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度							
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース					
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																				
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.75	1.065	3.80	0.358
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.76	0.585	4.71	0.229	4.78	0.580	4.71	0.252	4.79	0.546	4.74	0.221	4.78	0.573	4.74	0.203	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.12	0.864	4.13	0.353	4.21	0.853	4.22	0.285	4.09	0.898	4.09	0.308	4.12	0.893	4.10	0.374	4.01	0.879	4.01	0.422	-	-	-	-
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.00	0.988	3.99	0.346	4.07	0.984	4.07	0.311	3.93	1.056	3.94	0.302	3.95	1.074	3.94	0.341	3.74	0.998	3.78	0.345	-	-	-	-
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.15	1.351	2.20	0.522	2.01	1.276	2.02	0.489	2.07	1.242	2.05	0.519	-	-	-	-
	(5)-1	この授業の水準に満足している	3.78	1.130	3.74	0.561	3.81	1.150	3.82	0.500	3.74	1.140	3.70	0.518	3.74	1.153	3.70	0.597	3.79	1.055	3.84	0.452	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	3.73	1.112	3.73	0.530	3.73	1.164	3.77	0.459	3.70	1.154	3.68	0.505	3.67	1.165	3.66	0.523	3.64	1.130	3.70	0.453	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	3.97	1.005	4.01	0.487	4.04	0.979	4.10	0.424	3.97	0.993	3.98	0.399	4.02	0.985	4.02	0.511	3.96	0.957	4.00	0.413	-	-	-	-
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	3.98	0.998	4.03	0.434	4.07	0.965	4.13	0.359	3.98	1.006	4.00	0.399	4.03	0.994	4.04	0.460	3.96	0.997	4.02	0.441	-	-	-	-
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.83	1.127	3.83	0.610	3.85	1.146	3.88	0.553	3.84	1.126	3.83	0.531	3.84	1.133	3.83	0.622	3.82	1.116	3.86	0.553	-	-	-	-
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.93	1.050	3.96	0.488	3.94	1.064	3.99	0.410	3.92	1.072	3.94	0.405	3.92	1.082	3.93	0.490	3.85	1.071	3.92	0.451	-	-	-	-
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3.64	1.104	3.71	0.459	3.68	1.118	3.78	0.439	3.64	1.122	3.69	0.379	3.65	1.124	3.70	0.468	3.73	1.030	3.80	0.405	-	-	-	-
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.86	1.046	3.89	0.545	3.87	1.065	3.95	0.479	3.85	1.058	3.86	0.473	3.87	1.041	3.87	0.535	3.84	1.036	3.91	0.482	-	-	-	-	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	4.03	0.970	4.01	0.473	4.12	0.956	4.15	0.382	4.08	0.986	4.07	0.399	4.09	0.978	4.09	0.466	4.04	0.979	4.06	0.414	-	-	-	-
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.07	0.948	4.05	0.433	4.12	0.943	4.14	0.348	4.11	0.955	4.09	0.373	4.12	0.967	4.11	0.427	4.08	0.929	4.09	0.395	-	-	-	-

Ⅶ. 外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの授業評価アンケート実施率は、平成 30（2018）年度は対象とする 508 科目に対して実施 503 科目であり、99.02%であったが、令和元（2019）年度は対象とする 504 科目に対して実施 502 科目であり、99.60%となった。平成 30 年度は未実施科目が 5 科目であったのに対し、令和元年度は 2 科目となり、改善がなされた。

回答率については、令和元年度は前年度の 84.04%から 0.26 ポイント上昇した 84.30%であり、この 5 年間はほぼ 79%以上の数値で推移している。語学科目が、のべ 11,000 人を超える総履修者でも他学部・課程の演習科目並みの回答率を得ているのは、授業の規模が小さいこととの関連が考えられる。

全体として、前年度と比べ、科目ベースではほぼいずれの項目においても下降（Q5 と Q12 は上昇）を示す結果となっているが、大幅な変化は見られない。以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」

この新規項目の科目ベースの平均値は 3.91 であった。今年度より新たに追加された質問項目であるため、前年度との比較はできないが、今年度の全体平均と比較すると 0.06 ポイント低い結果となっている。履修登録時に、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージした上で授業に臨むと、学びの姿勢や学習効果も変わってくると考えられ、より高い教育効果が期待できる。次年度はより高い数値を得られるよう、引き続き、シラバスなどを通して、授業のねらいや目標、内容の周知徹底を行いたい。

Q2「この授業はシラバスに示されていた授業内容と合致している」

この項目の令和元年度の科目ベースの平均値は 4.22 で、前年度 4.33 を 0.11 下回ったが、肯定的な回答の割合は 59.40%に達し、前年度 44.37%より 15.30 ポイント上昇している。また、自分が履修している科目のシラバスを読まなかった学生も 25.40%と、前年度 41.75%より 16.35 ポイント低下し、大幅な改善が見られた。これは、個々の教員が、学生に対しシラバスを読むことの重要性を説明し、シラバスを読んだ上で授業に臨むようさまざまな工夫を凝らしてきた成果と言えよう。引き続き、学生にシラバスを読むよう周知徹底させるだけでなく、我々教員側にも、学生にとって役立つシラバス作成が求められるだろう。

Q3 「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

この項目は、平成 30 年度に科目ベースで平均値 4.13 であったが、令和元年度には平均値 4.03 と下降した。また、平成 30 年度は 77.32%の学生が意欲的に取り組んでいると回答した（「強くそう思う」、「そう思う」）のに対し、令和元年度は 73.08%と 4.24 ポイント低くなっている。引き続き、課題や小テスト等により、学生自身が授業に意欲的に取り組んでいることを自覚できる環境づくりを進めていく必要がある。

Q4 「私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間」

この項目は、3 時間以上が前年度 6.98%から 1.31 ポイント低下し 5.67%、2 時間以上 3 時間未満が前年度 7.77%から 0.25 ポイント増加し 8.02%、1 時間以上 2 時間未満が前年度 24.79%から 1.03 ポイント増加し 25.82%、30 分以上 1 時間未満が前年度 29.58%から 2.34 ポイント増加し 31.92%、30 分未満が前年度 29.60%から 2.7 ポイント低下し 26.90%という結果になった。前年度に比べ、30 分未満の数値が若干改善され、30 分以上～3 時間未満の数値が概ね上昇した。語学は日々の積み重ねが重要であるため、30 分未満の数値のさらなる改善と、引き続き、課題や小テストなどにより、学生自身が普段から語学修得に取り組むよう教員が工夫することが必要であろう。

Q5-1 「この授業の水準に満足している」

Q5-2 「授業の水準について、どのように感じましたか」

Q5-1 に関しては、適切であると回答した（「強くそう思う」、「そう思う」）学生の割合も、前年度 77.41%から 1.52 ポイント上昇し、78.93%となっている。開講されている授業のレベルは概ね適切なものと言えよう。

Q5-2 に関しては、上の質問項目で否定的な回答をした者のうち、平成 30 年度は「難しすぎる」72.73%、「易しすぎる」24.11%、無回答 3.16%であったが（平成 30 年度は、「授業のレベルについて、どのように感じていましたか」という質問に対し「難しすぎる」「易しすぎる」という選択肢であった）、令和元年度は「高すぎる」50.12%、「低すぎる」42.58%、無回答 7.30%となり、前年度に比べ低すぎると感じている学生が増えている。いずれにせよ、のべ 411 名の学生が、授業のレベルに不満を感じており、習熟度別クラスなどが今後増やせれば、改善ができるかもしれない。

Q6-1 「この授業を進める速さは適切である」

Q6-2 「授業を進める速さについて、どのように感じましたか」

この項目も、肯定的な回答をする学生の割合は 81.16%であり、前年度 80.93%より 0.23 ポイント上昇している。否定的な回答も 4.22%となっていることから、概ね適切な速さで授業が進められていると考えることができる。「どちらとも言えない」という回答は 14.22%で、前年度 14.32%よりも 0.1 ポイント低くなっている。

Q7「教員は熱意を持って授業を行っている」

この項目の科目ベースの平均値は 4.45 で、前年度 4.50 を 0.05 下回り、肯定的な回答の割合は 89.62%と前年度 89.84%よりわずかに低下した。否定的な回答の割合は 1.39%と前年度 1.59%とほぼ同程度に留まっており、前年度同様に熱意をもって授業を行っている教員が多いと学生に認められていると考えてよいだろう。

Q8「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」

この項目も、肯定的な回答の割合は 87.25%であり、前年度の 86.94%よりやや高い数値となっている。肯定的な回答が 85%を超えているということから、概ね授業環境は良好といえそうである。

Q9「教員は理解しやすい授業を行っている」

この項目の科目ベースの平均値は 4.32 であり、前年度の 4.36 を若干下回ったものの、この 5 年間いずれも 4.3 以上の数値を維持している。肯定的な回答の割合が 84.88%と、前年度 84.5%より 0.38 ポイント上昇している。引き続きさらなる工夫をしていく必要があるだろう。

Q10-1「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」

Q10-2「教員の話し方について、どのように感じましたか」

この項目は科目ベースの平均値が 4.33 となっており、前年度を 0.05 下回った。また、肯定的な回答の割合が 84.61%で、前年度 84.09%より 0.52 ポイントの上昇が見られ、否定的な回答の割合は 3.28%と前年度 3.63%より 0.35 ポイントの下降を示している。この項目については、ここ数年にわたって見ると数値の変化は大きくなく、教員は概ね適切な話し方をしていると考えてよいだろう。ただ、「どちらとも言えない」という回答も 10.97%あり、教員が話し方を改善すべき余地はまだ残されていると思われる。

具体的には、Q10-2 を見ると改善方法が分かる。およそ 3%にあたる者が回答しているが、「速すぎる」と答えた者が 107 名 (9,672 名中)、「その他／聞き取りにくい」と答えた者が 165 名 (9,672 名中) であった。外国語教育研究センターの授業は、日本人教員による日本語、日本人教員による外国語、外国人教員による外国語、外国人教員による日本語など多様であるため、具体的に何が速すぎ、何が聞き取りにくいのかは一概にはいえないが、個々の教員がアンケートの結果から改善してくれることを期待する。

例年、Q10「教員の話し方は適切である」と Q9「教員は理解しやすい授業を行っている」の相関係数の値は高く、理解しやすい授業であることと教員の話し方が適切であることは関連性が高いことが分かる。これは、教員の話し方の工夫により学生の理解度が上がることを意味しており、教員がさらに適切な話し方をすることが求められるであろう。

Q11 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.13 で、前年度 4.10 より 0.03 上昇した。肯定的な回答の割合も 77.46%と前年度の 73.87%から 3.59 ポイント上昇し、否定的な回答の割合は 4.68%で昨年度の 5.97%から 1.29 ポイント下降した。また「どちらとも言えない」の数値は 17.39%で前年度 19.72%より 2.33 ポイント下降している。いずれも改善に向かいつつあるが、引き続きさらなる工夫をしていく必要がある。

初習言語の場合、基礎的な発音練習や会話練習、文法練習に時間が割かれることが多く、知的好奇心が刺激される段階まではなかなか達しにくいことも影響していると思われる。そのような状況の中で、学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会を作るためには、その言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことが一つの手段となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからである。

Q12 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.29 と前年度 4.33 より 0.04 低くなっている。また、肯定的な回答の割合が前年度より 1.07 ポイント低い 82.93%、否定的な回答の割合が前年度より 0.05 ポイント低い 3.44%と、数値が若干改善した。概ね学生は授業を高く評価しているといえる範囲だろう。

この項目と最も相関が強いのは、**Q9**「教員は理解しやすい授業を行っている」の.806(相関係数)、次いで **Q5**「この授業の水準に満足している」の.751、**Q8**「教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している」の.749、**Q11**「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の.748、**Q10**「教員の話し方は適切である」の.742、**Q18**「教員は授業時間を有効に活用している」の.729、**Q17**「1回1回の授業のねらいが明確である」の.700 となっている。つまり、総合的に評価が高い授業とは、話し方が適切で理解しやすく、授業の水準や授業時間の使い方が適切で、かつ知的好奇心が刺激され、毎回のねらいが明確な授業であるといえる。このような授業を提供できるようにするには、熱意のある教員をさらに支援できる体制を確立する必要がある。

Q13 「板書の仕方やスライドの提示の仕方は適切である」

科目ベースの平均値は 4.25 となっており、前年度 4.31 より 0.06 低下した。肯定的な回答の割合は全体の 79.26%に達し、前年度より 0.72 ポイント低い。「どちらとも言えない」との回答が 14.41%に上ることから、まだ改善の余地があると思われる。授業における教員の一層の努力と工夫とともに、使用しやすい機器をはじめとするハード面での授業環境の改善もさらに求められるであろう。

Q14 「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」

科目ベースの平均値は 4.31 と、前年度 4.39 より 0.08 低下した。肯定的な回答の割合も 82.36%であり、前年度 82.93%より低い結果となった。概ね学生の要望や期待を満たすことはできていると思われるが、数値のさらなる低下を防ぐためには教員の事前準備を含む一層の努力が求められるであろう。

Q15 「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた」

科目ベースの平均値は 4.29 であり、前年度 4.36 よりも 0.07 低い数値であった。肯定的な回答の割合は 78.32%で、前年度 79.16%より 0.84 ポイント低下している。「どちらとも言えない」との回答は 12.67%と前年度 11.16%よりも 1.51 ポイント増加している。初習言語の場合はドリル的な練習が多いことから、学生が活発に発言や議論を行っているとは感じ取りにくい場合や、一方で、学生が発言する機会が不十分な可能性もあることから、今後も数値の変動を確認していく必要があるだろう。

Q16 「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」

科目ベースの平均値は 4.30 で、前年度 4.35 より 0.05 低い数値であった。肯定的な回答の割合は 78.76%で、前年度の 78.18%より 0.58 ポイント高い。否定的な回答の割合は 2.83%と前年度の 3.03%より 0.2 ポイント低くなった。これらのことから教員の多くは学生の学習をしっかりと支援していることがうかがえる。この数値をさらに高いものにするためには、例文の暗唱、音読、プレゼンテーションやレポート、グループワーク等、語学の授業ならではの特徴を活かした課題を用いていくことが求められるであろう。

Q17 「1回1回の授業のねらいが明確である」

科目ベースの平均値は 4.22 となり、前年度 4.28 と比べて若干低い数値であったが、肯定的な回答の割合は 81.94%と、前年度 75.31%よりも 6.63 ポイント上昇した。概ね改善傾向にあるが、講読の授業の場合、一年を通した授業全体としてのねらい・目標は明確であっても、一回一回の授業のねらい・目標は意識されないことも多いと思われる。引き続き教員側が意識的にねらい・目標を明確に示し、学生に伝えていくことも必要となるであろう。

Q18 「教員は授業時間を有効に活用している」

科目ベースの平均値は 4.29 と、前年度 4.35 より 0.06 低い。しかし、肯定的な回答の割合は 84.33%と、前年度 78.55%から 5.78 ポイント上昇しており、概ね授業時間は有効に活用されているといえそうである。ただし、無回答が 7.36%と比較的高い数値を示しており、教員がさらに努力を重ねていく必要があるであろう。

2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学科目では、全般的に学生からの評価は肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示す項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余地がある項目も見受けられる。従って、今後も継続して授業をより良いものにしていくための、教員の努力と環境の整備が求められるだろう。

学生のモチベーションを強化するためには、学部学科の履修規定を見直し、必修単位に認められる語学科目を増やすなどの方法も考えられる。

授業をより良いものにしていくためには、カリキュラムの見直しや、さらなる少人数教育の強化といった大きなものから、指導法の工夫やテキストの選択等の比較的小さな改善まで、様々なレベルの手段がある。中でも、学生の語学力を伸ばしていくには、さらなる少人数教育の徹底が特に重要である。

また、英語に関しては習熟度別クラス編成が必要となってくるであろう。本学ではすべての1年生が入学時に TOEIC を受験しているが、この結果から、入学時の英語習熟度にかんがりの開きが見られるようになってきていることが分かる。この TOEIC のスコアを活用することで、習熟度別クラス編成を行うことが可能である。

習熟度別クラス編成は、平成 27 (2015) 年度より法学部法学科 (1 年生) で導入され、現在、法学部と理学部の全学科で実施されているが、結果、担当教員からは授業が行いやすくなったという感想が出ている。学生側から見ても適切な授業レベルを保証するものとして受け入れられているかを確認する必要があるが、全学的に習熟度別クラス編成が行われれば、さらなる教育効果の向上が望めることにもなるだろう。

また、現在の授業評価アンケートはすべてマークシート方式となっており、数値による分析のみが行われている。学生が具体的に何を語学科目に求めているのかを確認するためにも、今後、記述式の項目を取り入れ、学生が具体的な意見を述べる機会を提供することも検討が必要ではないかと思われる。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

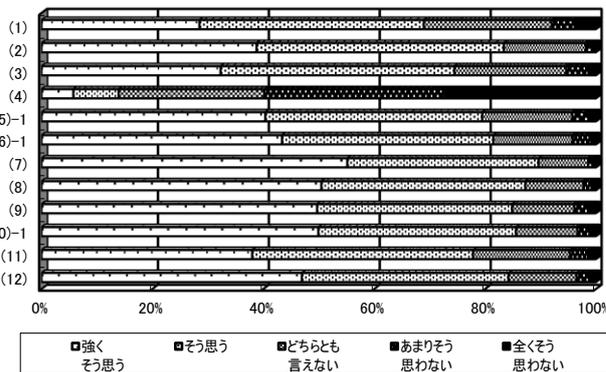
部門名 外国語教育研究センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	9,672	11,473	84.30%

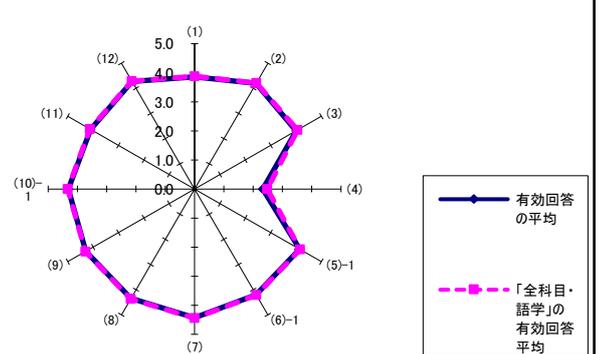
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	2,750 28.43%	3,906 40.38%	2,225 23.00%	401 4.15%	369 3.82%	21 0.22%	9,672 100.00%	3.86	1.003	3.91	0.352
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 24.26%)	2,673 27.64%	3,072 31.76%	1,018 10.53%	87 0.90%	40 0.41%	436 4.51%	9,672 100.00%	4.20	0.774	4.22	0.311
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3,066 31.70%	4,002 41.38%	1,913 19.78%	380 3.93%	129 1.33%	182 1.88%	9,672 100.00%	4.00	0.898	4.03	0.329
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	548 5.67%	776 8.02%	2,497 25.82%	3,087 31.92%	2,602 26.90%	162 1.67%	9,672 100.00%	2.33	1.129	2.34	0.500
	(5)-1	この授業の水準に満足している	3,877 40.08%	3,758 38.85%	1,559 16.12%	292 3.02%	119 1.23%	67 0.69%	9,672 100.00%	4.14	0.882	4.17	0.366
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	206 50.12%	175 42.58%	-	-	-	30 7.30%	411 100.00%	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4,179 43.21%	3,671 37.95%	1,375 14.22%	325 3.36%	83 0.86%	39 0.40%	9,672 100.00%	4.20	0.866	4.22	0.363
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	223 54.66%	158 38.73%	-	-	-	27 6.62%	408 100.00%	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	5,315 54.95%	3,321 34.34%	866 8.95%	86 0.89%	48 0.50%	36 0.37%	9,672 100.00%	4.43	0.734	4.45	0.307
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4,850 50.14%	3,536 36.56%	1,009 10.43%	140 1.45%	76 0.79%	61 0.63%	9,672 100.00%	4.35	0.787	4.37	0.336
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4,784 49.46%	3,386 35.01%	1,082 11.19%	244 2.52%	130 1.34%	46 0.48%	9,672 100.00%	4.29	0.864	4.32	0.418
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4,774 49.36%	3,409 35.25%	1,061 10.97%	210 2.17%	107 1.11%	111 1.15%	9,672 100.00%	4.31	0.838	4.33	0.385
	(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	107 33.75%	25 7.89%	165 52.05%	-	-	20 6.31%	317 100.00%	-	-	-	-
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,658 37.82%	3,834 39.64%	1,682 17.39%	311 3.22%	141 1.46%	46 0.48%	9,672 100.00%	4.10	0.898	4.13	0.373
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,473 46.25%	3,548 36.68%	1,170 12.10%	222 2.30%	110 1.14%	149 1.54%	9,672 100.00%	4.27	0.848	4.29	0.398	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4,042 41.79%	3,624 37.47%	1,394 14.41%	194 2.01%	84 0.87%	334 3.45%	9,672 100.00%	4.22	0.837	4.25	0.356
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	4,360 45.08%	3,611 37.33%	1,108 11.46%	158 1.63%	83 0.86%	352 3.64%	9,672 100.00%	4.29	0.807	4.31	0.339
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4,359 45.07%	3,216 33.25%	1,225 12.67%	212 2.19%	90 0.93%	570 5.89%	9,672 100.00%	4.27	0.851	4.29	0.402
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4,298 44.44%	3,319 34.32%	1,202 12.43%	174 1.80%	100 1.03%	579 5.99%	9,672 100.00%	4.27	0.841	4.30	0.390
「語学」 のみ	(17)	1回1回の授業のねらいが明確である	3,908 40.41%	3,288 34.00%	1,412 14.60%	265 2.74%	106 1.10%	693 7.17%	9,672 100.00%	4.18	0.885	4.22	0.403
	(18)	教員は授業時間を有効に活用している	4,209 43.52%	3,347 34.61%	1,060 10.96%	214 2.21%	130 1.34%	712 7.36%	9,672 100.00%	4.26	0.864	4.29	0.397

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18
Q1	1																	
Q2	.652(**)	1																
Q3	.465(**)	.522(**)	1															
Q4	.177(**)	.130(**)	.301(**)	1														
Q5	.400(**)	.623(**)	.515(**)	.117(**)	1													
Q6	.352(**)	.588(**)	.468(**)	.074(**)	.746(**)	1												
Q7	.350(**)	.593(**)	.461(**)	.078(**)	.621(**)	.610(**)	1											
Q8	.355(**)	.599(**)	.482(**)	.086(**)	.644(**)	.637(**)	.779(**)	1										
Q9	.348(**)	.608(**)	.468(**)	.070(**)	.698(**)	.685(**)	.730(**)	.789(**)	1									
Q10	.333(**)	.583(**)	.442(**)	.051(**)	.655(**)	.689(**)	.670(**)	.723(**)	.809(**)	1								
Q11	.446(**)	.580(**)	.524(**)	.150(**)	.628(**)	.575(**)	.607(**)	.630(**)	.654(**)	.604(**)	1							
Q12	.383(**)	.625(**)	.504(**)	.085(**)	.751(**)	.704(**)	.716(**)	.749(**)	.806(**)	.742(**)	.748(**)	1						
Q13	.388(**)	.600(**)	.468(**)	.093(**)	.629(**)	.623(**)	.631(**)	.668(**)	.694(**)	.666(**)	.604(**)	.664(**)	1					
Q14	.373(**)	.605(**)	.470(**)	.083(**)	.648(**)	.633(**)	.634(**)	.656(**)	.690(**)	.658(**)	.603(**)	.699(**)	.783(**)	1				
Q15	.345(**)	.541(**)	.449(**)	.075(**)	.588(**)	.580(**)	.630(**)	.662(**)	.650(**)	.627(**)	.579(**)	.665(**)	.645(**)	.652(**)	1			
Q16	.362(**)	.567(**)	.459(**)	.071(**)	.608(**)	.608(**)	.637(**)	.685(**)	.691(**)	.663(**)	.612(**)	.699(**)	.682(**)	.681(**)	.772(**)	1		
Q17	.403(**)	.613(**)	.473(**)	.113(**)	.631(**)	.614(**)	.620(**)	.658(**)	.681(**)	.646(**)	.639(**)	.700(**)	.691(**)	.684(**)	.667(**)	.710(**)	1	
Q18	.358(**)	.604(**)	.467(**)	.100(**)	.635(**)	.649(**)	.645(**)	.700(**)	.699(**)	.660(**)	.616(**)	.729(**)	.689(**)	.684(**)	.683(**)	.719(**)	.773(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度							
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース					
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																				
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.86	1.003	3.91	0.352
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.59	0.712	4.56	0.271	4.64	0.669	4.62	0.246	4.65	0.668	4.62	0.239	4.68	0.645	4.65	0.228	-	-	-	-	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.32	0.788	4.31	0.357	4.39	0.771	4.39	0.363	4.29	0.802	4.31	0.355	4.32	0.818	4.33	0.350	4.20	0.774	4.22	0.311	-	-	-	-
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.11	0.847	4.12	0.309	4.18	0.840	4.19	0.296	4.06	0.927	4.07	0.315	4.12	0.927	4.13	0.327	4.00	0.898	4.03	0.329	-	-	-	-
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.34	1.199	2.36	0.520	2.32	1.183	2.35	0.527	2.33	1.129	2.34	0.500	-	-	-	-
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.18	0.878	4.18	0.373	4.21	0.892	4.22	0.380	4.06	0.940	4.08	0.402	4.14	0.921	4.15	0.374	4.14	0.882	4.17	0.366	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.23	0.863	4.24	0.377	4.28	0.845	4.29	0.365	4.16	0.887	4.17	0.389	4.23	0.882	4.24	0.381	4.20	0.866	4.22	0.363	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.48	0.721	4.49	0.316	4.50	0.717	4.52	0.317	4.44	0.747	4.45	0.331	4.49	0.739	4.50	0.308	4.43	0.734	4.45	0.307	-	-	-	-
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.36	0.787	4.38	0.328	4.41	0.784	4.43	0.320	4.35	0.806	4.38	0.346	4.40	0.802	4.43	0.321	4.35	0.787	4.37	0.336	-	-	-	-
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.30	0.863	4.32	0.423	4.35	0.856	4.37	0.411	4.31	0.882	4.33	0.455	4.34	0.880	4.36	0.418	4.29	0.864	4.32	0.418	-	-	-	-
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.34	0.835	4.36	0.380	4.38	0.838	4.39	0.395	4.34	0.840	4.36	0.395	4.35	0.856	4.38	0.384	4.31	0.838	4.33	0.385	-	-	-	-
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.07	0.931	4.10	0.402	4.11	0.936	4.13	0.388	4.02	0.987	4.05	0.432	4.07	0.976	4.10	0.399	4.10	0.898	4.13	0.373	-	-	-	-
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.31	0.845	4.33	0.412	4.35	0.836	4.36	0.399	4.28	0.870	4.30	0.436	4.31	0.866	4.33	0.409	4.27	0.848	4.29	0.398	-	-	-	-	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	4.23	0.844	4.25	0.376	4.29	0.833	4.31	0.363	4.23	0.863	4.25	0.381	4.29	0.861	4.31	0.347	4.22	0.837	4.25	0.356	-	-	-	-
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.32	0.810	4.33	0.352	4.37	0.805	4.38	0.343	4.30	0.824	4.32	0.355	4.37	0.823	4.39	0.332	4.29	0.807	4.31	0.339	-	-	-	-
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.29	0.858	4.32	0.411	4.34	0.841	4.36	0.380	4.28	0.875	4.31	0.414	4.34	0.856	4.36	0.395	4.27	0.851	4.29	0.402	-	-	-	-
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.29	0.848	4.32	0.401	4.34	0.832	4.36	0.363	4.27	0.863	4.30	0.415	4.32	0.861	4.35	0.383	4.27	0.841	4.30	0.390	-	-	-	-
「語学」 のみ	(17)	1回1回の授業のねらいが明確である	4.22	0.873	4.25	0.397	4.27	0.869	4.30	0.370	4.21	0.887	4.24	0.403	4.24	0.904	4.28	0.388	4.18	0.885	4.22	0.403	-	-	-	-
	(18)	教員は授業時間を有効に活用している	4.30	0.847	4.32	0.383	4.34	0.836	4.36	0.359	4.28	0.859	4.31	0.386	4.33	0.865	4.35	0.367	4.26	0.864	4.29	0.397	-	-	-	-

VIII. スポーツ・健康科学センター

1. 項目別

Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」については、平均値 4.13 であり、「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生は 78.45%であった。本センターで開講している授業において扱っているスポーツ種目は一般的にもなじみのあるものが多く、学生もイメージが付きやすかったのではないかと考える。

Q2「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」については、平均値 4.46 と高めの評価であった。実技科目は履修者の技能レベルによって内容を臨機応変に変えていく必要が生じるが、その中でも各教員がシラバス内容から外れすぎないようにうまく運営できたことが伺えるように思う。

Q3「私は、この授業に意欲的に取り組んでいる」については、平均値 4.40 であった。86.98%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答おり、授業実施者としても嬉しく思う。今後は「どちらともいえない」「あまりそうは思わない」「全くそう思わない」と回答した学生にとっても必要な知識の習得とともに、充実感や達成感を持ってもらい意欲的に授業に参加してもらえるような工夫が必要であると考えられる。

Q4「私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間（予習復習・課題作成等を含む）は、一週間あたり平均で」は、平均値 1.70 で、「30分未満」と回答した学生が 75.30%と最も多かった。実技種目であるため、種目の用語やゲームのルールを学習することなどを課題としているが、実際に学習している学生は少ないようである。

Q5「この授業の水準に満足している」については、平均値 4.55 であった。91.89%の学生が、「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、「どちらともいえない」が 6.52%、「あまりそう思わない」1.08%も注目すべき点であると思われる。履修する学生はスポーツ経験者から初心者まで、また、体力レベルの高い者から低いものまで幅広い。実技という特性から、非常に難しいことではあるが、いずれの学生に対しても適切なレベルで授業を展開できるような技量を身に着けることが教員には求められるのではないと思われる。

Q5-2「授業の水準について、どのように感じましたか」については、Q5においてネガティブに回答した 23名のうち 11名（47.83%）が「高すぎる」、12名（52.17%）が「低すぎる」と回答している。

Q6「この授業を進める速さは適切である」については、平均値 4.58 と高い評価を受けている。学生の反応や技術の習得具合、各授業に対するリアクションペーパー等の内容から授業ごとに進度を調整していると思われる。今後も、適切な進度となるよう努めたい。

Q6-2「授業を進める速さについて、どのように感じましたか」については、Q6においてネガティブに回答した 10名のうち 7名（70.00%）が「速すぎる」、3名（30.00%）が「遅

すぎる」と回答している。

Q7「教員は熱意を持って授業を行っている」については、平均値 4.68 と高い評価を受けている。95.25%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。今後も熱意を持って授業に臨めるようにしていきたい。

Q8「教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している」については、平均値 4.65 と高い評価を受けている。94.17%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。また、「どちらとも言えない」と回答した学生も 4.94%存在しており、引き続き学習にふさわしい状況を保てるよう努めていきたい。

Q9「教員は理解しやすい授業を行っている」については、平均値 4.64 と高い評価を受けている。94.18%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。実技科目の特性上、視覚的に課題の情報を捉えることによって、学習が進められることが多いと思われるが、言語による教示や適切な資料の配布など、理解しやすい授業となるよう努めていきたい。

Q10「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」については、平均値 4.68 と高い評価を受けている。95.02%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。グラウンドや体育館、テニスコートといった教場が広く声が届きづらい状況ではあるが、集合のさせ方や話し方に工夫をし、適切な話し方となるよう努めていきたい。

Q10-2「教員の話し方について、どのように感じましたか」については、Q10においてネガティブに回答した7名のうち2名が「速すぎる」、5名が「その他/聞き取りにくい」と回答している。

Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」については、平均値 4.39 と他の項目に比べてやや低めの回答であった。実技種目の特性上、実際の活動に主眼が置かれがちであるが、科学的なトレーニング方法の紹介や、効果的な技能習得方法の提示（様々な練習ドリルの紹介）、スポーツ種目にまつわる歴史やルールの解説など、学生に興味や関心を持たせることも必要であると思われる。教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、平均値 4.62 であった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計は 93.41%であり、かなり高い評価を受けていると考えられる。今回の評価に甘んじることなく更なる改善に向けて努力していかなければならない。

Q21「運動量は」については、平均値 4.51 であった。91.73%の学生が「十分」「おおむね十分」と回答している。また、「どちらとも言えない」と回答した学生が 5.96%いる。経験者、初心者、体力のある者ない者ともに十分な運動量を確保できるような授業となるよう努めたい。

Q22「体力・健康状態が改善された」については、平均値は 4.25 と他の項目と比較して

やや低い評価となった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 79.86%と他の項目に比較してやや低い数値となった。週間頻度 2～3 回の運動実践が体力向上に必要なであるとされていることから、週 1 回の授業のみでの効果は小さいと思われる。履修することによって、授業外での自発的な運動実践に結びつく指導ができるよう努めたい。

Q23「運動技術が向上した」については、平均値 4.30 であった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 82.89%であった。「どちらとも言えない」と回答した学生が 13.88%おり、また、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は合わせて 3.22%となる。初心者レベルから向上しなかったのか、それともある程度のレベルから向上しなかったのかは、不明である。一斉指導では様々なレベルの学生に対応することは困難ではあるが、より多くの学生の技術が向上するよう努めていきたい。

Q24「履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた」については、平均値 4.40 であった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 85.48%であった。

Q25「身体・運動に対する関心が高まった」については、平均値 4.35 であった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が 84.40%であった。Q9とも関連することであるが、教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q26「自分の身体の健康・体力の再認識ができた」については、平均値 4.48 であった。例年、第一学期中に受講者全員を対象として体力テストを実施している。その結果のフィードバックの方法をさらに向上させることによって、この項目に対する認識がさらに深まるものと期待できる。

Q27「自分の生活習慣を見直す機会となった」については、平均値 4.29 とやや低めの数値であった。学生の時期は一般的に健康に対して無関心なこともあり、授業そのものが本学学生のライフスタイルに及ぼす影響は小さいかもしれないが、授業で運動や栄養・休養の重要性については言及し、健康的な生活習慣が身につくよう指導していきたい。

Q28「施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた」については、平均値 4.64 と比較的高い評価となった。施設については、グラウンドの人工芝化など比較的好条件の中で授業が行われていると考えられるが、雨天時の体育館更衣室から卓球場への移動や、テニスコートにおける暑熱環境下への対策など改善していくべき点もあると考えられる。用具についても、受講者数、破損、劣化具合を考慮して適宜整備していきたい。

2. 学年別

Q21～Q28 の質問項目について、強くそう思うと回答した割合は、学年が高くなるにつれて高くなる傾向がみられた。学部 1 年生では 50%前後、学部 4 年生では 80%前後が強くそう思うと回答している。これは、1 年生は文学部・理学部の選択必修として受講している者が多く、基礎体力作りや基本的な技術練習からスタートする科目が多いが、上級生は

選択科目として受講している者が多く、試合形式の実技が多く実施されていることなどが影響していると思われる。また、本アンケートに対する姿勢として、低学年ほど真剣に回答しており、上級生になるほど項目を熟読せず「(5)」の欄（強くそう思う）を機械的にマークして提出しているような様子も感じられ、アンケートの実施に際して、真剣に取り組ませるような配慮も必要ではないかと思われる。

3. 相関係数から

相関係数が 0.7 以上の項目は、Q5「この授業の水準に満足している」と Q6「この授業を進める速さは適切である」Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q6「この授業を進める速さは適切である」と Q8「教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している」Q9「教員は理解しやすい授業を行っている」Q10「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q7「教員は熱意を持って授業を行っている」と Q8「教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している」Q9「教員は理解しやすい授業を行っている」Q10「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q8「教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している」と Q9「教員は理解しやすい授業を行っている」Q10「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q10「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q10「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」と Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q22「体力・健康状態が改善された」と Q23「運動技術が向上した」、Q23「運動技術が向上した」と Q24「履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた」Q25「身体・運動に対する関心が高まった」、Q24「履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた」と Q25「身体・運動に対する関心が高まった」、Q25「身体・運動に対する関心が高まった」と Q26「自分の身体の健康・体力の再認識ができた」、Q26「自分の身体の健康・体力の再認識ができた」と Q27「自分の生活習慣を見直す機会となった」であった。

4. 経年比較から

過去 5 年間の経年変化において、特に目立つ変化のある項目はなかった。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

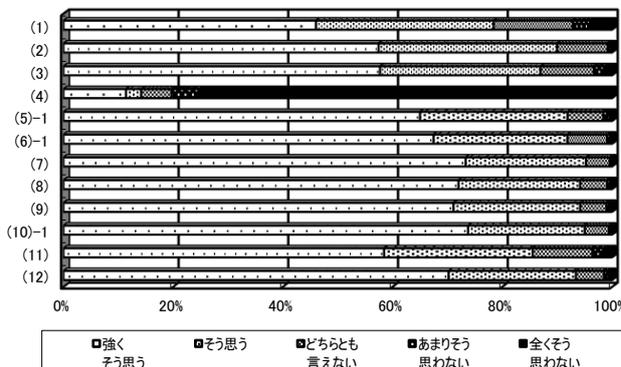
部門名 スポーツ・健康科学センター

形態名 演習

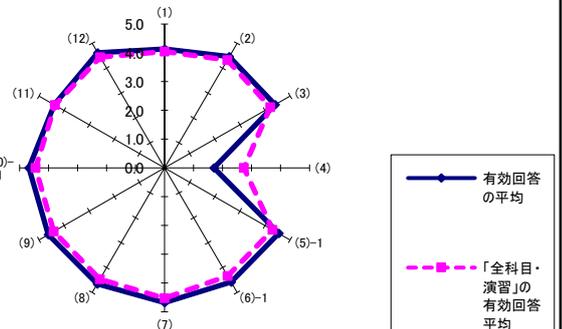
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,588	1,933	82.15%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	731 46.03%	514 32.37%	228 14.36%	50 3.15%	64 4.03%	1 0.06%	1,588 100.00%	4.13	1.037	4.23	0.415
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 24.24%)	643 40.49%	364 22.92%	103 6.49%	7 0.44%	2 0.13%	84 5.29%	1,588 100.00%	4.46	0.702	4.52	0.306
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	900 56.68%	456 28.72%	151 9.51%	31 1.95%	21 1.32%	29 1.83%	1,588 100.00%	4.40	0.846	4.46	0.325
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	178 11.21%	43 2.71%	87 5.48%	77 4.85%	1,174 73.93%	29 1.83%	1,588 100.00%	1.70	1.363	1.80	0.682
	(5)-1	この授業の水準に満足している	1,027 64.67%	424 26.70%	103 6.49%	17 1.07%	8 0.50%	9 0.57%	1,588 100.00%	4.55	0.710	4.60	0.287
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	11 44.00%	12 48.00%	-	-	-	2 8.00%	25 100.00%	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	1,063 66.94%	384 24.18%	114 7.18%	8 0.50%	6 0.38%	13 0.82%	1,588 100.00%	4.58	0.682	4.63	0.265
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	7 50.00%	3 21.43%	-	-	-	4 28.57%	14 100.00%	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,159 72.98%	346 21.79%	68 4.28%	4 0.25%	3 0.19%	8 0.50%	1,588 100.00%	4.68	0.585	4.72	0.242
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,137 71.60%	349 21.98%	78 4.91%	8 0.50%	6 0.38%	10 0.63%	1,588 100.00%	4.65	0.635	4.70	0.269
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,125 70.84%	365 22.98%	76 4.79%	7 0.44%	9 0.57%	6 0.38%	1,588 100.00%	4.64	0.650	4.68	0.270
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,154 72.67%	332 20.91%	69 4.35%	4 0.25%	5 0.31%	24 1.51%	1,588 100.00%	4.68	0.600	4.72	0.253
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	2 22.22%	0 0.00%	5 55.56%	-	-	2 22.22%	9 100.00%	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	922 58.06%	427 26.89%	171 10.77%	33 2.08%	24 1.51%	11 0.69%	1,588 100.00%	4.39	0.874	4.46	0.385	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,098 69.14%	362 22.80%	80 5.04%	14 0.88%	9 0.57%	25 1.57%	1,588 100.00%	4.62	0.680	4.67	0.302	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	627 39.48%	296 18.64%	196 12.34%	16 1.01%	20 1.26%	433 27.27%	1,588 100.00%	4.29	0.916	4.41	0.445
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	717 45.15%	298 18.77%	123 7.75%	9 0.57%	7 0.44%	434 27.33%	1,588 100.00%	4.48	0.763	4.56	0.342
スポーツ・ 健康科学科目	(21)	運動量は 5:十分 4:おおよそ十分 3:どちらとも言えない 2:やや不足 1:不十分	883 55.60%	426 26.83%	85 5.35%	30 1.89%	3 0.19%	161 10.14%	1,588 100.00%	4.51	0.722	4.56	0.300
	(22)	体力・健康状態が改善された	696 43.83%	442 27.83%	249 15.68%	23 1.45%	15 0.94%	163 10.26%	1,588 100.00%	4.25	0.872	4.34	0.391
	(23)	運動技術が向上した	728 45.84%	454 28.59%	198 12.47%	33 2.08%	13 0.82%	162 10.20%	1,588 100.00%	4.30	0.858	4.39	0.392
	(24)	履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた	830 52.27%	389 24.50%	168 10.58%	23 1.45%	16 1.01%	162 10.20%	1,588 100.00%	4.40	0.841	4.46	0.356
	(25)	身体や運動に対する関心が高まった	797 50.19%	404 25.44%	173 10.89%	28 1.76%	21 1.32%	165 10.39%	1,588 100.00%	4.35	0.876	4.44	0.409
	(26)	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	848 53.40%	444 27.96%	115 7.24%	13 0.82%	7 0.44%	161 10.14%	1,588 100.00%	4.48	0.724	4.54	0.321
	(27)	自分の生活習慣を見直す機会となった	758 47.73%	405 25.50%	205 12.91%	40 2.52%	19 1.20%	161 10.14%	1,588 100.00%	4.29	0.907	4.36	0.392
	(28)	施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	1,004 63.22%	343 21.60%	80 5.04%	1 0.06%	1 0.06%	159 10.01%	1,588 100.00%	4.64	0.595	4.69	0.273

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16	Q21	Q22	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	
Q1																							
Q2	660(**)																						
Q3	434(**)	471(**)																					
Q4	236(**)	181(**)	204(**)																				
Q5	374(**)	805(**)	517(**)	153(**)																			
Q6	350(**)	804(**)	442(**)	135(**)	785(**)																		
Q7	350(**)	593(**)	454(**)	095(**)	637(**)	680(**)																	
Q8	362(**)	553(**)	466(**)	113(**)	676(**)	714(**)	823(**)																
Q9	357(**)	577(**)	432(**)	111(**)	648(**)	728(**)	785(**)	840(**)															
Q10	345(**)	569(**)	460(**)	100(**)	663(**)	742(**)	778(**)	813(**)	836(**)														
Q11	439(**)	540(**)	534(**)	204(**)	613(**)	599(**)	564(**)	643(**)	637(**)	605(**)													
Q12	395(**)	608(**)	508(**)	130(**)	780(**)	749(**)	717(**)	783(**)	799(**)	777(**)	723(**)												
Q15	409(**)	482(**)	424(**)	202(**)	539(**)	559(**)	502(**)	589(**)	567(**)	557(**)	644(**)	587(**)											
Q16	371(**)	568(**)	456(**)	154(**)	610(**)	653(**)	661(**)	668(**)	678(**)	665(**)	633(**)	680(**)	710(**)										
Q21	286(**)	350(**)	332(**)	110(**)	448(**)	433(**)	358(**)	361(**)	331(**)	344(**)	342(**)	401(**)	319(**)	379(**)									
Q22	400(**)	410(**)	434(**)	246(**)	495(**)	457(**)	405(**)	427(**)	397(**)	409(**)	571(**)	493(**)	488(**)	495(**)	571(**)								
Q23	408(**)	469(**)	422(**)	206(**)	544(**)	500(**)	468(**)	501(**)	494(**)	470(**)	614(**)	561(**)	492(**)	499(**)	514(**)	707(**)							
Q24	346(**)	464(**)	382(**)	168(**)	546(**)	524(**)	512(**)	542(**)	527(**)	508(**)	595(**)	573(**)	489(**)	556(**)	468(**)	570(**)	701(**)						
Q25	450(**)	496(**)	478(**)	205(**)	561(**)	530(**)	491(**)	538(**)	527(**)	485(**)	699(**)	605(**)	542(**)	566(**)	458(**)	681(**)	739(**)	701(**)					
Q26	389(**)	486(**)	477(**)	182(**)	563(**)	553(**)	515(**)	553(**)	512(**)	543(**)	597(**)	591(**)	503(**)	571(**)	529(**)	654(**)	668(**)	650(**)	770(**)				
Q27	367(**)	378(**)	370(**)	189(**)	430(**)	454(**)	398(**)	440(**)	413(**)	399(**)	553(**)	472(**)	514(**)	471(**)	416(**)	621(**)	579(**)	564(**)	681(**)	724(**)			
Q28	305(**)	478(**)	354(**)	127(**)	541(**)	595(**)	590(**)	585(**)	599(**)	597(**)	483(**)	607(**)	452(**)	563(**)	500(**)	503(**)	543(**)	594(**)	586(**)	652(**)	542(**)		1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																	
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.13	1.037	4.23	0.415
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.42	0.831	4.41	0.334	4.47	0.822	4.50	0.323	4.49	0.831	4.51	0.317	4.53	0.768	4.54	0.333	-	-	-	-	
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.57	0.700	4.62	0.327	4.61	0.662	4.66	0.310	4.57	0.720	4.61	0.314	4.60	0.646	4.64	0.311	4.46	0.702	4.52	0.306	
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.44	0.775	4.52	0.314	4.55	0.707	4.60	0.271	4.48	0.810	4.53	0.296	4.45	0.850	4.50	0.322	4.40	0.846	4.46	0.325	
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	1.82	1.460	1.94	0.620	1.73	1.379	1.89	0.725	1.70	1.363	1.80	0.682	
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.48	0.766	4.54	0.292	4.55	0.735	4.60	0.253	4.48	0.760	4.53	0.248	4.48	0.806	4.51	0.276	4.55	0.710	4.60	0.287	
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.55	0.717	4.60	0.263	4.65	0.634	4.70	0.235	4.57	0.703	4.61	0.231	4.61	0.663	4.63	0.261	4.58	0.682	4.63	0.285	
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.72	0.556	4.74	0.199	4.76	0.530	4.79	0.183	4.72	0.556	4.76	0.211	4.72	0.569	4.74	0.218	4.68	0.585	4.72	0.242	
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.66	0.629	4.70	0.239	4.71	0.590	4.75	0.226	4.68	0.600	4.73	0.235	4.69	0.596	4.71	0.226	4.65	0.635	4.70	0.269	
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.62	0.675	4.67	0.282	4.70	0.611	4.74	0.248	4.68	0.601	4.72	0.229	4.68	0.627	4.70	0.239	4.64	0.650	4.68	0.270	
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.68	0.613	4.72	0.235	4.75	0.540	4.78	0.195	4.72	0.564	4.75	0.202	4.72	0.563	4.74	0.225	4.68	0.600	4.72	0.253	
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.35	0.879	4.45	0.385	4.45	0.798	4.52	0.331	4.39	0.892	4.45	0.351	4.40	0.862	4.46	0.321	4.39	0.874	4.46	0.385	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.62	0.685	4.68	0.306	4.70	0.609	4.75	0.253	4.69	0.609	4.74	0.243	4.66	0.619	4.68	0.251	4.62	0.680	4.67	0.302		
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.28	0.892	4.39	0.432	4.45	0.815	4.53	0.383	4.37	0.855	4.44	0.390	4.41	0.825	4.50	0.359	4.29	0.916	4.41	0.445	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.45	0.791	4.53	0.372	4.58	0.729	4.66	0.313	4.52	0.750	4.58	0.325	4.56	0.727	4.63	0.303	4.48	0.763	4.56	0.342	
「スポ健」 のみ	(21)	運動量は 5: 十分 4: おおむね十分 3: どちらとも言えない 2: やや不足 1: 不十分	4.51	0.736	4.56	0.266	4.52	0.736	4.59	0.314	4.53	0.749	4.60	0.300	4.54	0.757	4.61	0.288	4.51	0.722	4.56	0.300	
	(22)	体力・健康状態が改善された	4.22	0.887	4.31	0.422	4.31	0.840	4.38	0.413	4.25	0.894	4.35	0.384	4.28	0.881	4.37	0.394	4.25	0.872	4.34	0.391	
	(23)	運動技術が向上した	4.26	0.874	4.36	0.406	4.34	0.864	4.42	0.406	4.31	0.884	4.41	0.377	4.31	0.848	4.40	0.355	4.30	0.858	4.39	0.392	
	(24)	履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた	4.42	0.802	4.47	0.325	4.45	0.826	4.51	0.363	4.43	0.827	4.50	0.321	4.47	0.775	4.52	0.292	4.40	0.841	4.46	0.356	
	(25)	身体や運動に対する関心が高まった	4.31	0.877	4.40	0.398	4.39	0.831	4.46	0.385	4.34	0.879	4.43	0.373	4.38	0.824	4.45	0.335	4.35	0.876	4.44	0.409	
	(26)	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	4.47	0.752	4.53	0.320	4.52	0.745	4.55	0.325	4.49	0.744	4.57	0.303	4.51	0.728	4.56	0.291	4.48	0.724	4.54	0.321	
	(27)	自分の生活習慣を見直す機会となった	4.29	0.884	4.37	0.403	4.34	0.881	4.39	0.406	4.30	0.929	4.39	0.385	4.34	0.896	4.42	0.345	4.29	0.907	4.36	0.392	
	(28)	施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	4.60	0.667	4.66	0.256	4.70	0.588	4.73	0.243	4.65	0.634	4.71	0.241	4.67	0.591	4.70	0.201	4.64	0.595	4.69	0.273	

IX. 基礎教養科目運営委員会

本章では、「総合基礎科目」のうち、外国語科目、スポーツ・健康科学科目、情報科目を除く、「基礎教養科目」について分析する。

1. 集計データからわかること

令和元（2019）年度の「基礎教養科目」開設科目数は104科目、内訳として講義形態が103科目、演習形態が1科目となっており、アンケート実施率は講義形態が100.00%で、演習形態の1科目は未実施であった。総履修者数はのべ10,781名であるが、このうちアンケート回答者数は6,101名に留まり、回答率は56.59%という結果となった。平成30（2018）年度の回答率57.02%と比較すると0.43ポイント下降しているが、依然として半数を維持している。

また、「基礎教養科目」の回答率56.59%という値は全科目平均の59.59%を下回っているが、講義科目のみの平均値51.47%よりは上回っており、概ね平均的な範囲に留まっているといえよう。

以下、質問項目別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が1科目のみであるため、記載する数値は演習に特化したQ15・16を除き、すべて講義形態のものを引用する。

Q1 私は、履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率（以下、「肯定の割合」と略す）は72.69%であり、講義形態全体の68.41%と比較しても高い数値となっていることから、基礎教養科目としては、授業内容をイメージしやすいシラバスとなっていることがうかがえる。しかしながら、大学全体でみると、70.01%と決して高い数値ではなく、特に演習形態に比べて、講義形態の数値が低くなっている傾向があり、講義形態のシラバスの記載方法について、改善の必要があると考えられる。

Q2 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している

肯定の割合は68.21%であり、前年度の53.36%を上回る結果となった。また、シラバスを読まなかったという学生は前年度の36.72%から17.71%と減少に転じており、シラバスを活用の上、学習の到達目標や準備学修の目安等の理解も進んでいることがうかがえる。この傾向は大学全体でも同様であり、「読まなかった」と回答した学生は、全体平均で前年度40.72%から23.05%と減少に転じている。一方で約2割の学生がシラバスを活用していない現状が確認できることから、新入生への履修指導やシラバスの活用方法を丁寧に周知

することで、引き続き学修成果の向上を図る必要があることが認識された。

Q3 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

学生の授業への意欲度については、肯定の割合が **57.97%** となり、前年度の **61.21%** からやや低下した。この値は、講義形態全体としての肯定の割合である **59.20%** と比較しても低くなっている。ただし、講義形態全体の数値も平成 **29 (2017)** 年度の **63.02%** から低下傾向にあることから、本結果から見た学生の意欲についての判断は引き続き考察する必要があるだろう。

Q4 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間は、1週間あたり平均で

授業時間外の学習時間を調査する項目であるが2時間以上が **7.69%** である一方、1時間未満は **80.28%** となっており、年々授業時間外の学習時間が低下している。大学設置基準上の予習・復習時間の目安が講義時間の3倍とされている点を鑑みると、授業外の学習時間が不足しがちである傾向がうかがえる。

Q5 この授業の水準に満足している

Q5-2 授業の水準について、どのように感じましたか

授業の水準の満足度について、肯定の割合は **78.76%** であり、前年度のレベルの適切度と比較すると **80.28%** から減少する結果となっている。ただし、大学全体の講義形態の平均 **72.54%** は大きく上回っているため、水準の妥当性に対する満足度は比較的高いことを示す結果となっている。

なお、否定的な回答をした学生の内訳は「高すぎる」という回答が **55.63%**、「低すぎる」という回答が **44.37%** と比率は半々に近い数値となっている。

Q6 この授業を進める速さは適切である

Q6-2 授業を進める速さについて、どのように感じましたか

授業を進める速さの適切度については、大学全体の平均 (**74.39%**) を上回り、肯定の割合は **82.63%** となった。前年度の **83.25%** との比較では減少しているが、全体平均との差は比較的大きいため、基礎教養科目の本項目における一定の満足度は保たれているといえよう。

なお、否定的な回答をした学生に占める割合であるが、「速すぎる」の割合が **61.21%**、「遅すぎる」の割合が **38.79%** となっており、大学全体でみても「速すぎる」が **81.54%** と高い数値を示していることから、一定数、授業の速さについていけない学生への配慮が必要といえる。

Q7 教員は熱意を持って授業を行っている

授業に対する教員の熱意については、53.38%の学生が「強くそう思う」と回答しており、加えて平成 29 年度が 56.45%、平成 30 年度が 60.21%であったことから、半数以上を維持している点は評価できよう。肯定の割合で見た場合でも 89.54%となり、これは、大学全体の結果（84.94%）より高い評価となっているため、基礎教養科目を担当する教員の熱意が学生に十分に伝わっていると考えられる。

Q8 教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している

教室内在学習にふさわしい状態に保たれているかについては、講義科目全体の平均（79.59%）を上回り、肯定の割合は 81.84%であった。前年度の 84.41%に引き続いて 80%を超える比率を維持している点から、好ましい状況が続いていると理解できる。

Q9 教員は理解しやすい授業を行っている

授業の理解しやすさについては、講義科目全体の平均 76.55%（前年度 76.54%）を上回り、肯定の割合は 83.50%（前年度 85.15%）となっている。両年度とも全体平均より高い値を示している点において、傾向に大きな変化はない。

Q10 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である

教員の話し方についても、講義科目全体の平均（77.99%）を上回り、肯定の割合は 85.52%であった。本項目の肯定の割合の高さが、前項目の結果と関連していると考えられる。

Q10-2 教員の話し方について、どのように感じましたか

前項で否定的な回答をした学生に占める割合であるが、「その他／聞き取りにくい」が 58.59%となり、講義科目全体の平均（54.86%）よりも高くなっているほか、前年度（66.67%）との比較において改善が見られる点を特筆したい。

Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的好奇心の刺激についても、講義科目全体の平均 75.72%を上回り、肯定の割合は 83.12%であった。

Q12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業への総合的評価についての肯定の割合は 84.34%であり、前年度（85.79%）からは減少しているが、前々年度が 81.03%であった点を考慮すると、近年は 80%を超える高水準を維持していると評価できる。

Q13 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

板書の仕方やスライド提示の仕方については、肯定の割合が 83.83%であり、前年度

(86.03%)との比較で減少しているが、講義科目全体の平均(78.08%)との比較ではこれを上回っており、各授業担当者における授業改善の取り組みが進行中であることがうかがえる。

Q14 教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である

教材の内容の適切度についての肯定の割合は、講義科目全体の平均(79.48%)を上回る84.38%となった。年度により科目毎の教材の内容が異なる可能性があることは想定しているが、教材の適切性を示すデータの一つとなる本指標については今後も注視していく必要がある。

Q15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

本設問は演習・語学に特化されたものである。令和元年度は基礎教養科目における調査対象(1科目)がアンケート未実施となったため、データなしとなっている。

Q16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

本設問も演習・語学に特化されたものである。これについても、令和元年度はアンケート未実施のためデータなしとなっており前項と同様である。

Q19 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

本設問は基礎教養科目に特化した項目であり、肯定の割合は90.65%であった。前年度(89.74%)との比較において増加しており、過去5年間85%以上の数値となっていることから、引き続き高水準を維持しているといえよう。

Q20 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

この設問については、複数講師によるオムニバス形式等の場合のみ回答することとなっているため、回答者数が1,256名と他項目と比較して相当に少ない結果となった。回答者数が想定より低調となった要因として、この設問は判断が難しく、学生はどう評価したらいいのかかわからず、回答を見送ったケースが多かったのではないかと推察される。

2. 今後の授業改善に向けて

授業評価アンケートは今回で14回目の実施となったが、前年度に引き続き、全設問において肯定の割合が高い結果となった。これは過去のアンケート結果等を踏まえた近年の各担当教員における授業内容改善の努力が結果としてあらわれたものと考えられ、各授業担当者に感謝したい。

なお、例年半数程度に留まっている回答率が毎年の課題となっているが、令和元年度に

については前年度の 57.02%から下降し 56.59%という結果となり、直近3年間では 56～57%台を推移している。

単年度の動きのみで判断せず中期的な推移を捉える必要があるが、こうした結果をふまえ、平成 28 (2016) 年度の G P A 制度導入に伴う「棄権」の廃止・履修取消制度の導入や、平成 30 年度入学者以降のキャップ制の適用等、履修や成績評価に関する諸制度の改正に伴う学生の意識の変化を引き続き注視していきたい。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

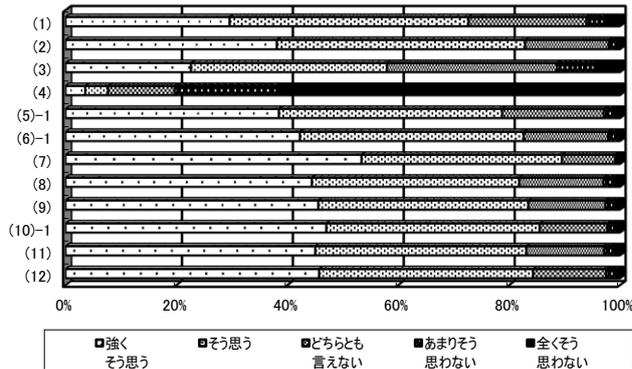
部門名 基礎教養

形態名 講義

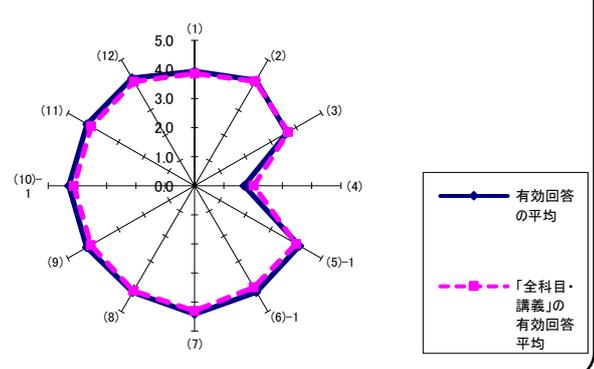
	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,101	10,781	56.59%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,800	2,620	1,293	211	157	20	6,101	3.94	0.936	3.98	0.291
			29.50%	42.94%	21.19%	3.46%	2.57%	0.33%	100.00%				
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している(シラバスを読まなかった人 ⇒ 16.92%)	1,827	2,147	723	77	20	275	6,101	4.19	0.774	4.19	0.270
			29.95%	35.19%	11.85%	1.26%	0.33%	4.51%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	1,354	2,113	1,834	416	263	121	6,101	3.65	1.041	3.68	0.358
			22.19%	34.63%	30.06%	6.82%	4.31%	1.98%	100.00%				
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	213	245	716	1,093	3,687	147	6,101	1.69	1.063	1.79	0.446
			3.49%	4.02%	11.74%	17.92%	60.43%	2.41%	100.00%				
	(5)-1	この授業の水準に満足している	2,328	2,437	1,108	123	54	51	6,101	4.13	0.844	4.15	0.273
			38.16%	39.94%	18.16%	2.02%	0.89%	0.84%	100.00%				
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	84	67	-	-	-	26	177	-	-	-	-
			47.46%	37.85%	-	-	-	14.69%	100.00%				
(6)-1	この授業を進める速さは適切である	2,566	2,450	924	100	30	31	6,101	4.22	0.797	4.22	0.260	
		42.06%	40.16%	15.15%	1.64%	0.49%	0.51%	100.00%					
(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	71	45	-	-	-	14	130	-	-	-	-	
		54.62%	34.62%	-	-	-	10.77%	100.00%					
(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	3,240	2,195	583	34	18	31	6,101	4.42	0.710	4.44	0.211	
		53.11%	35.98%	9.56%	0.56%	0.30%	0.51%	100.00%					
(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	2,689	2,264	918	129	52	49	6,101	4.22	0.842	4.27	0.255	
		44.07%	37.11%	15.05%	2.11%	0.85%	0.80%	100.00%					
(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	2,765	2,299	842	117	42	36	6,101	4.26	0.817	4.28	0.292	
		45.32%	37.68%	13.80%	1.92%	0.69%	0.59%	100.00%					
(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	2,831	2,316	735	96	40	83	6,101	4.30	0.793	4.33	0.259	
		46.40%	37.96%	12.05%	1.57%	0.66%	1.36%	100.00%					
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	37	16	75	-	-	8	136	-	-	-	-	
		27.21%	11.76%	55.15%	-	-	5.88%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	2,731	2,308	849	125	49	39	6,101	4.24	0.828	4.26	0.280	
		44.76%	37.83%	13.92%	2.05%	0.80%	0.64%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,743	2,315	789	110	40	104	6,101	4.27	0.806	4.28	0.267	
		44.96%	37.94%	12.93%	1.80%	0.66%	1.70%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,629	2,261	787	120	36	268	6,101	4.26	0.811	4.25	0.275
			43.09%	37.06%	12.90%	1.97%	0.59%	4.39%	100.00%				
(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	2,602	2,292	770	93	43	301	6,101	4.26	0.802	4.29	0.254	
		42.65%	37.57%	12.62%	1.52%	0.70%	4.93%	100.00%					
基礎教養科目 運営委員会	(19)	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	1,385	914	190	34	13	3,565	6,101	4.43	0.733	4.43	0.319
			22.70%	14.98%	3.11%	0.56%	0.21%	58.43%	100.00%				
(20)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	588	490	148	23	7	4,845	6,101	4.30	0.788	4.37	0.458	
		9.64%	8.03%	2.43%	0.38%	0.11%	79.41%	100.00%					

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q19	Q20
Q1	1															
Q2	.620(**)	1														
Q3	.505(**)	.458(**)	1													
Q4	.155(**)	.086(**)	.238(**)	1												
Q5	.488(**)	.630(**)	.491(**)	.100(**)	1											
Q6	.444(**)	.601(**)	.436(**)	.072(**)	.748(**)	1										
Q7	.408(**)	.552(**)	.381(**)	.033(*)	.620(**)	.641(**)	1									
Q8	.407(**)	.525(**)	.410(**)	.078(**)	.588(**)	.601(**)	.667(**)	1								
Q9	.458(**)	.584(**)	.452(**)	.068(**)	.705(**)	.718(**)	.701(**)	.726(**)	1							
Q10	.415(**)	.544(**)	.410(**)	.051(**)	.656(**)	.721(**)	.676(**)	.680(**)	.803(**)	1						
Q11	.499(**)	.553(**)	.480(**)	.095(**)	.657(**)	.600(**)	.604(**)	.588(**)	.664(**)	.620(**)	1					
Q12	.474(**)	.607(**)	.474(**)	.086(**)	.756(**)	.696(**)	.676(**)	.663(**)	.773(**)	.726(**)	.773(**)	1				
Q13	.419(**)	.541(**)	.398(**)	.050(**)	.614(**)	.645(**)	.599(**)	.598(**)	.689(**)	.671(**)	.589(**)	.671(**)	1			
Q14	.421(**)	.546(**)	.388(**)	.055(**)	.618(**)	.629(**)	.599(**)	.573(**)	.675(**)	.641(**)	.579(**)	.682(**)	.796(**)	1		
Q19	.395(**)	.518(**)	.419(**)	.034	.647(**)	.647(**)	.564(**)	.527(**)	.678(**)	.623(**)	.598(**)	.700(**)	.643(**)	.620(**)	1	
Q20	.438(**)	.535(**)	.455(**)	.082(**)	.619(**)	.622(**)	.606(**)	.563(**)	.669(**)	.625(**)	.611(**)	.700(**)	.632(**)	.621(**)	.786(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 基礎教養
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.50	0.835	4.47	0.262	4.55	0.800	4.51	0.294	4.61	0.763	4.56	0.307	4.63	0.716	4.56	0.299	3.94	0.936	3.98	0.291
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.23	0.813	4.22	0.278	4.29	0.798	4.30	0.290	4.25	0.823	4.27	0.350	4.30	0.803	4.27	0.298	4.19	0.774	4.19	0.270
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.76	0.985	3.76	0.368	3.75	1.004	3.82	0.410	3.65	1.113	3.68	0.449	3.72	1.090	3.69	0.370	3.65	1.041	3.68	0.358
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	1.79	1.192	1.82	0.490	1.68	1.093	1.75	0.357	1.69	1.063	1.79	0.446
	5-1	この授業の水準に満足している	4.16	0.848	4.13	0.343	4.12	0.905	4.15	0.388	4.09	0.916	4.10	0.392	4.21	0.850	4.17	0.339	4.13	0.844	4.15	0.273
	6-1	この授業を進める速さは適切である	4.22	0.795	4.20	0.257	4.25	0.812	4.26	0.322	4.16	0.881	4.18	0.370	4.27	0.816	4.23	0.324	4.22	0.797	4.22	0.260
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.44	0.748	4.43	0.315	4.45	0.754	4.46	0.352	4.42	0.774	4.44	0.321	4.50	0.703	4.49	0.215	4.42	0.710	4.44	0.211
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.23	0.854	4.24	0.321	4.24	0.871	4.29	0.368	4.19	0.909	4.27	0.348	4.29	0.828	4.32	0.247	4.22	0.842	4.27	0.255
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.24	0.869	4.25	0.386	4.22	0.892	4.26	0.441	4.18	0.919	4.23	0.440	4.32	0.825	4.31	0.317	4.26	0.817	4.28	0.292
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.28	0.833	4.29	0.344	4.29	0.846	4.31	0.396	4.24	0.888	4.29	0.411	4.36	0.790	4.35	0.271	4.30	0.793	4.33	0.259
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.24	0.872	4.23	0.319	4.22	0.906	4.25	0.362	4.18	0.931	4.22	0.358	4.29	0.863	4.27	0.278	4.24	0.828	4.26	0.280
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.26	0.844	4.26	0.351	4.25	0.865	4.29	0.400	4.21	0.883	4.26	0.393	4.31	0.815	4.29	0.303	4.27	0.806	4.28	0.267	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である	4.18	0.889	4.18	0.386	4.22	0.887	4.26	0.359	4.21	0.901	4.26	0.386	4.32	0.835	4.29	0.333	4.26	0.811	4.25	0.275
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.23	0.841	4.24	0.351	4.25	0.858	4.29	0.338	4.25	0.854	4.30	0.339	4.33	0.806	4.31	0.305	4.26	0.802	4.29	0.254
「基礎教養」 のみ	(19)	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	4.35	0.806	4.30	0.415	4.37	0.819	4.39	0.425	4.32	0.834	4.34	0.385	4.42	0.768	4.40	0.353	4.43	0.733	4.43	0.319
	(20)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	4.26	0.842	4.25	0.519	4.28	0.874	4.33	0.464	4.17	0.871	4.28	0.423	4.32	0.785	4.30	0.455	4.30	0.788	4.37	0.458

部門名 基礎教養
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.60	0.770	4.60	-	4.60	0.681	4.60	-	4.75	0.538	4.77	0.169	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.05	0.970	4.05	-	4.40	0.699	4.40	-	4.54	0.611	4.54	0.187	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.93	0.980	3.93	-	4.00	0.725	4.00	-	4.25	1.047	4.33	0.552	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85	1.377	2.92	0.532	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	5-1	この授業の水準に満足している	3.90	1.094	3.90	-	4.10	0.718	4.10	-	4.17	0.943	4.25	0.526	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	6-1	この授業を進める速さは適切である	4.14	0.756	4.14	-	4.15	0.745	4.15	-	4.32	0.779	4.35	0.270	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.37	0.765	4.37	-	4.40	0.681	4.40	-	4.59	0.638	4.61	0.199	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.07	0.868	4.07	-	4.20	0.768	4.20	-	4.49	0.698	4.54	0.351	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.13	0.900	4.13	-	4.25	0.716	4.25	-	4.48	0.820	4.53	0.430	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.17	0.834	4.17	-	4.45	0.686	4.45	-	4.59	0.642	4.63	0.304	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	4.33	0.802	4.33	-	4.20	0.894	4.20	-	4.35	0.936	4.41	0.460	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.33	0.758	4.33	-	4.35	0.875	4.35	-	4.48	0.737	4.52	0.295	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	3.67	0.961	3.67	-	3.95	0.759	3.95	-	4.13	1.288	4.31	0.998	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.07	0.781	4.07	-	4.10	0.718	4.10	-	4.28	0.976	4.39	0.603	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
「基礎教養」 のみ	(19)	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	3.00	-	3.00	-	4.14	0.864	4.14	-	4.67	0.796	4.14	1.015	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000
	(20)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	3.00	-	3.00	-	4.20	0.837	4.20	-	4.43	0.787	4.00	1.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000

X. 教職課程

教職課程開設科目の履修は、教員免許取得を希望する学生が自発的に行うものである。また、教職課程開設科目と履修単位数等は、教育職員免許法等に基づいて規定されており、その授業内容も国の課程認定行政指導等によって、近年では拘束性（「教職課程コア・カリキュラム」）が強まってきている。授業形態も、教育学・心理学の基礎理論領域を担当する授業は講義形式でかつ履修者も比較的多い形態をとらざるを得ない。加えて、近年の政策的重点事項として「(学校教員としての) 実践的指導力の育成」強化が指示されており、教科教育法の授業を中心に模擬授業や場面指導などの具体的かつ実践的な内容及び方法を取り入れていかなければならない。

教職科目については、令和元（2019）年度あるいは経年変化比較においても、履修者の出席状況は他部門と比較して相対的に良いとはいえるものの、意欲的に取り組んでいるかといえ、専門科目の学習活動と比較すると必ずしも良いとはいえない。また、予習・復習等の授業外の学習時間など、履修者にとっては、専門分野の学習に加えての履修であるために、意欲の注ぎ方は各専門分野の学習に比べればやや劣る傾向にあるのかもしれない。他方で、「授業に意欲的に取り組んでいる」「授業の水準に満足」「熱意を持って授業を行っている」をはじめ、複数の項目で一定の評価を得ているように思われ、総合的な評価を含めて、特段に低下する傾向はみられない。なお、講義の進め方等については、やや改善の余地があるようにも思われ、教職課程として、引き続き、授業内容の改善及び授業時間内での確実なる定着の工夫など、一層の改善努力をしていきたいと考えている。

なお、学校現場において児童・生徒に関する多様な問題の発生とその対応としての新しい政策的動向を鑑みるに、学校教員養成に必要な教育内容の量／質は増加し、レベルは高まるばかりであるため、指導計画上の困難さは大きくなるばかりである。教職課程では、『教職課程年報』を毎年度発行し、「研究論文」に加えて「授業研究」ジャンルを設け、専任教員のみならず教職課程開設科目を担当する非常勤講師及び関係者の「授業取り組み例」として研究的に相互交流を図り、困難さについても共有するとともに、担当者及び担当者間全体の研究成果を共有しつつ、改善に向けて努めていこうとしている。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

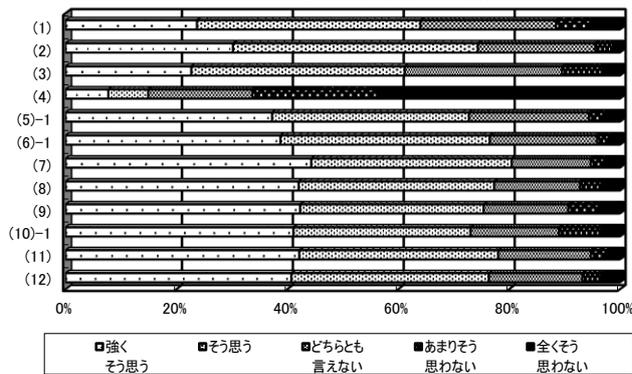
部門名 教職課程

形態名 講義

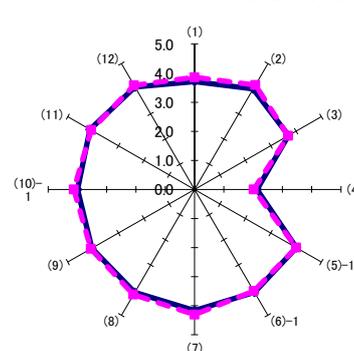
	合計	総履修者数	回答率
回答数	973	1,203	80.88%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	230	391	237	60	52	3	973	3.71	1.062	3.90	0.376
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 24.67%)	210	307	147	22	9	38	973	3.99	0.871	4.19	0.341
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	217	368	271	71	29	17	973	3.70	0.997	3.90	0.393
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	74	69	180	215	420	15	973	2.13	1.263	2.04	0.422
	(5)-1	この授業の水準に満足している	360	343	209	26	28	7	973	4.02	0.979	4.27	0.489
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	35	18	-	-	-	1	54	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	375	365	187	21	19	6	973	4.09	0.915	4.33	0.410
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	26	14	-	-	-	0	40	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	429	350	138	24	27	5	973	4.17	0.953	4.41	0.429
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	408	342	150	38	32	3	973	4.09	1.011	4.35	0.445
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	408	319	147	53	37	9	973	4.05	1.068	4.32	0.511
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	395	307	153	73	33	12	973	4.00	1.088	4.33	0.539
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	8	6	88	-	-	4	106	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	409	348	162	27	24	3	973	4.12	0.953	4.37	0.440	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	391	342	162	32	33	13	973	4.07	1.008	4.33	0.503	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	381	275	199	52	50	16	973	3.92	1.135	4.22	0.650
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	406	320	167	37	27	16	973	4.09	1.000	4.32	0.462

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

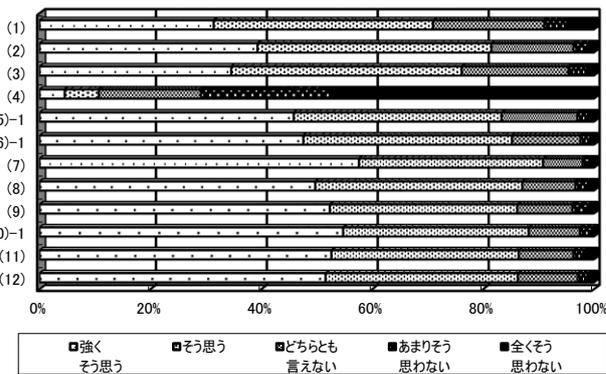
部門名 教職課程

形態名 演習

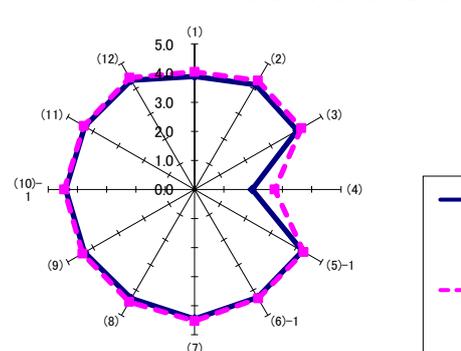
	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,084	1,342	80.77%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	339	427	216	45	52	5	1,084	3.89	1.050	3.97	0.321
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 28.78%)	287	308	108	19	8	42	1,084	4.16	0.848	4.18	0.319
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	367	441	204	36	13	23	1,084	4.05	0.885	4.10	0.310
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	48	65	194	245	502	30	1,084	1.97	1.148	2.17	0.619
	(5)-1	この授業の水準に満足している	493	403	147	21	11	9	1,084	4.25	0.838	4.29	0.318
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	10	20	-	-	-	2	32	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	512	405	133	19	7	8	1,084	4.30	0.800	4.31	0.265
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	7	15	-	-	-	4	26	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	621	358	77	15	7	6	1,084	4.46	0.744	4.47	0.268
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	535	402	103	25	11	8	1,084	4.32	0.821	4.36	0.314
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	564	364	107	31	11	7	1,084	4.34	0.847	4.37	0.336
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	587	359	99	23	4	12	1,084	4.40	0.774	4.44	0.267
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	4	4	15	-	-	4	27	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	566	363	106	20	20	9	1,084	4.33	0.869	4.35	0.303	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	549	369	115	19	12	20	1,084	4.34	0.827	4.36	0.320	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	528	328	101	20	12	95	1,084	4.35	0.837	4.36	0.493
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	485	345	129	17	15	93	1,084	4.28	0.864	4.30	0.395

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 教職課程
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.579(**)	1												
Q3	.447(**)	.464(**)	1											
Q4	.195(**)	.062	.228(**)	1										
Q5	.407(**)	.653(**)	.482(**)	.082(*)	1									
Q6	.393(**)	.617(**)	.401(**)	.072(*)	.730(**)	1								
Q7	.341(**)	.603(**)	.406(**)	.01	.661(**)	.652(**)	1							
Q8	.321(**)	.603(**)	.411(**)	.082(*)	.699(**)	.677(**)	.750(**)	1						
Q9	.381(**)	.613(**)	.445(**)	.058	.750(**)	.707(**)	.721(**)	.800(**)	1					
Q10	.370(**)	.558(**)	.370(**)	-.003	.680(**)	.691(**)	.670(**)	.702(**)	.767(**)	1				
Q11	.441(**)	.599(**)	.495(**)	.075(*)	.654(**)	.624(**)	.600(**)	.611(**)	.692(**)	.603(**)	1			
Q12	.407(**)	.661(**)	.470(**)	.055	.786(**)	.693(**)	.760(**)	.768(**)	.823(**)	.749(**)	.776(**)	1		
Q13	.299(**)	.556(**)	.350(**)	.005	.644(**)	.603(**)	.610(**)	.668(**)	.713(**)	.666(**)	.535(**)	.701(**)	1	
Q14	.330(**)	.566(**)	.371(**)	.087(**)	.650(**)	.630(**)	.619(**)	.663(**)	.711(**)	.647(**)	.581(**)	.693(**)	.780(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 教職課程
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.512(**)	1												
Q3	.435(**)	.454(**)	1											
Q4	.150(**)	.044	.194(**)	1										
Q5	.358(**)	.591(**)	.471(**)	.03	1									
Q6	.317(**)	.590(**)	.413(**)	-.001	.773(**)	1								
Q7	.287(**)	.526(**)	.342(**)	.001	.644(**)	.684(**)	1							
Q8	.294(**)	.561(**)	.355(**)	.016	.646(**)	.670(**)	.761(**)	1						
Q9	.324(**)	.541(**)	.354(**)	.038	.677(**)	.684(**)	.755(**)	.753(**)	1					
Q10	.305(**)	.542(**)	.361(**)	.041	.626(**)	.685(**)	.716(**)	.738(**)	.767(**)	1				
Q11	.417(**)	.485(**)	.365(**)	.065(*)	.664(**)	.577(**)	.596(**)	.589(**)	.664(**)	.581(**)	1			
Q12	.358(**)	.554(**)	.382(**)	.057	.767(**)	.719(**)	.707(**)	.718(**)	.792(**)	.723(**)	.794(**)	1		
Q15	.304(**)	.427(**)	.409(**)	.066(*)	.587(**)	.551(**)	.570(**)	.607(**)	.579(**)	.589(**)	.520(**)	.626(**)	1	
Q16	.330(**)	.465(**)	.398(**)	.054	.626(**)	.571(**)	.577(**)	.617(**)	.647(**)	.593(**)	.574(**)	.676(**)	.781(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 教職課程
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.71	0.658	4.70	0.163	4.72	0.623	4.70	0.148	4.78	0.571	4.76	0.130	4.79	0.547	4.74	0.211	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.12	0.842	4.15	0.200	4.25	0.843	4.30	0.251	4.02	0.952	4.11	0.422	4.09	0.862	4.27	0.352	3.99	0.871	4.19	0.341
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.76	0.997	3.80	0.298	3.92	0.956	3.99	0.286	3.71	1.030	3.78	0.293	3.75	1.120	3.97	0.431	3.70	0.997	3.90	0.393
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	1.232	1.96	0.361	2.00	1.223	1.98	0.316	2.13	1.263	2.04	0.422
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.10	0.833	4.13	0.292	4.13	0.901	4.17	0.327	3.98	0.906	4.08	0.393	3.98	1.018	4.22	0.527	4.02	0.979	4.27	0.489
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.15	0.811	4.19	0.278	4.17	0.876	4.22	0.330	4.03	0.919	4.14	0.438	4.07	0.954	4.28	0.430	4.09	0.915	4.33	0.410
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.30	0.796	4.38	0.228	4.35	0.803	4.42	0.297	4.28	0.841	4.39	0.318	4.30	0.893	4.50	0.353	4.17	0.953	4.41	0.429
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.09	0.894	4.16	0.242	4.12	0.925	4.20	0.342	4.11	0.952	4.23	0.404	4.11	1.032	4.37	0.448	4.09	1.011	4.35	0.445
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.03	0.948	4.14	0.343	4.12	0.977	4.19	0.434	4.03	1.033	4.19	0.555	4.02	1.100	4.29	0.579	4.05	1.068	4.32	0.511
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.04	0.976	4.13	0.357	4.15	0.940	4.24	0.359	4.02	1.039	4.16	0.562	4.00	1.128	4.29	0.561	4.00	1.088	4.33	0.539
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.02	0.991	4.12	0.333	4.09	0.985	4.16	0.324	4.04	0.964	4.15	0.400	4.05	1.028	4.29	0.468	4.12	0.953	4.37	0.440
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.04	0.933	4.15	0.352	4.13	0.905	4.22	0.366	4.04	0.956	4.18	0.491	4.06	1.042	4.30	0.524	4.07	1.008	4.33	0.503	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.92	1.036	4.02	0.478	4.01	1.039	4.07	0.530	3.86	1.178	4.07	0.720	3.98	1.175	4.22	0.613	3.92	1.135	4.22	0.650
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.11	0.883	4.19	0.306	4.18	0.901	4.26	0.359	3.99	1.048	4.18	0.568	4.14	1.010	4.35	0.445	4.09	1.000	4.32	0.462

部門名 教職課程
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.73	0.608	4.73	0.179	4.71	0.642	4.72	0.165	4.80	0.532	4.81	0.135	4.76	0.517	4.75	0.128	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.21	0.911	4.29	0.381	4.38	0.856	4.40	0.345	4.34	0.842	4.44	0.313	4.32	0.818	4.28	0.299	4.16	0.848	4.18	0.319
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.11	0.899	4.21	0.347	4.25	0.811	4.30	0.269	4.17	0.916	4.23	0.287	4.17	0.988	4.18	0.276	4.05	0.885	4.10	0.310
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.21	1.430	2.40	0.737	2.01	1.247	2.12	0.530	1.97	1.148	2.17	0.619
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.28	0.844	4.35	0.341	4.41	0.781	4.44	0.281	4.35	0.840	4.41	0.276	4.43	0.759	4.41	0.214	4.25	0.838	4.29	0.318
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.28	0.834	4.35	0.354	4.45	0.742	4.48	0.272	4.41	0.758	4.46	0.257	4.48	0.717	4.47	0.207	4.30	0.800	4.31	0.285
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.41	0.847	4.47	0.387	4.55	0.758	4.58	0.285	4.50	0.748	4.56	0.251	4.57	0.706	4.54	0.232	4.46	0.744	4.47	0.268
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.27	0.920	4.37	0.403	4.45	0.783	4.48	0.305	4.38	0.818	4.46	0.289	4.50	0.776	4.48	0.233	4.32	0.821	4.36	0.314
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.20	0.978	4.28	0.466	4.37	0.883	4.42	0.400	4.37	0.867	4.46	0.328	4.50	0.776	4.47	0.241	4.34	0.847	4.37	0.336
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.27	0.922	4.39	0.438	4.47	0.787	4.49	0.304	4.33	0.936	4.46	0.370	4.53	0.747	4.52	0.216	4.40	0.774	4.44	0.267
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.28	0.907	4.32	0.347	4.38	0.877	4.42	0.320	4.34	0.854	4.39	0.306	4.40	0.844	4.39	0.275	4.33	0.869	4.35	0.303
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.25	0.949	4.34	0.425	4.42	0.844	4.47	0.345	4.35	0.847	4.44	0.344	4.45	0.790	4.42	0.241	4.34	0.827	4.36	0.320	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.24	0.920	4.31	0.398	4.44	0.793	4.48	0.323	4.44	0.787	4.50	0.303	4.46	0.803	4.47	0.338	4.35	0.837	4.36	0.493
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.08	1.020	4.19	0.512	4.35	0.861	4.42	0.351	4.35	0.837	4.41	0.302	4.43	0.819	4.46	0.342	4.28	0.864	4.30	0.395

XI. 学芸員課程委員会

本課程開設科目の履修は卒業要件とはなっておらず、学芸員資格取得を希望する学生が自発的に行うものである。とはいえ4年間を体系化した履修の組み立て、とくに館園実習（博物館・美術館等での実習）に至るまでの履修の流れを把握するには、シラバスやガイドの熟読に加えて、段階ごとに設定しているガイダンスは欠かせないものである。

本課程ではガイダンスを通して、各年次での履修意欲の再確認に繋がるよう努めている。ガイダンス後に提出されるレポートからは、大半の学生が資格取得という履修の目的を明確に持ち、各開設科目の到達目標に対する理解のもとで、授業に取り組もうとしていることがうかがわれ、本課程講義科目 4.06、演習科目 4.53 という平均点（回答者ベースの数値）の高さにも繋がっていると考えられる。教育の質と学生の意欲双方が互に高め合う授業運営をさらに推し進めていきたい。以下、直近5年間の経年変化比較表を参照しつつ、問題点を挙げていく。

1. 集計データからわかること

以下表1、表2は、直近5年の学生回答単純平均を掲げたものである（表1は講義科目、表2は演習科目）。

令和元（2019）年度に質問を変更した Q1 を除き、すべての項目が微増もしくは微減であり、大きな変化は見られない。Q12「総合的に見て高く評価できる」は講義科目 4.38、演習科目 4.80 で、Q5「この授業の水準に満足している」もそれぞれ 4.27、4.76 となっており、高評価が維持されている。

あえて課題として挙げるならば、以前より定着している傾向であるが、講義科目と演習科目——学芸員課程での演習科目は実質的には実習である——間の評価結果の差である。

演習科目では、Q4（授業外学習時間）の 2.33 を除いた 13 項目の平均は 4.72 という驚くべき高得点である。なかでも、Q7（教員の熱意）から Q12（総合的評価）までの 6 項目それぞれの平均値はすべて 4.80 を越えている。Q3（意欲的取り組み）の 4.50 という数値も注目すべきといえよう。

しかし講義科目に関しては、Q7（教員の熱意）が 4.47、Q11（知的好奇心の刺激、新しいものの見方の獲得）が 4.45 など、Q3 の 3.80 と Q4 の 1.72 以外の項目はみな 4.0 を超え、総合的評価においても 4.38 とけして低い数値ではないものの、概ね演習科目と約 0.5 の差が生じている。この傾向は、5年間変わっていない。

表1 学芸員課程 平均値の経年変化比較表(講義科目)

回答対象	番号	質問内容	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	4.05
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.60	4.64	4.68	4.70	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.11	4.35	4.27	4.29	4.24
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.74	3.96	3.78	3.80	3.80
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上 3時間未満 3:1時間以上 2時間未満 2:30分以上 1時間未満 1:30分未満	-	-	1.82	1.82	1.72
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.20	4.30	4.25	4.30	4.27
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.21	4.34	4.29	4.27	4.27
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.48	4.58	4.49	4.54	4.47
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.24	4.39	4.37	4.37	4.37
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.24	4.43	4.34	4.40	4.35
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.28	4.43	4.40	4.41	4.33
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.33	4.44	4.31	4.45	4.45
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.28	4.39	4.34	4.39	4.38
「講義」 「語学」	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.13	4.31	4.29	4.26	4.21
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.16	4.30	4.28	4.28	4.23

表2 学芸員課程 平均値の経年変化比較表(演習科目)

回答対象	番号	質問内容	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	4.49
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.42	4.73	4.69	4.71	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.31	4.47	4.50	4.78	4.62
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.23	4.33	4.23	4.46	4.50
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上 3時間未満 3:1時間以上 2時間未満 2:30分以上 1時間未満 1:30分未満	-	-	2.53	2.55	2.33
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.58	4.59	4.55	4.75	4.76
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.57	4.53	4.60	4.78	4.72
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.62	4.75	4.76	4.89	4.84
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.62	4.71	4.54	4.86	4.82
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.64	4.67	4.73	4.93	4.83
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.75	4.78	4.71	4.89	4.82
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.72	4.64	4.71	4.86	4.80	

	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.70	4.68	4.73	4.88	4.80
「演習」 「語学」	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.58	4.49	4.40	4.73	4.66
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.58	4.71	4.58	4.85	4.62

2. 今後の授業改善に向けて

講義科目に於いて、教員の熱意、授業の進度の適切さ、新しいものの見方が得られたなどの項目の評価結果は低いものではない。だがそれに対して、意欲的な取り組みに対する学生の自己評価が低いことは大いに問題である。講義科目では、実習に比して相対的に授業の復習や事前準備などを促す課題が少ないことも、主体的な参加意識が低くなる要因であると考えられる。講義科目においては、学生が主体的な参加意識を持つためのアクティヴ・ラーニングをさらに推進する必要がある。

ラーニング・ポートフォリオシステム manaba や WebClass 等の LMS を活用した授業資料等の事前配布による授業内容への関心惹起、manaba の質問機能やアンケートの活用などの取り組みを一層深め、学生自身の授業へのアクティブな関与を促していく努力を続けねばならない。このことは、昨年度も同様に総括したことでもあり、manaba や WebClass といった LMS について、未だ十分にその利便性と使いこなしの工夫や知識が教員間に充分には共有されていない状況が続いたことを受け止め、各教員が知悉できるよう、事務室からも積極的に情報発信し、サポートしていくこととした。

本報告書をまとめている令和 2 (2020) 年度は、未曾有の出来事で遠隔授業が始まった。授業実施の形態が対面と遠隔のハイブリッドとなる可能性を見据え、オンデマンド授業配信やオンライン授業等に備える各教員のスキルアップのために、LMS の活用、とりわけ respon 機能の活用や Zoom 等でのチャットを用いた学生との授業コミュニケーションのとり方、その留意点など、遠隔授業であっても授業の双方向性を確保する工夫と留意点についての情報の共有を進め、音声付きパワーポイントや授業動画の作成方法といった技術的側面の習熟とあわせ、どのような授業形態であっても教育の質を保證できるように準備していきたいと考えている。

平成 24 (2012) 年度より始まった博物館学芸員資格の取得にかかる新課程 (9 科目 19 単位) は、近年、教員にも履修者にも十分浸透してきた。新課程となることで細分化された講義科目における教育の質の確保と履修生の意識の向上を目指し、授業評価アンケートに現れた問題点を認識し、魅力ある授業運営へといっそう努めていきたい。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

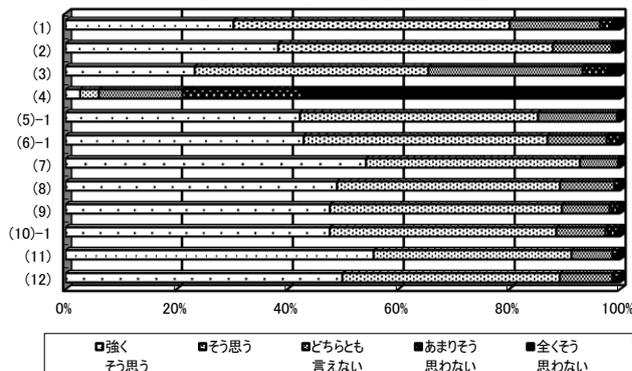
部門名 学芸員

形態名 講義

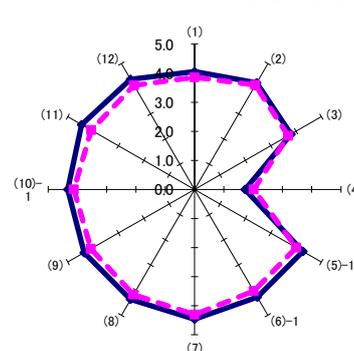
	合計	総履修者数	回答率
回答数	585	719	81.36%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	177	291	95	13	8	1	585	4.05	0.822	4.11	0.226
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 17.44%)	178	230	49	3	4	19	585	4.24	0.733	4.24	0.362
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	135	244	161	26	13	6	585	3.80	0.924	3.87	0.305
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	15	19	85	121	324	21	585	1.72	1.012	1.75	0.314
	(5)-1	この授業の水準に満足している	246	250	83	3	0	3	585	4.27	0.717	4.32	0.184
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	0	3	-	-	-	0	3	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	250	256	62	14	0	3	585	4.27	0.747	4.33	0.210
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	7	6	-	-	-	1	14	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	316	225	40	2	0	2	585	4.47	0.638	4.49	0.171
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	285	234	57	6	0	3	585	4.37	0.701	4.42	0.187
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	278	244	50	10	1	2	585	4.35	0.724	4.40	0.197
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	274	235	51	13	2	10	585	4.33	0.760	4.40	0.248
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	1	2	10	-	-	2	15	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	324	208	43	6	2	2	585	4.45	0.706	4.51	0.208	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	290	228	55	8	0	4	585	4.38	0.713	4.44	0.222	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	242	240	68	21	4	10	585	4.21	0.840	4.26	0.300
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	244	238	81	11	2	9	585	4.23	0.786	4.30	0.268

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 集計結果

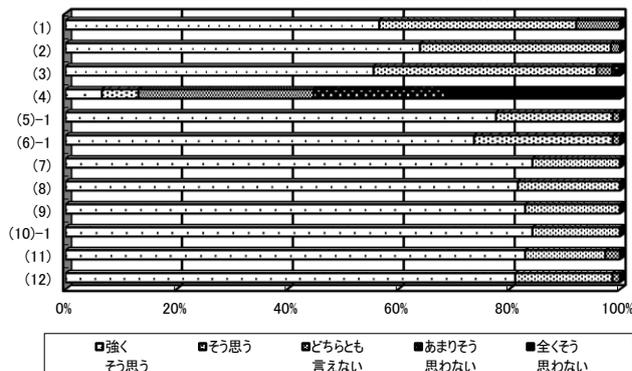
部門名 学芸員

形態名 演習

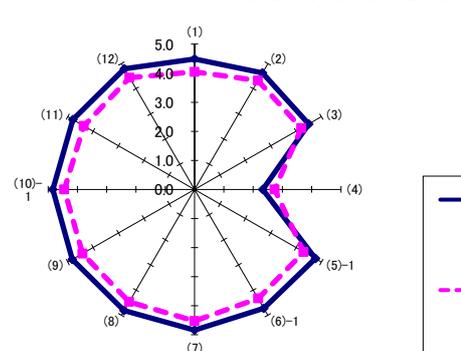
	合計	総履修者数	回答率
回答数	76	90	84.44%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	43	27	6	0	0	0	76	4.49	0.643	4.49	0.242
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 14.47%)	39	21	1	0	0	4	76	4.62	0.522	4.63	0.216
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	40	29	2	1	0	4	76	4.50	0.628	4.52	0.277
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	5	5	24	18	24	0	76	2.33	1.182	2.29	0.339
	(5)-1	この授業の水準に満足している	59	16	1	0	0	0	76	4.76	0.458	4.78	0.243
	(5)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	56	19	1	0	0	0	76	4.72	0.479	4.73	0.219
	(6)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	64	12	0	0	0	0	76	4.84	0.367	4.86	0.156
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	62	14	0	0	0	0	76	4.82	0.390	4.83	0.205
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	63	13	0	0	0	0	76	4.83	0.379	4.84	0.219
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	64	12	0	0	0	0	76	4.84	0.367	4.86	0.177
(10)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	0	0	0	-	-	0	0	-	-	-	-	
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	63	11	2	0	0	0	76	4.80	0.462	4.81	0.201	
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	60	13	1	0	0	2	76	4.80	0.437	4.81	0.242	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	51	21	2	0	0	2	76	4.66	0.531	4.65	0.211
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	54	16	4	0	0	2	76	4.68	0.576	4.67	0.233

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 学芸員
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.552(**)	1												
Q3	.408(**)	.369(**)	1											
Q4	.154(**)	.0081	.264(**)	1										
Q5	.454(**)	.532(**)	.451(**)	.0061	1									
Q6	.362(**)	.507(**)	.381(**)	.052	.733(**)	1								
Q7	.395(**)	.504(**)	.366(**)	.072	.659(**)	.615(**)	1							
Q8	.380(**)	.443(**)	.406(**)	.053	.616(**)	.551(**)	.709(**)	1						
Q9	.429(**)	.480(**)	.412(**)	.037	.668(**)	.662(**)	.683(**)	.731(**)	1					
Q10	.347(**)	.403(**)	.391(**)	.012	.639(**)	.651(**)	.606(**)	.640(**)	.738(**)	1				
Q11	.389(**)	.371(**)	.475(**)	.141(**)	.583(**)	.516(**)	.550(**)	.492(**)	.543(**)	.566(**)	1			
Q12	.420(**)	.513(**)	.455(**)	.137(**)	.734(**)	.658(**)	.691(**)	.668(**)	.741(**)	.681(**)	.746(**)	1		
Q13	.457(**)	.500(**)	.396(**)	.098(*)	.620(**)	.599(**)	.575(**)	.585(**)	.681(**)	.594(**)	.540(**)	.672(**)	1	
Q14	.441(**)	.446(**)	.348(**)	.125(**)	.596(**)	.534(**)	.572(**)	.612(**)	.611(**)	.550(**)	.476(**)	.628(**)	.682(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.620(**)	1												
Q3	.640(**)	.688(**)	1											
Q4	.0173	.028	.0104	1										
Q5	.533(**)	.673(**)	.672(**)	-0.051	1									
Q6	.530(**)	.694(**)	.667(**)	-0.049	.853(**)	1								
Q7	.556(**)	.565(**)	.478(**)	.006	.647(**)	.659(**)	1							
Q8	.469(**)	.565(**)	.563(**)	-0.127	.722(**)	.794(**)	.632(**)	1						
Q9	.511(**)	.619(**)	.550(**)	-0.022	.839(**)	.765(**)	.762(**)	.866(**)	1					
Q10	.556(**)	.619(**)	.538(**)	.029	.726(**)	.735(**)	.901(**)	.725(**)	.857(**)	1				
Q11	.507(**)	.568(**)	.593(**)	.023	.595(**)	.533(**)	.599(**)	.535(**)	.642(**)	.599(**)	1			
Q12	.476(**)	.687(**)	.591(**)	-0.041	.836(**)	.761(**)	.639(**)	.728(**)	.847(**)	.723(**)	.801(**)	1		
Q15	.433(**)	.373(**)	.532(**)	.032	.554(**)	.529(**)	.553(**)	.607(**)	.580(**)	.553(**)	.438(**)	.464(**)	1	
Q16	.381(**)	.494(**)	.548(**)	-0.08	.522(**)	.600(**)	.456(**)	.691(**)	.545(**)	.520(**)	.414(**)	.493(**)	.712(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



学習院大学 令和元(2019)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.60	0.669	4.52	0.220	4.64	0.649	4.61	0.168	4.68	0.596	4.68	0.160	4.70	0.620	4.70	0.118	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.11	0.690	4.12	0.194	4.35	0.686	4.33	0.205	4.27	0.797	4.26	0.390	4.29	0.761	4.29	0.201	4.24	0.733	4.24	0.362
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.74	0.836	3.80	0.263	3.96	0.811	3.95	0.211	3.78	0.931	3.85	0.346	3.80	0.966	3.86	0.289	3.80	0.924	3.87	0.305
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	1.82	1.040	2.00	0.709	1.82	1.078	1.91	0.478	1.72	1.012	1.75	0.314
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.20	0.708	4.18	0.186	4.30	0.737	4.28	0.265	4.25	0.760	4.24	0.181	4.30	0.742	4.33	0.191	4.27	0.717	4.32	0.184
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.21	0.684	4.21	0.183	4.34	0.722	4.34	0.262	4.29	0.748	4.28	0.180	4.27	0.796	4.31	0.238	4.27	0.747	4.33	0.210
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.48	0.656	4.49	0.205	4.58	0.611	4.57	0.216	4.49	0.657	4.53	0.204	4.54	0.623	4.57	0.219	4.47	0.638	4.49	0.171
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.24	0.791	4.22	0.193	4.39	0.724	4.37	0.246	4.37	0.728	4.41	0.200	4.37	0.745	4.40	0.227	4.37	0.701	4.42	0.187
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.24	0.749	4.23	0.218	4.43	0.709	4.42	0.296	4.34	0.749	4.37	0.185	4.40	0.755	4.44	0.225	4.35	0.724	4.40	0.197
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.28	0.745	4.30	0.206	4.43	0.712	4.43	0.244	4.40	0.684	4.42	0.185	4.41	0.719	4.45	0.239	4.33	0.760	4.40	0.248
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.33	0.726	4.38	0.142	4.44	0.706	4.45	0.223	4.31	0.847	4.38	0.257	4.45	0.736	4.50	0.196	4.45	0.706	4.51	0.208
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.28	0.728	4.29	0.180	4.39	0.701	4.38	0.261	4.34	0.750	4.38	0.218	4.39	0.719	4.44	0.227	4.38	0.713	4.44	0.222	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライドの仕方は適切である	4.13	0.816	4.14	0.242	4.31	0.759	4.29	0.289	4.29	0.788	4.28	0.261	4.26	0.869	4.31	0.295	4.21	0.840	4.26	0.300
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.16	0.788	4.19	0.224	4.30	0.791	4.32	0.303	4.28	0.797	4.29	0.248	4.28	0.815	4.32	0.254	4.23	0.786	4.30	0.268

部門名 学芸員
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差																
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旧(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.42	0.929	4.43	0.452	4.73	0.479	4.71	0.121	4.69	0.528	4.68	0.295	4.71	0.550	4.72	0.219	-	-	-	-
	(2)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.31	0.800	4.32	0.377	4.47	0.604	4.53	0.269	4.50	0.637	4.49	0.117	4.78	0.503	4.73	0.305	4.62	0.522	4.63	0.216
	(3)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.23	0.724	4.21	0.153	4.33	0.647	4.34	0.221	4.23	0.710	4.27	0.348	4.46	0.631	4.46	0.224	4.50	0.628	4.52	0.277
	(4)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に 使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	2.53	1.086	2.56	0.481	2.55	1.155	2.56	0.569	2.33	1.182	2.29	0.339
	(5)-1	この授業の水準に満足している	4.58	0.602	4.60	0.214	4.59	0.550	4.60	0.162	4.55	0.697	4.54	0.389	4.75	0.462	4.76	0.170	4.76	0.458	4.78	0.243
	(6)-1	この授業を進める速さは適切である	4.57	0.537	4.56	0.179	4.53	0.555	4.54	0.157	4.60	0.600	4.59	0.263	4.78	0.470	4.79	0.145	4.72	0.479	4.73	0.219
	(7)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.62	0.562	4.62	0.135	4.75	0.436	4.76	0.179	4.76	0.494	4.77	0.205	4.89	0.348	4.90	0.111	4.84	0.367	4.86	0.156
	(8)	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.62	0.527	4.63	0.185	4.71	0.455	4.72	0.136	4.54	0.695	4.56	0.341	4.86	0.352	4.87	0.115	4.82	0.390	4.83	0.205
	(9)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.64	0.558	4.63	0.256	4.67	0.502	4.68	0.116	4.73	0.536	4.74	0.309	4.93	0.302	4.93	0.094	4.83	0.379	4.84	0.219
	(10)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.75	0.477	4.76	0.205	4.78	0.451	4.78	0.130	4.71	0.548	4.72	0.205	4.89	0.316	4.89	0.092	4.84	0.367	4.86	0.177
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.72	0.533	4.73	0.249	4.64	0.537	4.66	0.240	4.71	0.517	4.71	0.159	4.86	0.352	4.87	0.102	4.80	0.462	4.81	0.201
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.70	0.503	4.71	0.211	4.68	0.497	4.70	0.160	4.73	0.536	4.73	0.179	4.88	0.326	4.89	0.117	4.80	0.437	4.81	0.242	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.58	0.609	4.59	0.288	4.49	0.656	4.53	0.348	4.40	0.703	4.44	0.379	4.73	0.523	4.74	0.166	4.66	0.531	4.65	0.211
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.58	0.609	4.59	0.177	4.71	0.459	4.73	0.242	4.58	0.610	4.64	0.273	4.85	0.364	4.85	0.138	4.68	0.576	4.67	0.233

第4章

授業への取り組み例

I. 法学部

● 「憲法 I」

授業評価アンケートにおいては、授業の進度が早すぎる、あるいは授業に十分主体的に参加できていないとの趣旨の回答をする学生がいた。令和2年度については、同時配信授業を行っているが、上記のような学生に対応するため、10～15分ごとに講義を区切り、各区切りごとに、クリッカーアプリ（respon）を利用して正誤判定問題や意見を求める問題を出題し、学生に回答を求めている。クリッカーアプリ（respon）の利用によって、学生がより主体的に授業に参加し、講義の理解を深めることができるようになった。

● 「民法 I」

これまで私が担当した民法の大教室の授業（ここ数年は2年生～4年生を対象とする民法Ⅲまたは民法Ⅳの授業を担当した）の「授業評価アンケート」を見ると、「教員は熱意をもって授業を行っている」の項目や「教員は理解しやすい授業を行っている」の項目は概ね高評価である一方で、授業の進め方が速すぎると感じる学生や、授業のレベルが難しすぎると感じる学生も少なくない。民法という科目の特性上、どうしても教える範囲は広くなりがちであり、また、かなり技術的な解釈論も教えざるを得ず、予習をしてこない学生（多くの学生は十分な予習をしていない）が難しすぎると考えるのもやむを得ないようにも思われる。令和元年度（民法Ⅲ）は、教える範囲を例年よりも絞って教えたが、「授業評価アンケート」の傾向に大きな変化はなかった。

これに対して、令和2年度は、オンデマンド方式の講義（1年生を主な対象とする民法Ⅰ）を展開している。具体的には、レジュメ・音声ファイル・板書メモ・資料・小テストを授業の前日に、教科書予習用のチェックリストを授業の1週間前に、それぞれWebClassにアップしている。授業の内容について質問がある学生とはWebClass上のメッセージ機能を使ってやり取りをしているが、そのやり取りの範囲内では、私の授業の進め方について好意的な評価が多く聞かれる。

その要因としては、①教科書予習用のチェックリスト（対面式の授業では配布したことがなかった）を使って授業の予習をすることを学生に強く勧めていること、②音声ファイルはある程度早口でしゃべっても繰り返し再生できること、③レジュメや資料を教室で配布するなどの手間がないので、90分間フルに授業することが可能であり、対面式の授業では省略することもある、ごく基礎的な内容についても言及していること、④復習用の小テストもアップしているが（これも私にとって初の試み）、これにより理解の定着が図られているとも思われること、⑤板書メモはノートに書いたものをPDF化しているが、教室でホワイトボードに書く場合と比べて、より多い情報を提供できていること

などが考えられる。もっとも、WebClass 上で私に質問するような学生は比較的熱心な学生が多いので、それ以外の多くの学生が私のオンデマンド方式の授業についてどう考えているのかは、年度末の授業評価アンケート結果を待たなければ分からないのが実情である。

● 「ヨーロッパ政治史演習」

文献の講読を通じた現代ヨーロッパ政治のアクチュアルなトピックに対する理解を深めることと並んで、「自ら問題を発見し、調査し、考察し、表現し、発表する、という一連の研究過程を経験する」こと（研究報告書の作成）を演習の目標としている。この研究報告書は、自分なりに作業を進め学期末に提出すればよいといった類のものではなく、一年をかけて、具体的に以下のような手順をとって作成される。

- ① 第1学期中をかけて、各自、研究テーマに関する調査を行い、その上でテーマを決定する。決定したテーマを第1学期の終わりまでに「研究計画書」にまとめて提出する。テーマと大まかな構成を記すと同時に、資料状況なども調査したうえで、参照すべき文献や資料も提示する。この「研究計画書」に対し、研究の実現可能性などの点で問題があればこの時点で教員が指導を行う。
- ② 第2学期の各回において、「研究計画書」に基づいた研究のプレゼンテーションを行う。その際、30分の報告後の、参加者全員による報告に対するレビューがなされる。「評価シート」に記入し、それに基づき報告に対する質疑応答を含めた報告へのレビューがなされる。
- ③ 参加者は授業時に受けたレビューを反映させて、学期末までに「研究報告書」を執筆し、提出する。
- ④ 提出された「研究報告書」に対して、教員と学生の間で面談を行い、自由研究に対する総合的な評価を行う。

以上の①～④についてすべての過程が重要ではあるが、②の学生同士の相互批評が、各自の研究の質的な改善への寄与と同時に、報告を聴く側の批評能力の向上にも寄与するというをますます実感している。また、学生からも、授業へのより主体的な参加を求める声も増えている。こうした事情に鑑み、授業の議論の活性化のためにも、この授業時のレビューをとくに重視し、時間も多く割くようにした。学生の評判もよいようである。

● 「行政学Ⅰ・Ⅱ」

授業内容の理解を助けるため、例年、PPTを用いた授業を行うとともに、各回の授業内容をA4で1～2枚にまとめたレジュメを紙媒体で配布している。授業を欠席した学

生へのフォローとして、レジュメの残部を指定のロッカーから受け取れるようにし、同時に S ドライブにもアップロードしている。これまで PPT のスライドに関しては、授業限りとしていたが、授業アンケートで、スライドのプリントも配布してほしいという要望が多かったため、令和元年度の行政学Ⅱの授業より、レジュメと同様に紙媒体でも配布し、S ドライブにもアップロードするようにした。但し、著作権等の問題を回避するため、配布／アップロードするスライドからは、必要に応じて写真等のデータを削除するなどの対応をしている。

授業内容に関連する時事問題などが生じた場合には、それを報じる新聞記事等を配布し、解説している。

毎年履修者人数が 200 人を超えているため、なかなか双方向のコミュニケーションがとりにくい、学期中 1～2 回、出席確認も兼ねて、上記のような時事問題への感想、授業に対する感想や要望を出席者全員に記述して提出してもらい、その結果を授業の中でフィードバックするようにしている。

● 「行政学演習」

参加学生の二年間の継続履修を前提に、3 年生は文献購読とグループワーク、4 年生は各自のテーマによる卒業論文作成と 3 年生の活動への助言を中心とする学修内容で構成している。

例年、夏期休暇期間中に合宿を兼ねて実施している地方へのスタディツアーを軸に、1 学期は文献購読とスタディツアーの事前学習、2 学期はスタディツアーでの学びに基づいたグループワーク・成果発表を行う。これに加えて、年間を通じて 3 回程度、卒業論文作成過程の各段階（リサーチクエストの設定、論文骨子、中間報告）における報告行い、教員や学生からのコメントを得る機会をつくっている。

令和元年度のスタディツアーとしては、東日本大震災被災地の復興状況の視察を目的に、福島県相馬市を訪れた。相馬市観光協会の全面的なご協力を得て、演習の目的に適う訪問先の選定やスケジュール調整、当日の移動を支援していただいたことにより、効率的に多くの場所を訪問し、キーパーソンからの説明を受けることができ、極めて学習効果の高いスタディツアーとなった。

このスタディツアーの経験をふまえて、課題発見から、分析、解決方法の提案に至るまでの報告をグループで行う。各グループに 3 年生と 4 年生を混在させることで、4 年生のこれまでの演習での学修成果を 3 年生に伝達するよう促しており、4 年生のリーダーシップの下で、3 年生中心に実際の作業を行う。

グループワークにおける課題発見や分析には、ブレインストーミング、KJ 法などを用いている。グループワークの成果発表はパワーポイント (PPT) を使用したプレゼンテーションとして行わせる。プレゼンテーションは複数回行い、教員や学生からのコメントをフィードバックし、口頭発表のスキル、スライドの内容 (レイアウト等も含む)、全

体のロジックなどを改善させていく。さらに、プレゼンテーションの内容に基づいたペーパーを作成させることで、次年度の卒業論文作成の準備作業ができるようにしている。

毎年の年度末には、4年生の卒業論文と各グループのPPTスライドとペーパーを収めた論文集を発行している。論文集はスタディツアーなどでお世話になった関係者にもお送りするようにしている。

II. 経済学部

● 「基礎マクロ経済学」「日本経済論」他

- ・ 大人数科目については、出席率向上を図るため、respon（クリッカーアプリ）を使用しランダムに出席をとるようにした。また、manaba（LMS）のアンケート機能を使って、小テストを行い、翌週に解説をし、学生の理解度向上につとめた。
- ・ 授業時間内の授業への参加度合いを上げるため、また学生の理解度を教員が把握するため、respon のアンケート機能をつかって授業時間内にクイズを出題するなどの工夫も行った。

● 「生産システム」

- ・ 全員にマスターしてほしい内容である標準課題に加えて、アドバンストな内容である加点課題を科した。前者は教員がワークを作成し、後者は学生が自ら課題を設定し、その課題を自身で解く形式のワークとした。こうすることで、より理解を深めたい学生へのモチベーション向上を促した。
- ・ 授業スピードが速すぎる、大教室で質問がしにくい、という授業評価アンケートの結果にもとづき、Slido というソフトを使って、オンラインで適宜、質問や要望を受け付けるようにした。

● 「経営科学1」

- ・ 授業スピードが速すぎる、大教室で質問がしにくい、という授業評価アンケートの結果にもとづき、Slido というソフトを使って、オンラインで適宜、質問や要望を受け付けるようにした。
- ・ 授業トピックの切替わりタイミングで演習問題を解く回を設け知識の定着を図った。

Ⅲ. 文学部

【哲学科】

(1) シラバスの活用を促す取り組み

これまでの調査では一貫して、シラバスを活用していない学生が多いことが問題となっている。そのため、シラバスを学生に活用してもらえるように様々な取り組みを継続的に行ってきた。その結果、近年では教員に、わかりやすく充実したシラバスを作成することが定着してきたように思われる。

また、学生への働きかけも継続して行っている。具体的には、4月の初めに行われるガイダンスにて履修計画を立てる上でどのようにシラバスを役立てることができるかを示したり、履修相談の際にシラバスを活用するための実践的な指導を行ったり、といったことがそれにあたる。また、実際の授業においても、教員はシラバスとの整合性に高い意識を向けるようになってきた。シラバスの内容を提示しながら説明を行ったり、授業の進行の様子によっては、シラバスの内容を再構成し、変更点を明示したりする教員も増えている印象である。今後も同様の取り組みを継続し、さらに学生がシラバスを活用できる環境づくりを行っていききたい。

(2) リアクションペーパーによるアクティブラーニングの実践

哲学科をはじめとして、文学部では講義形式の授業の重要度がきわめて高い。そこで、講義形式の授業であっても双方向性を担保する取り組みとして、リアクションペーパーの活用がある。受講者の多い授業では、時間内に毎回すべての学生とコミュニケーションをとることは難しい。また、深い考察が求められる授業においては、その場で意見交換や議論を行っても、十分な効果が得られるとは限らない。そうした場合、リアクションペーパーを用いたやりとりであれば、学生は回を跨いだ質問や意見の提示を行うことができ、教員からも丁寧なフィードバックを行うことが可能となるため、他の手法よりも高い効果を発揮する。哲学科では、このリアクションペーパーの活用を非常に重視している教員が多く、効果的にその活用が行われていると言える。文学部においては、講義科目の満足度が非常に高いが、こうした取り組みの成果であると考えられる。今後もこうした取り組みを続けていく。

(3) 学生へのいっそう積極的なはたらきかけ

先述のとおり、演習科目の満足度をいっそう高める工夫として、教員が学生といっそう密なコミュニケーションをはかりながら、授業への意欲が持てるようなはたらきかけを行うことが考えられる。

哲学科は少人数教育に力を入れているため、基本的に教員と学生の距離は近く、

すでに意欲を持っている学生は授業の範囲にとらわれない学びを得ることができている。また、教員からのサポートが必要な学生への配慮にはこれまでも非常に力を入れてきた。そのため、今後はそのどちらにも属さない中間層へのはたらきかけが課題となるだろう。「意欲がないわけではないが、具体的にどのような学習を行うべきかが分からないために、積極的になれていない」という学生は一定数いると思われるので、そうした学生に教員から積極的にかかわることが、今後は求められていくだろう。また一部の教員は、卒業論文作成に向けて、担当学生全員とこまめな面談を行ったり、独自の意見交換会を開いたりしているという。このような、「普通の学生」に向けてはたらきかける試みが、これからは重要となる。今後はこうした個々の教員の取り組みを共有し、学科全体で活かしていく工夫を行っていく必要があるだろう。

ただし、令和2年度は遠隔授業に頼らなければならない状況に直面し、今まで行ってきた対応を行うことが出来ない、あるいは有効でないケースも出てきている。遠隔授業は今後も継続的に実施される可能性もあり、これまでにない対応を検討する必要がある。現段階では、個人の工夫のレベルにとどまってしまっているため、今後はこれについての施策を学科単位で考えていく必要があるだろう。

(4) 演習の授業についての工夫

本哲学科では講義科目だけでなく、演習科目も重要な位置を占めている。これは、哲学・思想系では原典購読に重きをおいていることから、美学・美術史系では美術作品を自ら分析し、考察を与えることが重視されていることからである。しかし、哲学・思想系における母語以外で専門書を読んでレポートを作成する課題を求められる授業や、美学・美術史系における美術作品の印象や表現を言語化して発表を行う授業は、難易度が高く、学生が「理解しにくい」と感じることも多い点が課題となっている。

そこで、近年は演習形式の授業の受け方を学ぶような内容を増やすことで、この問題の改善に取り組んでいる。一年次で必修となっている基礎演習においては、実践のなかで、演習科目にどのように取り組むべきかという点を丁寧に指導している。また、二年次で必修となる二年次演習では、授業内容を精査し、該当年度の学生にとって専門性が高くなりすぎないように、配慮をしている。例えば哲学・思想史系では、習得の難しい言語で原典講読を行う場合、それに関連する日本語文献や英語文献を読解する回を設ける、あるいは翻訳を参照しながら内容について深く考えるための回を設けるなどの工夫をしている。また、美学・美術史系では、それぞれの学生が自ら問題意識を持って課題に取り組めるよう、個々が自分らしいテーマを見つけ、それに取り組むための細やかな支援を行っている。これは授業時間に限らず、個別の学生に対してヒアリングやアドバイスをすることを通じても行っている。

以上のような工夫はまだ模索の段階であるため、全体の調査結果には表れていないものの、個別の授業における調査結果では好意的な反応を得ているものもある。そのため、今後も学生のニーズに応じて様々な工夫を行い、引き続き効果を検証していきたい。

(5) 「アカデミック・スキルズ」の内容の充実

以前は図書館が担当していた基礎教育科目のアカデミック・スキルズの授業を、前年度から哲学科で担当している。これには、学生の基礎的なアカデミックスキルの向上という目的がある。文献の探し方や、文章の書き方、体裁の整え方といった事柄について、最低限は基礎演習や二年次演習で指導を行っているが、一部の学生はそれには不足があると感じている様子であった。しかし、学生はそうした基本的な事項について質問することをためらう傾向があると思われる。そのため、演習の授業内で教員に質問をする学生は稀で、教員がそうした事柄についての理解度をつぶさに把握することは難しかった。そこで、哲学科での開講となったことを契機に、授業内容を再構成し、大学での学習にすぐに役立つような内容を拡充した。また、段階的に実践的な内容にも取り組むような構成になっているため、無理なく学習を進めることができる。

この授業は、「勉強の仕方」を学ぶ場を増やすことで、「授業の進みが早すぎる」「授業の理解がしにくい」と感じる学生を減らし、専門性の高い授業にも意欲的に取り組むための基礎を強化することを目的のひとつとしている。実際、この授業は大変学生に好評であり、学生はこうした「勉強の仕方」を学ぶ場を求めていると思われる。そしてまた、主体的に学ぶ意欲があっても、「勉強の仕方」を学ぶ場にアクセスできないことが、それを妨げてしまっている場合は少なくないと推測される。今後もこのようなニーズに合わせた学びを提供し、大学の教育全体の満足度をさらに向上させるべく、尽力していきたい。

(6) サポート体制の拡充

本学全体の傾向として、授業の進みが早いと感じている学生の割合は少なくない。一方で、大学の授業として求められる情報量や作業量もこなさなくてはならない現状がある。そこで哲学科では、授業の質の向上に代わり、授業外でもそれを補うような工夫をこらしている。

例えば、二年次で本格的な演習が始まる前には「ジュニアセミナー」を開催し、予習の仕方や効果的な授業の受け方などを指導している。これは二年次から本格的にはじまる専門科目における演習形式の授業に不安を感じている学生らに好評であり、年々その内容の拡充を図っている。

また、一部の教員は補習会や合宿を企画し、開催している。補習会では学生それ

それぞれが自身に必要な学習が行われ、授業内では扱いきれない発展的な内容に取り組んだり、理解が不十分な点について質問をしたり、活用の仕方はそれぞれである。きめ細やかな対応が受けられるため、多くの学生が積極的に参加しているという。また、合宿では、授業における時間的な制約を逃れ、じっくりと深い考察ができることが好評であり、こちらについても多くの学生が参加しているという。

他方、美学・美術史系では、美術館・博物館見学会等を頻繁に開催している。これは、実際の作品を間近で鑑賞し、じっくり観察する能力を養うことが非常に重要とされるためである。実際に作品を前にして鑑賞の際に注目するとよいポイントなどを示すことで、学生たちに効果的にその方法を伝えることができるという。また、授業内でのアナウンスや学科フロアでの掲示によって、展示情報の発信も積極的に行っている。学生たちが作品鑑賞する機会を増やすための工夫は今後も様々に行っていきたい。

また、学科全体として、学生との交流を大切にしている教員が多く、授業時間以外にも学生と教員が話せる場を作る工夫をこらしている。授業とメリハリをつけ、リラックスした雰囲気では話せるようにしている教員が多く、学生からはさらにそうした場を増やしてほしいという要望もある。各教員が授業内でオフィスアワーを周知し、活用を促すようにする等、こうした期待に応えていきたい。

また、この点においても、遠隔授業に際しての新たなサポートが求められている。令和2年度においては、混乱のなか始まった遠隔授業で、各人が試行錯誤している状況ではあるが、その必要性は十分に認識されており、その時々事例に際して対応も行われている。たとえば、一部の教員は、オンライン会議用のアプリケーションを利用してオフィスアワーを実施しており、希望する学生は授業外の時間にも教員とコミュニケーションをとることができる。こうした方法がどれほど効果的かはまだ検証されていないものの、今後は学科全体でより効果的で有用なサポートのあり方について検討を行い、十全な施策ができるよう、この問題に取り組む必要があるだろう。

【史学科】

令和2年度は全面的にインターネットを介した遠隔による授業・演習となり、授業への取り組みにおいてはこれまでにない工夫が考えられている。概説の講義では、事前に講義概要の資料を G-Port で送付し、予習を徹底させることができた。講義後は、講義で用いた ppt 資料を PDF 化して G-Port で配布するなど、復習の手助けとしている。対面授業では、講義内容を筆記させる形態であったが、遠隔授業では授業の理解のために補助資料を送付できることが重要になっている。時間外の学習時間が自然と増えることが期待される。学生の講義内容への反応は、教員はチャットによって同時進行で把握することができる。対面授業では終了後に講義への質問や感想を出席カードに書かせていたが、同期型の遠隔授

業では同時に学生の反応を得られるのがよい。講義の進め方も反応を見ながら修正することができるので、より学生の関心や興味に合わせた講義を目指すことができる。演習では、学生は画面で教員と一対一で対面することから、対面演習を超えるほどの集中力が見られる。資料は事前に配布し、使用した資料も、その場でチャットによってダウンロードできる。報告者のレジュメもその場で共有することができ、とくに史料講読の時には、一字一句の文章に全員が集中することができる。対面形式の演習では、一人一人の学生の手元まで掌握できないが、オンライン演習では同じ画面を共有することから、問題意識も集中して共有することができる。

同期型で実施する基礎演習は、対面形式の演習にも増して史料を全員で集中して読む空気を感ずる。高校の授業との差を感じているようである。レジュメを WebClass (LMS) で事前に提出させ、共有のもと授業で発言させている。

オンデマンド方式の講義では、学生は課題文への取り組みに集中し、WebClass へ質問を投稿するなど、学外での学習時間を使った積極性を見ることができる。

ただこうした新方式の授業への取り組みは緊急事態のなかで試行錯誤を繰り返したものであるため、どこかでしっかりと見直しが必要であろう。対面授業には見られないような、授業途中でオンラインから抜け落ちていく学生も見られるし、報告・発表者以外の学生の取り組みの姿勢は、画面からは把握できないこともある。

【日本語日本文学科】

日本文学系

- (1) 古典文学：古典は敷居が高いと感じる学生も多いので、〈どうぶつ〉とか〈妖怪〉とか〈海〉といったテーマを前面に押し出して授業を行うと少し取っ付きやすいようだ。また、古典文学の舞台となった場所の調査を、毎年いくつかのゼミで実施している。これまで、大阪・京都・奈良・吉野・熊野・琵琶湖・伊勢志摩・金沢・佐渡・水戸・日光・箱根・平泉・仙台等を調査してきた。江戸の名所めぐりは繰り返し行っている。言葉を通して想像してきた場所と実際の風景は大きく異なる場合が多い。それを体験することで、学生は言葉の力とは何か、文学的想像力とは何なのかといった重要な問題を考える契機を得ることができる。この他、授業に関連する美術館や博物館の展示会があれば、希望する学生を中心として、見学会を実施することもある。歌舞伎や能などに関しては、映像資料を活用している。
- (2) 近代文学：抽象度の高い論理的な文章や、漢語や外来語が多用される難解な文章、さらには感情の機微を読み解くことを苦手に感ずる学生が増えていると思われる。そのため、映像資料や図解などを適切に使用して履修者の理解を促進する工夫をしている。また、履修者が授業で考察した作品の背景を深く理解し、その作者の生きた時代を身近に感ずることができるように、学習院大学周辺の雑司ヶ谷、文京区や台東区な

ど、近代文学に関わる名所・建築物・墓地等の、いわゆる「文学散歩」を毎年実施している。

- (3) 日本文化・民俗学：授業で取りあげた地域の調査をゼミ旅行として行っている。この調査を通じて、参加した学生は民俗学におけるフィールドワークの意義を考えるようになったと思われる。

日本語教育系

日本語教育分野では、授業内外で実践に触れる機会を豊富に取り入れている。授業内では、日本語教育の授業見学や授業参加の機会を設けたり、学生が自分自身で授業計画を立て、使用する教材を作成する機会を設けたりしている。授業外では、海外日本語教育研修（学科主催）及び地域向け各種日本語教育活動（国際センター主催）、豊島区立教育センターでの外国人児童生徒の学習支援等への積極的参加を促し、日本語を母語としない人々を対象とした日本語指導に触れる機会を提供している。上記の活動のいくつかは、日本語教育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲといった科目における課題の一部となっており、これらの実践に触れる経験を通じて、その他の科目との重要性や関連性に気づくことが可能となる。たとえば、日本語学講義、現代日本語研究、日本語学演習といった科目の重要性や、対照言語学や日本文学講義といった科目との関連性を再認識することができる。そして、このような幅広い分野の学びと実践に触れる経験との統合により、日本語指導能力の向上が果たされている。

また、外国語教育研究センターと連携し、学内留学生に対する学生アシスタント制度を活用して、日本語を学ぶ人々との交流を奨励している。これらの、学びと実践をつなぐ工夫により、授業での学びを実践に生かすこと、実践によってもたらされた気づきや問題意識をさらなる学びへの動機づけとすることが可能となっている。さらに、国際交流基金の助成を受けて行う大学連携日本語パートナーズ（タイ2大学、マレーシア1大学）に学生を派遣し、現地での教育実習や多様な人々との交流を通じ、教育実践能力だけでなく、異文化理解能力の向上も図っている。

日本語学分野では、若い世代に人気のある書物を分析対象にしたり、フィールドワークを取り入れたりすることで、方法論や結果の記述について実践的に学び、履修者が興味をもって取り組めるような工夫を重ねている。また、日本語学の伝統を重視しつつも、諸外国語との対比において日本語を捉える視点などを積極的に導入することで、学生の視野を広げるよう努力している。

【英語英米文化学科】

1. ルーブリックの導入

英語英米文化学科では、授業計画と評価の関連性に透明性をもたせる目的で、ルーブリックを用い始めた。ルーブリックを取り入れている科目は、専任教員と非常勤講師が

担当する「アカデミック・ライティング」「アカデミック・プレゼンテーション」と夏季に アイルランドで実施する「海外語学文化研修」*注1) の三科目である。これらの科目の担当者は前年度中に、メール上の会議と対面式会議を行い、全担当教員の合意の上で、それぞれのルーブリックを作成する。各授業では、第1回目の授業においてルーブリックを学生に提示し、どのようなことが、どこまでできるようになると、どのような評価が得られるかを示す。

ルーブリックは、平成28年度にはじめて試験的に導入したが、その後2年間の経過をみた結果、教育上の効果が得られることが確認できたため、平成30年度以降も引き続き活用することにした。また、平成29年度からは、卒業論文についても一部の分野でルーブリックを試験的に使用し始めたが、ルーブリックを用いることによって、卒業論文の目指すところが学生に分かりやすく提示でき、評価をする際の透明性を確保するために重要な役割を果たすことが明らかになったことから、平成30年度以降、複数の教員が共通のルーブリックを用いた指導を行っている。

*注1) 海外語学文化研修を担当する専任教員は事前事後授業を実施し、研修先の責任者との協議を重ねた上で、授業内容、宿泊方法、成績評価等を含む研修全般の質的確保に努めている。

2. 講義における双方向性の追求

当学科の講義科目を担当する教員の何人かは、受講者の出席の確認に所定の出席カードを用いている。カードの裏面は当該授業に対する学生のコメント欄になっており、受講者には、コメントを自由に書くように促し、書かれた感想や意見などは、以降の授業で活用できる場合が多い。一つの講義に対するコメント欄の記述を全て読むことにより、教員が講義で意図していたことが、受講者には必ずしも伝わっていないことに教員が気付かされることもあり、授業改善のヒントを与えられることもままある。但し、出席カードのコメント欄には、受講者にとっては、授業に対する厳しい批判は書きにくい筈である。授業に対する学生の本当の感想が教員には伝わらない可能性は小さくない。そのようなことを踏まえ、出席カードのコメント欄とは別に、無記名式で、学生による授業評価を記述形式で行わせている教員もいる。この方式によると、出席カードのコメント欄では書かれることのない、学生からの批判や意見が多く得られ、授業に生かせる余地は更に広がる。

また、授業における双方向性については、年度を超えた形で取り入れることもできる。当学科のある教員は、ある授業で、前年度の同じ授業を受講した学生が書いた「1年間の授業の中での思索方法の変化や授業内容に関する感想」の一部を紹介し、そうした学生の視点から見た見解や知見を出発点とした授業目標を設定している。このような形で（教員によるトップダウン式の目標設定ではなく）、学生によるボトムアップ式の目標設定を行うことによって、学生の主体的な学びを促進しようとしている。

3. 反転授業によるアクティブ・ラーニングの試み

当学科では、学生の意欲的取り組みを促進する目的で「反転授業」を用いたアクティブ・ラーニングに取り組んでいる教員もいる。

第二章で触れた基礎的な手法による反転授業のほか、追加的な方法として、G-port に音声教材のファイルを登録してリスニングの予習をすることを指示したり、動画等のファイルを学生に USB の形で渡し、それを前提に授業をしている教員もいる。その授業では、さらに Moodle (LMS) を利用して、課題を動画のクリップ付きで受講生に提出させ、それを教員がコメントの上、返却している。これらのやりとりはすべてインターネット上で行うことが出来るので、提出した受講生と教員のやり取りを他の受講生も見ることが出来る。一人の受講生への教員からのコメントを全受講生が共有できるので、教員と学生の間での双方向の教育というだけではなく、受講者同士の横のつながりをも促すことが出来る。

Moodle を利用したさらなる利用法として、卒業論文 (卒業研究) への計画的な取り組みが挙げられる。本学科では全員の学生が 3 年次、4 年次とゼミに所属し、ゼミの担当教員の指導のもとで卒業論文 (卒業研究) を完成させることになる。教員による卒論 (卒研) 指導をすべて Moodle 上のファイルのやりとりとして残すことで、学生が卒論 (卒研) の進展を逐次確認できるようになる。また過年度の学生と教員とのやりとり、他学生と教員とのやりとりを学生達も閲覧できるようにすることで、特に卒論 (卒研) の進め方に不安を持つ 3 年次の学生に対して、卒論 (卒研) 完成への指針を示すことができるようになる。

令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響により、年度当初から全学的・全面的にオンラインの授業を余儀なくされている。卒業論文の中間発表は卒業生が卒業論文を書き上げる上で重要な通過点で、中間発表が不可能ではないかと危ぶまれた。しかし学生はほぼ全員がスマートフォンを保持している。これを利用して発表予定学生に音声を録音させ、配布文書を PDF 化して Moodle にアップロードしてもらうことにより、「オンデマンド型オンラインの中間発表」が可能となった。もちろん Zoom などの同時配信型の発表も可能であるが、オンデマンド型では発表が音声ファイルと PDF として残ることで、次年度以降に卒業論文を書く学生も過去の学生の研究を参考とすることができる。動画の録画を利用することもできるわけであるが、ファイルのサイズなどを考慮すると実際は難しく、PDF と音声という組み合わせがより現実的であることを確認できた。遠隔授業という限られた教育環境の中で得られた教訓である。

上記のような様々な試みの成果を将来的に公にすることなども含め、今後も努力を積み重ねて行くことに努めている。

【ドイツ語圏文化学科】

(1) 基礎教育の充実

ドイツ語圏文化学科では、学生が自らの興味に応じて3年次から三つのコース（言語・情報コース、文学・文化コース、現代地域事情コース）のうちいずれかを選択し、専門の勉強を始める。三つのコースに進む前の段階として、1・2年次は、基礎的なドイツ語力を付けるカリキュラムが組まれている。その中心となるのは、日本人教員が担当する初級・中級文法のクラスが週2コマ（1年生）、3コマ（2年生）、母語話者と日本人の教員がティームティーチングをするコミュニケーション主体のクラスが週3コマ用意されている。これらの授業はいずれも基本的に1クラス25名以下（再履修者がいても30人以下）に押さえられており、きめ細かい指導を行っている。

さらに、1年次第1学期は、令和2年度から、「アカデミック・スキルズ入門」という科目を新規開講し、発表の仕方、文献検索の仕方、レポート作成といったアカデミックスキルの指導を行うことで初年次教育を充実させた。1年次第2学期は、昨年度まで1年次生全員が1クラスになっている「現代地域事情入門ゼミナール」を2クラスにし、第1学期に習得したアカデミックスキルをもとに、ドイツ語圏の事情を調査・発表する授業形態に改めるというカリキュラム改革を実行した。

相関係数表の中で、もっとも相関係数が高かったのはQ9「教員は理解しやすい授業を行っている」とQ12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」の0.813ポイントである。一年次に、基礎ゼミナールの形で、学部4年間に必要な基本的な技能と知識を教授することで、学生の授業に対する総合的な満足度は高まっていると言えよう。

2年次はすでに細かい指導が可能になるようにクラスを二分割し、1学期完結の形で「言語・情報コース入門ゼミナール」と「文学・文化コース入門ゼミナール」を必修としている。

このように2年間にわたり三つの入門ゼミを受講することで、文化学、言語学、文学の基礎知識を得ることができ、3年次に専門コースを選択する際に役立つように設計している。

(2) アクティブ・ラーニングの実践

ドイツ語圏文化学科のゼミナールではほぼすべてでリアクションペーパーを導入し、学生の学習状況を把握し、質問等にきめ細かく答えられる態勢になっている。また、予め課題に関するレポートを提出させ、授業中ではその内容に対する討議を行う「反転学習」も実践している。

その一環として、毎年5月に、1年生、3年生を対象にした文献検索等のガイダンスを大学図書館に依頼し実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響ですべての授業がオンラインで行われる中、大学図書館の尽力をいただき、6月4日に1年生対象の、7月1日に3年生対象の大学図書館ガイダンスを実施することができた。それぞれの学年で必要な到達目標を勘案し、教員と図書館職員との打ち合わせを

した上で実施した。これにより、1年生は基本的な文献の検索、3年生は卒業論文・卒業研究執筆に必要な専門文献を検索し入手する技術が身につくようにしている。

(3) 卒業論文・卒業研究のきめ細やかな指導体制

卒業論文指導は、3年次の7月に行われる第1回ガイダンスから始まり、4年生の4月の時点から本格的に始まっている。令和2年度は対面での指導はまだ行うことができないが、各教員ともオンラインで充実した指導を行っている。

【フランス語圏文化学科】

(1) シラバスについて

シラバスがオンラインのみで閲覧可能となったことにより、シラバスを受講前に読まない傾向に拍車がかかっているようである。これからの対策としては、令和2年度のオンライン授業においてのように、授業前にシラバスに基づいた授業ガイダンスを行うということが考えられる。シラバス作成時から授業開講時までに生じた相違点、修正点などを明確にし、いわば最新のシラバスを授業前に学生に口頭あるいは書面で提示する。すでに年度初めのガイダンスでもシラバスの閲覧は促しているが、それぞれの授業における取り組みが必要とも考えられる。

(2) 授業への取り組みの意欲を高めるための取り組み

- ・学生の意欲を高め、かつ授業を双方向的なものにするべく、主に受講者数の多い科目においてリアクション・ペーパーを活用している。これによって、授業中のみでは把握できない学生の疑問、意見などを汲み取り、それらに柔軟に対応できるようにしている。また、授業の理解度、興味の方向性などを見極めるための資料ともしている。
- ・授業で課すレポートなどの提出物は、出したままで終わらないよう、課題全体についての講評を行なうことに加え、添削やコメントなどを付して個別に返却している。
- ・フランス語については、入学時に殆どの学生がフランス語初修者であることをふまえ、特に1年次学生については細かく学生の習熟度を観察している。具体的には定期的な小テスト、同じクラスを担当する教員間での情報交換などを実行している。学生間での習熟度の差について授業担当者同士で情報を共有し、できる限り躓いた、ないしは躓きそうな学生をフォローするようにしている。出席状況が悪い学生については定期的に学科会議で話し合い、教員全員が情報を共有して対応するようにしている。また、出席状況の悪い学生とは主任、教務委員、助教を中心とした教員が面談を行なっている。事例によっては学生相談室とも連携して対応している。
- ・年に1～2回、日本語話者による（またはフランス語話者に通訳がつく）講演会を開催し、フランス語圏文化の知識を深める契機を提供している。また、共同閲覧室には常にフランスの新聞、短期・長期語学研修についての最新の資料、フランス語

圏関連の公演情報などを置き、学生に最新のフランス語およびフランス語圏文化に関する情報を提供するように努めている。

(3) 授業の理解度を深めるための試み

- ・授業の理解度に関連する質問事項 (Q5「この授業の水準に満足している」、Q6「教員は理解しやすい授業を行っている」) の解答をふまえて、令和2年度から新たに1年次全学生を対象とした授業として「入門演習」を開講した。大学で学ぶにあたって必要なアカデミック・スキル (情報や文献の検索、文献資料の読解及び要約、レポートの作成、発表の仕方など) を、少人数の演習形式で習得する授業である。大学での授業をより良く理解し、さらには自らの学習成果を効果的に発表する力を養成することを目指している。令和元年度には試験的に2年次学生の「基礎演習」の授業内で文献の要約演習を行ったが、その結果をふまえて発展・充実させた授業がこの「入門演習」である。
- ・また学科として、以前から3年次学生全員に「3年次レポート」を課している。これは、学生自身が関心を明確化し、文章の構成などに習熟するための機会であるが、同時に、4年生で履修する必要がある卒業論文、卒業翻訳、卒業演習のいずれかを選択するにあたって、教員が学生の適性や関心をきめ細かく把握できるようにするためのものでもある。特にその学生をゼミで担当する教員は、「3年次レポート」を元に個別に対応、指導している。
- ・授業内容の理解度を深めるための試みとして、3年次における「フランス語実習」の必修化も挙げられる。3年次になると「3・4年ゼミナール」を始めとして、フランス語資料 (文献・視聴覚資料) を使用する授業も増えてくるため、「フランス語実習」では令和2年度より、特に聴解力の増強を目指した授業内容を中心とし、1・2年次における「基礎演習」で習得したフランス語力をさらに発展させ、授業内容の理解の増進およびフランス語圏への留学などに備えることを目指している。

【教育学科】

(1) 理論と実践の往還の重視

教育学科必修科目に位置付けられる「教育学理論」・「初等教育学」などの理論的な科目で教育・人間・公教育に関する思想を、「自然体験実習」・「社会体験実習」などの実践的な科目で教育・子ども・学校のフィールド研究を体験できるようにしている。模擬授業等とあわせて、教育における理論と実践の往還を意識できる構成となっている。また、このような理論と実践を往還させるプロセスにおいて、体験活動やまとめの表現活動、授業の振り返り等を記録に残し全員で共有するなどの、効果的な取り組みが、積極的に進められている。

(2) 1年次から4年次までの演習における学習・研究の取り組み

1年次「基礎演習」、2年次「教育学・教育実践演習Ⅰ」、3年次「教育学・教育実

実践演習Ⅱ」、4年次「卒業論文指導」を開講して、4年間を通して教員と学生による演習を系統的かつ実践的に受講できるようにしている。基礎演習では、大学での学問をするための基礎・基本を習得し、教育学・教育実践演習Ⅰでは、教育学という学問を教育基礎学・教育実践学・教育創造という三つの観点から深め、教育学・教育実践演習Ⅱでは、ゼミナールの選択と卒業論文の掘り下げをおこない、卒業論文指導では、具体的に卒業論文に取り組んでいる。

(3) 小学校教員としての教育力の育成

小学校教員養成を目的とする理論的科目で、教育の基礎・心理・制度・課程について学び、実践的科目を通して教科教育と教科外教育に関わる専門的・実践的な資質・能力を高めている。なお、学習指導要領の学習、学習指導案の作成、模擬授業の実施は、すべての教科教育法で取り組み、4年次の初等教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにおいて、4週間にわたる小学校の現場実習をおこなっている。小学校教育に対応できるように、アクティブ・ラーニング、反転授業、体験型学習、模擬遠足、等を含め、小学校で実施されている多様な教育方法を、学科の授業においても活用している。また、教員希望者向けの教員採用試験対策講座、教職合宿などの授業外活動も充実させている。

(4) 現代的課題の学び合い

「世界の教育」・「教育社会学」などの教育と現代社会に関する科目、「環境教育論」・「ボランティア学習論」などの新しい実践の創造に関する科目、「発信技法」・「アクティブ・ラーニング」などの表現と体験に関する科目を多様の形で配置し、学生の興味・関心に即して、個々に学習・研究が深化されていくように配慮し、映像記録やグループ討議、リアクション・ペーパーを活用した授業等が、積極的に取り組まれている。

(5) 学生の進路についての情報共有と対応

教育学科第4期生の進路は、例年のように、小学校教員を中心として、大学院・企業・公務員・その他、となっている。卒業や進路に関して、学生の状況を教員間で情報共有しながら、丁寧に対応していく。

(6) その他

例年(1)～(5)をはじめ、教育学科の特色、専門性を生かした取り組みを改善、充実させてきたが、とりわけ令和2年度においては、WebClass、Zoomなどを効果的に活用した教育・研究環境にあっても、その特性を生かしつつ、同期型での講義や演習、事前に資料や映像を提示し、同期型と併用した課題提出型講義を実施するなど、可能な限り丁寧で効果的な講義、演習、実習の在り方、個々の指導に対する工夫を心がけていくこととしたい。また、例年以上に教員間の連絡や協議を重ね、継続的で柔軟な対応、改善、充実に力を尽くしたい。

IV. 理学部

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための遠隔授業化という要請があり、その大きな変化に対する取り組みを中心に報告していきます。

特に、物理学科の田崎教授は遠隔授業の方法論の確立に早い段階から注力し、その全般的な内容についてホームページで以下のように公開しています。

1.

理学部では「遠隔授業に関するワーキンググループ」を立ち上げ、一学期開始前に遠隔授業の実施方法について、教育効果、制度的な側面、そして実際の技術的な側面について詳細な検討を行い、理学部及び広く学内外の大学教員の遠隔授業のための手引きを作成し、以下で公開した。

<https://www.sci.gakushuin.ac.jp/remote/>

2.

田崎は一学期開始前からオンデマンド型の授業の実質的な方式を検討し、試作品と作成の手引きを公開した。

<https://www.gakushuin.ac.jp/~881791/RLtest/>

<https://www.gakushuin.ac.jp/~881791/RLtest/tips.html>

さらに、学期中にも受講している学生からのフィードバックを頻繁に得ながら講義資料、音声、動画配信を組み合わせた方式を検討し、そのプロトタイプを広く公開している。

<https://www.gakushuin.ac.jp/~881791/hbrl/>

また、理学部の各教員が講義の特性に応じて行ってきた様々な工夫について、科目ごとの事例を以下に報告します。

●「有機化学概論Ⅰ」

WebClass を使い、オンデマンドで資料の PDF ファイルと音声ファイルをダウンロードする形式での授業を行った。講義内容の理解度の確認と出席確認のために、授業終了後に回答時刻の締切を設けた上で簡単な小テスト（四択式）を行った。採点を自動でできるために、解答用紙を配付して採点していた時の従来の手間が圧倒的に軽減された。小テストは出席確認も兼ねているために、学生の出席への意識が高まったと思われる。

●「微分積分Ⅰ」

大学入学後、一度も登構できていない1年生が勉強するペースを作れることを目標に、

WebClass を用いたオンライン授業を行った。本来は週 2 回の講義、週 1 回の演習という時間割であったが、週 3 回（月曜、水曜、金曜）の講義と演習を組み合わせた授業とし、各回に、講義に当たる、教科書の内容を敷衍した PDF 資料と講義の音声ファイルを掲示し、それにより勉強するとともに、毎回講義のまとめノート（レジュメ）を当日中に提出するように求めた。また、演習問題（クイズ）も毎回掲示し、翌日中に解答を提出することを求め、次回に演習の解答を掲示した（演習は助教が担当した）。提出物に質問、感想などを書いてもらい、適宜、コメント、タイムラインを用いてフィードバックを行った。毎回の授業の量が多すぎないように気をつけながら、12 週間の間に、レポート課題の提示を含めて 36 回の授業を行った。

● 「生命科学科 一年生実習／三年生実習」

「体験」「座学の適用」「気づき」「最先端研究に触れる」という実習の要素を再現できるよう、動画教材、レポート課題、フィードバックの三つで実施した。

- ・ 学生同士のディスカッションを再現するため、学生のレポートの、アイデアを問う課題では、zoom での解説で、学生に説明させることで、学生間で刺激が与えあえるよう配慮した。
 - ・ 動画教材は内容を凝縮し、時間自体を短くすることで、集中力がもつように配慮した。
- #添付資料：生命科学科 岡田研実習報告 (p.147)

● 「分子細胞生物学 1」

生命科学科 1 年前期の必須科目「分子細胞生物学 1」の WEB 講義において、第 1 回と第 2 回は高校生物の内容を中心に「メンデルの遺伝の法則」などわかりやすく解説した。

講義の合間に復習を兼ねて関連する問題を随所に入れてその都度解答を示した。すべての講義の最後にレポート課題を与え、出席点とレポート内容で成績を付けたが、9 割以上の学生が 80 点以上の成績で真面目によく頑張ったと思う。

● 「生化学 1」「分子細胞生物学 2」他

- ・ 毎回提供する講義資料の最後に「まとめ課題」をつけた。この課題は講義を聞いていればすべて答えられる内容のため、毎回の提出は求めず、復習として手書きで作成してもらい、最終講義終了後に郵送（着払い）にて提出してもらった。
- ・ まとめ課題とは別に思考問題を WebClass のレポート機能を利用して提供した。講義終了後 1 週間以内に提出してもらい、その後、講義で解説または解説資料として提供した。その際、非常に Good な学生のレポートを名前を伏せて一緒に提供する場合もあった。
- ・ 講義および実習は講義専用 HP を作成し、アカウント登録をお願いした。各講義・実

習の履修者について、それぞれ特定のページのみにアクセス可能として、そこから講義や実習動画を提供した。資料は WebClass より提供した。

● 「生命科学演習 1」

zoom での講義の際は、別 PC より別アカウントから招待者側としても参加し、学生側からどのように見えているか確認しながら講義を行った。

● 「物理学・数学演習 1」「数学演習 2」

通常の演習は、学生の口頭発表に対して全員で議論するという形式であるが、遠隔授業の実施に伴い、それに相当する質疑討論をオンライン掲示板で行った。学生の発表をアップロードし、それに対して他の学生が質問やコメントを掲示板に書き込み、発表者が回答する、という形で、オンラインでも活発な討論をすることができた。

● 「物理学・数学演習 1」「数学演習 3」

遠隔授業について

- ・履修登録後「連絡可能なメールアドレスから指定のアドレスに登録メールを送信するように」という旨を G-port で伝え、履修者のメーリングリストを作成した。以降の授業連絡はすべてこれを用いて行った。
- ・課題はあらかじめ解いてくる範囲を指定しておく。学生は範囲の問題はすべて解いてくることになっている。提出してもらう問題は、前の週の時点で1問、演習当日の午前中の時点で2問（これはメールで告知）指定し、解いたノートの写真を撮って所定のアドレスまで送るようにしてもらった（前の週の時点で指定するのは、不得手な学生がせめてその問題だけは注力して解いてもらうため）。提出してもらった問題は、可能ならば演習の時間前に、遅くとも翌日までに採点して返却した。課題については、教員が模範答案（手書き）を作成し、学生に送付した。
- ・演習は zoom を用いて行った。最初の 30 分ほどは全員参加の解説セッションで、教員が提出してもらった課題について解説を加えた。解説に対する質問は、ミュート解除もチャットへの書き込みもどちらでもよいとしたが、チャットを用いる人が多かった。その後は、「1時間×3人並列」の演習発表を1日3セット行った。zoom のブレイクアウトセッション機能を用いて、学生には3つのルームに分かれてもらい、教員はそのルームを順に回りながら、発表してもらったり、出来なかった問題についてはヒントを出して解き進めさせたりした。発表は、解いたノートを写真で撮って送ってもらい、それに基づいて口頭で発表するという形式をとった。教員側の指導や解説、ヒントの提示においては、iPad を画面共有し、そのホワイトボードに apple ペンシルで書くという方法を用いた。
- ・試験は、メールで問題を送付し、一定時間の後に答案を写真に撮って指定のアドレス

へ提出させる、という方法を用いた。遠隔試験なので、教科書等を調べるのは可、インターネット検索も可、人に聞くことやソフトウェア (Mathematica など) を用いて解かせるのは不可、という規則で行った。

遠隔授業では定着度の確認が難しいので、試験はだいたい 5 回程度の授業ごとに 1 回の頻度で行った。

講義一般について

- ・初回授業で、演習の進め方、試験や成績の付け方をまとめた pdf 文書 (対面なら印刷物、遠隔ならメール配信) を履修者全員に配布した。併せて、講義内容と関連する教科書をまとめたリストも配布した。
 - ・(演習 1 のみ) 初回授業時に自己紹介を全員で行ってもらった。
 - ・やる気のある学生を飽きさせないように、「挑戦問題」「挑戦レポート」等の難易度の高い問題や、最近の研究や発展的な話題などにつながっているような問題を多く設け、進んだ学習ができるようにした。
- 進んだ内容を取り扱っている教科書や論文などの文献も適宜挙げておき、同じく意欲的な学生が進んだ学習を出来るように促した。

● 「応用物理学Ⅱ」

- ・遠隔の実験であっても、学生が各自で考えて実際に装置を操作する経験ができるように、各種センサーを搭載もしくは接続可能なマイコンボードを学生宛に送付した。操作に関する質問等に対応するために、授業時間中は教員と TA・SA で zoom のミーティングを開いておき、必要に応じて学生にも zoom ミーティングに参加してもらい、きめの細かい対応ができるように努めた。
- ・オンラインの授業であっても実演実験を行うために、デジタル一眼レフカメラやビデオカメラの出力を PC に接続できるようにし、同時配信授業を実施した。学生の反応をリアルタイムに確認するために、zoom の投票機能を用いたアンケートを実施した。

● 「物理学科 数学Ⅴ」「熱学及び統計力学 2」

オンデマンド形式で毎週、講義ノート配布すると共に、講義ノートに書き込む形で説明を行なう動画ファイルを配布した。また、講義を主体的に受講するためのペースメーカーの役割を兼ねて、簡単なレポート問題を毎週課した。レポート問題については難易度の異なるいくつかの問題から選択させるようにして、過度の負担が生じないように気を配った。

配信方式の講義を補うものとして、毎週、本来の講義時間を利用して zoom を通じたミーティングを行なった。受講者全体を 8 グループ (各 8 ~ 10 名程度) に分け、毎週 4 グループを対象に、1 グループあたり 30 分程度の時間を費やして、講義についての質問を受ける他、重要なポイントの解説を行なった。

参加は自由形式としたため、定常的な参加人数は当初から半分程に減少し、最終的に平均4～5名／グループ程度となった。少人数になると逆に心理的負担が減るためか質問が多く出るという利点が見られたが、途中でグループ構成を変更して1グループあたりの時間を増やすなどということもできたかもしれない。後期の授業ではこの教訓を生かして、グループ人数の配分を工夫したい。

講義ノートをあらかじめ勉強してもらい、質問を受けるという形式を当初理想として思い描いていたが、グループによってはほとんど質問がでないことも多かった。その場合はこちらで用意した要点や問題について質問を行ない、参加者一人ずつ順番に当てる形で答えてもらうという、対話型の形式をとることにした。数学Ⅴについては講義内容の性質上、「技術を習得する」という側面も強く、このような形式も効果的だったと思う。一方で熱学及び統計力学Ⅱについてはこのような方法は馴染まず、講義時間の使い方として効率が悪かったように思う。

2020 年 8 月 18 日

助教 友池史明

【実習コンセプト】

前期、岡田研では、一年生実習（月の午後、一週間）、三年生実習（火～金の午後、3 週間）を担当しました。

実習の要素は、「実際に自然現象に触れる」「基礎知識の確認（教科書と現実の橋渡し）」「操作を通しての気づき」「最先端への誘い」の四つととらえ、下のスキームに示したように、短めの動画教材・思考を問うレポート課題・フィードバックの三つから成る実習を実施しました。ここで、「実際に自然現象に触れる」「基礎知識の確認（教科書と現実の橋渡し）」が再現できるよう動画教材を、「操作を通しての気づき」に近い体験ができるようレポート課題を、「最先端への誘い」となるようなフィードバックを提供しました。



各教材で留意した点は以下の通りです。

【1 動画】

操作がイメージできるよう、実験操作の実際の動画をいれました。基礎知識の確認としては、図を多用するだけでなく、動画の利点を考え、絵に動きがあるように心がけました。

長い動画では、集中力がもたないため、動画は5分以内にしました。また、一年生実習は一度しかないので、5分程度で一区切りがつくように、余談的なコーナーを挟みました。また、広報や他の教育機関への提供の可能性も加味し、画像、音声著作権上問題ないように配慮しています。

【2 思考を問うレポート課題】

動画の内容の復習になり、また、実験操作で気づく点を体験できるような課題を設けるとともに、アイデアを問う問題を出題しました。

【3 学生の思考を発展させるフィードバック】

一年生実習はレポート講評を返す形でフィードバックしましたが、三年生実習では、毎週金曜日に、火～木曜のレポートの正解を解説することに加えて、学生のアイデアを学生に説明させました。また、学生のアイデアと関連する最新の研究情報を紹介しました。

【教材の頻度およびリンク】

各教材の頻度は以下の通りです。

	三年生実習	一年生実習
動画教材	火~木 毎日 (計8本)	1本
レポート	火~木 毎日 (計7つ) +最終課題	最終課題のみ
フィードバック	毎週金曜 ZOOM にて	各自に講評を返却

各教材のリンクは以下の通りです。

一年生実習

<https://youtu.be/cAwp8gOMSUA>

三年生実習

第一回：<https://youtu.be/Un4Gzg0YWm8>

第二回：<https://youtu.be/97LenYzCGLM>

第三回：<https://youtu.be/BnLzo7WeZWQ>

(第四回はフィードバック回でした)

第五回：<https://youtu.be/rHKGuJfnC7Y>

第六回：<https://youtu.be/VeYVG6pgkKU>

第七回：<https://youtu.be/vtghFydFs5I>

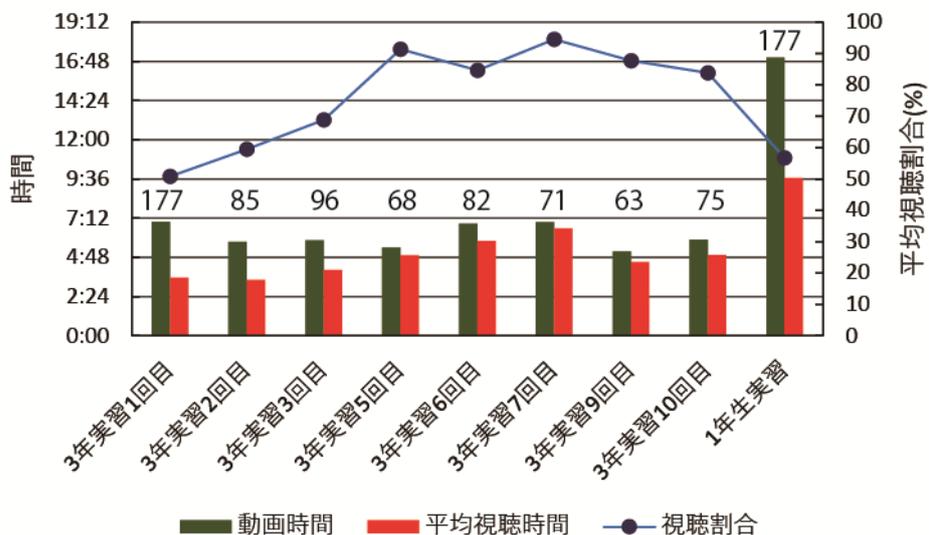
(第八回はフィードバック回でした)

第九回：https://youtu.be/5MvXMx_b4kQ

第十回：<https://youtu.be/-vpaQEbLHsI>

【受講状況】

各動画の視聴状況は以下のようになりました。



グラフ中の数字は、視聴回数です。三年生実習の一回目の視聴回数が多いのは、どのような教材をつくったか、を知り合いに見てもらったため、と思われます。また、第一回～第三回は、そういった視聴で飛ばし飛ばし見たため、視聴割合が下がったと思われます。

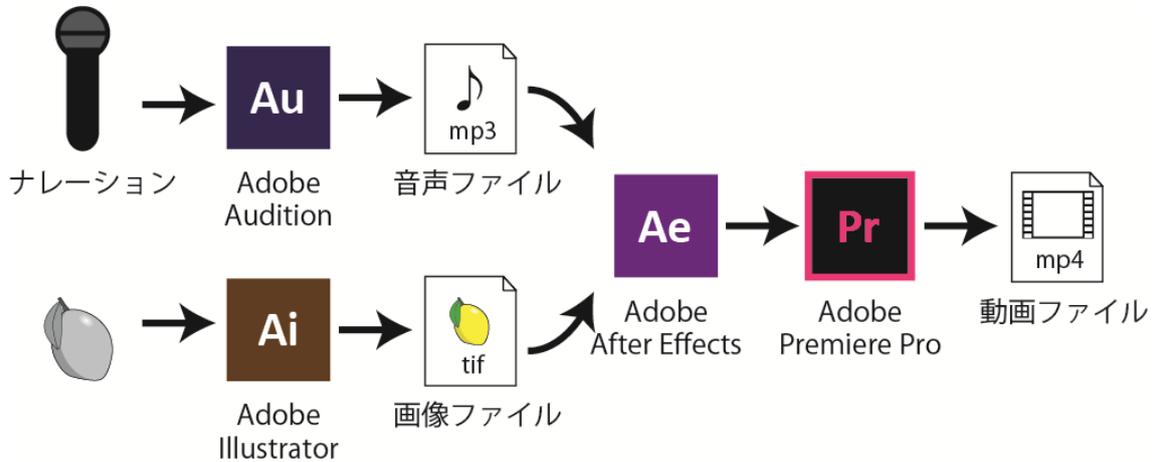
以上のように、7分以内の動画では、90%以上の時間が視聴されていますが、10分を越えた動画であると、50%程度しか見られていないことが示唆されました。

また、実習の感想としては、以下のような意見が寄せられました。

- ・他の実習は一週間に45分の映像を二本、公開してもらったので、もう少し長くてもよかった。
- ・5分程度は集中力をもって助かりました。
- ・実習書を手元で参照しながら動画で実習の様子が見られるのが良いと思います。
- ・同級生のアイデアが聞いてよかった。
- ・同級生のアイデアに刺激を受けた。
- ・次の実習の課題と重なると十分に時間がさけず、生活リズムが崩れた。

【参考：実習の作製スキーム】

音声、絵をそれぞれ用意した後、After Effect を利用して、各シーンを作成、最後に Premiere にてシーンのつなぎ合わせをしました。



ナレーションについては、録音後、**Adobe Audition** でノイズを除去しました。また、教材をブランド化して、他大学の講義でも使ってもらう可能性を考えて、内部で使うイラストは、**Illustrator** で作成し、TIFF 形式で出力しました。これらを **After Effects** に読み込んで、各シーンを作成しました。After Effects だと、細かい調整ができる分、場面展開に弱いので、**Premiere Pro** でシーンをつなぎ合わせました。しかし、ノイズを排除しても、録音中のノイズが残るので、BGM を Premiere Pro でつけました。BGM については、フリー素材として、DOVA-SYNDROME (<https://dova-s.jp/>) のものを利用しました。

上記の、**Audition, Illustrator, After Effects, Premiere Pro** は Adobe 社の **Adobe Creative Cloud** (<https://www.adobe.com/jp/creativecloud.html>) のコンプリートプランに含まれるソフトウェアです。買い取り式でなく、月間または年間契約のソフトウェアです。学生・教職員向けでは、初年度は 1,980 円 (税別) /月、23,760 円 (税別) /年 (二年目以降は、2,980 円 (税別) /月、35,600 円 (税別) /年) です。

ただし、Power Point のリハーサルモードで録音し、動画出力も可能なので、こういった高価なソフトを買いそろえなくても、従来の講義は十分に可能と思われます。

V. 国際社会科学部

● 「入門演習」

入門演習は、1年生向けの社会科学の科目である。少人数のクラスで、専任教員が新生に勉強の仕方や研究の基礎知識を教える科目である。ところが、教員の専門分野は様々なため、学習水準や演習の内容を統一化するのに教員同士で連携を務めている。

アンケート結果では、毎年演習科目の「シラバスとの合致」(Q11)への回答が全学平均を下回っているため、その点の改善に向けて研修会を多数行った。まず、評価方法を統一し、学生間の不平等が起きないように、「平常点」の評価の仕方について細かい基準を設定した。そして、レポートのページ数、提出締め切りなどについても方針を合わせている。最後に、夏休み中の読書課題を共通な課題として設定している。

● 「Global Challenges」

Global Challenges is a required elective course provided for 2nd and 3rd year students in the faculty of International Social Sciences. The course introduces students to the United Nations' Sustainable Development Goals (SDGs), and requires them to develop their skills of researching case studies and reporting in English. Engaging the students actively with the learning process is also an important feature of the class. For example, each student chooses a research topic of interest to them related to one of the SDGs, and reads extensively about it, using sources in English such as United Nations documents and journal articles. Their language skills are further developed by the "pair share" - periods of discussion where the students exchange details of their own personal research with each other.

One aspect of the course that was improved was finding a way to make the "pair share" more than just an ephemeral conversation, easily forgotten after class. Each student set up their own online forum, called a Learning Record, on Moodle to serve as a kind of repository for the details learned during the "pair share". At the end of the class, students would add a new post to their partners' Learning Record, a summary of what they had learned from their partner. This has two advantages. One is that each student could then look back on all their posts to review what they had learned from each other about the different SDGs and related case studies. Secondly, as students researched their chosen topic more deeply, this was reflected in the posts to the Learning Record getting longer. It became quite clear when someone had done a lot of reading, and overall encouraged more active participation among students.

●「中国社会の経済分析」

本授業は国際社会科学部の2年生向けの大人数の講義です。令和元年度の履修者数は240人を超えました。大人数の講義では教員は一方的に授業を進め、学生は積極的に参加できない問題が良く指摘されています。そこで、私はこれまでの経験を踏まえた上で幾つの工夫をすることでより学生達の勉強意欲を引き出すことに成功しました。

第一に、教室の中で学んだ知識は、積極的に活用しないと学生の勉強意欲は減退し、学習効率は低下するため、中国における家計調査データなどを使って、講義中に学生が自分のパソコンで分析する学習活動を盛り込みながら中国経済を教えるという教育手法によって、学生が現実の社会・経済と彼らが学んでいる事の関連性を理解できるようになりました。

第二に、大人数の授業では学生の意見や理解度を把握しにくいという問題がよく指摘されました。そこで、学習管理システム Moodle を活用して、授業中に常に講義内容に関連するクイズ問題を答えさせたり、意見フォーラムで学生の意見を取集したりすることで、より早く学生の反応や問題が見えるようになりました。

このような工夫をしてアクティブ・ラーニングを目指しているうちに、「中国社会の経済分析」は学生にとってより参加しやすい講義になってきました。

●「世界の貧困問題」

履修者が200名を超える大教室で静寂な学習環境を保てないことが一番の問題であった。それまで期末レポートを課していたが、とりあえず提出すれば単位が取れると誤解して授業を欠席したり、出席しても集中しなかったりする学生が多いことが原因と判断し、期末試験に変更した。招聘したゲスト講師の回にも、関連した出題がある、と事前に通知したため、多くの出席者があり、かつ真面目に聴講した。試験にはA3用紙1枚のみの持ち込みしか許可しなかったため、普段から学習している学生に有利であった。

●「Sustainable Development」

多くの学生にとって同科目が初めて英語で受ける講義科目となるため、最初の数回は緊張が見られる。そこで、Sustainable Development Goals の4番目の目標に焦点を当てた、世界100か国で同時期に実施される「世界一大きな授業」キャンペーン（日本の主催：教育協力 NGO ネットワーク）に同科目として参加し、これに3回の授業を当てた。キャンペーン主催者の支援も受け、アクティブ・ラーニングの英語教材を工夫した結果、学生の英語能力の差異に関わらず授業に参加しやすい環境を作ることができた。

●「会計学」

会計学は、1年生向けの講義科目であり、会計学の入門的な知識を教えている。毎年、アンケート結果で「知的好奇心を刺激したか」(Q13)の評価が平均より下回っており、

授業内容を工夫しながら改善に努めている。

令和元年度には、財務諸表論の他に財務諸表分析の技法を加えて、学生の会計情報の使い方に注目した。例えば、小売業の収益性を例として取り上げ、多国籍企業の戦略を財務諸表から分かる分析方法を教えた。自分の研究対象である製菓業の無形資産やコスメティックス業における合併を交えながら、財務諸表の読み方に注目して会計学の基礎を学習した。

学生の関心については、「会計学関連の仕事が AI・ロボットで絶滅する」と、学生からよく指摘をうける。それよりも、新技術の影響によって会計業務が変わることと、技術変化をカウンセリングできる公認会計士や弁護士が必要とされることを説明する。できる限り、日本企業・多国籍企業が必要とする最新の知識を考えながら、授業の内容を毎年アップデートしている。

● 「Cost Accounting」

Cost Accounting は、3年生向けの英語で学ぶ管理会計の講義である。授業アンケートの結果では、総合評価（Q12）が高いものの、内容が難しい（Q9）と指摘された。国際社会科学部のカリキュラムでは、管理会計と関連する日本語の科目がないことから、学生にとって難しいと判断した。

Cost Accounting（管理会計）の代わりに、**Financial Statement Analysis**（財務諸表分析）を開講することにした。**Financial Statement Analysis** は、日本語で開講される「会計学」（1年次）や国際会計論（2年次）と英語で開講される **Financial Accounting**（財務会計論）に近い分野であるため、学生にとって分かりやすくなると期待できる。また、**Cost Accounting** と同様に、事例をもとに学問を勉強することができ、アメリカやヨーロッパの多国籍企業の事例を多数取り上げている。

VI. 外国語教育研究センター

- 初級の授業で人称変化や冠詞の格変化の表を覚えさせるために、オンラインの小テストを行うと同時に小テストの為の自習用教材を作って自習の便を図った。
- リーディングの授業でテキスト中に日本人にはイメージしにくい語や場面が出て来た際は、学生達がイメージし易いように訳例と解説の教材に写真を貼り付け、理解の助けとした。
- 初級の授業で説明文、表および例文とその和訳に、下線や太字、色付、矢印を併用した補足的解説等を施し、重要な部分が一目で分かるようにした。
- リーディングの授業で、図書館の電子ジャーナルの英字新聞を多読に利用して、リアルタイムに世界や日本の事情を英語で読む機会を提供し学生の語彙増強を図っている。
- リーディングの授業で、オンラインワークブックのある教科書を選択して、学習したことをオンライン上でいつでも復習できるようにしている。
- 学生の音声チェックのために、発音練習の成果をスマホ等で録音させて提出させ、それを Audacity という編集ソフトに取り込み、こちらで、コメントを入れて、返却することを試みた。学生からは評判がよかったが、手間がかかりすぎるという問題があった。
- Zoom を用いる授業では発音チェックなどリアルタイムで行った。
- Zoom で行う授業では、インターネットの画像、自分のパソコン上の資料、iPad に入れたある辞書などを提示しながら説明した。

VII. スポーツ・健康化学センター

- 「教員は熱意を持って授業を行なっている」「教員は理解しやすい授業を行なっている」に「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答する学生が一定数いる。これらの状況を改善する効果も期待して、専任教員・非常勤講師のうち数名は、公益社団法人全国大学体育連合の開催する教養体育の指導者養成講習会などに参加し、教授方法、実技指導方法などの講習を受講した。他大学の教員とも意見交換を行うなど、教育能力の向上に努めている。
- 「施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた」に「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答する者が一定数いる。近年の猛暑による熱中症対策も考慮して、体育館にエアコンを設置した。

第5章

資料集

(質問項目別基礎データクロス表)

Q1 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計七	講義	888 25.78%	1,341 38.94%	852 24.74%	176 5.11%	187 5.43%	3,444 100.00%	3.75	1.065	3.80	0.358
外七	語学	2,750 28.49%	3,906 40.47%	2,225 23.05%	401 4.16%	369 3.82%	9,651 100.00%	3.86	1.003	3.91	0.352
スポ健	演習	731 46.06%	514 32.39%	228 14.37%	50 3.15%	64 4.03%	1,587 100.00%	4.13	1.037	4.23	0.415
基礎教養	講義	1,800 29.60%	2,620 43.09%	1,293 21.26%	211 3.47%	157 2.58%	6,081 100.00%	3.94	0.936	3.98	0.291
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	1,800 29.60%	2,620 43.09%	1,293 21.26%	211 3.47%	157 2.58%	6,081 100.00%	3.94	0.936	3.98	0.291
法学部	講義	2,598 30.55%	3,492 41.06%	1,929 22.68%	286 3.36%	200 2.35%	8,505 100.00%	3.94	0.935	3.97	0.246
	演習	775 49.99%	531 33.57%	212 13.40%	45 2.84%	19 1.20%	1,582 100.00%	4.26	0.882	4.30	0.438
	計	3,373 33.44%	4,023 39.88%	2,141 21.23%	331 3.28%	219 2.17%	10,087 100.00%	3.99	0.935	4.11	0.379
経済学部	講義	2,957 30.53%	3,576 36.93%	2,414 24.93%	456 4.71%	281 2.90%	9,684 100.00%	3.87	0.994	3.96	0.317
	演習	596 42.88%	502 36.12%	213 15.32%	47 3.38%	32 2.30%	1,390 100.00%	4.14	0.952	4.13	0.451
	計	3,553 32.08%	4,078 36.82%	2,627 23.72%	503 4.54%	313 2.83%	11,074 100.00%	3.91	0.993	4.03	0.386
文学部	講義	2,617 28.19%	3,748 40.37%	2,082 22.43%	464 5.00%	372 4.01%	9,283 100.00%	3.84	1.020	3.91	0.369
	演習	2,087 34.28%	2,495 40.98%	1,146 18.82%	208 3.42%	152 2.50%	6,088 100.00%	4.01	0.945	4.06	0.341
	計	4,704 30.60%	6,243 40.62%	3,228 21.00%	672 4.37%	524 3.41%	15,371 100.00%	3.91	0.994	4.00	0.361
理学部	講義	971 23.24%	1,497 35.83%	1,230 29.44%	261 6.25%	219 5.24%	4,178 100.00%	3.66	1.063	3.70	0.341
	演習	305 29.13%	392 37.44%	279 26.65%	31 2.96%	40 3.82%	1,047 100.00%	3.85	0.999	3.86	0.236
	計	1,276 24.42%	1,889 36.15%	1,509 28.88%	292 5.59%	259 4.96%	5,225 100.00%	3.69	1.053	3.73	0.329
国際社会科学部	講義	1,263 30.93%	1,567 38.38%	928 22.73%	172 4.21%	153 3.75%	4,083 100.00%	3.89	1.015	3.87	0.262
	演習	204 33.72%	237 39.17%	101 16.69%	34 5.62%	29 4.79%	605 100.00%	3.91	1.075	3.94	0.546
	語学	896 37.07%	856 35.42%	449 18.58%	102 4.22%	114 4.72%	2,417 100.00%	3.96	1.072	3.98	0.385
	計	2,363 33.26%	2,660 37.44%	1,478 20.80%	308 4.33%	296 4.17%	7,105 100.00%	3.91	1.040	3.94	0.390
教職課程	講義	230 23.71%	391 40.31%	237 24.43%	60 6.19%	52 5.36%	970 100.00%	3.71	1.062	3.90	0.376
	演習	339 31.42%	427 39.57%	216 20.02%	45 4.17%	52 4.82%	1,079 100.00%	3.89	1.050	3.97	0.321
	計	569 27.77%	818 39.92%	453 22.11%	105 5.12%	104 5.08%	2,049 100.00%	3.80	1.059	3.94	0.343
学芸員	講義	177 30.31%	291 49.83%	95 16.27%	13 2.23%	8 1.37%	584 100.00%	4.05	0.822	4.11	0.226
	演習	43 56.58%	27 35.53%	6 7.89%	0 0.00%	0 0.00%	76 100.00%	4.49	0.643	4.49	0.242
	計	220 33.33%	318 48.18%	101 15.30%	13 1.97%	8 1.21%	660 100.00%	4.10	0.815	4.22	0.287
合計	22,227 30.73%	28,410 39.28%	16,135 22.31%	3,062 4.23%	2,500 3.46%	72,334 100.00%	3.90	1.000	3.97	0.379	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義	13,501 28.84%	18,523 39.57%	11,060 23.63%	2,099 4.48%	1,629 3.48%	46,812 100.00%	3.86	0.999	3.90	0.337	
演習	5,080 37.76%	5,125 38.09%	2,401 17.85%	460 3.42%	388 2.88%	13,454 100.00%	4.04	0.975	4.11	0.407	
語学	3,646 30.21%	4,762 39.46%	2,674 22.16%	503 4.17%	483 4.00%	12,068 100.00%	3.88	1.018	3.92	0.361	
合計	22,227 30.73%	28,410 39.28%	16,135 22.31%	3,062 4.23%	2,500 3.46%	72,334 100.00%	3.90	1.000	3.97	0.379	

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	7,677 25.51%	12,105 40.22%	7,533 25.03%	1,503 4.99%	1,277 4.24%	30,095 100.00%	3.78	1.019	
学部2年	6,807 31.58%	8,564 39.73%	4,676 21.69%	819 3.80%	689 3.20%	21,555 100.00%	3.93	0.983	
学部3年	4,752 36.22%	4,966 37.85%	2,598 19.80%	478 3.64%	327 2.49%	13,121 100.00%	4.02	0.964	
学部4年	1,843 43.02%	1,530 35.71%	693 16.18%	128 2.99%	90 2.10%	4,284 100.00%	4.15	0.938	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	5,787 37.89%	5,942 38.91%	2,606 17.06%	486 3.18%	451 2.95%	15,272 100.00%	4.06	0.969	4.09	0.395	
26～50名	5,132 30.71%	6,529 39.07%	3,716 22.24%	695 4.16%	638 3.82%	16,710 100.00%	3.89	1.013	3.90	0.357	
51～100名	3,612 26.72%	5,273 39.00%	3,358 24.84%	686 5.07%	591 4.37%	13,520 100.00%	3.79	1.033	3.78	0.313	
101～200名	2,604 27.42%	3,812 40.13%	2,281 24.02%	475 5.00%	326 3.43%	9,498 100.00%	3.83	0.997	3.83	0.283	
201名以上	5,092 29.38%	6,854 39.54%	4,174 24.08%	720 4.15%	494 2.85%	17,334 100.00%	3.88	0.972	3.88	0.221	
合計	22,227 30.73%	28,410 39.28%	16,135 22.31%	3,062 4.23%	2,500 3.46%	72,334 100.00%	3.90	1.000	3.97	0.379	

Q2 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	793 23.73%	1,153 34.50%	505 15.11%	70 2.09%	45 1.35%	776 23.22%	3,342 100.00%	4.01	0.879	4.01	0.422
外セ	語学	2,673 28.94%	3,072 33.26%	1,018 11.02%	87 0.94%	40 0.43%	2,346 25.40%	9,236 100.00%	4.20	0.774	4.22	0.311
スポ健	演習	643 42.75%	364 24.20%	103 6.85%	7 0.47%	2 0.13%	385 25.60%	1,504 100.00%	4.46	0.702	4.52	0.306
基礎教養	講義	1,827 31.36%	2,147 36.85%	723 12.41%	77 1.32%	20 0.34%	1,032 17.71%	5,826 100.00%	4.19	0.774	4.19	0.270
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	1,827 31.36%	2,147 36.85%	723 12.41%	77 1.32%	20 0.34%	1,032 17.71%	5,826 100.00%	4.19	0.774	4.19	0.270
法学部	講義	2,489 30.58%	2,881 35.40%	1,086 13.34%	105 1.29%	30 0.37%	1,547 19.01%	8,138 100.00%	4.17	0.787	4.19	0.239
	演習	744 49.73%	452 29.99%	134 8.89%	16 1.06%	11 0.73%	150 9.95%	1,507 100.00%	4.40	0.779	4.45	0.384
	計	3,233 33.52%	3,333 34.56%	1,220 12.65%	121 1.25%	41 0.43%	1,697 17.59%	9,645 100.00%	4.21	0.790	4.30	0.335
経済学部	講義	2,882 31.18%	3,025 32.72%	1,344 14.54%	111 1.20%	49 0.53%	1,833 19.83%	9,244 100.00%	4.16	0.815	4.23	0.301
	演習	609 45.72%	389 29.20%	100 7.51%	15 1.13%	3 0.23%	216 16.22%	1,332 100.00%	4.42	0.732	4.43	0.313
	計	3,491 33.01%	3,414 32.28%	1,444 13.65%	126 1.19%	52 0.49%	2,049 19.37%	10,576 100.00%	4.19	0.810	4.31	0.319
文学部	講義	2,399 26.91%	3,019 33.87%	942 10.57%	131 1.47%	42 0.47%	2,381 26.71%	8,914 100.00%	4.16	0.789	4.21	0.305
	演習	1,967 34.00%	1,834 31.70%	458 7.92%	65 1.12%	26 0.45%	1,435 24.81%	5,785 100.00%	4.30	0.763	4.29	0.374
	計	4,366 29.70%	4,853 33.02%	1,400 9.52%	196 1.33%	68 0.46%	3,816 25.96%	14,699 100.00%	4.22	0.781	4.26	0.347
理学部	講義	917 20.24%	1,081 26.78%	605 14.99%	67 1.66%	33 0.82%	1,434 35.52%	4,037 100.00%	3.99	0.874	4.04	0.342
	演習	295 29.32%	259 25.75%	157 15.61%	12 1.19%	8 0.80%	275 27.34%	1,006 100.00%	4.12	0.877	4.13	0.262
	計	1,112 22.05%	1,340 26.57%	762 15.11%	79 1.57%	41 0.81%	1,709 33.89%	5,043 100.00%	4.02	0.876	4.06	0.330
国際社会科学部	講義	1,183 30.37%	1,212 31.12%	434 11.14%	46 1.18%	16 0.41%	1,004 25.78%	3,895 100.00%	4.21	0.793	4.23	0.212
	演習	181 31.92%	182 32.10%	58 10.23%	7 1.23%	2 0.35%	137 24.16%	567 100.00%	4.24	0.779	4.23	0.359
	語学	763 33.69%	657 29.01%	235 10.38%	24 1.06%	10 0.44%	576 25.43%	2,265 100.00%	4.27	0.794	4.27	0.347
	計	1,364 30.57%	1,394 31.24%	492 11.03%	53 1.19%	18 0.40%	1,141 25.57%	4,462 100.00%	4.21	0.792	4.25	0.317
教職課程	講義	210 22.46%	307 32.83%	147 15.72%	22 2.35%	9 0.96%	240 25.67%	935 100.00%	3.99	0.871	4.19	0.341
	演習	287 27.54%	308 29.56%	108 10.36%	19 1.82%	8 0.77%	312 29.94%	1,042 100.00%	4.16	0.848	4.18	0.319
	計	497 25.14%	615 31.11%	255 12.90%	41 2.07%	17 0.86%	552 27.92%	1,977 100.00%	4.08	0.863	4.18	0.326
学芸員	講義	178 31.45%	230 40.64%	49 8.66%	3 0.53%	4 0.71%	102 18.02%	566 100.00%	4.24	0.733	4.24	0.362
	演習	39 54.17%	21 29.17%	1 1.39%	0 0.00%	0 0.00%	11 15.28%	72 100.00%	4.62	0.522	4.63	0.216
	計	217 34.01%	251 39.34%	50 7.84%	3 0.47%	4 0.63%	113 17.71%	638 100.00%	4.28	0.721	4.35	0.369
合計	20,979 30.31%	22,593 32.64%	8,207 11.86%	884 1.28%	358 0.52%	16,192 23.39%	69,213 100.00%	4.19	0.802	4.24	0.343	

【形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		12,778 28.46%	15,055 33.53%	5,835 13.00%	632 1.41%	248 0.55%	10,349 23.05%	44,897 100.00%	4.14	0.810	4.17	0.316
演習		4,765 37.18%	3,809 29.72%	1,119 8.73%	141 1.10%	60 0.47%	2,921 22.79%	12,815 100.00%	4.32	0.776	4.35	0.366
語学		3,436 29.88%	3,729 32.42%	1,253 10.89%	111 0.97%	50 0.43%	2,922 25.41%	11,501 100.00%	4.21	0.779	4.23	0.320
合計		20,979 30.31%	22,593 32.64%	8,207 11.86%	884 1.28%	358 0.52%	16,192 23.39%	69,213 100.00%	4.19	0.802	4.24	0.343

【学部生・学年別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった			
学部1年		7,711 26.57%	10,433 35.95%	4,176 14.39%	437 1.51%	150 0.52%	6,114 21.07%	29,021 100.00%	4.10	0.803
学部2年		5,987 29.09%	6,293 30.58%	2,194 10.66%	225 1.09%	113 0.55%	5,767 28.02%	20,579 100.00%	4.20	0.800
学部3年		4,380 35.25%	3,695 29.74%	1,156 9.30%	152 1.22%	65 0.52%	2,976 23.95%	12,424 100.00%	4.29	0.793
学部4年		1,809 44.56%	1,176 28.97%	313 7.71%	26 0.64%	8 0.20%	728 17.93%	4,060 100.00%	4.43	0.713

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった				平均	標準偏差
25名以下		5,291 36.53%	4,508 31.12%	1,281 8.84%	155 1.07%	67 0.46%	3,182 21.97%	14,484 100.00%	4.31	0.771	4.32	0.360
26～50名		4,869 30.45%	5,048 31.57%	1,687 10.55%	187 1.17%	69 0.43%	4,132 25.84%	15,992 100.00%	4.22	0.788	4.22	0.321
51～100名		3,358 25.76%	4,177 32.04%	1,709 13.11%	197 1.51%	103 0.79%	3,491 26.78%	13,035 100.00%	4.10	0.837	4.08	0.330
101～200名		2,549 28.09%	3,104 34.20%	1,212 13.36%	163 1.80%	52 0.57%	1,995 21.98%	9,075 100.00%	4.12	0.822	4.12	0.241
201名以上		4,912 29.54%	5,756 34.62%	2,318 13.94%	182 1.09%	67 0.40%	3,392 20.40%	16,627 100.00%	4.15	0.790	4.16	0.200
合計		20,979 30.31%	22,593 32.64%	8,207 11.86%	884 1.28%	358 0.52%	16,192 23.39%	69,213 100.00%	4.19	0.802	4.24	0.343

Q3 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計七	講義	832 24.49%	1,275 37.53%	974 28.67%	207 6.09%	109 3.21%	3,397 100.00%	3.74	0.998	3.78	0.345
外七	語学	3,066 32.31%	4,002 42.17%	1,913 20.16%	380 4.00%	129 1.36%	9,490 100.00%	4.00	0.898	4.03	0.329
スポ健	演習	900 57.73%	456 29.25%	151 9.69%	31 1.99%	21 1.35%	1,559 100.00%	4.40	0.846	4.46	0.325
基礎教養	講義	1,354 22.64%	2,113 35.33%	1,834 30.67%	416 6.96%	263 4.40%	5,980 100.00%	3.65	1.041	3.68	0.358
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	1,354 22.64%	2,113 35.33%	1,834 30.67%	416 6.96%	263 4.40%	5,980 100.00%	3.65	1.041	3.68	0.358
法学部	講義	1,931 22.97%	2,780 33.07%	2,596 30.89%	723 8.60%	377 4.48%	8,407 100.00%	3.61	1.067	3.65	0.377
	演習	752 47.96%	564 35.97%	211 13.46%	35 2.23%	6 0.38%	1,568 100.00%	4.29	0.809	4.32	0.368
	計	2,683 26.90%	3,344 33.52%	2,807 28.14%	758 7.60%	383 3.84%	9,975 100.00%	3.72	1.059	3.94	0.498
経済学部	講義	2,512 26.27%	3,069 32.09%	2,897 30.29%	2,897 7.99%	322 3.37%	9,564 100.00%	3.70	1.048	3.81	0.399
	演習	698 50.95%	510 37.23%	140 10.22%	19 1.39%	3 0.22%	1,370 100.00%	4.37	0.740	4.38	0.288
	計	3,210 29.36%	3,579 32.73%	3,037 27.78%	783 7.16%	325 2.97%	10,934 100.00%	3.78	1.039	4.04	0.454
文学部	講義	2,359 25.73%	3,398 37.06%	2,494 27.20%	645 7.04%	272 2.97%	9,168 100.00%	3.76	1.009	3.87	0.436
	演習	2,315 38.51%	2,585 43.00%	928 15.44%	137 2.28%	46 0.77%	6,011 100.00%	4.16	0.821	4.17	0.298
	計	4,674 30.79%	5,983 39.42%	3,422 22.54%	782 5.15%	318 2.09%	15,179 100.00%	3.92	0.960	4.04	0.395
理学部	講義	886 21.56%	1,423 34.62%	1,274 31.00%	363 8.83%	164 3.99%	4,110 100.00%	3.61	1.042	3.64	0.359
	演習	396 38.19%	373 35.97%	222 21.41%	35 3.38%	11 1.06%	1,037 100.00%	4.07	0.907	4.10	0.301
	計	1,282 24.91%	1,796 34.89%	1,496 29.07%	398 7.73%	175 3.40%	5,147 100.00%	3.70	1.033	3.73	0.391
国際社会科学部	講義	1,077 26.84%	1,361 33.91%	1,136 28.31%	327 8.15%	112 2.79%	4,013 100.00%	3.74	1.030	3.74	0.302
	演習	255 42.50%	226 37.67%	96 16.00%	19 3.17%	4 0.67%	600 100.00%	4.18	0.860	4.19	0.357
	語学	1,065 44.94%	930 39.24%	307 12.95%	57 2.41%	11 0.46%	2,370 100.00%	4.26	0.807	4.27	0.338
	計	2,397 34.33%	2,517 36.04%	1,539 22.04%	403 5.77%	127 1.82%	6,983 100.00%	3.95	0.978	4.11	0.402
教職課程	講義	217 22.70%	368 38.49%	271 28.35%	71 7.43%	29 3.03%	956 100.00%	3.70	0.997	3.90	0.393
	演習	367 34.59%	441 41.56%	204 19.23%	36 3.39%	13 1.23%	1,061 100.00%	4.05	0.885	4.10	0.310
	計	584 28.95%	809 40.11%	475 23.55%	107 5.30%	42 2.08%	2,017 100.00%	3.89	0.955	4.02	0.358
学芸員	講義	135 23.32%	244 42.14%	161 27.81%	26 4.49%	13 2.25%	579 100.00%	3.80	0.924	3.87	0.305
	演習	40 55.56%	29 40.28%	2 2.78%	1 1.39%	0 0.00%	72 100.00%	4.50	0.628	4.52	0.277
	計	175 26.88%	273 41.94%	163 25.04%	27 4.15%	13 2.00%	651 100.00%	3.88	0.922	4.06	0.417
合計	21,157 29.67%	26,147 36.67%	17,811 24.98%	4,292 6.02%	1,905 2.67%	71,312 100.00%	3.85	1.002	4.00	0.421	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義	11,303 24.48%	16,031 34.72%	13,637 29.53%	3,542 7.67%	1,661 3.60%	46,174 100.00%	3.69	1.036	3.76	0.393	
演習	5,723 43.10%	5,184 39.04%	1,954 14.72%	313 2.36%	104 0.78%	13,278 100.00%	4.21	0.835	4.26	0.335	
語学	4,131 34.83%	4,932 41.59%	2,220 18.72%	437 3.68%	140 1.18%	11,860 100.00%	4.05	0.887	4.08	0.345	
合計	21,157 29.67%	26,147 36.67%	17,811 24.98%	4,292 6.02%	1,905 2.67%	71,312 100.00%	3.85	1.002	4.00	0.421	

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	7,952 26.79%	11,118 37.45%	7,868 26.50%	1,919 6.46%	830 2.80%	29,687 100.00%	3.79	0.999	
学部2年	6,193 29.22%	7,815 36.88%	5,309 25.05%	1,279 6.04%	595 2.81%	21,191 100.00%	3.84	1.005	
学部3年	4,302 33.19%	4,628 35.71%	2,970 22.92%	715 5.52%	345 2.66%	12,960 100.00%	3.91	1.007	
学部4年	1,634 38.52%	1,490 35.12%	879 20.72%	176 4.15%	63 1.49%	4,242 100.00%	4.05	0.943	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	6,264 41.65%	5,959 39.62%	2,265 15.06%	419 2.79%	133 0.88%	15,040 100.00%	4.18	0.851	4.19	0.377	
26～50名	5,427 32.94%	6,441 39.10%	3,545 21.52%	764 4.64%	296 1.80%	16,473 100.00%	3.97	0.944	3.98	0.373	
51～100名	3,283 24.64%	4,966 37.27%	3,764 28.25%	880 6.60%	431 3.23%	13,324 100.00%	3.73	1.007	3.72	0.339	
101～200名	2,072 22.12%	3,136 33.47%	2,973 31.73%	808 8.62%	380 4.06%	9,369 100.00%	3.61	1.047	3.60	0.288	
201名以上	4,111 24.03%	5,645 33.00%	5,264 30.77%	1,421 8.31%	665 3.89%	17,106 100.00%	3.65	1.052	3.64	0.306	
合計	21,157 29.67%	26,147 36.67%	17,811 24.98%	4,292 6.02%	1,905 2.67%	71,312 100.00%	3.85	1.002	4.00	0.421	

Q4 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間は、1週間あたり平均で

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 学習時間 3時間以上	4 学習時間 2時間以上 3時間未満	3 学習時間 1時間以上 2時間未満	2 学習時間 30分以上 1時間未満	1 学習時間 30分未満				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	231 6.81%	237 6.98%	656 19.33%	700 20.63%	1,569 46.24%	3,393 100.00%	2.07	1.242	2.05	0.519
	外七	548 5.76%	776 8.16%	2,497 26.26%	3,087 32.46%	2,602 27.36%	9,510 100.00%	2.33	1.129	2.34	0.500
基礎教養	演習	178 11.42%	43 2.76%	87 5.58%	77 4.94%	1,174 75.30%	1,559 100.00%	1.70	1.363	1.80	0.682
	講義	213 3.58%	245 4.11%	716 12.03%	1,093 18.36%	3,687 61.92%	5,954 100.00%	1.69	1.063	1.79	0.446
法学部	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	213 3.58%	245 4.11%	716 12.03%	1,093 18.36%	3,687 61.92%	5,954 100.00%	1.69	1.063	1.79	0.446
	講義	486 5.82%	521 6.23%	1,566 18.74%	1,818 21.75%	3,966 47.46%	8,357 100.00%	2.01	1.198	2.03	0.356
経済学部	演習	307 19.64%	236 15.10%	484 30.97%	308 19.71%	228 14.59%	1,563 100.00%	3.06	1.310	3.14	0.735
	計	793 7.99%	757 7.63%	2,050 20.67%	2,126 21.43%	4,194 42.28%	9,920 100.00%	2.18	1.274	2.52	0.779
	講義	908 9.55%	723 7.60%	1,749 18.39%	1,983 20.85%	4,146 43.60%	9,509 100.00%	2.19	1.322	2.22	0.550
文学部	演習	288 20.93%	252 18.31%	397 28.85%	261 18.97%	178 12.94%	1,376 100.00%	3.15	1.306	3.14	0.670
	計	1,196 10.99%	975 8.96%	2,146 19.72%	2,244 20.62%	4,324 39.72%	10,885 100.00%	2.31	1.359	2.60	0.754
	講義	530 5.84%	581 6.40%	1,504 16.57%	1,903 20.96%	4,560 50.23%	9,078 100.00%	1.97	1.204	2.06	0.597
理学部	演習	766 12.82%	880 14.73%	1,917 32.06%	1,361 22.77%	1,052 17.60%	5,976 100.00%	2.82	1.249	2.83	0.658
	計	1,296 8.61%	1,461 9.71%	3,421 22.72%	3,264 21.68%	5,612 37.28%	15,054 100.00%	2.31	1.292	2.49	0.738
	講義	285 6.96%	342 8.35%	953 23.28%	927 22.64%	1,587 38.76%	4,094 100.00%	2.22	1.238	2.24	0.470
国際社会科学部	演習	322 31.11%	146 14.11%	216 20.87%	165 15.94%	186 17.97%	1,035 100.00%	3.24	1.485	3.23	0.918
	計	607 11.83%	488 9.51%	1,169 22.79%	1,092 21.29%	1,773 34.57%	5,129 100.00%	2.43	1.355	2.42	0.692
	講義	189 4.76%	247 6.22%	773 19.47%	1,007 25.36%	1,755 44.20%	3,971 100.00%	2.02	1.146	2.07	0.292
教職課程	演習	102 17.32%	139 23.60%	177 30.05%	113 19.19%	58 9.85%	589 100.00%	3.19	1.216	3.15	0.572
	計	348 14.76%	439 18.62%	912 38.68%	469 19.89%	190 8.06%	2,358 100.00%	3.12	1.133	3.12	0.508
	講義	639 9.24%	825 11.93%	1,862 26.92%	1,589 22.97%	2,003 28.95%	6,918 100.00%	2.50	1.274	2.83	0.666
学芸員	演習	48 4.55%	65 6.17%	194 18.41%	245 23.24%	502 47.63%	1,054 100.00%	1.97	1.148	2.17	0.619
	計	122 6.06%	134 6.66%	374 18.59%	460 22.86%	922 45.83%	2,012 100.00%	2.04	1.206	2.12	0.548
	講義	74 7.72%	69 7.20%	180 18.79%	215 22.44%	420 43.84%	958 100.00%	2.13	1.263	2.04	0.422
合計	演習	20 3.13%	24 3.75%	109 17.03%	139 21.72%	348 54.38%	640 100.00%	1.80	1.051	1.91	0.402
	計	5,843 8.23%	5,965 8.40%	15,087 21.26%	15,871 22.36%	28,208 39.74%	70,974 100.00%	2.23	1.278	2.41	0.709

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 学習時間 3時間以上	4 学習時間 2時間以上 3時間未満	3 学習時間 1時間以上 2時間未満	2 学習時間 30分以上 1時間未満	1 学習時間 30分未満				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	2,931 6.39%	2,984 6.50%	8,182 17.83%	9,767 21.29%	22,014 47.98%	45,878 100.00%	2.02	1.222	2.07	0.509
演習	2,016 15.24%	1,766 13.35%	3,496 26.43%	2,548 19.26%	3,402 25.72%	13,228 100.00%	2.73	1.376	2.76	0.812
語学	896 7.55%	1,215 10.24%	3,409 28.72%	3,556 29.96%	2,792 23.53%	11,868 100.00%	2.48	1.174	2.52	0.597
合計	5,843 8.23%	5,965 8.40%	15,087 21.26%	15,871 22.36%	28,208 39.74%	70,974 100.00%	2.23	1.278	2.41	0.709

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 学習時間 3時間以上	4 学習時間 2時間以上 3時間未満	3 学習時間 1時間以上 2時間未満	2 学習時間 30分以上 1時間未満	1 学習時間 30分未満			
学部1年	2,330 7.86%	2,599 8.77%	6,329 21.36%	6,794 22.93%	11,573 39.06%	29,625 100.00%	2.23	1.268
学部2年	1,385 6.56%	1,549 7.34%	4,244 20.11%	4,750 22.51%	9,177 43.48%	21,105 100.00%	2.11	1.228
学部3年	1,251 9.76%	1,095 8.54%	2,762 21.54%	2,709 21.12%	5,007 39.04%	12,824 100.00%	2.29	1.320
学部4年	515 12.24%	384 9.13%	1,017 24.17%	942 22.39%	1,349 32.07%	4,207 100.00%	2.47	1.345

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 学習時間 3時間以上	4 学習時間 2時間以上 3時間未満	3 学習時間 1時間以上 2時間未満	2 学習時間 30分以上 1時間未満	1 学習時間 30分未満				平均	標準偏差
25名以下	1,811 12.09%	1,986 13.26%	4,234 28.27%	3,389 22.63%	3,556 23.74%	14,976 100.00%	2.67	1.298	2.66	0.761
26～50名	1,369 8.33%	1,356 8.25%	3,808 23.17%	4,127 25.11%	5,777 35.15%	16,437 100.00%	2.30	1.255	2.30	0.619
51～100名	992 7.48%	955 7.20%	2,616 19.73%	2,887 21.78%	5,807 43.80%	13,257 100.00%	2.13	1.257	2.13	0.539
101～200名	570 6.12%	621 6.67%	1,597 17.14%	1,993 21.39%	4,535 48.68%	9,316 100.00%	2.00	1.215	1.99	0.470
201名以上	1,101 6.48%	1,047 6.16%	2,832 16.67%	3,475 20.46%	8,533 50.23%	16,988 100.00%	1.98	1.224	1.97	0.336
合計	5,843 8.23%	5,965 8.40%	15,087 21.26%	15,871 22.36%	28,208 39.74%	70,974 100.00%	2.23	1.278	2.41	0.709

Q5 この授業の水準に満足している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計七	講義	1,008 29.47%	1,190 34.80%	856 25.03%	242 7.08%	124 3.63%	3,420 100.00%	3.79	1.055	3.84	0.452
外七	語学	3,877 40.36%	3,758 39.13%	1,559 16.23%	292 3.04%	119 1.24%	9,605 100.00%	4.14	0.882	4.17	0.366
スポ健	演習	1,027 65.04%	424 26.85%	103 6.52%	17 1.08%	8 0.51%	1,579 100.00%	4.55	0.710	4.60	0.287
基礎教養	講義	2,328 38.48%	2,437 40.28%	1,108 18.31%	123 2.03%	54 0.89%	6,050 100.00%	4.13	0.844	4.15	0.273
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	2,328 38.48%	2,437 40.28%	1,108 18.31%	123 2.03%	54 0.89%	6,050 100.00%	4.13	0.844	4.15	0.273
法学部	講義	2,986 35.26%	3,130 36.96%	1,860 21.97%	359 4.24%	133 1.57%	8,468 100.00%	4.00	0.940	4.00	0.361
	演習	867 54.91%	491 31.10%	173 10.96%	32 2.03%	16 1.01%	1,579 100.00%	4.37	0.834	4.42	0.390
	計	3,853 38.35%	3,621 36.04%	2,033 20.23%	391 3.89%	149 1.48%	10,047 100.00%	4.06	0.934	4.18	0.427
経済学部	講義	3,380 35.12%	3,331 34.61%	2,348 24.40%	384 3.99%	181 1.88%	9,624 100.00%	3.97	0.961	4.04	0.398
	演習	772 56.02%	449 32.58%	136 9.87%	15 1.09%	6 0.44%	1,378 100.00%	4.43	0.748	4.42	0.351
	計	4,152 37.74%	3,780 34.36%	2,484 22.58%	399 3.63%	187 1.70%	11,002 100.00%	4.03	0.949	4.20	0.424
文学部	講義	3,735 40.42%	3,544 38.35%	1,555 16.83%	290 3.14%	116 1.26%	9,240 100.00%	4.14	0.890	4.23	0.365
	演習	2,711 44.81%	2,390 39.50%	759 12.55%	147 2.43%	43 0.71%	6,050 100.00%	4.25	0.819	4.25	0.370
	計	6,446 42.16%	5,934 38.81%	2,314 15.13%	437 2.86%	159 1.04%	15,290 100.00%	4.18	0.865	4.24	0.367
理学部	講義	1,135 27.29%	1,474 35.44%	1,146 27.55%	264 6.35%	140 3.37%	4,159 100.00%	3.77	1.026	3.82	0.438
	演習	372 35.60%	372 35.60%	247 23.64%	40 3.83%	14 1.34%	1,045 100.00%	4.00	0.931	4.03	0.323
	計	1,507 28.96%	1,846 35.47%	1,393 26.77%	304 5.84%	154 2.96%	5,204 100.00%	3.82	1.012	3.86	0.426
国際社会科学部	講義	1,411 34.74%	1,496 36.83%	920 22.65%	178 4.38%	57 1.40%	4,062 100.00%	3.99	0.936	3.97	0.310
	演習	278 46.41%	223 37.23%	78 13.02%	19 3.17%	1 0.17%	599 100.00%	4.27	0.817	4.27	0.333
	語学	1,137 47.45%	816 34.06%	339 14.15%	77 3.21%	27 1.13%	2,396 100.00%	4.23	0.889	4.24	0.427
	計	2,826 40.05%	2,535 35.92%	1,337 18.95%	274 3.88%	85 1.20%	7,057 100.00%	4.10	0.919	4.17	0.401
教職課程	講義	360 37.27%	343 35.51%	209 21.64%	26 2.69%	28 2.90%	966 100.00%	4.02	0.979	4.27	0.489
	演習	493 45.86%	403 37.49%	147 13.67%	21 1.95%	11 1.02%	1,075 100.00%	4.25	0.838	4.29	0.318
	計	853 41.79%	746 36.55%	356 17.44%	47 2.30%	39 1.91%	2,041 100.00%	4.14	0.915	4.29	0.394
学芸員	講義	246 42.27%	250 42.96%	83 14.26%	3 0.52%	0 0.00%	582 100.00%	4.27	0.717	4.32	0.184
	演習	59 77.63%	16 21.05%	1 1.32%	0 0.00%	0 0.00%	76 100.00%	4.76	0.458	4.78	0.243
	計	305 46.35%	266 40.43%	84 12.77%	3 0.46%	0 0.00%	658 100.00%	4.33	0.710	4.45	0.288
合計	28,182 39.17%	26,537 36.88%	13,627 18.94%	2,529 3.51%	1,078 1.50%	71,953 100.00%	4.09	0.921	4.18	0.410	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		16,589 35.62%	17,195 36.92%	10,085 21.66%	1,869 4.01%	833 1.79%	46,571 100.00%	4.01	0.946	4.05	0.408
演習		6,579 49.17%	4,768 35.63%	1,644 12.29%	291 2.17%	99 0.74%	13,381 100.00%	4.30	0.822	4.35	0.379
語学		5,014 41.78%	4,574 38.11%	1,898 15.82%	369 3.07%	146 1.22%	12,001 100.00%	4.16	0.885	4.19	0.381
合計		28,182 39.17%	26,537 36.88%	13,627 18.94%	2,529 3.51%	1,078 1.50%	71,953 100.00%	4.09	0.921	4.18	0.410

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		10,456 34.92%	11,395 38.05%	6,376 21.29%	1,226 4.09%	491 1.64%	29,944 100.00%	4.01	0.935
学部2年		8,448 39.36%	8,020 37.37%	3,933 18.33%	735 3.42%	326 1.52%	21,462 100.00%	4.10	0.917
学部3年		5,658 43.43%	4,639 35.61%	2,199 16.88%	367 2.82%	165 1.27%	13,028 100.00%	4.17	0.895
学部4年		2,239 52.45%	1,362 31.90%	545 12.77%	93 2.18%	30 0.70%	4,269 100.00%	4.33	0.832

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		7,289 48.05%	5,392 35.55%	1,910 12.59%	439 2.89%	139 0.92%	15,169 100.00%	4.27	0.856	4.29	0.405
26～50名		7,104 42.69%	6,263 37.64%	2,646 15.90%	441 2.65%	186 1.12%	16,640 100.00%	4.18	0.872	4.19	0.361
51～100名		4,598 34.20%	4,980 37.04%	2,899 21.56%	640 4.76%	329 2.45%	13,446 100.00%	3.96	0.983	3.95	0.428
101～200名		3,061 32.36%	3,526 37.28%	2,225 23.53%	455 4.81%	191 2.02%	9,458 100.00%	3.93	0.964	3.93	0.330
201名以上		6,130 35.56%	6,376 36.98%	3,947 22.89%	554 3.21%	233 1.35%	17,240 100.00%	4.02	0.913	4.02	0.316
合計		28,182 39.17%	26,537 36.88%	13,627 18.94%	2,529 3.51%	1,078 1.50%	71,953 100.00%	4.09	0.921	4.18	0.410

Q5-2 授業の水準について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース		
		5	4	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		高すぎる	低すぎる					
計セ	講義	243 69.83%	105 30.17%	348 100.00%	-	-	-	-
外セ	語学	206 54.07%	175 45.93%	381 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	11 47.83%	12 52.17%	23 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	84 55.63%	67 44.37%	151 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	84 55.63%	67 44.37%	151 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	375 80.99%	88 19.01%	463 100.00%	-	-	-	-
	演習	34 70.83%	14 29.17%	48 100.00%	-	-	-	-
	計	409 80.04%	102 19.96%	511 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	357 69.46%	157 30.54%	514 100.00%	-	-	-	-
	演習	12 60.00%	8 40.00%	20 100.00%	-	-	-	-
	計	369 69.10%	165 30.90%	534 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	257 73.43%	93 26.57%	350 100.00%	-	-	-	-
	演習	136 75.56%	44 24.44%	180 100.00%	-	-	-	-
	計	393 74.15%	137 25.85%	530 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	349 90.41%	37 9.59%	386 100.00%	-	-	-	-
	演習	43 89.58%	5 10.42%	48 100.00%	-	-	-	-
	計	392 90.32%	42 9.68%	434 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	140 67.96%	66 32.04%	206 100.00%	-	-	-	-
	演習	10 58.82%	7 41.18%	17 100.00%	-	-	-	-
	語学	55 58.51%	39 41.49%	94 100.00%	-	-	-	-
	計	205 64.67%	112 35.33%	317 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	35 66.04%	18 33.96%	53 100.00%	-	-	-	-
	演習	10 33.33%	20 66.67%	30 100.00%	-	-	-	-
	計	45 54.22%	38 45.78%	83 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	0 0.00%	3 100.00%	3 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	0 0.00%	3 100.00%	3 100.00%	-	-	-	-
合計	2,357 71.10%	958 28.90%	3,315 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース			科目ベース	
	5	4	計	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	1,840 74.37%	634 25.63%	2,474 100.00%	-	-
演習	256 69.95%	110 30.05%	366 100.00%	-	-
語学	261 54.95%	214 45.05%	475 100.00%	-	-
合計	2,357 71.10%	958 28.90%	3,315 100.00%	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	計		
学部1年	1,068 66.96%	527 33.04%	1,595 100.00%	-	-
学部2年	777 79.53%	200 20.47%	977 100.00%	-	-
学部3年	348 72.50%	132 27.50%	480 100.00%	-	-
学部4年	70 64.22%	39 35.78%	109 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース			科目ベース	
	5	4	計	平均	標準偏差
25名以下	363 67.10%	178 32.90%	541 100.00%	-	-
26～50名	368 63.67%	210 36.33%	578 100.00%	-	-
51～100名	698 77.38%	204 22.62%	902 100.00%	-	-
101～200名	452 76.74%	137 23.26%	589 100.00%	-	-
201名以上	476 67.52%	229 32.48%	705 100.00%	-	-
合計	2,357 71.10%	958 28.90%	3,315 100.00%	-	-

Q6 この授業を進める速さは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計七	講義	912 26.65%	1,102 32.20%	844 24.66%	406 11.86%	158 4.62%	3,422 100.00%	3.64	1.130	3.70	0.453
外七	語学	4,179 43.38%	3,671 38.11%	1,375 14.27%	325 3.37%	83 0.86%	9,633 100.00%	4.20	0.866	4.22	0.363
スポ健	演習	1,063 67.49%	384 24.38%	114 7.24%	8 0.51%	6 0.38%	1,575 100.00%	4.58	0.682	4.63	0.265
基礎教養	講義	2,566 42.27%	2,450 40.36%	924 15.22%	100 1.65%	30 0.49%	6,070 100.00%	4.22	0.797	4.22	0.260
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	2,566 42.27%	2,450 40.36%	924 15.22%	100 1.65%	30 0.49%	6,070 100.00%	4.22	0.797	4.22	0.260
法学部	講義	3,139 37.06%	3,240 38.25%	1,666 19.67%	327 3.86%	98 1.16%	8,470 100.00%	4.06	0.907	4.07	0.371
	演習	899 56.97%	472 29.91%	167 10.58%	30 1.90%	10 0.63%	1,578 100.00%	4.41	0.802	4.46	0.382
	計	4,038 40.19%	3,712 36.94%	1,833 18.24%	357 3.55%	108 1.07%	10,048 100.00%	4.12	0.900	4.24	0.422
経済学部	講義	3,532 36.66%	3,332 34.59%	2,148 22.30%	451 4.68%	171 1.77%	9,634 100.00%	4.00	0.968	4.09	0.387
	演習	784 56.77%	437 31.64%	140 10.14%	12 0.87%	8 0.58%	1,381 100.00%	4.43	0.755	4.42	0.342
	計	4,316 39.18%	3,769 34.22%	2,288 20.77%	463 4.20%	179 1.63%	11,015 100.00%	4.05	0.955	4.22	0.404
文学部	講義	3,819 41.26%	3,551 38.37%	1,438 15.54%	367 3.97%	80 0.86%	9,255 100.00%	4.15	0.884	4.25	0.377
	演習	2,865 47.08%	2,340 38.45%	703 11.55%	144 2.37%	34 0.56%	6,086 100.00%	4.29	0.804	4.31	0.347
	計	6,684 43.57%	5,891 38.40%	2,141 13.96%	511 3.33%	114 0.74%	15,341 100.00%	4.21	0.856	4.28	0.362
理学部	講義	1,205 28.91%	1,524 36.56%	1,026 24.62%	272 6.53%	141 3.38%	4,168 100.00%	3.81	1.032	3.85	0.468
	演習	390 37.39%	378 36.24%	243 23.30%	20 1.92%	12 1.15%	1,043 100.00%	4.07	0.885	4.09	0.293
	計	1,595 30.61%	1,902 36.50%	1,269 24.35%	292 5.60%	153 2.94%	5,211 100.00%	3.86	1.010	3.89	0.450
国際社会科学部	講義	1,547 37.99%	1,530 37.57%	803 19.72%	146 3.59%	46 1.13%	4,072 100.00%	4.08	0.904	4.07	0.307
	演習	276 46.08%	217 36.23%	79 13.19%	18 3.01%	9 1.50%	599 100.00%	4.22	0.894	4.24	0.385
	語学	1,194 49.52%	837 34.72%	303 12.57%	49 2.03%	28 1.16%	2,411 100.00%	4.29	0.849	4.29	0.385
	計	3,017 42.60%	2,584 36.49%	1,185 16.73%	213 3.01%	83 1.17%	7,082 100.00%	4.16	0.890	4.22	0.376
教職課程	講義	375 38.78%	365 37.75%	187 19.34%	21 2.17%	19 1.96%	967 100.00%	4.09	0.915	4.33	0.410
	演習	512 47.58%	405 37.64%	133 12.36%	19 1.77%	7 0.65%	1,076 100.00%	4.30	0.800	4.31	0.265
	計	887 43.42%	770 37.69%	320 15.66%	40 1.96%	26 1.27%	2,043 100.00%	4.20	0.863	4.32	0.329
学芸員	講義	250 42.96%	256 43.99%	62 10.65%	14 2.41%	0 0.00%	582 100.00%	4.27	0.747	4.33	0.210
	演習	56 73.68%	19 25.00%	1 1.32%	0 0.00%	0 0.00%	76 100.00%	4.72	0.479	4.73	0.219
	計	306 46.50%	275 41.79%	63 9.57%	14 2.13%	0 0.00%	658 100.00%	4.33	0.735	4.44	0.280
合計	29,563 41.00%	26,510 36.77%	12,356 17.14%	2,729 3.79%	940 1.30%	72,098 100.00%	4.12	0.914	4.22	0.409	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		17,345 37.19%	17,350 37.20%	9,098 19.51%	2,104 4.51%	743 1.59%	46,640 100.00%	4.04	0.943	4.08	0.422
演習		6,845 51.03%	4,652 34.68%	1,580 11.78%	251 1.87%	86 0.64%	13,414 100.00%	4.34	0.805	4.38	0.361
語学		5,373 44.61%	4,508 37.43%	1,678 13.93%	374 3.11%	111 0.92%	12,044 100.00%	4.22	0.863	4.24	0.369
合計		29,563 41.00%	26,510 36.77%	12,356 17.14%	2,729 3.79%	940 1.30%	72,098 100.00%	4.12	0.914	4.22	0.409

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		10,759 35.88%	11,327 37.77%	5,960 19.88%	1,479 4.93%	461 1.54%	29,986 100.00%	4.02	0.945
		8,968 41.71%	8,106 37.70%	3,430 15.95%	717 3.33%	280 1.30%	21,501 100.00%	4.15	0.897
学部3年		6,008 45.93%	4,617 35.30%	2,005 15.33%	326 2.49%	124 0.95%	13,080 100.00%	4.23	0.864
学部4年		2,403 56.28%	1,316 30.82%	444 10.40%	81 1.90%	26 0.61%	4,270 100.00%	4.40	0.797

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		7,658 50.31%	5,256 34.53%	1,810 11.89%	375 2.46%	124 0.81%	15,223 100.00%	4.31	0.835	4.33	0.395
26～50名		7,388 44.30%	6,214 37.26%	2,396 14.37%	542 3.25%	139 0.83%	16,679 100.00%	4.21	0.865	4.22	0.364
51～100名		4,763 35.37%	4,941 36.70%	2,681 19.91%	753 5.59%	327 2.43%	13,465 100.00%	3.97	0.997	3.97	0.457
101～200名		3,181 33.62%	3,669 38.77%	1,968 20.80%	493 5.21%	152 1.61%	9,463 100.00%	3.98	0.947	3.98	0.321
201名以上		6,573 38.06%	6,430 37.24%	3,501 20.27%	566 3.28%	198 1.15%	17,268 100.00%	4.08	0.901	4.09	0.300
合計		29,563 41.00%	26,510 36.77%	12,356 17.14%	2,729 3.79%	940 1.30%	72,098 100.00%	4.12	0.914	4.22	0.409

Q6-2 授業を進める速さについて、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース		
		5	4	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		速すぎる	遅すぎる					
計セ	講義	443 83.27%	89 16.73%	532 100.00%	-	-	-	-
外セ	語学	223 58.53%	158 41.47%	381 100.00%	-	-	-	-
スポーツ	演習	7 70.00%	3 30.00%	10 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	71 61.21%	45 38.79%	116 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	71 61.21%	45 38.79%	116 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	331 83.80%	64 16.20%	395 100.00%	-	-	-	-
	演習	22 59.46%	15 40.54%	37 100.00%	-	-	-	-
	計	353 81.71%	79 18.29%	432 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	474 83.16%	96 16.84%	570 100.00%	-	-	-	-
	演習	11 64.71%	6 35.29%	17 100.00%	-	-	-	-
	計	485 82.62%	102 17.38%	587 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	304 73.61%	109 26.39%	413 100.00%	-	-	-	-
	演習	129 77.25%	38 22.75%	167 100.00%	-	-	-	-
	計	433 74.66%	147 25.34%	580 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	356 92.23%	30 7.77%	386 100.00%	-	-	-	-
	演習	20 68.97%	9 31.03%	29 100.00%	-	-	-	-
	計	376 90.60%	39 9.40%	415 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	144 80.45%	35 19.55%	179 100.00%	-	-	-	-
	演習	20 80.00%	5 20.00%	25 100.00%	-	-	-	-
	語学	56 77.78%	16 22.22%	72 100.00%	-	-	-	-
	計	220 79.71%	56 20.29%	276 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	26 65.00%	14 35.00%	40 100.00%	-	-	-	-
	演習	7 31.82%	15 68.18%	22 100.00%	-	-	-	-
	計	33 53.23%	29 46.77%	62 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	7 53.85%	6 46.15%	13 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	7 53.85%	6 46.15%	13 100.00%	-	-	-	-
合計	2,651 77.88%	753 22.12%	3,404 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース			科目ベース	
	5	4	計	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	2,156 81.54%	488 18.46%	2,644 100.00%	-	-
演習	216 70.36%	91 29.64%	307 100.00%	-	-
語学	279 61.59%	174 38.41%	453 100.00%	-	-
合計	2,651 77.88%	753 22.12%	3,404 100.00%	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース			
	5	4	計	学生回答 単純集計 平均
学部1年	1,455 79.81%	368 20.19%	1,823 100.00%	-
学部2年	715 77.21%	211 22.79%	926 100.00%	-
学部3年	302 73.48%	109 26.52%	411 100.00%	-
学部4年	63 69.23%	28 30.77%	91 100.00%	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース			科目ベース	
	5	4	計	平均	標準偏差
25名以下	325 70.04%	139 29.96%	464 100.00%	-	-
26～50名	423 67.14%	207 32.86%	630 100.00%	-	-
51～100名	832 82.54%	176 17.46%	1,008 100.00%	-	-
101～200名	509 83.99%	97 16.01%	606 100.00%	-	-
201名以上	562 80.75%	134 19.25%	696 100.00%	-	-
合計	2,651 77.88%	753 22.12%	3,404 100.00%	-	-

Q7 教員は熱意を持って授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計七	講義	1,136 33.06%	1,330 38.71%	758 22.06%	130 3.78%	82 2.39%	3,436 100.00%	3.96	0.957	4.00	0.413
外七	語学	5,315 55.16%	3,321 34.46%	866 8.99%	86 0.89%	48 0.50%	9,636 100.00%	4.43	0.734	4.45	0.307
スポ健	演習	1,159 73.35%	346 21.90%	68 4.30%	4 0.25%	3 0.19%	1,580 100.00%	4.68	0.585	4.72	0.242
基礎教養	講義	3,240 53.38%	2,195 36.16%	583 9.60%	34 0.56%	18 0.30%	6,070 100.00%	4.42	0.710	4.44	0.211
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	3,240 53.38%	2,195 36.16%	583 9.60%	34 0.56%	18 0.30%	6,070 100.00%	4.42	0.710	4.44	0.211
法学部	講義	4,241 49.98%	3,107 36.61%	985 11.61%	118 1.39%	35 0.41%	8,486 100.00%	4.34	0.769	4.37	0.269
	演習	1,063 67.24%	390 24.67%	102 6.45%	18 1.14%	8 0.51%	1,581 100.00%	4.57	0.710	4.63	0.314
	計	5,304 52.69%	3,497 34.74%	1,087 10.80%	136 1.35%	43 0.43%	10,067 100.00%	4.38	0.764	4.48	0.316
経済学部	講義	4,466 46.27%	3,442 35.66%	1,459 15.12%	189 1.96%	96 0.99%	9,652 100.00%	4.24	0.850	4.31	0.331
	演習	905 65.06%	408 29.33%	72 5.18%	3 0.22%	3 0.22%	1,391 100.00%	4.59	0.620	4.59	0.290
	計	5,371 48.64%	3,850 34.86%	1,531 13.86%	192 1.74%	99 0.90%	11,043 100.00%	4.29	0.833	4.43	0.342
文学部	講義	5,336 57.57%	3,082 33.25%	732 7.90%	87 0.94%	32 0.35%	9,269 100.00%	4.47	0.710	4.52	0.270
	演習	3,744 61.50%	1,913 31.42%	366 6.01%	44 0.72%	21 0.34%	6,088 100.00%	4.53	0.674	4.54	0.280
	計	9,080 59.13%	4,995 32.53%	1,098 7.15%	131 0.85%	53 0.35%	15,357 100.00%	4.49	0.697	4.53	0.276
理学部	講義	1,764 42.31%	1,547 37.11%	736 17.65%	77 1.85%	45 1.08%	4,169 100.00%	4.18	0.860	4.21	0.349
	演習	466 44.68%	386 37.01%	170 16.30%	14 1.34%	7 0.67%	1,043 100.00%	4.24	0.818	4.25	0.247
	計	2,230 42.79%	1,933 37.09%	906 17.38%	91 1.75%	52 1.00%	5,212 100.00%	4.19	0.852	4.22	0.332
国際社会科学部	講義	2,016 49.34%	1,461 35.76%	508 12.43%	73 1.79%	28 0.69%	4,086 100.00%	4.31	0.808	4.31	0.249
	演習	343 56.88%	203 33.67%	50 8.29%	6 1.00%	1 0.17%	603 100.00%	4.46	0.703	4.48	0.292
	語学	1,480 61.36%	712 29.52%	192 7.96%	21 0.87%	7 0.29%	2,412 100.00%	4.51	0.705	4.51	0.297
	計	3,839 54.06%	2,376 33.46%	750 10.56%	100 1.41%	36 0.51%	7,101 100.00%	4.39	0.771	4.45	0.296
教職課程	講義	429 44.32%	350 36.16%	138 14.26%	24 2.48%	27 2.79%	968 100.00%	4.17	0.953	4.41	0.429
	演習	621 57.61%	358 33.21%	77 7.14%	15 1.39%	7 0.65%	1,078 100.00%	4.46	0.744	4.47	0.268
	計	1,050 51.32%	708 34.60%	215 10.51%	39 1.91%	34 1.66%	2,046 100.00%	4.32	0.861	4.44	0.342
学芸員	講義	316 54.20%	225 38.59%	40 6.86%	2 0.34%	0 0.00%	583 100.00%	4.47	0.638	4.49	0.171
	演習	64 84.21%	12 15.79%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	76 100.00%	4.84	0.367	4.86	0.156
	計	380 57.66%	237 35.96%	40 6.07%	2 0.30%	0 0.00%	659 100.00%	4.51	0.625	4.60	0.234
合計	38,104 52.77%	24,788 34.33%	7,902 10.94%	945 1.31%	468 0.65%	72,207 100.00%	4.37	0.780	4.45	0.330	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		22,944 49.11%	16,739 35.83%	5,939 12.71%	734 1.57%	363 0.78%	46,719 100.00%	4.31	0.810	4.35	0.339
演習		8,365 62.24%	4,016 29.88%	905 6.73%	104 0.77%	50 0.37%	13,440 100.00%	4.53	0.689	4.57	0.296
語学		6,795 56.40%	4,033 33.47%	1,058 8.78%	107 0.89%	55 0.46%	12,048 100.00%	4.44	0.728	4.47	0.305
合計		38,104 52.77%	24,788 34.33%	7,902 10.94%	945 1.31%	468 0.65%	72,207 100.00%	4.37	0.780	4.45	0.330

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		14,245 47.41%	11,169 37.18%	3,967 13.20%	452 1.50%	211 0.70%	30,044 100.00%	4.29	0.803
学部2年		11,719 54.47%	7,236 33.63%	2,137 9.93%	276 1.28%	147 0.68%	21,515 100.00%	4.40	0.773
学部3年		7,485 57.17%	4,226 32.28%	1,181 9.02%	140 1.07%	61 0.47%	13,093 100.00%	4.45	0.740
学部4年		2,825 65.97%	1,129 26.37%	279 6.52%	32 0.75%	17 0.40%	4,282 100.00%	4.57	0.684

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		9,470 62.09%	4,601 30.17%	1,013 6.64%	115 0.75%	52 0.34%	15,251 100.00%	4.53	0.684	4.54	0.314
26～50名		9,335 55.95%	5,584 33.47%	1,538 9.22%	152 0.91%	75 0.45%	16,684 100.00%	4.44	0.734	4.44	0.290
51～100名		6,467 47.91%	4,788 35.47%	1,851 13.71%	250 1.85%	142 1.05%	13,498 100.00%	4.27	0.843	4.26	0.375
101～200名		4,593 48.44%	3,498 36.89%	1,149 12.12%	158 1.67%	84 0.89%	9,482 100.00%	4.30	0.812	4.29	0.274
201名以上		8,239 47.65%	6,317 36.53%	2,351 13.60%	270 1.56%	115 0.67%	17,292 100.00%	4.29	0.807	4.30	0.275
合計		38,104 52.77%	24,788 34.33%	7,902 10.94%	945 1.31%	468 0.65%	72,207 100.00%	4.37	0.780	4.45	0.330

Q8 教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計七	講義	1,186 34.66%	1,272 37.17%	710 20.75%	155 4.53%	99 2.89%	3,422 100.00%	3.96	0.997	4.02	0.441
	外七	4,850 50.46%	3,536 36.79%	1,009 10.50%	140 1.46%	76 0.79%	9,611 100.00%	4.35	0.787	4.37	0.336
	スポ健	1,137 72.05%	349 22.12%	78 4.94%	8 0.51%	6 0.38%	1,578 100.00%	4.65	0.635	4.70	0.269
基礎教養	講義	2,689 44.43%	2,264 37.41%	918 15.17%	129 2.13%	52 0.86%	6,052 100.00%	4.22	0.842	4.27	0.255
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	2,689 44.43%	2,264 37.41%	918 15.17%	129 2.13%	52 0.86%	6,052 100.00%	4.22	0.842	4.27	0.255
法学部	講義	3,696 43.69%	3,140 37.12%	1,310 15.48%	232 2.74%	82 0.97%	8,460 100.00%	4.20	0.866	4.27	0.297
	演習	1,005 63.97%	412 26.23%	127 8.08%	16 1.02%	11 0.70%	1,571 100.00%	4.52	0.746	4.57	0.338
	計	4,701 46.86%	3,552 35.41%	1,437 14.33%	248 2.47%	93 0.93%	10,031 100.00%	4.25	0.856	4.40	0.349
経済学部	講義	4,136 42.91%	3,277 34.00%	1,743 18.08%	329 3.41%	154 1.60%	9,639 100.00%	4.13	0.934	4.24	0.363
	演習	892 64.45%	396 28.61%	84 6.07%	9 0.65%	3 0.22%	1,384 100.00%	4.56	0.658	4.57	0.275
	計	5,028 45.61%	3,673 33.32%	1,827 16.57%	338 3.07%	157 1.42%	11,023 100.00%	4.19	0.915	4.38	0.366
文学部	講義	4,406 47.69%	3,410 36.91%	1,129 12.22%	209 2.26%	84 0.91%	9,238 100.00%	4.28	0.832	4.37	0.323
	演習	3,404 56.03%	2,131 35.08%	467 7.69%	49 0.81%	24 0.40%	6,075 100.00%	4.46	0.705	4.47	0.284
	計	7,810 51.00%	5,541 36.18%	1,596 10.42%	258 1.68%	108 0.71%	15,313 100.00%	4.35	0.789	4.42	0.306
理学部	講義	1,579 37.92%	1,546 37.13%	838 20.12%	134 3.22%	67 1.61%	4,164 100.00%	4.07	0.922	4.11	0.363
	演習	455 43.50%	400 38.24%	163 15.58%	19 1.82%	9 0.86%	1,046 100.00%	4.22	0.833	4.23	0.224
	計	2,034 39.04%	1,946 37.35%	1,001 19.21%	153 2.94%	76 1.46%	5,210 100.00%	4.10	0.907	4.13	0.344
国際社会科学部	講義	1,843 45.17%	1,380 33.82%	661 16.20%	136 3.33%	60 1.47%	4,080 100.00%	4.18	0.921	4.20	0.312
	演習	336 56.00%	205 34.17%	54 9.00%	3 0.50%	2 0.33%	600 100.00%	4.45	0.706	4.46	0.268
	語学	1,405 58.44%	738 30.70%	194 8.07%	50 2.08%	17 0.71%	2,404 100.00%	4.44	0.786	4.44	0.371
	計	3,584 50.59%	2,323 32.79%	909 12.83%	189 2.67%	79 1.12%	7,084 100.00%	4.29	0.870	4.38	0.356
教職課程	講義	408 42.06%	342 35.26%	150 15.46%	38 3.92%	32 3.30%	970 100.00%	4.09	1.011	4.35	0.445
	演習	535 49.72%	402 37.36%	103 9.57%	25 2.32%	11 1.02%	1,076 100.00%	4.32	0.821	4.36	0.314
	計	943 46.09%	744 36.36%	253 12.37%	63 3.08%	43 2.10%	2,046 100.00%	4.21	0.923	4.35	0.370
学芸員	講義	285 48.97%	234 40.21%	57 9.79%	6 1.03%	0 0.00%	582 100.00%	4.37	0.701	4.42	0.187
	演習	62 81.58%	14 18.42%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	76 100.00%	4.82	0.390	4.83	0.205
	計	347 52.74%	248 37.69%	57 8.66%	6 0.91%	0 0.00%	658 100.00%	4.42	0.688	4.53	0.266
合計	34,309 47.63%	25,448 35.33%	9,795 13.60%	1,687 2.34%	789 1.10%	72,028 100.00%	4.26	0.858	4.37	0.356	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		20,228 43.40%	16,865 36.19%	7,516 16.13%	1,368 2.94%	630 1.35%	46,607 100.00%	4.17	0.897	4.25	0.355
	演習	7,826 58.38%	4,309 32.14%	1,076 8.03%	129 0.96%	66 0.49%	13,406 100.00%	4.47	0.726	4.51	0.306
語学		6,255 52.06%	4,274 35.57%	1,203 10.01%	190 1.58%	93 0.77%	12,015 100.00%	4.37	0.787	4.39	0.345
合計		34,309 47.63%	25,448 35.33%	9,795 13.60%	1,687 2.34%	789 1.10%	72,028 100.00%	4.26	0.858	4.37	0.356

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		12,748 42.53%	11,122 37.10%	4,867 16.24%	882 2.94%	356 1.19%	29,975 100.00%	4.17	0.885
	学部2年	10,466 48.76%	7,609 35.45%	2,684 12.50%	454 2.12%	251 1.17%	21,464 100.00%	4.29	0.849
学部3年		6,816 52.13%	4,479 34.26%	1,456 11.14%	220 1.68%	104 0.80%	13,075 100.00%	4.35	0.805
	学部4年	2,657 62.21%	1,161 27.18%	372 8.71%	52 1.22%	29 0.68%	4,271 100.00%	4.49	0.761

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		8,903 58.53%	4,862 31.97%	1,170 7.69%	187 1.23%	88 0.58%	15,210 100.00%	4.47	0.739	4.49	0.339
26～50名		8,528 51.23%	5,944 35.71%	1,820 10.93%	247 1.48%	108 0.65%	16,647 100.00%	4.35	0.784	4.37	0.299
51～100名		5,780 42.93%	4,946 36.74%	2,166 16.09%	364 2.70%	207 1.54%	13,463 100.00%	4.17	0.899	4.16	0.372
101～200名		3,940 41.67%	3,525 37.28%	1,539 16.28%	293 3.10%	158 1.67%	9,455 100.00%	4.14	0.913	4.14	0.318
201名以上		7,158 41.49%	6,171 35.77%	3,100 17.97%	596 3.45%	228 1.32%	17,253 100.00%	4.13	0.914	4.15	0.302
合計		34,309 47.63%	25,448 35.33%	9,795 13.60%	1,687 2.34%	789 1.10%	72,028 100.00%	4.26	0.858	4.37	0.356

Q9 教員は理解しやすい授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計七	講義	1,128 32.89%	1,144 33.35%	737 21.49%	254 7.41%	167 4.87%	3,430 100.00%	3.82	1.116	3.86	0.553
外七	語学	4,784 49.70%	3,386 35.18%	1,082 11.24%	244 2.53%	130 1.35%	9,626 100.00%	4.29	0.864	4.32	0.418
スポ健	演習	1,125 71.11%	365 23.07%	76 4.80%	7 0.44%	9 0.57%	1,582 100.00%	4.64	0.650	4.68	0.270
基礎教養	講義	2,765 45.59%	2,299 37.91%	842 13.88%	117 1.93%	42 0.69%	6,065 100.00%	4.26	0.817	4.28	0.292
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	2,765 45.59%	2,299 37.91%	842 13.88%	117 1.93%	42 0.69%	6,065 100.00%	4.26	0.817	4.28	0.292
法学部	講義	3,465 40.95%	3,021 35.70%	1,413 16.70%	391 4.62%	171 2.02%	8,461 100.00%	4.09	0.967	4.10	0.435
	演習	970 61.35%	424 26.82%	137 8.67%	35 2.21%	15 0.95%	1,581 100.00%	4.45	0.818	4.52	0.405
	計	4,435 44.16%	3,445 34.31%	1,550 15.44%	426 4.24%	186 1.85%	10,042 100.00%	4.15	0.954	4.29	0.469
経済学部	講義	3,939 40.86%	3,204 33.24%	1,846 19.15%	430 4.46%	221 2.29%	9,640 100.00%	4.06	0.991	4.14	0.454
	演習	862 62.24%	408 29.46%	103 7.44%	7 0.51%	5 0.36%	1,385 100.00%	4.53	0.687	4.52	0.321
	計	4,801 43.55%	3,612 32.76%	1,949 17.68%	437 3.96%	226 2.05%	11,025 100.00%	4.12	0.970	4.30	0.446
文学部	講義	4,322 46.73%	3,234 34.97%	1,183 12.79%	340 3.68%	169 1.83%	9,248 100.00%	4.21	0.929	4.31	0.416
	演習	3,260 53.62%	2,122 34.90%	535 8.80%	127 2.09%	36 0.59%	6,080 100.00%	4.39	0.781	4.40	0.366
	計	7,582 49.47%	5,356 34.94%	1,718 11.21%	467 3.05%	205 1.34%	15,328 100.00%	4.28	0.877	4.36	0.391
理学部	講義	1,352 32.50%	1,422 34.18%	999 24.01%	247 5.94%	140 3.37%	4,160 100.00%	3.87	1.043	3.92	0.478
	演習	381 36.53%	408 39.12%	212 20.33%	30 2.88%	12 1.15%	1,043 100.00%	4.07	0.885	4.09	0.260
	計	1,733 33.31%	1,830 35.17%	1,211 23.28%	277 5.32%	152 2.92%	5,203 100.00%	3.91	1.016	3.95	0.450
国際社会科学部	講義	1,689 41.39%	1,461 35.80%	682 16.71%	181 4.44%	68 1.67%	4,081 100.00%	4.11	0.947	4.12	0.313
	演習	333 55.22%	196 32.50%	58 9.62%	13 2.16%	3 0.50%	603 100.00%	4.40	0.789	4.41	0.343
	語学	1,369 56.76%	704 29.19%	241 9.99%	59 2.45%	39 1.62%	2,412 100.00%	4.37	0.880	4.37	0.480
	計	3,391 47.79%	2,361 33.27%	981 13.82%	253 3.57%	110 1.55%	7,096 100.00%	4.22	0.922	4.31	0.433
教職課程	講義	408 42.32%	319 33.09%	147 15.25%	53 5.50%	37 3.84%	964 100.00%	4.05	1.068	4.32	0.511
	演習	564 52.37%	364 33.80%	107 9.94%	31 2.88%	11 1.02%	1,077 100.00%	4.34	0.847	4.37	0.336
	計	972 47.62%	683 33.46%	254 12.44%	84 4.12%	48 2.35%	2,041 100.00%	4.20	0.968	4.35	0.413
学芸員	講義	278 47.68%	244 41.85%	50 8.58%	10 1.72%	1 0.17%	583 100.00%	4.35	0.724	4.40	0.197
	演習	63 82.89%	13 17.11%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	76 100.00%	4.83	0.379	4.84	0.219
	計	341 51.75%	257 39.00%	50 7.59%	10 1.52%	1 0.15%	659 100.00%	4.41	0.709	4.53	0.285
合計	33,057 45.85%	24,738 34.31%	10,450 14.49%	2,576 3.57%	1,276 1.77%	72,097 100.00%	4.19	0.933	4.30	0.446	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義	19,346 41.49%	16,348 35.06%	7,899 16.94%	2,023 4.34%	1,016 2.18%	46,632 100.00%	4.09	0.972	4.15	0.458	
演習	7,558 56.29%	4,300 32.03%	1,228 9.15%	250 1.86%	91 0.68%	13,427 100.00%	4.41	0.787	4.46	0.369	
語学	6,153 51.11%	4,090 33.98%	1,323 10.99%	303 2.52%	169 1.40%	12,038 100.00%	4.31	0.868	4.33	0.433	
合計	33,057 45.85%	24,738 34.31%	10,450 14.49%	2,576 3.57%	1,276 1.77%	72,097 100.00%	4.19	0.933	4.30	0.446	

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	12,279 40.90%	10,823 36.05%	5,027 16.74%	1,281 4.27%	613 2.04%	30,023 100.00%	4.09	0.960	
	10,018 46.65%	7,356 34.25%	2,924 13.62%	762 3.55%	416 1.94%	21,476 100.00%	4.20	0.937	
学部3年	6,602 50.50%	4,310 32.97%	1,671 12.78%	334 2.56%	155 1.19%	13,072 100.00%	4.29	0.870	
	2,601 60.80%	1,177 27.51%	396 9.26%	75 1.75%	29 0.68%	4,278 100.00%	4.46	0.788	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	8,631 56.67%	4,730 31.06%	1,371 9.00%	337 2.21%	161 1.06%	15,230 100.00%	4.40	0.825	4.42	0.422	
26～50名	8,306 49.81%	5,755 34.51%	1,985 11.90%	434 2.60%	195 1.17%	16,675 100.00%	4.29	0.861	4.31	0.393	
51～100名	5,358 39.77%	4,727 35.09%	2,375 17.63%	636 4.72%	375 2.78%	13,471 100.00%	4.04	1.006	4.03	0.486	
101～200名	3,640 38.49%	3,350 35.43%	1,682 17.79%	515 5.45%	269 2.84%	9,456 100.00%	4.01	1.018	4.02	0.407	
201名以上	7,122 41.25%	6,176 35.77%	3,037 17.59%	654 3.79%	276 1.60%	17,265 100.00%	4.11	0.933	4.12	0.360	
合計	33,057 45.85%	24,738 34.31%	10,450 14.49%	2,576 3.57%	1,276 1.77%	72,097 100.00%	4.19	0.933	4.30	0.446	

Q10 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計七	講義	1,120 32.78%	1,178 34.47%	737 21.57%	261 7.64%	121 3.54%	3,417 100.00%	3.85	1.071	3.92	0.451
	外七	4,774 49.93%	3,409 35.66%	1,061 11.10%	210 2.20%	107 1.12%	9,561 100.00%	4.31	0.838	4.33	0.385
	スポ健	1,154 73.79%	332 21.23%	69 4.41%	4 0.26%	5 0.32%	1,564 100.00%	4.68	0.600	4.72	0.253
基礎教養	講義	2,831 47.04%	2,316 38.48%	735 12.21%	96 1.60%	40 0.66%	6,018 100.00%	4.30	0.793	4.33	0.259
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	2,831 47.04%	2,316 38.48%	735 12.21%	96 1.60%	40 0.66%	6,018 100.00%	4.30	0.793	4.33	0.259
法学部	講義	3,505 41.64%	3,057 36.32%	1,294 15.37%	417 4.95%	144 1.71%	8,417 100.00%	4.11	0.954	4.10	0.425
	演習	965 61.62%	432 27.59%	121 7.73%	32 2.04%	16 1.02%	1,566 100.00%	4.47	0.806	4.54	0.369
	計	4,470 44.78%	3,489 34.95%	1,415 14.17%	449 4.50%	160 1.60%	9,983 100.00%	4.17	0.941	4.29	0.456
経済学部	講義	3,969 41.44%	3,263 34.07%	1,735 18.12%	414 4.32%	196 2.05%	9,577 100.00%	4.09	0.972	4.18	0.413
	演習	890 64.49%	394 28.55%	84 6.09%	9 0.65%	3 0.22%	1,380 100.00%	4.56	0.658	4.55	0.295
	計	4,859 44.35%	3,657 33.38%	1,819 16.60%	423 3.86%	199 1.82%	10,957 100.00%	4.15	0.952	4.33	0.412
文学部	講義	4,295 46.73%	3,278 35.66%	1,138 12.38%	362 3.94%	119 1.29%	9,192 100.00%	4.23	0.902	4.33	0.392
	演習	3,362 55.63%	2,026 33.53%	494 8.17%	131 2.17%	30 0.50%	6,043 100.00%	4.42	0.772	4.43	0.357
	計	7,657 50.26%	5,304 34.81%	1,632 10.71%	493 3.24%	149 0.98%	15,235 100.00%	4.30	0.858	4.38	0.376
理学部	講義	1,452 35.06%	1,524 36.80%	827 19.97%	224 5.41%	114 2.75%	4,141 100.00%	3.96	1.007	4.00	0.463
	演習	406 39.30%	396 38.33%	209 20.23%	15 1.45%	7 0.68%	1,033 100.00%	4.14	0.834	4.18	0.255
	計	1,858 35.91%	1,920 37.11%	1,036 20.02%	239 4.62%	121 2.34%	5,174 100.00%	4.00	0.977	4.04	0.437
国際社会科学部	講義	1,750 43.24%	1,398 34.54%	636 15.72%	207 5.11%	56 1.38%	4,047 100.00%	4.13	0.950	4.13	0.340
	演習	343 57.45%	195 32.66%	50 8.38%	6 1.01%	3 0.50%	597 100.00%	4.46	0.733	4.46	0.277
	語学	1,375 57.56%	715 29.93%	218 9.13%	62 2.60%	19 0.80%	2,389 100.00%	4.41	0.822	4.41	0.396
計	3,468 49.31%	2,308 32.82%	904 12.85%	275 3.91%	78 1.11%	7,033 100.00%	4.25	0.902	4.34	0.386	
教職課程	講義	395 41.10%	307 31.95%	153 15.92%	73 7.60%	33 3.43%	961 100.00%	4.00	1.088	4.33	0.539
	演習	587 54.76%	359 33.49%	99 9.24%	23 2.15%	4 0.37%	1,072 100.00%	4.40	0.774	4.44	0.267
	計	982 48.30%	666 32.76%	252 12.40%	96 4.72%	37 1.82%	2,033 100.00%	4.21	0.957	4.40	0.401
学芸員	講義	274 47.65%	235 40.87%	51 8.87%	13 2.26%	2 0.35%	575 100.00%	4.33	0.760	4.40	0.248
	演習	64 84.21%	12 15.79%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	76 100.00%	4.84	0.367	4.86	0.177
	計	338 51.92%	247 37.94%	51 7.83%	13 2.00%	2 0.31%	651 100.00%	4.39	0.743	4.53	0.310
合計	33,511 46.79%	24,826 34.66%	9,711 13.56%	2,559 3.57%	1,019 1.42%	71,626 100.00%	4.22	0.909	4.33	0.415	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	19,591 42.27%	16,556 35.72%	7,306 15.76%	2,067 4.46%	825 1.78%	46,345 100.00%	4.12	0.951	4.18	0.428	
	7,771 58.29%	4,146 31.10%	1,126 8.45%	220 1.65%	68 0.51%	13,331 100.00%	4.45	0.759	4.50	0.346	
演習	6,149 51.46%	4,124 34.51%	1,279 10.70%	272 2.28%	126 1.05%	11,950 100.00%	4.33	0.836	4.35	0.388	
語学	6,149 51.46%	4,124 34.51%	1,279 10.70%	272 2.28%	126 1.05%	11,950 100.00%	4.33	0.836	4.35	0.388	
合計	33,511 46.79%	24,826 34.66%	9,711 13.56%	2,559 3.57%	1,019 1.42%	71,626 100.00%	4.22	0.909	4.33	0.415	

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	12,350 41.44%	10,908 36.60%	4,728 15.87%	1,327 4.45%	487 1.63%	29,800 100.00%	4.12	0.940	
	10,135 47.47%	7,454 34.91%	2,751 12.89%	706 3.31%	303 1.42%	21,349 100.00%	4.24	0.899	
学部2年	6,824 52.47%	4,250 32.68%	1,481 11.39%	309 2.38%	142 1.09%	13,006 100.00%	4.33	0.850	
	2,632 61.99%	1,128 26.57%	345 8.13%	102 2.40%	39 0.92%	4,246 100.00%	4.46	0.816	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	8,790 58.08%	4,664 30.82%	1,257 8.31%	314 2.07%	109 0.72%	15,134 100.00%	4.43	0.789	4.45	0.385	
	8,391 50.70%	5,749 34.74%	1,842 11.13%	412 2.49%	155 0.94%	16,549 100.00%	4.32	0.837	4.33	0.361	
51~100名	5,439 40.59%	4,758 35.51%	2,240 16.72%	658 4.91%	305 2.28%	13,400 100.00%	4.07	0.984	4.06	0.454	
	3,669 39.03%	3,396 36.13%	1,591 16.93%	542 5.77%	202 2.15%	9,400 100.00%	4.04	0.991	4.05	0.384	
201名以上	7,222 42.13%	6,259 36.51%	2,781 16.22%	633 3.69%	248 1.45%	17,143 100.00%	4.14	0.917	4.14	0.353	
	33,511 46.79%	24,826 34.66%	9,711 13.56%	2,559 3.57%	1,019 1.42%	71,626 100.00%	4.22	0.909	4.33	0.415	

Q10-2 教員の話し方について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース			
		5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りにくい	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	214 58.31%	21 5.72%	132 35.97%	367 100.00%	-	-	-	-
外七	語学	107 36.03%	25 8.42%	165 55.56%	297 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	2 28.57%	0 0.00%	5 71.43%	7 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	37 28.91%	16 12.50%	75 58.59%	128 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	37 28.91%	16 12.50%	75 58.59%	128 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	238 45.25%	20 3.80%	268 50.95%	526 100.00%	-	-	-	-
	演習	13 28.26%	2 4.35%	31 67.39%	46 100.00%	-	-	-	-
	計	251 43.88%	22 3.85%	299 52.27%	572 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	166 29.38%	25 4.42%	374 66.19%	565 100.00%	-	-	-	-
	演習	2 18.18%	1 9.09%	8 72.73%	11 100.00%	-	-	-	-
	計	168 29.17%	26 4.51%	382 66.32%	576 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	160 36.28%	27 6.12%	254 57.60%	441 100.00%	-	-	-	-
	演習	85 55.92%	3 1.97%	64 42.11%	152 100.00%	-	-	-	-
	計	245 41.32%	30 5.06%	318 53.63%	593 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	182 56.70%	5 1.56%	134 41.74%	321 100.00%	-	-	-	-
	演習	8 47.06%	0 0.00%	9 52.94%	17 100.00%	-	-	-	-
	計	190 56.21%	5 1.49%	143 42.31%	338 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	78 33.48%	11 4.72%	144 61.80%	233 100.00%	-	-	-	-
	演習	1 14.29%	2 28.57%	4 57.14%	7 100.00%	-	-	-	-
	語学	34 45.95%	4 5.41%	36 48.65%	74 100.00%	-	-	-	-
	計	113 35.99%	17 5.41%	184 58.60%	314 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	8 7.84%	6 5.88%	88 86.27%	102 100.00%	-	-	-	-
	演習	4 17.39%	4 17.39%	15 65.22%	23 100.00%	-	-	-	-
	計	12 9.60%	10 8.00%	103 82.40%	125 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	1 7.69%	2 15.38%	10 76.92%	13 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	1 7.69%	2 15.38%	10 76.92%	13 100.00%	-	-	-	-
合計	1,340 40.24%	174 5.23%	1,816 54.53%	3,330 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース				科目ベース			
	5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りにくい	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	1,084 40.21%	133 4.93%	1,479 54.86%	2,696 100.00%	-	-	-	-
演習	115 43.73%	12 4.56%	136 51.71%	263 100.00%	-	-	-	-
語学	141 38.01%	29 7.82%	201 54.18%	371 100.00%	-	-	-	-
合計	1,340 40.24%	174 5.23%	1,816 54.53%	3,330 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りにくい	計		
学部1年	638 37.29%	84 4.91%	989 57.80%	1,711 100.00%	-	-
学部2年	388 41.81%	52 5.60%	488 52.59%	928 100.00%	-	-
学部3年	198 48.29%	22 5.37%	190 46.34%	410 100.00%	-	-
学部4年	63 47.37%	6 4.51%	64 48.12%	133 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				科目ベース			
	5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りにくい	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	177 44.58%	21 5.29%	199 50.13%	397 100.00%	-	-	-	-
26～50名	229 43.37%	37 7.01%	262 49.62%	528 100.00%	-	-	-	-
51～100名	441 49.16%	48 5.35%	408 45.48%	897 100.00%	-	-	-	-
101～200名	242 34.67%	31 4.44%	425 60.89%	698 100.00%	-	-	-	-
201名以上	251 30.99%	37 4.57%	522 64.44%	810 100.00%	-	-	-	-
合計	1,340 40.24%	174 5.23%	1,816 54.53%	3,330 100.00%	-	-	-	-

Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計七	講義	873 25.37%	1,230 35.75%	988 28.71%	221 6.42%	129 3.75%	3,441 100.00%	3.73	1.030	3.80	0.405
外七	語学	3,658 38.00%	3,834 39.83%	1,682 17.47%	311 3.23%	141 1.46%	9,626 100.00%	4.10	0.898	4.13	0.373
スポ健	演習	922 58.47%	427 27.08%	171 10.84%	33 2.09%	24 1.52%	1,577 100.00%	4.39	0.874	4.46	0.385
基礎教養	講義	2,731 45.05%	2,308 38.07%	849 14.01%	125 2.06%	49 0.81%	6,062 100.00%	4.24	0.828	4.26	0.280
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	2,731 45.05%	2,308 38.07%	849 14.01%	125 2.06%	49 0.81%	6,062 100.00%	4.24	0.828	4.26	0.280
法学部	講義	3,173 37.45%	3,313 39.10%	1,576 18.60%	283 3.34%	128 1.51%	8,473 100.00%	4.08	0.908	4.11	0.331
	演習	948 60.04%	451 28.56%	148 9.37%	18 1.14%	14 0.89%	1,579 100.00%	4.46	0.782	4.51	0.418
	計	4,121 41.00%	3,764 37.45%	1,724 17.15%	301 2.99%	142 1.41%	10,052 100.00%	4.14	0.900	4.28	0.421
経済学部	講義	3,415 35.43%	3,363 34.89%	2,255 23.40%	402 4.17%	203 2.11%	9,638 100.00%	3.97	0.972	4.08	0.405
	演習	820 59.21%	445 32.13%	107 7.73%	6 0.43%	7 0.51%	1,385 100.00%	4.49	0.701	4.49	0.319
	計	4,235 38.42%	3,808 34.55%	2,362 21.43%	408 3.70%	210 1.91%	11,023 100.00%	4.04	0.957	4.25	0.423
文学部	講義	4,377 47.27%	3,402 36.74%	1,131 12.21%	228 2.46%	122 1.32%	9,260 100.00%	4.26	0.862	4.35	0.353
	演習	3,151 51.79%	2,182 35.86%	616 10.12%	87 1.43%	48 0.79%	6,084 100.00%	4.36	0.784	4.37	0.344
	計	7,528 49.06%	5,584 36.39%	1,747 11.39%	315 2.05%	170 1.11%	15,344 100.00%	4.30	0.834	4.36	0.347
理学部	講義	1,253 30.13%	1,533 36.87%	1,038 24.96%	194 4.67%	140 3.37%	4,158 100.00%	3.86	1.010	3.91	0.410
	演習	420 40.46%	396 38.15%	184 17.73%	21 2.02%	17 1.64%	1,038 100.00%	4.14	0.890	4.14	0.302
	計	1,673 32.20%	1,929 37.12%	1,222 23.52%	215 4.14%	157 3.02%	5,196 100.00%	3.91	0.994	3.95	0.402
国際社会科学部	講義	1,617 39.64%	1,458 35.74%	796 19.51%	156 3.82%	52 1.27%	4,079 100.00%	4.09	0.923	4.07	0.291
	演習	307 51.34%	202 33.78%	71 11.87%	14 2.34%	4 0.67%	598 100.00%	4.33	0.824	4.34	0.377
	語学	1,154 47.96%	818 34.00%	339 14.09%	71 2.95%	24 1.00%	2,406 100.00%	4.25	0.875	4.25	0.416
	計	3,078 43.46%	2,478 34.99%	1,206 17.03%	241 3.40%	80 1.13%	7,083 100.00%	4.16	0.904	4.22	0.389
教職課程	講義	409 42.16%	348 35.88%	162 16.70%	27 2.78%	24 2.47%	970 100.00%	4.12	0.953	4.37	0.440
	演習	566 52.65%	363 33.77%	106 9.86%	20 1.86%	20 1.86%	1,075 100.00%	4.33	0.869	4.35	0.303
	計	975 47.68%	711 34.77%	268 13.11%	47 2.30%	44 2.15%	2,045 100.00%	4.24	0.916	4.36	0.362
学芸員	講義	324 55.57%	208 35.68%	43 7.38%	6 1.03%	2 0.34%	583 100.00%	4.45	0.706	4.51	0.208
	演習	63 82.89%	11 14.47%	2 2.63%	0 0.00%	0 0.00%	76 100.00%	4.80	0.462	4.81	0.201
	計	387 58.73%	219 33.23%	45 6.83%	6 0.91%	2 0.30%	659 100.00%	4.49	0.692	4.60	0.245
合計	30,181 41.86%	26,292 36.46%	12,264 17.01%	2,223 3.08%	1,148 1.59%	72,108 100.00%	4.14	0.914	4.23	0.407	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		18,172 38.94%	17,163 36.78%	8,838 18.94%	1,642 3.52%	849 1.82%	46,664 100.00%	4.08	0.937	4.14	0.407
演習		7,197 53.66%	4,477 33.38%	1,405 10.48%	199 1.48%	134 1.00%	13,412 100.00%	4.37	0.808	4.41	0.365
語学		4,812 39.99%	4,652 38.66%	2,021 16.80%	382 3.17%	165 1.37%	12,032 100.00%	4.13	0.896	4.16	0.386
合計		30,181 41.86%	26,292 36.46%	12,264 17.01%	2,223 3.08%	1,148 1.59%	72,108 100.00%	4.14	0.914	4.23	0.407

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		10,713 35.68%	11,519 38.36%	6,098 20.31%	1,179 3.93%	518 1.73%	30,027 100.00%	4.02	0.934
学部2年		9,252 43.07%	7,937 36.95%	3,352 15.60%	576 2.68%	364 1.69%	21,481 100.00%	4.17	0.904
学部3年		6,310 48.32%	4,454 34.10%	1,847 14.14%	284 2.17%	165 1.26%	13,060 100.00%	4.26	0.870
学部4年		2,445 57.11%	1,281 29.92%	450 10.51%	67 1.57%	38 0.89%	4,281 100.00%	4.41	0.808

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		7,699 50.59%	5,256 34.54%	1,796 11.80%	308 2.02%	158 1.04%	15,217 100.00%	4.32	0.836	4.35	0.394
26～50名		7,433 44.56%	6,116 36.67%	2,476 14.84%	434 2.60%	221 1.32%	16,880 100.00%	4.21	0.880	4.22	0.382
51～100名		5,092 37.77%	4,972 36.88%	2,613 19.38%	481 3.57%	322 2.39%	13,480 100.00%	4.04	0.963	4.03	0.419
101～200名		3,444 36.37%	3,611 38.13%	1,827 19.29%	401 4.23%	187 1.97%	9,470 100.00%	4.03	0.950	4.02	0.331
201名以上		6,513 37.73%	6,337 36.71%	3,552 20.58%	599 3.47%	260 1.51%	17,261 100.00%	4.06	0.924	4.06	0.339
合計		30,181 41.86%	26,292 36.46%	12,264 17.01%	2,223 3.08%	1,148 1.59%	72,108 100.00%	4.14	0.914	4.23	0.407

Q12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計七	講義	1,020 29.97%	1,275 37.47%	805 23.66%	164 4.82%	139 4.08%	3,403 100.00%	3.84	1.036	3.91	0.482
外七	語学	4,473 46.97%	3,548 37.26%	1,170 12.29%	222 2.33%	110 1.16%	9,523 100.00%	4.27	0.848	4.29	0.398
スポ健	演習	1,098 70.25%	362 23.16%	80 5.12%	14 0.90%	9 0.58%	1,563 100.00%	4.62	0.680	4.67	0.302
基礎教養	講義	2,743 45.74%	2,315 38.60%	789 13.16%	110 1.83%	40 0.67%	5,997 100.00%	4.27	0.806	4.28	0.267
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	2,743 45.74%	2,315 38.60%	789 13.16%	110 1.83%	40 0.67%	5,997 100.00%	4.27	0.806	4.28	0.267
法学部	講義	3,531 42.12%	3,121 37.23%	1,369 16.33%	257 3.07%	105 1.25%	8,383 100.00%	4.16	0.891	4.17	0.357
	演習	992 63.96%	402 25.92%	128 8.25%	15 0.97%	14 0.90%	1,551 100.00%	4.51	0.763	4.57	0.403
	計	4,523 45.53%	3,523 35.46%	1,497 15.07%	272 2.74%	119 1.20%	9,934 100.00%	4.21	0.882	4.35	0.425
経済学部	講義	3,742 39.31%	3,412 35.84%	1,856 19.50%	345 3.62%	165 1.73%	9,520 100.00%	4.07	0.940	4.17	0.411
	演習	868 63.68%	387 28.39%	98 7.19%	5 0.37%	5 0.37%	1,363 100.00%	4.55	0.677	4.54	0.327
	計	4,610 42.36%	3,799 34.91%	1,954 17.95%	350 3.22%	170 1.56%	10,883 100.00%	4.13	0.925	4.32	0.421
文学部	講義	4,412 48.33%	3,237 35.46%	1,146 12.55%	229 2.51%	105 1.15%	9,129 100.00%	4.27	0.859	4.37	0.381
	演習	3,271 54.51%	2,080 34.66%	524 8.73%	85 1.42%	41 0.68%	6,001 100.00%	4.41	0.764	4.42	0.354
	計	7,683 50.78%	5,317 35.14%	1,670 11.04%	314 2.08%	146 0.96%	15,130 100.00%	4.33	0.825	4.40	0.367
理学部	講義	1,372 33.22%	1,579 38.23%	935 22.64%	138 3.34%	106 2.57%	4,130 100.00%	3.96	0.960	4.02	0.446
	演習	420 40.78%	396 38.45%	182 17.67%	19 1.84%	13 1.26%	1,030 100.00%	4.16	0.865	4.17	0.272
	計	1,792 34.73%	1,975 38.28%	1,117 21.65%	157 3.04%	119 2.31%	5,160 100.00%	4.00	0.945	4.05	0.423
国際社会科学部	講義	1,670 41.28%	1,503 37.15%	696 17.20%	123 3.04%	54 1.33%	4,046 100.00%	4.14	0.898	4.12	0.305
	演習	321 54.41%	201 34.07%	57 9.66%	7 1.19%	4 0.68%	590 100.00%	4.40	0.766	4.41	0.310
	語学	1,290 54.18%	744 31.25%	255 10.71%	61 2.56%	31 1.30%	2,381 100.00%	4.34	0.866	4.34	0.476
	計	3,281 46.76%	2,448 34.89%	1,008 14.37%	191 2.72%	89 1.27%	7,017 100.00%	4.23	0.884	4.29	0.422
教職課程	講義	391 40.73%	342 35.63%	162 16.88%	32 3.33%	33 3.44%	960 100.00%	4.07	1.008	4.33	0.503
	演習	549 51.60%	369 34.68%	115 10.81%	19 1.79%	12 1.13%	1,064 100.00%	4.34	0.827	4.36	0.320
	計	940 46.44%	711 35.13%	277 13.69%	51 2.52%	45 2.22%	2,024 100.00%	4.21	0.926	4.35	0.402
学芸員	講義	290 49.91%	228 39.24%	55 9.47%	8 1.38%	0 0.00%	581 100.00%	4.38	0.713	4.44	0.222
	演習	60 81.08%	13 17.57%	1 1.35%	0 0.00%	0 0.00%	74 100.00%	4.80	0.437	4.81	0.242
	計	350 53.44%	241 36.79%	56 8.55%	8 1.22%	0 0.00%	655 100.00%	4.42	0.700	4.54	0.281
合計	32,513 45.61%	25,514 35.79%	10,423 14.62%	1,853 2.60%	986 1.38%	71,289 100.00%	4.22	0.885	4.31	0.417	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		19,171 41.54%	17,012 36.86%	7,813 16.93%	1,406 3.05%	747 1.62%	46,149 100.00%	4.14	0.913	4.20	0.416
演習		7,579 57.26%	4,210 31.81%	1,185 8.95%	164 1.24%	98 0.74%	13,236 100.00%	4.44	0.767	4.48	0.362
語学		5,763 48.41%	4,292 36.06%	1,425 11.97%	283 2.38%	141 1.18%	11,904 100.00%	4.28	0.852	4.30	0.417
合計		32,513 45.61%	25,514 35.79%	10,423 14.62%	1,853 2.60%	986 1.38%	71,289 100.00%	4.22	0.885	4.31	0.417

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		11,981 40.29%	11,247 37.82%	5,127 17.24%	924 3.11%	456 1.53%	29,735 100.00%	4.12	0.907
学部2年		9,796 46.15%	7,707 36.31%	2,897 13.65%	507 2.39%	321 1.51%	21,228 100.00%	4.23	0.881
学部3年		6,597 51.11%	4,309 33.38%	1,586 12.29%	280 2.17%	135 1.05%	12,907 100.00%	4.31	0.847
学部4年		2,591 61.27%	1,199 28.35%	370 8.75%	47 1.11%	22 0.52%	4,229 100.00%	4.49	0.744

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		8,416 55.91%	4,825 32.05%	1,404 9.33%	267 1.77%	142 0.94%	15,054 100.00%	4.40	0.804	4.43	0.409
26～50名		8,195 49.76%	5,803 35.24%	1,982 12.04%	337 2.05%	151 0.92%	16,468 100.00%	4.31	0.829	4.32	0.368
51～100名		5,261 39.52%	5,025 37.75%	2,329 17.50%	394 2.96%	302 2.27%	13,311 100.00%	4.09	0.940	4.09	0.443
101～200名		3,613 38.50%	3,517 37.48%	1,706 18.18%	371 3.95%	177 1.89%	9,384 100.00%	4.07	0.944	4.07	0.362
201名以上		7,028 41.17%	6,344 37.16%	3,002 17.58%	484 2.84%	214 1.25%	17,072 100.00%	4.14	0.891	4.14	0.332
合計		32,513 45.61%	25,514 35.79%	10,423 14.62%	1,853 2.60%	986 1.38%	71,289 100.00%	4.22	0.885	4.31	0.417

Q13 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,245 37.83%	1,232 37.44%	593 18.02%	134 4.07%	87 2.64%	3,291 100.00%	4.04	0.979	4.06	0.414
外セ	語学	4,042 43.29%	3,624 38.81%	1,394 14.93%	194 2.08%	84 0.90%	9,338 100.00%	4.22	0.837	4.25	0.356
基礎教養	講義	2,629 45.07%	2,261 38.76%	787 13.49%	120 2.06%	36 0.62%	5,833 100.00%	4.26	0.811	4.25	0.275
法学部	講義	3,309 40.03%	2,930 35.45%	1,448 17.52%	397 4.80%	182 2.20%	8,266 100.00%	4.06	0.981	4.09	0.425
経済学部	講義	3,911 42.29%	3,352 36.25%	1,501 16.23%	323 3.49%	160 1.73%	9,247 100.00%	4.14	0.928	4.20	0.410
文学部	講義	3,888 42.61%	3,391 37.17%	1,341 14.70%	373 4.09%	131 1.44%	9,124 100.00%	4.15	0.918	4.23	0.399
理学部	講義	1,451 35.42%	1,540 37.59%	834 20.36%	168 4.10%	104 2.54%	4,097 100.00%	3.99	0.975	4.03	0.425
国際社会科学部	講義	1,738 43.86%	1,398 35.28%	593 14.96%	160 4.04%	74 1.87%	3,963 100.00%	4.15	0.946	4.16	0.305
国際社会科学部	語学	1,161 50.85%	783 34.30%	275 12.05%	49 2.15%	15 0.66%	2,283 100.00%	4.33	0.818	4.32	0.378
教職課程	講義	381 39.81%	275 28.74%	199 20.79%	52 5.43%	50 5.22%	957 100.00%	3.92	1.135	4.22	0.650
学芸員	講義	242 42.09%	240 41.74%	68 11.83%	21 3.65%	4 0.70%	575 100.00%	4.21	0.840	4.26	0.300
合計		23,997 42.12%	21,026 36.90%	9,033 15.85%	1,991 3.49%	927 1.63%	56,974 100.00%	4.14	0.919	4.20	0.393

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		18,794 41.44%	16,619 36.64%	7,364 16.24%	1,748 3.85%	828 1.83%	45,353 100.00%	4.12	0.939	4.16	0.407
語学		5,203 44.77%	4,407 37.92%	1,669 14.36%	243 2.09%	99 0.85%	11,621 100.00%	4.24	0.834	4.27	0.362
合計		23,997 42.12%	21,026 36.90%	9,033 15.85%	1,991 3.49%	927 1.63%	56,974 100.00%	4.14	0.919	4.20	0.393

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		9,608 38.24%	9,715 38.67%	4,482 17.84%	900 3.58%	418 1.66%	25,123 100.00%	4.08	0.920
学部2年		7,656 43.07%	6,523 36.70%	2,594 14.59%	684 3.85%	319 1.79%	17,776 100.00%	4.15	0.932
学部3年		4,237 46.79%	3,184 35.16%	1,254 13.85%	261 2.88%	119 1.31%	9,055 100.00%	4.23	0.887
学部4年		1,373 53.99%	770 30.28%	305 11.99%	62 2.44%	33 1.30%	2,543 100.00%	4.33	0.874

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		3,847 49.75%	2,781 35.97%	894 11.56%	152 1.97%	58 0.75%	7,732 100.00%	4.32	0.811	4.33	0.368
26～50名		5,088 42.65%	4,464 37.42%	1,917 16.07%	333 2.79%	127 1.06%	11,929 100.00%	4.18	0.874	4.19	0.351
51～100名		4,568 39.48%	4,290 37.08%	1,976 17.08%	469 4.05%	268 2.32%	11,571 100.00%	4.07	0.965	4.06	0.429
101～200名		3,498 38.73%	3,259 36.08%	1,576 17.45%	474 5.25%	225 2.49%	9,032 100.00%	4.03	0.997	4.04	0.420
201名以上		6,996 41.87%	6,232 37.30%	2,670 15.98%	563 3.37%	249 1.49%	16,710 100.00%	4.15	0.909	4.15	0.351
合計		23,997 42.12%	21,026 36.90%	9,033 15.85%	1,991 3.49%	927 1.63%	56,974 100.00%	4.14	0.919	4.20	0.393

Q14 教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,243 38.04%	1,260 38.56%	604 18.48%	92 2.82%	69 2.11%	3,268 100.00%	4.08	0.929	4.09	0.395
外セ	語学	4,360 46.78%	3,611 38.74%	1,108 11.89%	158 1.70%	83 0.89%	9,320 100.00%	4.29	0.807	4.31	0.339
基礎教養	講義	2,602 44.86%	2,292 39.52%	770 13.28%	93 1.60%	43 0.74%	5,800 100.00%	4.26	0.802	4.29	0.254
法学部	講義	3,429 41.69%	2,973 36.15%	1,422 17.29%	283 3.44%	118 1.43%	8,225 100.00%	4.13	0.916	4.17	0.344
経済学部	講義	3,897 42.31%	3,353 36.41%	1,590 17.26%	251 2.73%	119 1.29%	9,210 100.00%	4.16	0.892	4.21	0.358
文学部	講義	4,200 46.16%	3,416 37.55%	1,191 13.09%	210 2.31%	81 0.89%	9,098 100.00%	4.26	0.836	4.34	0.327
理学部	講義	1,463 35.73%	1,502 36.68%	905 22.10%	131 3.20%	94 2.30%	4,095 100.00%	4.00	0.956	4.04	0.394
国際社会科学部	講義	1,701 43.28%	1,355 34.48%	708 18.02%	105 2.67%	61 1.55%	3,930 100.00%	4.15	0.915	4.15	0.286
国際社会科学部	語学	1,174 51.58%	771 33.88%	278 12.21%	34 1.49%	19 0.83%	2,276 100.00%	4.34	0.811	4.33	0.363
教職課程	講義	406 42.42%	320 33.44%	167 17.45%	37 3.87%	27 2.82%	957 100.00%	4.09	1.000	4.32	0.462
学芸員	講義	244 42.36%	238 41.32%	81 14.06%	11 1.91%	2 0.35%	576 100.00%	4.23	0.786	4.30	0.268
合計		24,719 43.55%	21,091 37.16%	8,824 15.55%	1,405 2.48%	716 1.26%	56,755 100.00%	4.19	0.875	4.25	0.357

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		19,185 42.48%	16,709 37.00%	7,438 16.47%	1,213 2.69%	614 1.36%	45,159 100.00%	4.17	0.890	4.21	0.359
語学		5,534 47.72%	4,382 37.79%	1,386 11.95%	192 1.66%	102 0.88%	11,596 100.00%	4.30	0.808	4.32	0.345
合計		24,719 43.55%	21,091 37.16%	8,824 15.55%	1,405 2.48%	716 1.26%	56,755 100.00%	4.19	0.875	4.25	0.357

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		9,952 39.79%	9,801 39.19%	4,305 17.21%	633 2.53%	318 1.27%	25,009 100.00%	4.14	0.876
学部2年		7,965 44.92%	6,534 36.85%	2,516 14.19%	469 2.64%	248 1.40%	17,732 100.00%	4.21	0.882
学部3年		4,284 47.43%	3,144 34.81%	1,332 14.75%	184 2.04%	88 0.97%	9,032 100.00%	4.26	0.852
学部4年		1,379 54.51%	788 31.15%	283 11.19%	52 2.06%	28 1.11%	2,530 100.00%	4.36	0.843

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		4,029 52.22%	2,693 34.91%	805 10.43%	134 1.74%	54 0.70%	7,715 100.00%	4.36	0.792	4.37	0.356
26～50名		5,437 45.72%	4,507 37.90%	1,617 13.60%	220 1.85%	112 0.94%	11,893 100.00%	4.26	0.829	4.26	0.327
51～100名		4,631 40.14%	4,373 37.91%	2,006 17.39%	316 2.74%	210 1.82%	11,536 100.00%	4.12	0.914	4.11	0.377
101～200名		3,661 40.70%	3,350 37.25%	1,524 16.94%	317 3.52%	142 1.58%	8,994 100.00%	4.12	0.919	4.12	0.321
201名以上		6,961 41.89%	6,168 37.12%	2,872 17.28%	418 2.52%	198 1.19%	16,617 100.00%	4.16	0.880	4.17	0.276
合計		24,719 43.55%	21,091 37.16%	8,824 15.55%	1,405 2.48%	716 1.26%	56,755 100.00%	4.19	0.875	4.25	0.357

Q15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない								
外セ	語学	4,359 47.89%	3,216 35.33%	1,225 13.46%	212 2.33%	90 0.99%	9,102 100.00%	4.27	0.851	4.29	0.402			
スポ健	演習	627 54.29%	296 25.63%	196 16.97%	16 1.39%	20 1.73%	1,155 100.00%	4.29	0.916	4.41	0.445			
基礎教養	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-			
法学部	演習	938 64.38%	371 25.46%	118 8.10%	20 1.37%	10 0.69%	1,457 100.00%	4.51	0.760	4.55	0.394			
経済学部	演習	788 61.61%	391 30.57%	88 6.88%	8 0.63%	4 0.31%	1,279 100.00%	4.53	0.680	4.52	0.321			
文学部	演習	3,191 53.33%	1,993 33.62%	613 10.34%	96 1.62%	35 0.59%	5,928 100.00%	4.38	0.782	4.42	0.332			
理学部	演習	374 37.97%	351 35.63%	225 22.84%	28 2.84%	7 0.71%	985 100.00%	4.07	0.884	4.12	0.318			
国際社会科学部	演習	321 57.22%	189 33.69%	47 8.38%	3 0.53%	1 0.18%	561 100.00%	4.47	0.686	4.49	0.269			
国際社会科学部	語学	1,261 56.75%	676 30.42%	237 10.67%	35 1.58%	13 0.59%	2,222 100.00%	4.41	0.788	4.41	0.356			
教職課程	演習	528 53.39%	328 33.16%	101 10.21%	20 2.02%	12 1.21%	989 100.00%	4.35	0.837	4.36	0.493			
学芸員	演習	51 68.92%	21 28.38%	2 2.70%	0 0.00%	0 0.00%	74 100.00%	4.66	0.531	4.65	0.211			
合計		12,438 52.37%	7,832 32.97%	2,852 12.01%	438 1.84%	192 0.81%	23,752 100.00%	4.34	0.820	4.39	0.387			

【形態別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない								
演習		6,818 54.86%	3,940 31.70%	1,390 11.18%	191 1.54%	89 0.72%	12,428 100.00%	4.38	0.799	4.44	0.372			
語学		5,620 49.63%	3,892 34.37%	1,462 12.91%	247 2.18%	103 0.91%	11,324 100.00%	4.30	0.841	4.32	0.395			
合計		12,438 52.37%	7,832 32.97%	2,852 12.01%	438 1.84%	192 0.81%	23,752 100.00%	4.34	0.820	4.39	0.387			

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差	
		5	4	3	2	1						
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
学部1年		4,773 47.04%	3,538 34.87%	1,531 15.09%	217 2.14%	87 0.86%	10,146 100.00%	4.25	0.849			
学部2年		3,446 52.94%	2,158 33.15%	715 10.98%	133 2.04%	57 0.88%	6,509 100.00%	4.35	0.822			
学部3年		2,414 57.23%	1,348 31.96%	365 8.65%	61 1.45%	30 0.71%	4,218 100.00%	4.44	0.769			
学部4年		1,187 66.95%	457 25.78%	114 6.43%	5 0.28%	10 0.56%	1,773 100.00%	4.58	0.676			

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない								
25名以下		6,897 56.54%	3,826 31.37%	1,203 9.86%	180 1.48%	92 0.75%	12,198 100.00%	4.41	0.787	4.43	0.385			
26～50名		4,810 48.71%	3,419 34.63%	1,351 13.68%	207 2.10%	87 0.88%	9,874 100.00%	4.28	0.841	4.29	0.375			
51～100名		682 44.84%	525 34.52%	258 16.96%	46 3.02%	10 0.66%	1,521 100.00%	4.20	0.871	4.20	0.328			
101～200名		49 30.82%	62 38.99%	40 25.16%	5 3.14%	3 1.89%	159 100.00%	3.94	0.926	3.96	0.278			
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-			
合計		12,438 52.37%	7,832 32.97%	2,852 12.01%	438 1.84%	192 0.81%	23,752 100.00%	4.34	0.820	4.39	0.387			

Q16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない								
外セ	語学	4,298 47.27%	3,319 36.50%	1,202 13.22%	174 1.91%	100 1.10%	9,093 100.00%	4.27	0.841	4.30	0.390			
スボ健	演習	717 62.13%	298 25.82%	123 10.66%	9 0.78%	7 0.61%	1,154 100.00%	4.48	0.763	4.56	0.342			
基礎教養	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-			
法学部	演習	891 61.32%	377 25.95%	148 10.19%	25 1.72%	12 0.83%	1,453 100.00%	4.45	0.809	4.49	0.443			
経済学部	演習	776 61.05%	384 30.21%	93 7.32%	14 1.10%	4 0.31%	1,271 100.00%	4.51	0.708	4.50	0.350			
文学部	演習	3,261 55.06%	2,035 34.36%	518 8.75%	76 1.28%	33 0.56%	5,923 100.00%	4.42	0.750	4.44	0.335			
理学部	演習	445 45.27%	326 33.16%	178 18.11%	28 2.85%	6 0.61%	983 100.00%	4.20	0.875	4.24	0.290			
国際社会科学部	演習	329 58.86%	173 30.95%	49 8.77%	4 0.72%	4 0.72%	559 100.00%	4.47	0.744	4.48	0.339			
国際社会科学部	語学	1,270 57.18%	665 29.94%	223 10.04%	45 2.03%	18 0.81%	2,221 100.00%	4.41	0.813	4.40	0.397			
教職課程	演習	485 48.94%	345 34.81%	129 13.02%	17 1.72%	15 1.51%	991 100.00%	4.28	0.864	4.30	0.395			
学芸員	演習	54 72.97%	16 21.62%	4 5.41%	0 0.00%	0 0.00%	74 100.00%	4.68	0.576	4.67	0.233			
合計		12,526 52.80%	7,938 33.46%	2,667 11.24%	392 1.65%	199 0.84%	23,722 100.00%	4.36	0.809	4.40	0.383			

【形態別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない								
演習		6,958 56.08%	3,954 31.87%	1,242 10.01%	173 1.39%	81 0.65%	12,408 100.00%	4.41	0.778	4.46	0.363			
語学		5,568 49.21%	3,984 35.21%	1,425 12.60%	219 1.94%	118 1.04%	11,314 100.00%	4.30	0.838	4.32	0.394			
合計		12,526 52.80%	7,938 33.46%	2,667 11.24%	392 1.65%	199 0.84%	23,722 100.00%	4.36	0.809	4.40	0.383			

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差	
		5	4	3	2	1						
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
学部1年		4,743 46.79%	3,691 36.41%	1,418 13.99%	191 1.88%	94 0.93%	10,137 100.00%	4.26	0.835			
学部2年		3,489 53.67%	2,191 33.70%	651 10.01%	112 1.72%	58 0.89%	6,501 100.00%	4.38	0.803			
学部3年		2,458 58.41%	1,295 30.77%	372 8.84%	57 1.35%	26 0.62%	4,208 100.00%	4.45	0.761			
学部4年		1,213 68.53%	438 24.75%	97 5.48%	11 0.62%	11 0.62%	1,770 100.00%	4.60	0.680			

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない								
25名以下		6,938 56.94%	3,847 31.57%	1,130 9.27%	173 1.42%	96 0.79%	12,184 100.00%	4.42	0.781	4.44	0.387			
26～50名		4,796 48.64%	3,513 35.63%	1,295 13.13%	168 1.70%	89 0.90%	9,861 100.00%	4.29	0.825	4.31	0.362			
51～100名		741 48.78%	517 34.04%	210 13.82%	40 2.63%	11 0.72%	1,519 100.00%	4.28	0.849	4.28	0.294			
101～200名		51 32.28%	61 38.61%	32 20.25%	11 6.96%	3 1.90%	158 100.00%	3.92	0.987	3.95	0.423			
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-			
合計		12,526 52.80%	7,938 33.46%	2,667 11.24%	392 1.65%	199 0.84%	23,722 100.00%	4.36	0.809	4.40	0.383			

Q17 1回1回の授業のねらいが明確である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
外セ	語学	3,908 43.52%	3,288 36.62%	1,412 15.73%	265 2.95%	106 1.18%	8,979 100.00%	4.18	0.885	4.22	0.403
国際社会科学部	語学	1,102 52.60%	672 32.08%	234 11.17%	59 2.82%	28 1.34%	2,095 100.00%	4.32	0.877	4.31	0.405
合計		5,010 45.24%	3,960 35.76%	1,646 14.86%	324 2.93%	134 1.21%	11,074 100.00%	4.21	0.885	4.24	0.405

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		2,698 42.81%	2,346 37.22%	1,001 15.88%	191 3.03%	67 1.06%	6,303 100.00%	4.18	0.879
学部2年		1,597 46.28%	1,218 35.29%	476 13.79%	109 3.16%	51 1.48%	3,451 100.00%	4.22	0.902
学部3年		348 55.50%	187 29.82%	73 11.64%	10 1.59%	9 1.44%	627 100.00%	4.36	0.856
学部4年		125 60.10%	58 27.88%	21 10.10%	2 0.96%	2 0.96%	208 100.00%	4.45	0.791

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		2,649 50.20%	1,789 33.90%	636 12.05%	142 2.69%	61 1.16%	5,277 100.00%	4.29	0.865	4.30	0.405
26～50名		2,361 40.73%	2,171 37.45%	1,010 17.42%	182 3.14%	73 1.26%	5,797 100.00%	4.13	0.896	4.13	0.380
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		5,010 45.24%	3,960 35.76%	1,646 14.86%	324 2.93%	134 1.21%	11,074 100.00%	4.21	0.885	4.24	0.405

Q18 教員は授業時間を有効に活用している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
外セ	語学	4,209 46.98%	3,347 37.35%	1,060 11.83%	214 2.39%	130 1.45%	8,960 100.00%	4.26	0.864	4.29	0.397
国際社会科学部	語学	1,154 55.19%	654 31.28%	216 10.33%	40 1.91%	27 1.29%	2,091 100.00%	4.37	0.843	4.37	0.394
合計		5,363 48.53%	4,001 36.20%	1,276 11.55%	254 2.30%	157 1.42%	11,051 100.00%	4.28	0.861	4.31	0.398

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	2,889 45.95%	2,375 37.78%	789 12.55%	158 2.51%	76 1.21%	6,287 100.00%	4.25	0.856	
学部2年	1,717 49.80%	1,219 35.35%	368 10.67%	80 2.32%	64 1.86%	3,448 100.00%	4.29	0.884	
学部3年	364 58.24%	194 31.04%	53 8.48%	7 1.12%	7 1.12%	625 100.00%	4.44	0.787	
学部4年	131 62.98%	56 26.92%	15 7.21%	1 0.48%	5 2.40%	208 100.00%	4.48	0.845	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	2,779 52.73%	1,790 33.97%	530 10.06%	101 1.92%	70 1.33%	5,270 100.00%	4.35	0.838	4.36	0.400	
26～50名	2,584 44.70%	2,211 38.25%	746 12.90%	153 2.65%	87 1.50%	5,781 100.00%	4.22	0.877	4.22	0.377	
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-	
合計	5,363 48.53%	4,001 36.20%	1,276 11.55%	254 2.30%	157 1.42%	11,051 100.00%	4.28	0.861	4.31	0.398	

Q19 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
基礎教養	講義	1,385 54.61%	914 36.04%	190 7.49%	34 1.34%	13 0.51%	2,536 100.00%	4.43	0.733	4.43	0.319
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		1,385 54.61%	914 36.04%	190 7.49%	34 1.34%	13 0.51%	2,536 100.00%	4.43	0.733	4.43	0.319

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		697 50.22%	536 38.62%	125 9.01%	24 1.73%	6 0.43%	1,388 100.00%	4.36	0.754
学部2年		361 58.04%	220 35.37%	31 4.98%	6 0.96%	4 0.64%	622 100.00%	4.49	0.697
学部3年		212 65.03%	91 27.91%	18 5.52%	2 0.61%	3 0.92%	326 100.00%	4.56	0.711
学部4年		54 58.70%	31 33.70%	7 7.61%	0 0.00%	0 0.00%	92 100.00%	4.51	0.638

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下		110 63.95%	52 30.23%	10 5.81%	0 0.00%	0 0.00%	172 100.00%	4.58	0.601	4.53	0.344
26～50名		110 50.23%	88 40.18%	15 6.85%	5 2.28%	1 0.46%	219 100.00%	4.37	0.752	4.51	0.360
51～100名		220 51.04%	167 38.75%	32 7.42%	8 1.86%	4 0.93%	431 100.00%	4.37	0.778	4.31	0.226
101～200名		366 56.74%	218 33.80%	47 7.29%	9 1.40%	5 0.78%	645 100.00%	4.44	0.755	4.39	0.371
201名以上		579 54.16%	389 36.39%	86 8.04%	12 1.12%	3 0.28%	1,069 100.00%	4.43	0.712	4.42	0.236
合計		1,385 54.61%	914 36.04%	190 7.49%	34 1.34%	13 0.51%	2,536 100.00%	4.43	0.733	4.43	0.319

Q20 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
基礎教養	講義	588 46.82%	490 39.01%	148 11.78%	23 1.83%	7 0.56%	1,256 100.00%	4.30	0.788	4.37	0.458
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		588 46.82%	490 39.01%	148 11.78%	23 1.83%	7 0.56%	1,256 100.00%	4.30	0.788	4.37	0.458

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		283 40.72%	295 42.45%	101 14.53%	13 1.87%	3 0.43%	695 100.00%	4.21	0.789
学部2年		154 54.61%	97 34.40%	23 8.16%	6 2.13%	2 0.71%	282 100.00%	4.40	0.786
学部3年		95 57.93%	50 30.49%	14 8.54%	3 1.83%	2 1.22%	164 100.00%	4.42	0.821
学部4年		28 53.85%	21 40.38%	3 5.77%	0 0.00%	0 0.00%	52 100.00%	4.48	0.610

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下		42 64.62%	17 26.15%	6 9.23%	0 0.00%	0 0.00%	65 100.00%	4.55	0.662	4.46	0.539
26～50名		39 41.49%	43 45.74%	10 10.64%	2 2.13%	0 0.00%	94 100.00%	4.27	0.736	4.43	0.554
51～100名		109 47.81%	92 40.35%	20 8.77%	4 1.75%	3 1.32%	228 100.00%	4.32	0.811	4.21	0.421
101～200名		107 52.97%	70 34.65%	21 10.40%	3 1.49%	1 0.50%	202 100.00%	4.38	0.772	4.43	0.431
201名以上		291 43.63%	268 40.18%	91 13.64%	14 2.10%	3 0.45%	667 100.00%	4.24	0.799	4.34	0.361
合計		588 46.82%	490 39.01%	148 11.78%	23 1.83%	7 0.56%	1,256 100.00%	4.30	0.788	4.37	0.458

Q21 運動量は

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		十分であった	おおむね 十分であった	どちらとも 言えない	やや不足 していた	不十分で あった					
スポ健	演習	883	426	85	30	3	1,427	4.51	0.722	4.56	0.300
		61.88%	29.85%	5.96%	2.10%	0.21%	100.00%				
合計		883	426	85	30	3	1,427	4.51	0.722	4.56	0.300
		61.88%	29.85%	5.96%	2.10%	0.21%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		十分であった	おおむね 十分であった	どちらとも 言えない	やや不足 していた	不十分で あった			
学部1年		483	305	56	20	2	866	4.44	0.737
		55.77%	35.22%	6.47%	2.31%	0.23%	100.00%		
学部2年		152	58	14	3	0	227	4.58	0.669
		66.96%	25.55%	6.17%	1.32%	0.00%	100.00%		
学部3年		128	25	8	3	1	165	4.67	0.709
		77.58%	15.15%	4.85%	1.82%	0.61%	100.00%		
学部4年		83	24	1	2	0	110	4.71	0.580
		75.45%	21.82%	0.91%	1.82%	0.00%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		十分であった	おおむね 十分であった	どちらとも 言えない	やや不足 していた	不十分で あった					
25名以下		564	219	41	16	2	842	4.58	0.696	4.62	0.293
		66.98%	26.01%	4.87%	1.90%	0.24%	100.00%				
26～50名		319	207	44	14	1	585	4.42	0.747	4.43	0.276
		54.53%	35.38%	7.52%	2.39%	0.17%	100.00%				
51～100名		0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%				
101～200名		0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%				
201名以上		0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%				
合計		883	426	85	30	3	1,427	4.51	0.722	4.56	0.300
		61.88%	29.85%	5.96%	2.10%	0.21%	100.00%				

Q22 体力・健康状態が改善された

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	696 48.84%	442 31.02%	249 17.47%	23 1.61%	15 1.05%	1,425 100.00%	4.25	0.872	4.34	0.391
合計		696 48.84%	442 31.02%	249 17.47%	23 1.61%	15 1.05%	1,425 100.00%	4.25	0.872	4.34	0.391

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		341 39.42%	306 35.38%	187 21.62%	19 2.20%	12 1.39%	865 100.00%	4.09	0.903
学部2年		125 55.07%	76 33.48%	24 10.57%	1 0.44%	1 0.44%	227 100.00%	4.42	0.733
学部3年		119 72.12%	26 15.76%	20 12.12%	0 0.00%	0 0.00%	165 100.00%	4.60	0.697
学部4年		83 75.45%	20 18.18%	6 5.45%	1 0.91%	0 0.00%	110 100.00%	4.68	0.620

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下		457 54.21%	247 29.30%	120 14.23%	11 1.30%	8 0.95%	843 100.00%	4.35	0.839	4.43	0.368
26～50名		239 41.07%	195 33.51%	129 22.16%	12 2.06%	7 1.20%	582 100.00%	4.11	0.901	4.13	0.367
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		696 48.84%	442 31.02%	249 17.47%	23 1.61%	15 1.05%	1,425 100.00%	4.25	0.872	4.34	0.391

Q23 運動技術が向上した

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	728 51.05%	454 31.84%	198 13.88%	33 2.31%	13 0.91%	1,426 100.00%	4.30	0.858	4.39	0.392
合計		728 51.05%	454 31.84%	198 13.88%	33 2.31%	13 0.91%	1,426 100.00%	4.30	0.858	4.39	0.392

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		374 43.19%	308 35.57%	151 17.44%	24 2.77%	9 1.04%	866 100.00%	4.17	0.884
学部2年		130 57.27%	73 32.16%	16 7.05%	5 2.20%	3 1.32%	227 100.00%	4.42	0.823
学部3年		116 70.73%	34 20.73%	13 7.93%	1 0.61%	0 0.00%	164 100.00%	4.62	0.659
学部4年		81 73.64%	22 20.00%	7 6.36%	0 0.00%	0 0.00%	110 100.00%	4.67	0.592

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下		471 55.94%	248 29.45%	100 11.88%	15 1.78%	8 0.95%	842 100.00%	4.38	0.833	4.47	0.380
26～50名		257 44.01%	206 35.27%	98 16.78%	18 3.08%	5 0.86%	584 100.00%	4.18	0.881	4.20	0.362
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		728 51.05%	454 31.84%	198 13.88%	33 2.31%	13 0.91%	1,426 100.00%	4.30	0.858	4.39	0.392

Q24 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	830 58.20%	389 27.28%	168 11.78%	23 1.61%	16 1.12%	1,426 100.00%	4.40	0.841	4.46	0.356
合計		830 58.20%	389 27.28%	168 11.78%	23 1.61%	16 1.12%	1,426 100.00%	4.40	0.841	4.46	0.356

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		439 50.69%	278 32.10%	122 14.09%	16 1.85%	11 1.27%	866 100.00%	4.29	0.867
学部2年		147 64.76%	58 25.55%	17 7.49%	3 1.32%	2 0.88%	227 100.00%	4.52	0.766
学部3年		118 71.95%	28 17.07%	13 7.93%	2 1.22%	3 1.83%	164 100.00%	4.56	0.838
学部4年		89 80.91%	16 14.55%	5 4.55%	0 0.00%	0 0.00%	110 100.00%	4.76	0.523

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下		521 61.88%	212 25.18%	87 10.33%	11 1.31%	11 1.31%	842 100.00%	4.45	0.831	4.52	0.351
26～50名		309 52.91%	177 30.31%	81 13.87%	12 2.05%	5 0.86%	584 100.00%	4.32	0.851	4.32	0.334
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		830 58.20%	389 27.28%	168 11.78%	23 1.61%	16 1.12%	1,426 100.00%	4.40	0.841	4.46	0.356

Q25 身体や運動に対する関心が高まった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	797 56.01%	404 28.39%	173 12.16%	28 1.97%	21 1.48%	1,423 100.00%	4.35	0.876	4.44	0.409
合計		797 56.01%	404 28.39%	173 12.16%	28 1.97%	21 1.48%	1,423 100.00%	4.35	0.876	4.44	0.409

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		406 46.88%	281 32.45%	139 16.05%	24 2.77%	16 1.85%	866 100.00%	4.20	0.932
学部2年		150 66.08%	54 23.79%	18 7.93%	2 0.88%	3 1.32%	227 100.00%	4.52	0.789
学部3年		120 73.62%	34 20.86%	9 5.52%	0 0.00%	0 0.00%	163 100.00%	4.68	0.574
学部4年		90 81.82%	16 14.55%	4 3.64%	0 0.00%	0 0.00%	110 100.00%	4.78	0.496

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下		498 59.29%	226 26.90%	93 11.07%	14 1.67%	9 1.07%	840 100.00%	4.42	0.833	4.50	0.392
26～50名		299 51.29%	178 30.53%	80 13.72%	14 2.40%	12 2.06%	583 100.00%	4.27	0.929	4.27	0.409
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		797 56.01%	404 28.39%	173 12.16%	28 1.97%	21 1.48%	1,423 100.00%	4.35	0.876	4.44	0.409

Q26 自分の身体の健康、体力の再確認ができた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	848 59.43%	444 31.11%	115 8.06%	13 0.91%	7 0.49%	1,427 100.00%	4.48	0.724	4.54	0.321
合計		848 59.43%	444 31.11%	115 8.06%	13 0.91%	7 0.49%	1,427 100.00%	4.48	0.724	4.54	0.321

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		448 51.67%	319 36.79%	82 9.46%	11 1.27%	7 0.81%	867 100.00%	4.37	0.772
学部2年		152 66.96%	59 25.99%	14 6.17%	2 0.88%	0 0.00%	227 100.00%	4.59	0.648
学部3年		124 75.15%	31 18.79%	10 6.06%	0 0.00%	0 0.00%	165 100.00%	4.69	0.580
学部4年		92 83.64%	15 13.64%	3 2.73%	0 0.00%	0 0.00%	110 100.00%	4.81	0.459

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下		527 62.51%	246 29.18%	60 7.12%	7 0.83%	3 0.36%	843 100.00%	4.53	0.696	4.59	0.308
26～50名		321 54.97%	198 33.90%	55 9.42%	6 1.03%	4 0.68%	584 100.00%	4.41	0.759	4.42	0.330
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		848 59.43%	444 31.11%	115 8.06%	13 0.91%	7 0.49%	1,427 100.00%	4.48	0.724	4.54	0.321

Q27 自分の生活習慣を見直す機会となった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	758 53.12%	405 28.38%	205 14.37%	40 2.80%	19 1.33%	1,427 100.00%	4.29	0.907	4.36	0.392
合計		758 53.12%	405 28.38%	205 14.37%	40 2.80%	19 1.33%	1,427 100.00%	4.29	0.907	4.36	0.392

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	388 44.75%	287 33.10%	152 17.53%	26 3.00%	14 1.61%	867 100.00%	4.16	0.929
学部2年	145 63.88%	49 21.59%	23 10.13%	7 3.08%	3 1.32%	227 100.00%	4.44	0.892
学部3年	115 69.70%	30 18.18%	15 9.09%	4 2.42%	1 0.61%	165 100.00%	4.54	0.808
学部4年	82 74.55%	19 17.27%	8 7.27%	1 0.91%	0 0.00%	110 100.00%	4.65	0.656

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	476 56.47%	221 26.22%	113 13.40%	27 3.20%	6 0.71%	843 100.00%	4.35	0.879	4.41	0.391
26～50名	282 48.29%	184 31.51%	92 15.75%	13 2.23%	13 2.23%	584 100.00%	4.21	0.941	4.23	0.372
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	758 53.12%	405 28.38%	205 14.37%	40 2.80%	19 1.33%	1,427 100.00%	4.29	0.907	4.36	0.392

Q28 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	1,004 70.26%	343 24.00%	80 5.60%	1 0.07%	1 0.07%	1,429 100.00%	4.64	0.595	4.69	0.273
合計		1,004 70.26%	343 24.00%	80 5.60%	1 0.07%	1 0.07%	1,429 100.00%	4.64	0.595	4.69	0.273

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	555 64.01%	256 29.53%	54 6.23%	1 0.12%	1 0.12%	867 100.00%	4.57	0.625
学部2年	174 76.65%	43 18.94%	10 4.41%	0 0.00%	0 0.00%	227 100.00%	4.72	0.538
学部3年	135 81.33%	20 12.05%	11 6.63%	0 0.00%	0 0.00%	166 100.00%	4.75	0.569
学部4年	98 89.09%	10 9.09%	2 1.82%	0 0.00%	0 0.00%	110 100.00%	4.87	0.386

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	609 72.16%	185 21.92%	50 5.92%	0 0.00%	0 0.00%	844 100.00%	4.66	0.585	4.72	0.281
26～50名	395 67.52%	158 27.01%	30 5.13%	1 0.17%	1 0.17%	585 100.00%	4.62	0.609	4.62	0.243
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	1,004 70.26%	343 24.00%	80 5.60%	1 0.07%	1 0.07%	1,429 100.00%	4.64	0.595	4.69	0.273

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		令和元年度	令和2年度
委員長	副学長	眞野 泰	山本 政人
委員	学生センター所長	小島 修一	村主 道美
委員	学長室部長	佐藤 吉孝	宮澤 文玄
委員	法学部	村主 道美	櫻井 敬子
委員	経済学部	宮川 努 石井 晋 眞嶋 史叙	守島 基博
委員	文学部	神田 龍身	前田 直子
委員	理学部	清末 知宏	宇田川 将文
委員	国際社会科学部	山崎 泉	ガルシア, クルマンス
委員	法務研究科	原 恵美	原 恵美
委員	スポーツ・健康科学センター	高丸 功	羽田 雄一
委員	計算機センター	申 吉浩	申 吉浩
委員	外国語教育研究センター	小野 泰教	中竹 真依子
委員	教職課程	山崎 準二	梅野 正信
委員	学芸員課程委員会	佐野 みどり	佐野 みどり

学習院大学
令和元（2019）年度「授業評価アンケート」報告書

令和2（2020）年9月

編 集 学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

発 行 学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL 03(5992)1003

お問合せ先：学長室経営企画課